

Panasonic®

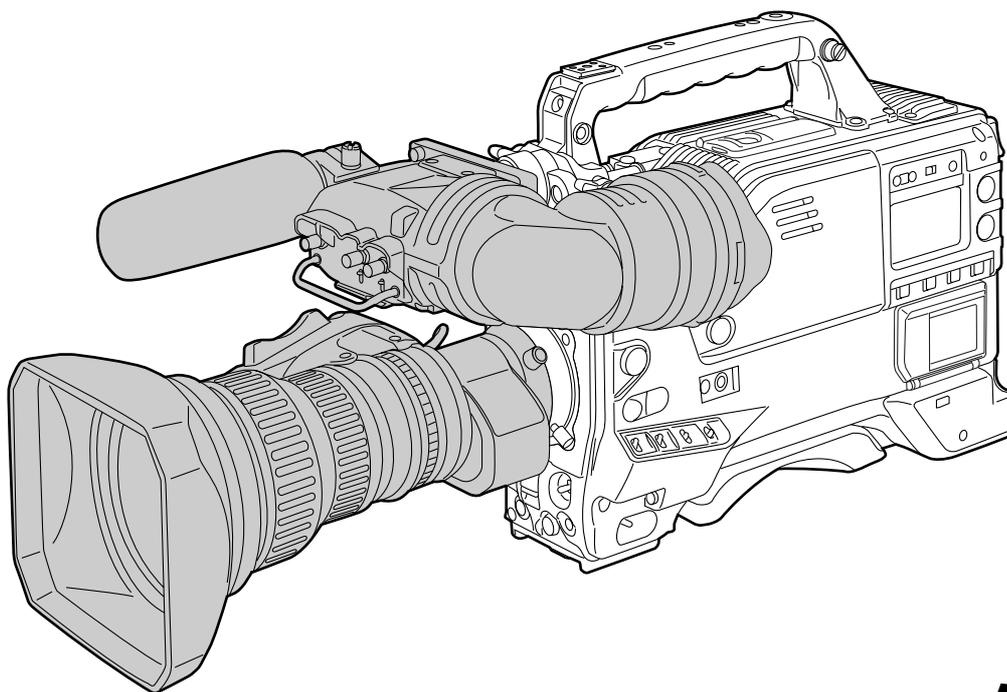
取扱説明書

カメラレコーダー

品番 **AJ-HDX400A**

DVCPRO HD

EX



このたびは、「パナソニック製品」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(5～7ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

製造番号は、品質管理上重要なものです。製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

ご不要になった充電式電池はリサイクルへ



ご不要になった充電式電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないでリサイクルにご協力ください。

次の点にご留意ください。

- ・重要な記録の場合は、必ず事前に試し撮りし、正常に録画・録音されていることを確認してください。
- ・ビデオカメラ、本機およびテープの使用時、万一これらの不具合により録画されなかった場合の録画内容の保証についてはご容赦ください。

レーザー光線についてのご注意

レーザー光線が CCD に照射されると、CCD を破壊する恐れがあります。

レーザー照射機器が使用されている環境で撮影する場合は、レンズにレーザー光線が照射されないよう、十分ご注意ください。

- Unislot は池上通信機株式会社の登録商標です。
 - ドルビー、DOLBY およびダブル D 記号  ドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションの商標です。
 - その他会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

目次

安全上のご注意	5	4-6 ビューファインダー画面上のメニュー表示	47
第1章 概要	8	4-6-1 メニューの構成	47
1-1 カメラ部の特長	8	4-6-2 メニューの基本操作	47
1-2 VTR部の特長	9	4-6-3 USER MENUの選択	48
1-3 入出力部の特長	9	4-7 ビューファインダーの状態表示	49
1-4 その他の特長	10	4-7-1 ビューファインダーのランプ表示	49
1-5 寸法図	10	4-7-2 ビューファインダー画面の状態表示の構成	49
1-6 システム構成	11	4-7-3 ビューファインダー画面の表示項目の選択	49
第2章 各部の名称と機能	12	4-7-4 表示モードと設定変更/調整結果メッセージ	54
2-1 電源部およびアクセサリ取り付け部	12	4-7-5 マーカー表示の設定	54
2-2 音声機能部	13	4-7-6 カメラIDの設定	55
2-3 撮影・記録/再生機能部	15	4-7-7 状態確認画面の表示 (MODE CHECK ボタン機能)	55
2-4 メニュー操作部	18	4-7-8 マーカー確認画面の表示 (MARKER SELECT ボタン機能)	56
2-5 タイムコード関連部	19	4-8 映像出力信号の選択	57
2-6 警告/状態表示部	20	4-8-1 VIDEO OUT 端子から出力する信号 の設定	57
2-7 表示窓内表示	20	4-8-2 MON OUT 端子から出力する信号 の設定	59
2-8 ビューファインダー部	22	4-9 メニューによる各機能のセットアップ	60
第3章 記録と再生	23	4-9-1 USER SW GAINの切り替えの設定	60
3-1 カセットテープについて	23	4-9-2 FRONT AUDIO LEVEL ボリュームの 機能選択	60
3-2 基本手順	24	4-9-3 USER MAIN、USER1 および USER2 ボタンへの機能割り付け	61
3-3 つなぎ撮り	26	4-9-4 色温度を手動で設定する	62
3-4 数秒前からの映像を記録する (PRE RECORDING 機能)	27	4-10 設定データの取り扱い	63
3-5 間欠的に映像を記録する (INTERVAL REC 機能)	28	4-10-1 セットアップカードの取り扱い	64
3-6 直前のカットを撮り直す (RETAKE 機能)	30	4-10-2 セットアップカードの操作	64
3-7 撮影した最後の数秒間の記録を確認する (レックレビュー機能)	30	4-10-3 ユーザーデータの使い方	68
3-8 通常再生および変速再生	30	4-10-4 シーンファイルデータの使い方	69
第4章 記録のための調整と設定	31	4-10-5 ユーザーの設定状態に戻す方法	72
4-1 テープへの記録フォーマットと出力端子の信 号フォーマット	31	4-10-6 工場出荷の状態に戻す方法	72
4-2 ホワイトバランス/ ブラックバランスの調整	32	4-10-7 レンズファイル	73
4-2-1 ホワイトバランスの調整	32	4-10-8 レンズファイルの作成方法	73
4-2-2 ブラックバランスの調整	34	4-10-9 レンズファイルを内蔵メモリーに 書き込む	74
4-3 電子シャッターの設定	35	4-10-10 レンズファイルを内蔵メモリーから 読み出す	76
4-3-1 シャッターモードについて	35	4-10-11 レンズファイルのSDメモリーカードへの 書き込みと読み出し	77
4-3-2 シャッターモード/スピードの設定	35	第5章 準備	79
4-3-3 シンクロスキャンモードの設定	36	5-1 電源の供給	79
4-4 音声入力の選択と録音レベルの調整	37	5-1-1 バッテリーの取り付けおよび設定	79
4-4-1 音声入力信号の選択	37	5-1-2 外部DC電源の使用	81
4-4-2 録音レベルの調整	37	5-2 レンズの取り付けとフランジバック調整 ..	82
4-4-3 CH3/CH4の録音レベルについて	38	5-3 レンズのホワイトシェーディング調整	83
4-5 タイムデータの設定	38	5-4 音声入力の準備	85
4-5-1 ユーザーズビットの設定	38	5-4-1 フロントマイクを使用する場合	85
4-5-2 内蔵時計の日付/時刻の設定	41	5-4-2 ワイヤレスレシーバーを使用する場合	85
4-5-3 タイムコードの設定	42	5-4-3 オーディオ機器を使用する場合	85
4-5-4 タイムコードを外部ロックさせる	42		
4-5-5 UMID情報の設定	46		

目次 (つづき)

5-5	三脚への取り付け	86	7-4	VF	114
5-6	ショルダーベルトの取り付け	86	7-4-1	VF DISPLAY	114
5-7	ショルダーパッドの位置調整	86	7-4-2	VF MARKER	115
5-8	レインカバーの取り付け	87	7-4-3	VF USER BOX	115
5-9	FRONT AUDIO LEVELつまみノブ の取り付け	87	7-4-4	VF INDICATOR1	116
5-10	リモートコントロールユニット (AJ-RC10G) の接続	88	7-4-5	VF INDICATOR2	116
5-11	外部スイッチの接続	88	7-4-6	MODE CHECK IND	117
第6章	保守・点検	89	7-4-7	ILED	117
6-1	撮影前の点検	89	7-5	OPERATION	118
6-1-1	点検の準備	89	7-5-1	CAMERA ID	118
6-1-2	カメラ部の点検	89	7-5-2	SHUTTER SPEED	118
6-1-3	VTR部の点検	90	7-5-3	SHUTTER SELECT	118
6-1-4	自己診断機能	91	7-5-4	USER SW	119
6-2	メンテナンス	92	7-5-5	SW MODE	119
6-2-1	結露	92	7-5-6	WHITE BALANCE MODE	120
6-2-2	ヘッドクリーニング	92	7-5-7	USER SW GAIN	121
6-2-3	ビューファインダー内のクリーニング	92	7-5-8	LENS/IRIS	121
6-2-4	CCDカメラ特有の現象について	92	7-6	FILE	122
6-2-5	バックアップ電池の交換	92	7-6-1	CARD READ/WRITE	122
6-2-6	コネクタ信号の内容	93	7-6-2	CARD R/W SELECT	122
6-3	警告システム	97	7-6-3	LENS FILE	122
6-3-1	警告内容一覧	97	7-6-4	LENS FILE CARD R/W	122
6-3-2	エラーコード	99	7-6-5	SCENE	122
6-3-3	EMERGENCY イジェクト	99	7-6-6	INITIALIZE	123
第7章	MENU一覧	100	7-7	MAINTENANCE	123
7-1	メニューの構成	100	7-7-1	SYSTEM CHECK	123
7-2	SYSTEM SETTING	101	7-7-2	DIAGNOSTIC	123
7-2-1	SYSTEM MODE	101	7-7-3	LENS ADJ	123
7-2-2	REC FUNCTION	101	7-7-4	BLACK SHADING	124
7-2-3	OUTPUT SEL	102	7-7-5	WHITE SHADING	124
7-2-4	VIDEO OUT SETTING	102	7-7-6	LENS FILE ADJ	124
7-2-5	MONITOR OUT SETTING	103	7-8	VTR MENU	125
7-2-6	RC OUT SETTING	103	7-8-1	VTR FUNCTION	125
7-2-7	DOWNCON SETTING	104	7-8-2	BATTERY/TAPE	125
7-2-8	GENLOCK	104	7-8-3	BATTERY SETTING1	126
7-2-9	OPTION MODE	105	7-8-4	BATTERY SETTING2	127
7-3	PAINT	106	7-8-5	MIC/AUDIO1	128
7-3-1	RB GAIN CONTROL	106	7-8-6	MIC/AUDIO2	128
7-3-2	RGB BLACK CONTROL	106	7-8-7	TC/UB	129
7-3-3	MATRIX	107	7-8-8	UMID SET/INFO	130
7-3-4	COLOR CORRECTION	107	7-8-9	VTR DIAG	130
7-3-5	LOW SETTING	108	7-9	OPTION MENU	130
7-3-6	MID SETTING	109	7-9-1	OPTION	130
7-3-7	HIGH SETTING	109	第8章	保証とアフターサービス	131
7-3-8	ADDITIONAL DTL	110	第9章	定格	132
7-3-9	SKIN TONE DTL	111			
7-3-10	KNEE/LEVEL	112			
7-3-11	GAMMA	112			
7-3-12	CAMERA SETTING	113			

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 危険	この表示の欄は、「死亡または重症などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

危険

バッテリーパックの説明書をよく読み、正しく使用する



誤った使い方をされますと、液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。

(バッテリーパックは本機に付属していませんが、安全にご使用いただくために、お守りください)

充電するときは、必ずバッテリーパックメーカー指定の充電器を使用する



指定以外の充電器で充電すると、発熱・発火・破裂を起こし、けがの原因になります。

(充電器は本機に付属していませんが、安全にご使用いただくために、お守りください)

警告

DC コードが破損するようなことはしない（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない）



傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。
• DC コードの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。

(DC コードは本機に付属していませんが、安全にご使用いただくために、お守りください)

メモリーカード（別売品）は、乳幼児の手の届く所に置かない



誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

分解や改造をしない



分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電や火災の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります。

- 内部の点検や修理などは、お買い上げの販売店にご相談ください。

指定のカバー以外は外さない



分解禁止

火災や感電の原因になります。

- 点検・整備・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない



ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。

- 機器の上や近くに液体の入った花瓶などの容器や金属物を置かないでください。

外部 DC 電源を使用するときは、電源電圧、および DC IN 端子のピン配列を確認し、極性を正しく接続する



誤って GND 端子に +12V の電源を接続すると、火災や故障の原因になります。
詳しくは、81 ページを参照してください。

(DC 電源は本機に付属していませんが、安全にご使用いただくために、お守りください)

付属品・オプションは、指定の製品を使用する



本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こす原因になります。

異常があったときは、バッテリーを外す

- 内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき
- 落下などで外装ケースが破損したとき
- 煙や異臭、異音などが出たとき



そのまま使うと、火災・感電の原因になります。

- 外部 DC 電源で使っている場合は、DC コードを外してください。
- 販売店に相談してください。

乗り物を運転しながら使わない



事故の誘発につながります。

- 歩行中でも周囲の状況、路面の状態などに十分ご注意ください。

水場で使用しない



水場使用禁止

火災や感電の原因になります。

不安定な場所に置かない



落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。

DC コードの電源プラグは、根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。

(DC コードは本機に付属していませんが、安全にご使用いただくために、お守りください)

⚠ 注意

電源を入れたまま長時間直接接触して使用しない



本機の温度の高い部分に、長時間直接接触していると低温やけど*の原因になります
長時間ご使用の場合は、三脚などをお使いください。
* 血流状態が悪い人（血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている）や、皮膚感覚が弱い人など（高齢者）は、低温やけどになりやすい傾向があります。

本機の放熱を妨げない

- 押し入れや本箱など、狭いところに入れないでください
- テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かないでください
- 通風孔やファンがある場合は、ふさがないようにしてください
- 横倒し、逆さまにしないでください



内部に熱がこもり、火災の原因になります。

直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所に置かない



特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温（約60℃以上）になります。本機やカセットなどを絶対に放置しないでください。外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になります。

DC コードのプラグを抜くときは、コードを引っ張らない



コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

- 必ずプラグやコネクタを持って抜いてください。

（DC コードは本機に付属しておりませんが、安全にご使用いただくために、お守りください）

飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従う



本機が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を及ぼす恐れがあります。

- 病院などで使うときも、病院の指示に従ってください。

移動するとき、接続したコードに力が加わらないよう注意する



コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

また、コードが引っかかって、けがの原因になります。

カセットテープ挿入口に、指をはさまれないように注意する



指に注意

けがの原因になります。

長期間使用しないときや、お手入れのときは、バッテリーやDC コードを外す



火災や感電の原因になります。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない



電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。たばこの煙なども製品の故障の原因になることがあります。

本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない



- 落下したり倒れたりして壊れ、けがの原因になります。
- 重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になります。

レンズやファインダーを太陽や強い光源に向けたままにしない



レンズにより集光されると、内部部品が加熱・損傷し、火災、感電、故障の原因となります。

使用時は、安定した場所と、十分な体勢を確保する



けがや事故の原因になります。

不安定な場所で、三脚を使わない



倒れると、けがの原因になります。

接続したコードは通路を引き回さない



足などを引っ掛けると、コードが傷つき、火災や感電の原因になります。また、けがの原因にもなります。

お願い

- 本機の内蔵時計は、工場出荷の時点で日付と時刻が正しく設定されていません。ご使用になる前に、日付と時刻の設定を行ってください。(41 ページ参照)
- 本機を初めてご使用になるときは、最初にブラックバランスの調整を行ってください。(34 ページ参照)

第 1 章 概要

本機は、プログレッシブスキャン（全画素読み出し）に対応した、2/3 型オンチップレンズ付き 3CCD を搭載した HD カメラ部と、DVCPRO HD-LP フォーマットに対応した VTR を一体化したカメラレコーダです。特に、CCD を常にプログレッシブスキャンしているため、高画質で映像表現に優れた画像を得ることが可能です。また、本機は、小型、軽量、低消費電力、高画質、高感度、機動性、防塵、防湿性に優れており、更に多くの機能を充実させていますので報道用途として最適なカメラレコーダです。

1-1 カメラ部の特長

●蓄積型高感度機能搭載（DS. GAIN）

CCD をプログレッシブ駆動させることにより、蓄積型のゲインアップ機能を実現しています。低照度の環境下でもノイズを増やすことなく、明るい映像を得ることが可能です。通常のゲインアップから更に最大 20 dB の高感度化が可能になります。また、この機能を映像効果として用いることが可能です。

●14 ビット A/D 変換デジタル信号処理

標本化周波数 74MHz、14 ビット A/D 変換器により映像信号をデジタル化しており、より繊細で高画質な映像再現を可能にしています。

●フィルムライクガンマ機能搭載

Varicam (AJ-HDC27 シリーズ) で培ったフィルムトーンを容易に得られるよう、3 種類のフィルムライクガンマを備えており、制作での映像表現を広げています。(112 ページ参照)

●Y ゲット機能搭載

USER ボタンに機能を割り付けることにより、被写体の映像レベルを容易に測定することが可能です。レンズ絞りを正確に合わせることができ、最適な映像を撮影することが可能になります。(61 ページ参照)

●レンズファイル機能

本機には、8 個のレンズファイルを備えています。SD メモリーカードを使用すると、64 個のレンズファイルを記憶することが可能になります。(73 ページ参照)

●データ管理機能

本機には 1 個のユーザーデータと 4 個のシーンファイルデータを登録することが可能です。また、セットアップカードとして SD メモリーカードを使用することで、最大 8 個のセットアップデータを保存することが可能になります。(63 ページ参照)

●カラーバー

本機には通常のフルカラーバーのほかに、SMPTE カラーバー、ARIB カラーバー、SNG (Satellite News Gathering) 用スプリットカラーバーを備えています。カラーモニターの調整などに有効です。(119 ページ参照)

●DRS（ダイナミックレンジストレッチャー）機能

通常の撮影では白トビする、高輝度な部分の映像信号レベルを圧縮することにより、ダイナミックレンジを拡大することができます。(61 ページ参照)

●デジタルズーム（D. ZOOM）機能

本機は、デジタルズーム機能を備えています。画角の縦横を 2 倍、3 倍、4 倍に拡大することが可能です。本機能を用いると、輝度を低下させることなく、画面を拡大することができます。(61 ページ参照)

●クロマゲイン調整機能

標準 - 99% ~ +40% の可変幅でクロマゲイン調整が可能です。また、クロマ OFF (モノクロ) を選択することも可能です。(CHROMA LEVEL 項目: 112 ページ参照)

1-2 VTR 部の特長

- **DVCPRO HD-LP フォーマット方式**
本機は、DVCPRO HD-LP の記録フォーマットを採用しています。
最新の圧縮技術により、従来の DVCPRO HD フォーマットの 2 倍の経済性を実現しています。
- **PRE RECORDING 標準装備**
本機は、PRE RECORDING 機能を標準で装備しています。
VTR REC ボタンを押した時点の最大 7 秒手前からの映像・音声を記録することが可能です。(27 ページ参照)
- **INTERVAL REC 機能と ONE SHOT 記録機能を標準装備**
本機は、INTERVAL REC 機能と ONE SHOT 記録機能を標準で装備しています。
メモリー制御で最短 1 フレームの記録が可能になります。
特に、科学・自然番組の撮影に効果を発揮します。
また、ワンショット記録として使用すれば、ひとコマ撮りが容易に行えます。(28 ページ参照)
- **有効フレーム情報**
映像方式が 23.98P と 23.98PA のときには、ユーザーズビット等に有効フレーム情報を記録しています。
HD SDI 信号出力時にも、有効フレーム情報が出力されます。(39 ページ参照)
- **音声独立 4 チャンネル入力**
本機は、音声入力に独立した 4 チャンネルを選択することが可能です。また、LCD 表示窓で、各々のレベルを確認することが可能です。(13 ページ参照)
- **DOLBY NR 内蔵**
CUE オーディオの記録回路には、ドルビー B 回路を内蔵しています。
- **Unislot ワイヤレスレシーバー内蔵機構対応**
本機は、別売のスロットインワイヤレスレシーバーに対応した構造になっています。(85 ページ参照)

1-3 入出力部の特長

- **DVCPRO (IEEE1394) 出力標準装備**
DVCPRO 出力端子にノンリニア編集機を接続することで、撮影と編集を同時に行うことが可能になり、より機動性が高まります。
ただし、DVCPRO 端子に接続した機器からの制御信号および、映像音声信号を受信することはできません。
(18 ページ参照)
- **HD SDI 信号の 2 系統出力装備**
VIDEO 出力とモニター出力の 2 系統に、独立した HD SDI 出力を備えています。
各出力には、キャラクターやマーカなどを独立して ON/OFF することが可能ですので、ビデオクリエーターによる映像監視やハードディスクへの記録などに使用することが可能です。
HD SDI 出力には、エンベデッドオーディオとタイムコードが重畳されています。(31 ページ参照)
- **NTSC ダウンコンバーター出力標準装備**
VIDEO 出力は、HD SDI 信号とダウンコンバーター出力信号 (NTSC 信号) に切り替えることが可能です。
SD モニターでの撮影画像の確認に最適です。
(31 ページ参照)
- **SD SDI 出力標準装備**
VIDEO 出力は、HD SDI 信号とダウンコンバーター出力信号 (シリアルデジタルコンポーネント信号) に切り替えることが可能です。
SD モニターでの画質確認に最適です。
SD SDI 出力には、エンベデッドオーディオが重畳されています。(31 ページ参照)
- **リモートコントロール端子**
別売のリモートコントロールユニット (AJ-RC10G) を接続すると、本機をリモート制御することが可能になります。
(88 ページ参照)
- **リターンビデオ信号の確認**
本機の GENLOCK IN 端子に供給されたリターンビデオ信号 (アナログ HD-Y 信号) をビューファインダーで確認することが可能です。
プログラムの確認に使用することが可能です。
(1080-59.94i 方式の映像信号だけが確認できます。)
(RET SW 項目：119 ページ参照)
- **DC OUT 端子**
本機の DC OUT 端子からは、1.5A の電流を取り出すことが可能です。
この端子に外部スイッチを接続すると、REC スタート/ストップの制御が可能になります。
また、LED を接続すると、タリーランプとして使用することが可能になりますので、クレーン上にカメラを配置しての撮影時などに便利です。(88 ページ参照)

第1章 概要 (つづき)

1-4 その他の特長

●ショルダーパッドワンタッチスライド機構

オペレーション状態での最適なバランス位置の調整をワンタッチ化しました。

レンズ、バッテリー、その他周辺機器を装着したときのバランスを最適化することが容易に行えます。

(86 ページ参照)

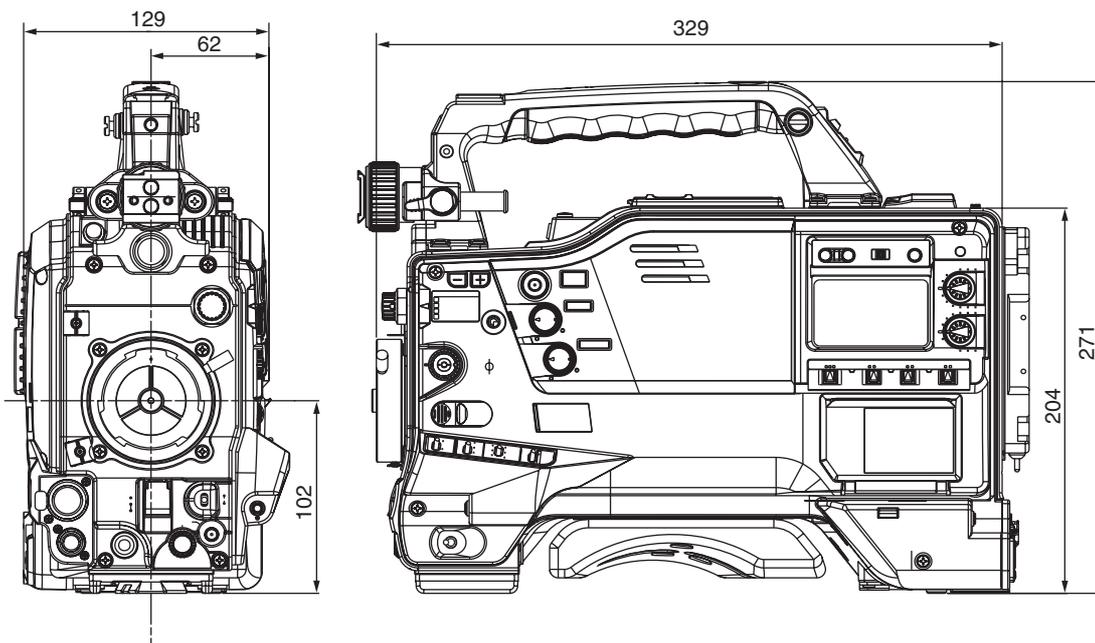
●ユーザーボタン

本機の側面には、3 個のユーザーボタンが配置されています。

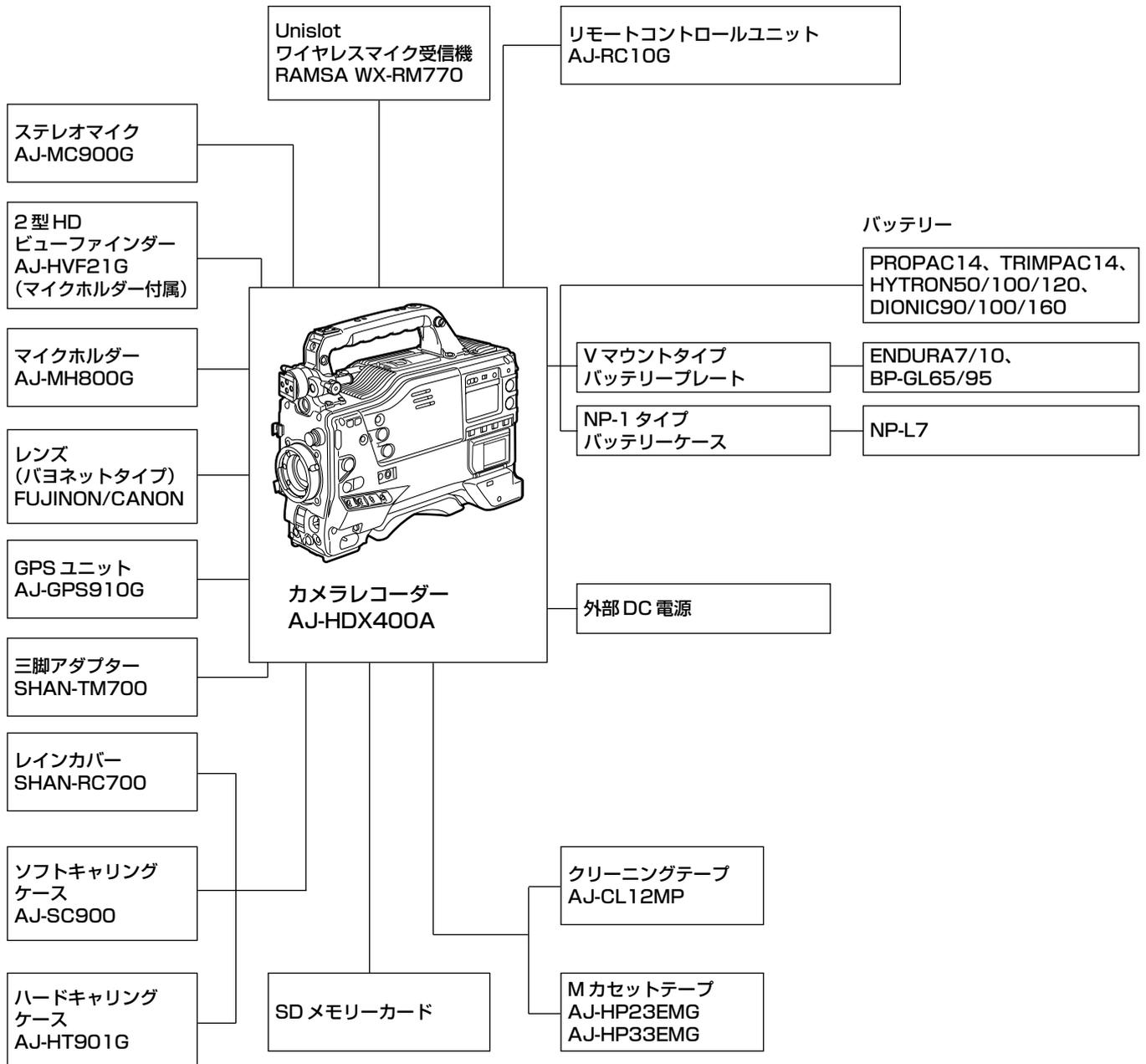
各ボタンには、使用する頻度の高い機能の中から 1 つの機能を割り付けることができます。(61 ページ参照)

1-5 寸法図

単位：mm



1-6 システム構成

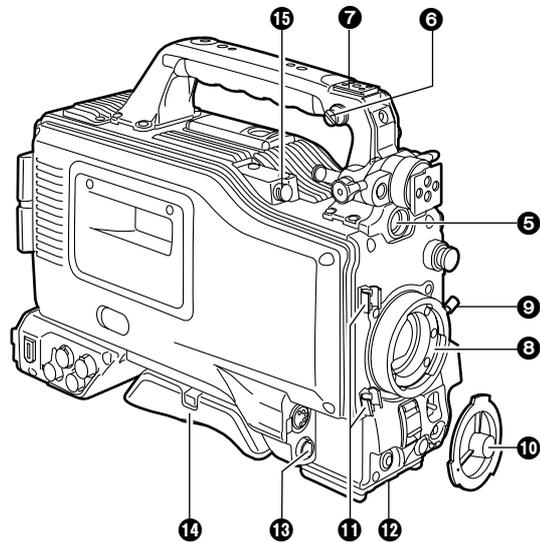
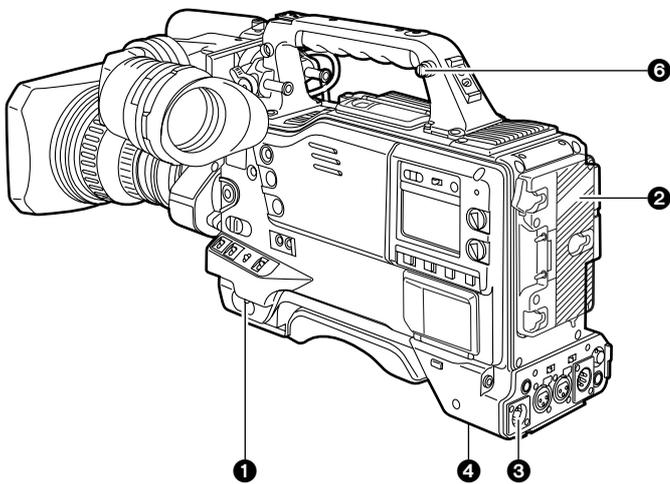


<ノート>

このシステム構成図に掲載された本機を除く機器およびオプション品はすべて別売となっております。ご使用の際にはそれぞれの取扱説明書をご確認ください。

第2章 各部の名称と機能

2-1 電源部およびアクセサリ取り付け部



① POWER スイッチ

電源を ON/OFF するスイッチです。

② バッテリーマウント

アントン・バウアー製のバッテリーパックを取り付けます。

③ DC IN (外部電源入力) 端子 (XLR、4P)

外部 DC 電源と接続します。

④ BREAKER スイッチ

何らかの異常で、本機内部に過大な電流が流れると、ブレーカーが動作して電源が自動的に切れ、機器を保護します。
本機内部の点検および修理を行った後、このボタンを押し込んでください。異常がなければ、再び電源が入ります。

⑤ VF 端子

ビューファインダー AJ-HVF21G (別売品) を接続します。(AJ-HVF20BP の使用も可能です。)ビューファインダーのコネクターは、クリック感を感じるまでしっかりと差し込んでください。

⑥ ショルダーベルト取付金具

ショルダーベルトを取り付けます。

⑦ ライトシュー

ビデオライトなどを取り付けます。

⑧ レンズマウント (バヨネット型)

レンズを取り付けます。

⑨ レンズ固定レバー

レンズをレンズマウントに取り付けたあと、レバーを締めてレンズを固定します。

⑩ レンズマウントキャップ

レンズ固定レバー ⑨ を押し上げて、キャップを取り外します。
レンズを取り付けていないときは、キャップをはめ込んでおきます。

⑪ レンズケーブル/マイクロホンケーブルクランプ

レンズケーブルやマイクロホンケーブルを固定するためのクランプです。

⑫ 三脚マウント

本機を三脚に固定するときに、別売品の三脚アダプター (SHAN-TM700) を取り付けます。

⑬ LENS 端子 (12ピン)

レンズの接続コードをつなぎます。ご使用になるレンズについての詳しい説明は、レンズの取扱説明書をお読みください。

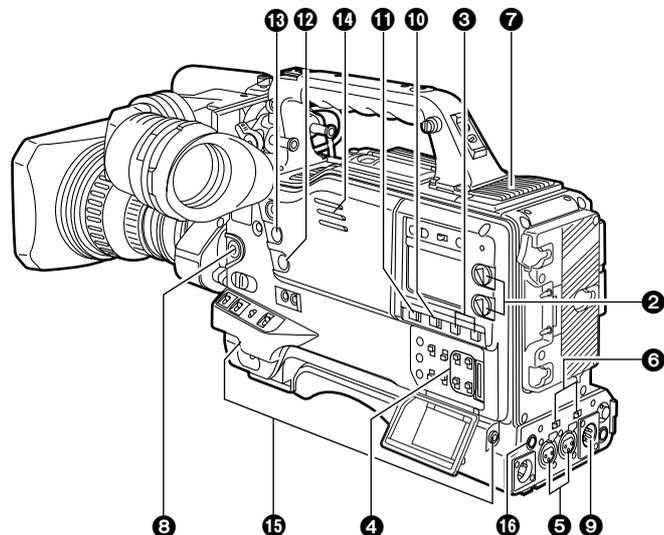
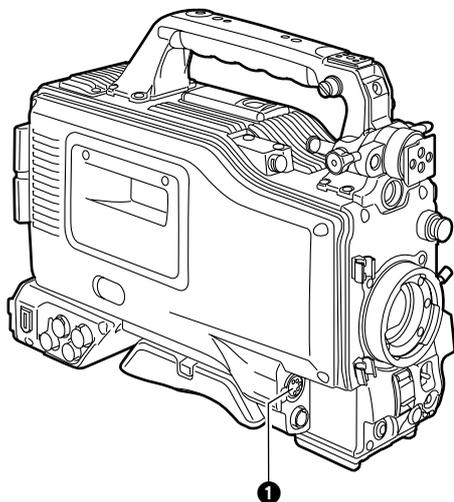
⑭ ワンタッチショルダーパッド

本機を肩に乗せたときのバランスを取るために、パッドの位置を前後に調整できます。

⑮ GPS 端子

GPS ユニット AJ-GPS910G (別売品) を接続します。

2-2 音声機能部 (入力系)



- ① MIC IN (マイク入力) 端子 (XLR、5ピン)**
ステレオマイクロホン (別売品) を接続します。マイク用の電源はこの端子から供給されます。

<ノート>

この端子から入力される信号からは、150 Hzの成分が除去されます。

- ② AUDIO LEVEL CH 1/CH 2 (音声チャンネル 1/2 録音レベル調整) つまみ**

AUDIO SELECT CH 1/CH 2 スイッチ **③** を「MAN」にすると、これらのつまみで音声チャンネル 1・2 の録音レベルが調整できます。

なお、つまみのロック機構を設けていますので調整する時は、つまみを押し込みながら回して調整してください。

- ③ AUDIO SELECT CH 1/CH 2 (音声チャンネル 1/2 自動/手動レベル調整切り替え) スイッチ**

音声チャンネル 1/2 の録音レベルを調整する方法を選びます。AUDIO LEVEL CH1/CH2 つまみ **②** の動作を決定します。

AUTO : 自動調整をします。

MAN : 手動調整をします。

- ④ AUDIO IN (音声入力切り替え) スイッチ**

音声チャンネル 1/2/3/4 に録音する入力信号を選びます。

FRONT :

MIC IN 端子 **①** に接続したマイク入力信号を録音します。

W.L. (WIRELESS) :

スロットインワイヤレスからの入力信号を録音します。

REAR :

AUDIO IN CH1/CH2 端子 **⑤** に接続したオーディオ機器からの音声入力信号を録音します。

<ノート>

ステレオマイク (AJ-MC900G・別売品) を使用する場合、CH1、CH2 の両方を「FRONT」にしてください。L CHはCH1に、R CHはCH2にそれぞれ記録されます。

- ⑤ AUDIO IN CH 1/CH 2 (音声入力チャンネル 1/2) 端子 (XLR、3ピン)**

オーディオ機器またはマイクロホンを接続します。AES/EBU 信号には対応していません。

- ⑥ LINE/MIC/+48V (ライン入力/マイク入力/マイク入力+48V) 切り替えスイッチ**

AUDIO IN CH 1/CH 2 端子 **⑤** に接続した音声入力信号を切り替えます。

LINE : ライン入力するオーディオ機器からの音声入力信号

MIC : 内部電源供給方式のマイクからの音声入力信号 (本体からファントムマイク用の電源を供給しません)

+48V : 外部電源供給方式のマイクからの音声入力信号 (本体からファントムマイク用の電源を供給します)

- ⑦ ワイヤレススロット**

Unislots ワイヤレスレシーバー (別売品) を取り付けることができます。

- ⑧ FRONT AUDIO LEVEL (音声録音レベル調整) つまみ**

音声チャンネル 1 および 2 の録音レベルが調整できます。

ただし、AUDIO SELECT スイッチの位置が AUTO のときは、自動調整になります。

なお、メニュー操作で VTR MENU ページから <MIC/AUDIO1> 画面を開き、FRONT VR CH1 と FRONT VR CH2 の項目で、このつまみの操作を有効にするか無効にするかを設定できます。

第2章 各部の名称と機能 (つづき)

2-2 音声機能部 (出力系)

⑨ AUDIO OUT 端子 (XLR、5ピン)

音声チャンネル 1/2 または音声チャンネル 3/4 に記録された音声信号を出力します。

出力される信号は、MONITOR SELECT CH1/2 / CH3/4 切り替えスイッチ⑩で選択します。

⑩ MONITOR SELECT (音声チャンネル選択)

CH1/2 / CH3/4 切り替えスイッチ

スピーカー、イヤホンおよび AUDIO OUT 端子に出力される音声チャンネルを切り替えます。

CH1/2 : 音声チャンネル 1 および 2 の信号を出力します。

CH3/4 : 音声チャンネル 3 および 4 の信号を出力します。

また、このスイッチに連動して、表示窓とビューファインダー内のオーディオレベルメーターのチャンネル表示が切り替わります。

⑪ MONITOR (音声選択) CH1/3 / ST / CH2/4 切り替えスイッチ

MONITOR SELECT CH1/2 / CH3/4 切り替えスイッチ⑩に連動して、スピーカー、イヤホンおよび AUDIO OUT 端子からの音声出力を選択します。

CH1/3 : 音声チャンネル 1 か音声チャンネル 3 の信号を出力します。

ST : 音声チャンネル 1 と 2 のステレオ音声信号か音声チャンネル 3 と 4 のステレオ音声信号が出力されます。なお、メニュー設定でステレオ音声を MIX 信号に変更が可能です。

CH2/4 : 音声チャンネル 2 か音声チャンネル 4 の信号を出力します。

⑫ MONITOR (音量調整) つまみ

モニタースピーカーやイヤホンの音量を調節します。

⑬ ALARM (警告アラーム音量調節) つまみ

スピーカー⑭ または PHONES 端子⑮に接続したイヤホンからの警告アラーム音量を調節します。最小の位置にすると、警告アラームは聞こえません。

⑭ スピーカー

記録中は EE 音声を、再生中は再生音をモニターで聴きます。

警告ランプや警告表示の点滅・点灯にあわせて警告アラームを出します。

PHONES 端子⑮にイヤホンを接続すると、スピーカーからの音は自動的に切れます。

⑮ PHONES (イヤホン) 端子 (ミニジャック)

オーディオモニター用イヤホン (ステレオ) 端子です。イヤホンを接続すると、スピーカーからの音声は自動的に切れます。出力する音声は両端子 (フロント側、リア側) と同じです。

⑯ DC OUT (DC 電源) 出力端子

DC 12 V の出力端子です。最大 1.5 A の電流を取り出すことができます。

この端子に外部スイッチを接続すると、REC スタート/ストップの制御が可能になります。

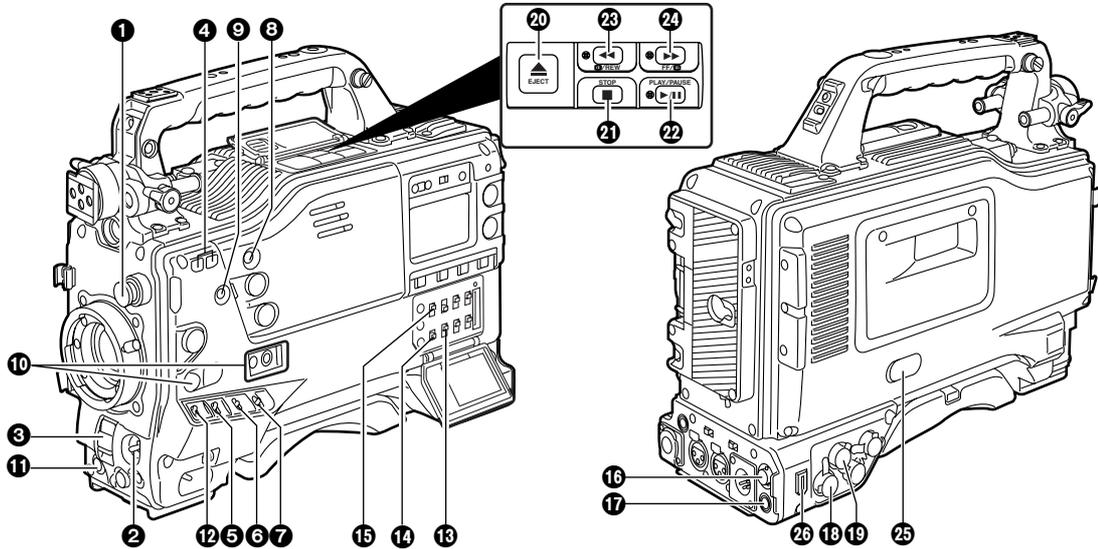
また、LED を接続すると、タリールランプとして使用することが可能になりますので、クレーン上にカメラを配置しての撮影時などに便利です。

詳しくは、「5-11 外部スイッチの接続」の内容を参照してください。

MONITOR スイッチ	MONITOR SELECT スイッチ	
	CH1/2	CH3/4
CH1/3	音声チャンネル 1	音声チャンネル 3
ST	音声チャンネル 1 と 2 のステレオ*	音声チャンネル 3 と 4 のステレオ*
CH2/4	音声チャンネル 2	音声チャンネル 4

*メニュー操作で VTR MENU ページから <MIC/AUDIO 2> 画面を開き MONITOR SELECT 項目で STEREO か MIX の切り替えが可能です。

2-3 撮影・記録/再生機能部



撮影・記録 (カメラ部)

① CC FILTER/ND FILTER (フィルター切り替え)

つまみ

被写体の照度や色温度に合わせてフィルターを選択します。

CC FILTERつまみ (外形、大径)

A : クロスフィルター B : 3200K
C : 4300K D : 6300K

ND FILTERつまみ (内形、小径)

1 : CLEAR (素通し) 2 : 1/4 ND
3 : 1/16 ND 4 : 1/64 ND

■ 撮影条件に応じたフィルターの選択例

撮影条件	CCフィルター	NDフィルター
日の出、日没、スタジオ内	B (3200 K)	1 (CLEAR)
晴天の屋外	C (4300 K) または D (6300 K)	2 (1/4 ND) または 3 (1/16 ND)
曇天・雨天の屋外	D (6300 K)	1 (CLEAR) または 2 (1/4 ND)
雪景色、高い山、海辺など、澄み切っていて明るい景色	C (4300 K) または D (6300 K)	3 (1/16 ND) または 4 (1/64 ND)

② AUTO W/B (WHITE/BLACK) BAL スイッチ

AWB : ホワイトバランスを自動調整します。

側面の WHITE BAL スイッチを A または B の位置にしてこのスイッチを操作すると、調整された値がメモリーに記録されます。PRST の位置のときは、動作しませんのでご注意ください。

ABB : ブラックバランスを自動調整します。

また、「7-5-5 SW MODE」の SHD. ABB SW CTL を ON にすると、ブラックシェーディングの自動調整機能を割り付けることができます。

詳しくは、「4-2 ホワイトバランス/ブラックバランスの調整」の内容を参照してください。

<ノート>

ホワイトバランスやブラックバランスの自動調整を行っているときに、再度 AWB 側や ABB 側に切り替えると、それぞれの自動調整を中止します。このときの調整値は、自動調整を行う前の値になります。

③ SHUTTER スイッチ

電子シャッターの ON/OFF 切り替えスイッチです。

OFF : 電子シャッターは動作しません。

ON : 電子シャッターが動作します。

SEL : 電子シャッターのスピードを変更するときに、使用します。

このスイッチは、跳ね返りスイッチになっています。操作することにより、シャッタースピードが変化します。詳しくは、「4-3 電子シャッターの設定」の内容を参照してください。

④ シンクロスキャン調整スイッチ

SHUTTER スイッチ ③ を「ON」にし、SYNCHRO SCAN が選択されているときに有効です。

シンクロスキャンのスピードを調整するスイッチです。

−のスイッチを押すとシャッタースピードが遅くなり、+のスイッチを押すとシャッタースピードが速くなります。

パソコンモニター撮影などでは、ビューファインダー内の横バーノイズが少なくなる位置に調整してください。

⑤ GAIN 切り替えスイッチ

撮影時の照明の状態に合わせて、映像アンプのゲインを切り替えます。

L、M、H の設定に対するゲイン値は、あらかじめ設定メニューで指定します。

出荷時の設定は L=0dB、M=6dB、H=12dB です。

第2章 各部の名称と機能 (つづき)

⑥ OUTPUT/AUTO KNEE 選択スイッチ

カメラ部からVTR部、ビューファインダー、ビデオモニターへ出力する映像信号の選択スイッチです。

CAM. AUTO KNEE ON :

カメラで撮影している映像が出力されます。AUTO KNEE 回路が動作します。また、AUTO KNEE 機能の代わりにDRS (ダイナミックレンジストレッチャー) 機能を割り付けることも可能です。詳しくは、「7-5-5 SW MODE」を参照してください。

CAM. AUTO KNEE OFF :

カメラで撮影している映像が出力されます。MANUAL KNEE になります。

BARS :

カラーバー信号が出力されます。AUTO KNEE 回路は動作しません。

AUTO KNEE 機能

高輝度の背景で人物や風景などにレベルを合わせて撮影すると、背景が白くつぶれ、背景にある建物や風景がぼやけてしまいます。このようなときにAUTO KNEE 機能を動作させると、背景がくっきりと再現できます。AUTO KNEE 機能は次のような場面の撮影に効果を発揮します。

- 晴天時に日陰の人物を撮るとき
- 車内または屋内の人物と窓越しの屋外の風景を同時に撮影したいとき
- コントラストの強い場面を撮るとき

⑦ WHITE BAL (ホワイトバランスメモリー切り替え) スイッチ

ホワイトバランスの調整方法を切り替えます。

PRST :

ホワイトバランスを調整する時間がないときなど、この位置に設定にします。工場出荷時は、3200K に設定しています。メニュー設定で任意の色温度に変更が可能です。詳しくは、「4-9-4 色温度を手動で設定する」を参照ください。

A または B :

AUTO W/B BAL スイッチ ② を「AWB」側に押すとホワイトバランスが自動的に調整され、調整値がメモリー A またはメモリー B に記憶されます。詳しくは、「4-2-1 ホワイトバランスの調整」を参照ください。

⑧ MODE CHECK ボタン

このボタンを押す度に、カメラの設定状態として4つの画面表示 (STATUS 画面表示、!LED 画面表示、FUNCTION 画面表示、AUDIO 画面表示) がビューファインダー上に切り替わり表示されます。カメラの出力信号には影響ありません。

⑨ MARKER SELECT ボタン

ビューファインダー画面上のマーカー情報表示を切り替えます。メニューで設定されたA、Bの2種類のマーカー情報表示画面を、このボタンを押すごとにA (A マーカー表示) → B (B マーカー表示) → OFF (マーカー表示なし) を繰り返します。なお、電源ON時は電源OFFする直前の状態で表示されます。詳しくは、「4-7-8 マーカー確認画面の表示」を参照ください。

⑩ USER MAIN、USER1/USER2 ボタン

ユーザーの設定を、設定メニューでそれぞれのボタンに割り付けることができます。ボタンを押すことで、割り付けられているユーザーの設定モードに切り替わります。再度押すと、切り替わったモードが解除されます。

撮影・記録/再生機能部 (VTR 部)

⑪ REC START ボタン

押すと記録が始まり、再度押すと記録が停止します。このボタンは、レンズ側のVTRボタンと同じ働きをします。

⑫ VTR SAVE/STBY (テープ保護) スイッチ

VTRが記録を一時停止 (REC PAUSE) しているときの、電源供給状態を切り替えます。

SAVE :

テープ保護モードです。ハーフローディング状態でシリンダーを停止させています。

STBY 時より電力消費も少なく、バッテリーでの動作時間も長くなります。

この位置にすると、ビューファインダー内のSAVEランプが点灯します。

STBY :

REC START ボタン⑪を押すと、すぐにテープ上への記録が始まります。

<ノート>

- 本機は、PRE RECORDING 機能を標準で装備しています。SAVE と STBY どちらの位置でも、REC START ボタンを押した直後から記録されます。ただし、SAVE の位置にしているときは、REC START ボタンを押して記録を停止したときに、テープ走行系のメカニズムが動作している時間がSTBY の位置のときよりも少し長くなります。
- STBY の状態で所定の時間が経過すると、本機は自動的にSAVE 状態になります。再びSTBY の状態に戻すには、このVTR SAVE/STBY スイッチを一度「SAVE」の位置にし、再度「STBY」の位置に戻してください。

第2章 各部の名称と機能 (つづき)

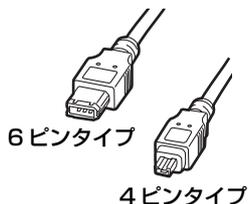
- 13 VIDEO OUT OUTPUT SEL (出力信号切り替え) スイッチ**
VIDEO OUT 端子から出力する信号を切り替えます。
ただし、記録中は切り替え動作を受け付けません。
VTR：記録など EE 時は、カメラ映像を出力し、再生時は VTR の再生信号を出力します。
CAM：常にカメラ映像を出力します。
なお、音声出力も映像に同期します。
映像出力の種類は、「4-8-1 VIDEO OUT 端子から出力する信号の設定」を参照ください。
- 14 VIDEO OUT CHARACTER スイッチ**
VIDEO OUT 端子から出力される映像へのキャラクターの重畳を制御します。
ON：キャラクターを重畳します。
OFF：キャラクターを重畳しません。
なおキャラクターの種類は、「4-8-1 VIDEO OUT 端子から出力する信号の設定」を参照ください。
- 15 VIDEO OUT (信号切り替え) スイッチ**
VIDEO OUT 端子から出力する信号のモードを切り替えます。
HD SDI：HD SDI 信号を出力します。
SD SDI：ダウンコンバートされた SD SDI 信号を出力します。
VBS：ダウンコンバートされた NTSC 信号を出力します。
- 16 VIDEO OUT 端子**
映像信号の出力端子です。VIDEO OUT スイッチ (13、14、15) に連動した映像が出力されます。
- 17 REMOTE (リモートコントロール) 端子**
リモートコントロールユニット AJ-RC10G (別売品) を接続します。
- 18 MON OUT (モニター) 端子**
モニター用の出力端子です。
HD SDI 信号またはアナログ HD Y 信号 (1080-59-94i) が出力されます。
ただし、キャラクターの重畳は、VIDEO OUT 端子とは独立に内部の MENU で設定が可能です。詳しくは、「4-8-2 MON OUT 端子から出力する信号の設定」を参照ください。
- 19 GENLOCK IN 端子**
カメラ部にゲンロックをかけるとき、またはタイムコードを外部ロックするときに HD の Y 基準信号 (1080-59-94i) を入力します。
なお、基準信号として NTSC 信号を入力することもできますが、この場合は、H フェーズの調整ができません。また、本機のダウンコンバーター出力 (NTSC 信号) のサブキャリアを外部ロックさせることはできません。
● HD-Y 信号 (1080-59-94i) を入力すると、ビューファインダー画面でリターンビデオ映像が確認できます。
- 20 EJECT (カセット取り出し) ボタン**
カセットを挿入するときや、取り出すときに押します。
- 21 STOP (停止) ボタン**
テープ走行を止めるときに押します。
- 22 PLAY/PAUSE (再生/一時停止) ボタン/ランプ**
ビューファインダー画面上やカラービデオモニターを使って、再生画像を見るときに押します。再生中はランプが点灯します。
再生中に押すと、再生モードでの一時停止 (PLAY PAUSE) となりランプが点滅します。さらに一時停止の状態が続くと、2 分後には自動的に停止状態 (STOP) になります。
- 23 REW (巻き戻し) ボタン/ランプ**
停止中に押すと高速の巻き戻し再生になります。このときランプが点灯します。
再生、または一時停止中に押すと約 4 倍速の巻き戻し再生になります。PLAY ランプと REW ランプが点灯します。
頭出し動作中は、REW ランプが点滅します。
- 24 FF (早送り) ボタン/ランプ**
停止中に押すと高速の早送り再生になります。このときランプが点灯します。
再生、または一時停止中に押すと約 4 倍速の早送り再生になります。PLAY ランプと FF ランプが点灯します。
- 25 EMERGENCY スクリュー (ゴムキャップ内部)**
EJECT ボタンを押してもカセットを取り出せないときは、ドライバー等で EMERGENCY スクリューを押しながら回すと、カセットを取り出すことができます。詳しくは、「6-3-3 EMERGENCY イジェクト」を参照ください。

②6 DVCPRO 端子

IEEE1394 規格に準拠した、映像・音声・データの出力端子です。

<ノート>

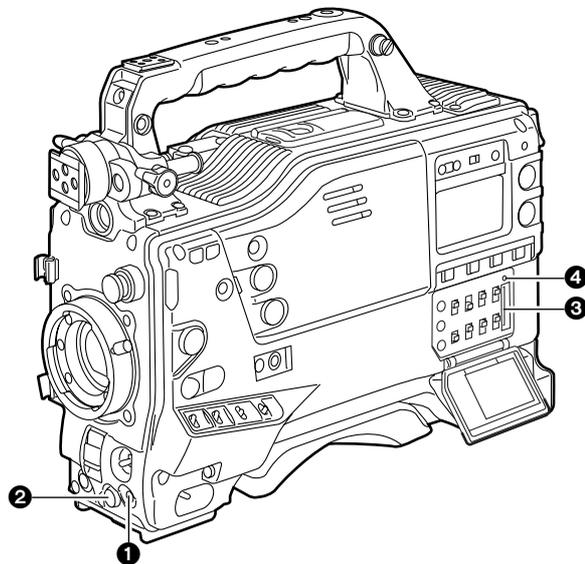
- 外部から信号を入力することはできません。
- 本機から電源は、供給されません。
- DVケーブル (IEEE1394) を接続するときや外すときは、必ず、接続する機器の電源を切ってから行ってください。
- 6ピンタイプのDV端子を使用している機器と接続する場合、DVケーブルと端子の形状を良く確認して接続してください。逆に接続すると、本機内部の部品が破損し、故障の原因となります。



また、DVケーブルは、6ピンタイプのDV端子を使用している機器側を先に接続してください。

- DV端子が搭載されているデジタルビデオ機器を接続して、映像信号や音声信号、また、タイムコードなどを、デジタルで伝送することができます。
- DV端子にDVケーブルを接続したときに、外部から強い負荷を加えないでください。端子が破損することがあります。
- DVCPRO端子に接続した外部記録機器の記録スタート/ストップを本機で制御する場合は、メニューの1394 CONTROL項目 (SYSTEM SETTINGページのOPTION MODE画面) をBOTHに設定してください。(工場出荷時は、BOTHに設定されています。)
- 外部記録機器としてFOCUS社のFireStore FS-100を1080iモードで使用するときは、VITC UB MODE項目 (VTR MENUページのTC/UB画面) をFRM RATEに設定すると、FS-100の表示部で本機のフレームレートを表示することができます。

2-4 メニュー操作部



① MENU ボタン

メニューのON/OFF切り替えボタンです。

② JOG ダイヤルボタン

MENU ボタン ① をONにしているときに、各種メニューの選択や設定を行います。

③ セットアップカード挿入部

SDメモリーカード (別売品) の挿入口です。

④ BUSY (動作状態表示) ランプ

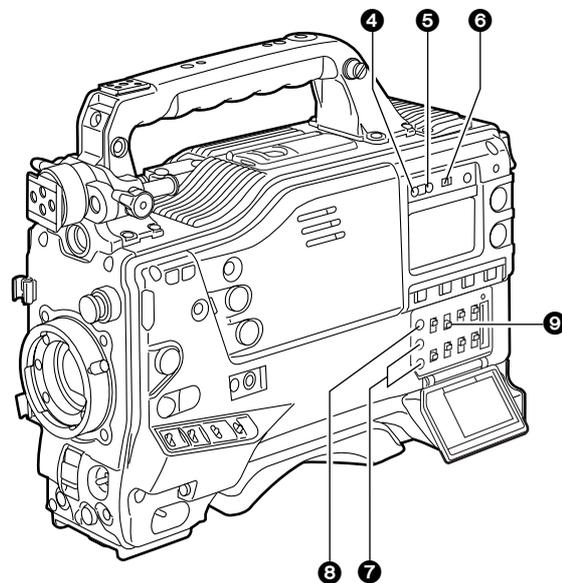
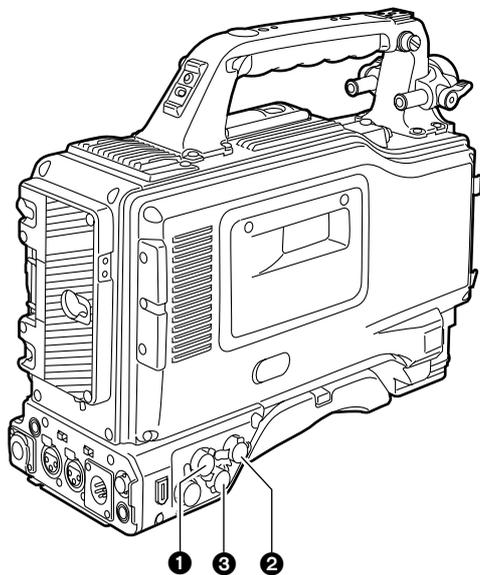
セットアップカードの動作状態を表示するランプです。

動作時に点灯します。

<ノート>

ランプ点灯時にはカードを入れたり出したりしないでください。

2-5 タイムコード関連部



① GENLOCK IN 端子 (BNC)

カメラ部にゲンロックをかけるとき、またはタイムコードを外部ロックするときにHDのY基準信号(1080-59-94i)を入力します。なお、基準信号としてNTSC信号を入力することもできます。

② TC IN 端子 (BNC)

タイムコードを外部ロックするときに、基準となるタイムコードをこの端子に入力します。

<ノート>

入力するタイムコードは、必ず、本機のシステムモードと同じフォーマットのタイムコードを入力してください。

③ TC OUT 端子 (BNC)

外部VTRのタイムコードを、本機のタイムコードにロックさせるときに、外部VTRのタイムコード入力(TC IN)端子と接続します。

④ HOLD ボタン

押した瞬間に、カウンタ表示部のタイムデータ表示が保持されます。(ただし、タイムコードジェネレータは歩進し続けます)再度押すと、保持状態が解除されます。

あるシーンを撮影したタイムコード、またはCTLカウンタ値を知りたいときなどに使用します。

⑤ RESET ボタン

カウンタ表示部のタイムデータを“00:00:00:00”にリセットします。また、TCGスイッチ⑨を「SET」の位置にして、このボタンを押すと、タイムコードデータやユーザズビットデータをそれぞれ“00:00:00:00”、“00:00:00:00”にリセットします。

⑥ DISPLAY (LCD表示切り替え) スイッチ

このスイッチとTCGスイッチ⑨の設定位置に応じて、タイムコードやCTL、ユーザズビットをカウンタ表示部に表示させます。

UB： ユーザズビットを表示します。

TC： タイムコードを表示します。

CTL： CTLを表示します。

⑦ UP (+)、DOWN (-) ボタン

タイムコードやユーザズビットの設定時に、SHIFTボタン⑧で点滅させた桁の数値を1つずつ増減させます。

⑧ SHIFT ボタン

タイムコードやユーザズビットの設定時に、設定したい桁を点滅させます。

⑨ TCG (タイムコード切り替え) スイッチ

内蔵タイムコードジェネレータの歩進モードを設定します。

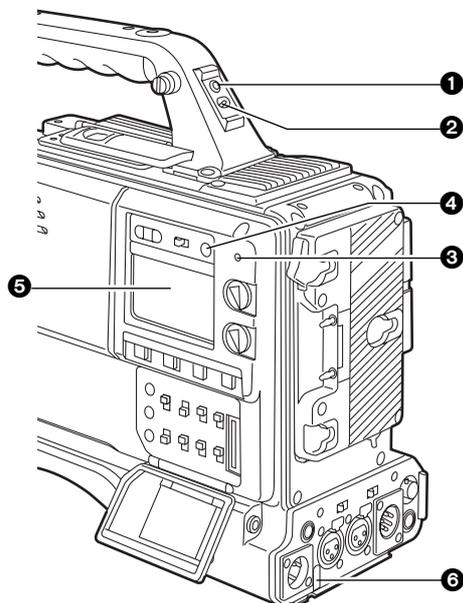
F-RUN： VTRの操作に関係なく、連続してタイムコードを歩進させるときに使用します。タイムコードを時刻に合わせたり、タイムコードを外部ロックさせるときなどに、この位置にします。

SET： タイムコードやユーザズビットを設定するときに使用します。

R-RUN： 記録中のみにタイムコードを歩進させるときに使用します。つなぎ撮りをしたテープ上のタイムコードは、連続して記録されます。

第2章 各部の名称と機能 (つづき)

2-6 警告/状態表示部



- ① BACK TALLY (バックタリー) ランプ**
BACK TALLYスイッチ ②を「ON」に設定すると、ビューファインダーのフロントタリーランプと同じ動作をします。
- ② BACK TALLY (バックタリー) スイッチ**
BACK TALLYランプ ①と REAR TALLYランプ ⑥の働きをコントロールします。
ON： BACK TALLYランプと REAR TALLYランプが動作します。
OFF： BACK TALLYランプと REAR TALLYランプが動作しません。
- ③ WARNING ランプ**
VTR部に何らかの異常が発生すると、点滅または点灯します。
- ④ LIGHT ボタン**
表示窓の照明をコントロールします。
押すごとに表示窓 ⑤の照明の点灯/消灯を切り換えます。
- ⑤ 表示窓**
VTR部に関する、警告・バッテリー残量・音声レベル・タイムデータなどを表示します。
- ⑥ REAR TALLY (リアタリー) ランプ**
BACK TALLYスイッチ ②をONに設定すると、BACK TALLYランプと同様に動作します。

2-7 表示窓内表示

テープ残量、バッテリー残量、音声レベルの表示

テープ残量表示:

テープ残量を7個のセグメントで表示します。
1個のセグメントが示すテープ残量時間は、VTR MENU <BATTERY/TAPE>画面のTAPE REMAIN/■で3分または5分に設定します。設定された時間ごとに、セグメントが1個ずつ消えていきます。



バッテリー残量表示

デジタル表示 (%表示) のバッテリーを使用した場合、バッテリー残量が70%以上のときに「F」の位置までセグメントが7個点灯します。
バッテリー残量が70%未満より、10%減るごとにセグメントが1個ずつ消えていきます。VTR MENUの<BATTERY/TAPE>画面のBATT REMAIN FULLで100%を選択すると100%でセグメントを7個点灯する設定にすることも可能です。

音声チャンネルレベルメーター

MONITOR SELECT CH1/2 / CH3/4 スイッチをCH1/2に設定すると、音声チャンネル表示数字1と2を表示し、CH1とCH2の音声レベルを表示します。CH3/4に設定すると、音声チャンネル表示数字3と4を表示し、CH3とCH4の音声レベルを表示します。

VTR部の動作/状態に関する表示

エラーコード表示

(詳しくは、「6-3 警告システム」をご覧ください)



警告表示

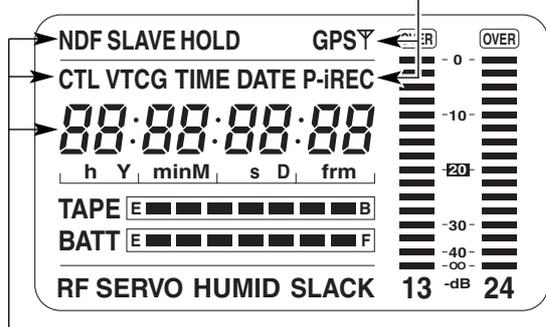
RF: ビデオヘッドの目詰まり
SERVO: サーボの乱れ
HUMID: ヘッドドラムの結露発生
SLACK: テープの巻き取り異常

詳しくは、「6-3 警告システム」をご覧ください。

第2章 各部の名称と機能 (つづき)

モード表示

GPS: GPS 動作中、受信できていないときに点灯
 GPS Y: GPS 動作中、受信しているときに点灯
 P-REC: プリレコーディングモード時に点灯し、記録のタリ
 ランプ消灯後、プリレコーディング設定時間内は点
 滅
 iREC: インターバル記録モード時で記録中は点灯、記録待機
 中は点滅
 i: インターバル記録モードを選択時に点滅



タイムコード関連スイッチの設定と表示項目

TCG スwitchの位置	DISPLAY スwitchの位置	表示項目
SET	TC または CTL	タイムコード
	UB	ユーザースビット
F-RUN または R-RUN	CTL	CTL
	TC	タイムコード
	UB	ユーザースビット

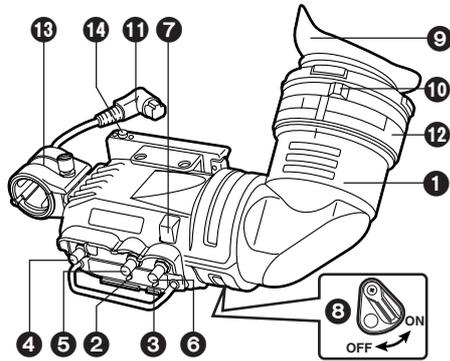
タイムコードに関する表示

NDF: タイムコードがノンドロップフレーム時に点灯
 DF: タイムコードがドロップフレーム時に点灯
 SLAVE: タイムコードが外部ロック時に点灯
 HOLD: タイムコードジェネレーター/リーダー値をホールドし
 た時に点灯
 CTL: DISPLAY スwitchで CTL を選択し、CTL カウン
 ト値を表示時に点灯
 TCG: DISPLAY スwitchで TC (もしくは UB) を選
 択し、TC (もしくは UB) ジェネレーター値を表示時に点灯
 TC: DISPLAY スwitchで TC (もしくは UB) を選
 択し、TC (もしくは UB) リーダー値を表示時に点灯
 VTCG: DISPLAY スwitchで UB を選択し、VIUB ジェネ
 レーター値を表示時に点灯
 VTC: DISPLAY スwitchで UB を選択し、VIUB リー
 ダー値を表示時に点灯
 TIME: DISPLAY スwitchで UB を選択し、リアルタイム
 の時分秒値を表示時に点灯
 DATE: DISPLAY スwitchで UB を選択し、リアルタイム
 の年月日値を表示時に点灯
 無表示: DISPLAY スwitchで UB を選択し、リアルタイム
 のタイムゾーン時分値を表示時は消灯
タイムカウンター表示:
 タイムコード、CTL、ユーザースビット、リアルタイム
 を表示

<ノート>

DISPLAY スwitchで UB を選択時、HOLD ボタンを押すごとに、
 VTCG (VTC) → DATE → TIME → 無表示 (タイムゾーン) →
 TCG (TC) を繰り返します。

2-8 ビューファインダー部



① ビューファインダー (別売品)

記録・再生中に、白黒の映像を見ることができます。本機の動作状態や設定に関する警告表示・メッセージ・ゼブラパターン・マーカ (セーフティゾーンマーカ、センターマーカ) など見ることができます。

② ZEBRA (ゼブラパターン) スイッチ

ビューファインダー内にゼブラパターンを表示させます。

ON : ゼブラパターンを表示させます。

OFF : ゼブラパターンは表示されません。

③ TALLY スイッチ

フロントタリーランプ ⑦ をコントロールします。

HIGH : フロントタリーランプが明るくなります。

OFF : フロントタリーランプが消灯します。

LOW : フロントタリーランプが暗くなります。

④ PEAKING (ピーキング) つまみ

ピントを合わせやすくするために、ビューファインダー内の映像の輪郭を調整します。カメラの出力信号には影響ありません。

⑤ CONTRAST (濃淡) つまみ

ビューファインダー内の画面の濃淡を調整します。カメラの出力信号には影響ありません。

⑥ BRIGHT (明るさ) つまみ

ビューファインダー内の画面の明るさを調整します。カメラの出力信号には影響ありません。

⑦ フロントタリーランプ

TALLY スイッチ ③ が「HIGH」または「LOW」の位置のときに動作し、VTR 部の記録中に点灯します。また、ビューファインダー内の REC ランプと同様に点滅し、警告表示も行います。点灯時の明るさは、TALLY スイッチ (HIGH または LOW) で切り替えることができます。

⑧ バックタリーランプ

VTR 部の記録中に点灯します。また、ビューファインダー内の REC ランプと同様に点滅し、警告表示も行います。

レバーを OFF 側にすると、バックタリーランプが隠れます。

⑨ アイピース

<ノート>

アイピースを太陽光に向けたままにしないでください。内部の機器が損傷するおそれがあります。

⑩ 視度調整リング

カメラマンの視度に合わせて、ビューファインダー画面上の映像が最もはっきり見えるように調整します。

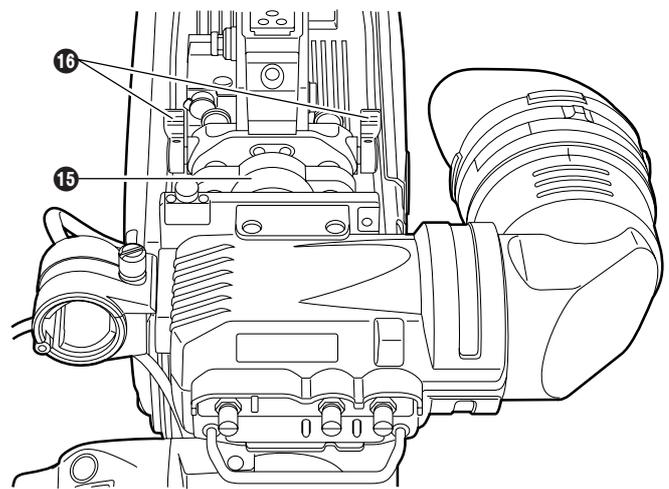
⑪ 接続プラグ

⑫ ロックリング

⑬ マイクホルダー

⑭ ビューファインダーストッパー

ビューファインダーの取り付け、取り外しに使用します。



⑮ ビューファインダー左右位置固定リング

ビューファインダーの左右の位置を調整するとき使用します。

⑯ ビューファインダー前後位置固定レバー

ビューファインダーの前後の位置を調整するとき使用します。

<ノート>

詳しくは、ビューファインダーの取扱説明書を参照してください。

第3章 記録と再生

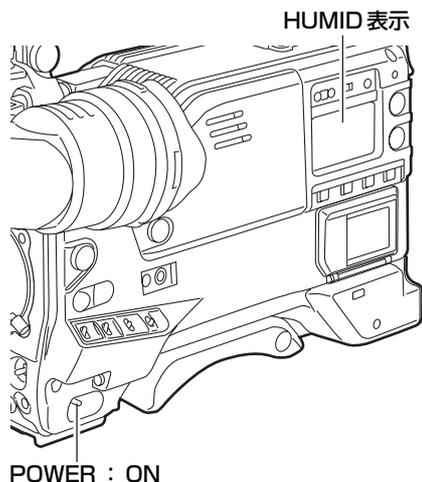
3-1 カセットテープについて

カセットテープを入れる

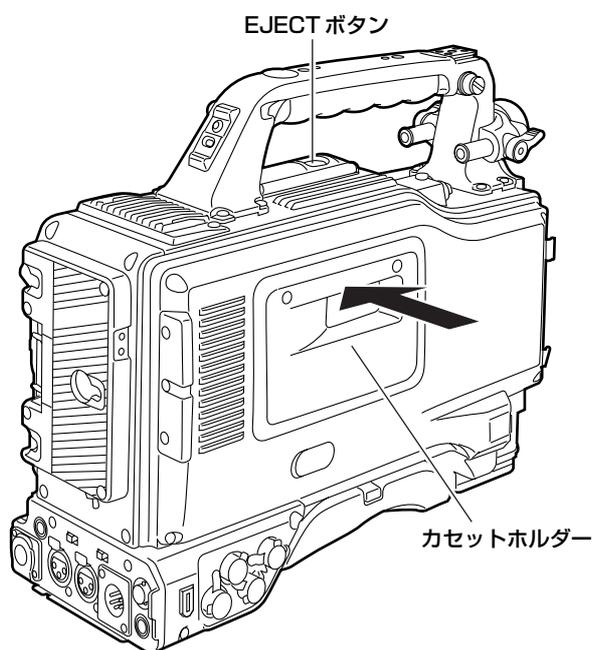
1 POWER スイッチを ON にします。

<ノート>

内部に結露が発生していると、HUMID 表示が点灯します。HUMID 表示が消えるまで待ち、操作を行ってください。



2 EJECT ボタンを押します。
カセットホルダーが開きます。



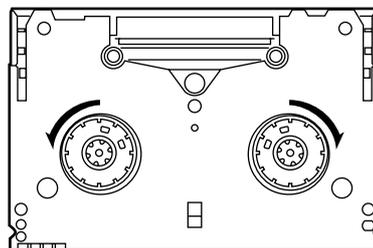
3 カセットテープを挿入し、矢印の部分を押して、カセットホルダーをしっかりと閉めます。

<ノート>

テープにたるみがないことを確認してください。

テープのたるみを確認する

指でリールを押し込みながら矢印の方向へ軽く回し、リールが回らなければテープのたるみはありません。



カセットテープを取り出す

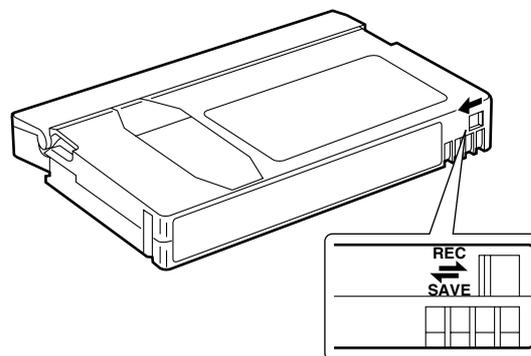
電源が入った状態で EJECT ボタンを押してカセットホルダーを開け、カセットテープを取り出します。取りだし後すぐに、再びカセットを挿入しない場合は、カセットホルダーを閉めておいてください。

バッテリー消費時のカセットの取り出しについて

一度 POWER スイッチを「OFF」にして電源を切ります。再度電源を入れ、すぐに EJECT ボタンを押し続けてください。バッテリーに電源が残っているときは、カセットが取り出せません。ただし、この動作を繰り返して行わないでください。

誤消去を防ぐには

テープの記録内容を誤って消してしまうのを防ぐには、カセットのツメを「SAVE」側にします。



第3章 記録と再生 (つづき)

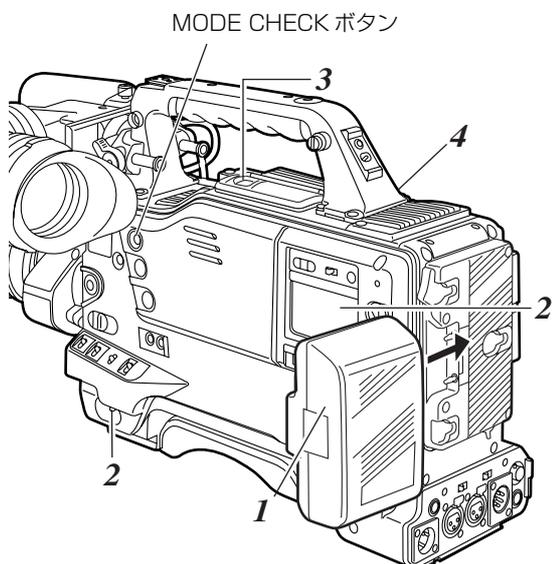
3-2 基本手順

ここでは、撮影・記録に関する基本操作手順を説明します。実際に撮影に出発する際は、事前に点検を行って、システムが正常に機能することを確認してください。

*点検のしかたについては、「6-1 撮影前の点検」をお読みください。

電源の準備からカセットを入れるまで

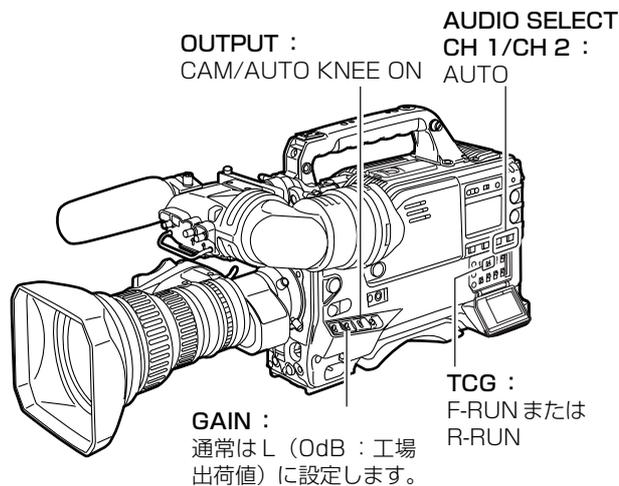
- 1 充電済みのバッテリーパックを装着します。
- 2 POWERスイッチを「ON」にし、HUMID表示が出ないことやBATTERY残量表示が5個以上点灯していることを確認します。
 - HUMID表示が出たときは、表示が消えるまで待ってください。
 - バッテリーの残量表示が5個以上点灯していないときは、まずバッテリー設定を確認し、設定が正しければ完全に充電したバッテリーと交換します。MODE CHECK ボタンを押してビューファインダーにステータス画面を表示させると、設定されているバッテリーの種類が画面右上に表示されます。
- 3 カセットホルダーやトップパネルの周辺にケーブルなどが無いことを確認してから、EJECT ボタンを押してカセットホルダーを開きます。
- 4 次のことを確認した後、カセットテープを挿入し、カセットホルダーを閉めます。
 - 誤消去防止用のツメ
 - テープのたるみ



各スイッチ設定まで

電源を準備し、カセットを入れた後、各スイッチを次のように設定してから操作を始めてください。

撮影・記録のためのスイッチの設定



第3章 記録と再生 (つづき)

撮影するには

ホワイトバランス/ブラックバランスの調整から記録停止まで

撮影するには以下の手順で操作します。

1 照明条件を合わせてフィルターを選びます。

2-1 ホワイトバランスがすでにメモリーされているとき
WHITE BAL スイッチを「A」または「B」にします。

2-2 ホワイトバランスやブラックバランスがメモリーされておらず、ホワイトバランスを調整する時間のないとき

WHITE BAL スイッチを「PRST」にします。
FILTER つまみ（外側）の設定位置に応じて、CC フィルターに対するホワイトバランスがとれます。

2-3 その場でホワイトバランスを調整するとき

照明条件にあったフィルターを選び、WHITE BAL スイッチを「A」または「B」にして次の手順でホワイトバランスを調整します。

- ① AUTO W/B BAL スイッチを AWB 側に押し、ホワイトバランスを調整します。
- ② AUTO W/B BAL スイッチを ABB 側に押し、ブラックバランスを調整します。
- ③ AUTO W/B BAL スイッチを AWB 側に押し、再度ホワイトバランスを調整します。

* 調整の仕方については、「4-2-1 ホワイトバランスの調整」および「4-2-2 ブラックバランスの調整」を参照ください。

3 カメラを被写体に向け、フォーカスとズームを調整します。

4 電子シャッターを使用する場合は、シャッタースピード/動作モードを設定します。

* 詳しくは、「4-3 電子シャッターの設定」をお読みください。

5 REC START ボタンまたはレンズの VTR ボタンを押して記録を開始します。

記録中は、ビューファインダー内の REC ランプが点灯します。

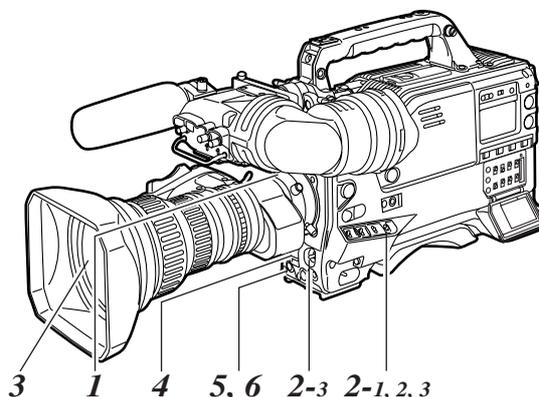
6 停止するときは、再度 REC START ボタンまたはレンズの VTR ボタンを押します。

ビューファインダー内の REC ランプが消えます。

テープ操作ボタンについて

記録中は、テープ操作ボタン (EJECT、REW、FF、PLAY/PAUSE、STOP) は動作しません。

ホワイトバランス/ブラックバランスの調整から記録停止まで



ご注意：

本機は、映像や音声の信号を一旦内蔵メモリーに記憶させ、その信号を読み出してテープに記録しています。このため、VTR SAVE/STBY スイッチを SAVE の位置にした状態で記録を開始し、すぐに REC START ボタンまたはレンズの VTR ボタンを押して記録を停止しても、テープ上には、2～3 秒間の映像や音声記録されます。

第3章 記録と再生 (つづき)

3-3 つなぎ撮り

記録一時停止中であれば、REC START ボタンまたはレンズのVTR ボタンを押すだけで、+1 フレーム以内の精度でつなぎ撮りができます。

記録一時停止中以外の場合は、記録を始める前に、つなぎ撮りのポイントを頭出しする必要があります。

記録一時停止中のつなぎ撮り

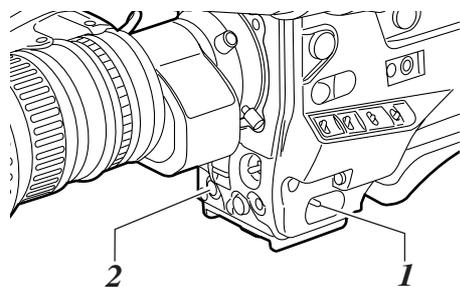
つなぎ撮りのタイミングは、自動的に頭出しされます。

- VTR SAVE/STBY スイッチを「SAVE」に設定していると、REC START ボタンを押してから約2秒後にテープのローディングが完了します。
- VTR SAVE/STBY スイッチを「STBY」に設定していると、テープのローディングは完了しています。
- STBY の位置にして記録を行っている場合、REC START ボタンを押した後、約2秒後にテープ走行系のメカニズムが停止します。
プリレコーディングの設定を7秒にしている場合、REC START ボタンを押した後、テープ走行系のメカニズムが停止するまで7秒以上の時間がかかります。

記録一時停止中に電源を切った場合のつなぎ撮り

1 再び電源を入れます。

2 REC START ボタンまたはレンズのVTR ボタンを押して記録を開始します。



頭出し

頭出しを行うには、メニュー操作でOPERATION ページから<SW MODE> 画面を開き、RET SW 項目をR. REVIEW に設定します。

記録済みのテープを未記録部分の位置まで再生したときは、記録ヘッドがⓐの位置にあります。このとき、レンズのRET ボタンやRET SW 機能を割り付けた本機のUSER ボタンを1回押すと、5秒間テープが巻き戻されます。

記録部分が見つからなかったときは、再度このボタンを押してください。

ⓐの位置のように、巻き戻されている途中に記録部分があれば、記録の終端部分ⓐから更に2秒間巻き戻し、2秒間の再生を行った後、終端部分ⓐで記録一時停止状態になります。

REC START ボタンまたはレンズのVTR ボタンを押すと、終端部分ⓐからのつなぎ撮りができます。

(このとき、TCG スイッチをR-RUN の位置にしていると、タイムコードは、テープ上のⓐの位置の値にリジエネされます。)

テープの記録済み部分まで巻き戻したときは、記録ヘッドがⓐの位置にあります。停止状態のときは、レンズのRET ボタンやRET SW 機能を割り付けた本機のUSER ボタンを1回押すと、2秒間巻き戻し、2秒間の再生を行った後、ⓐの位置で記録一時停止状態になります。

再生一時停止状態のときは、巻き戻しや再生を行わずにⓐの位置で記録一時停止状態になります。

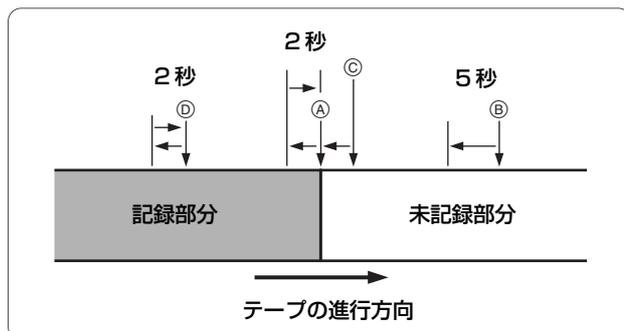
(このとき、TCG スイッチをR-RUN の位置にしていると、タイムコードは、テープ上のⓐの位置の値にリジエネされます。)

- 頭出し動作中は、REW ランプが点滅し、ビューファインダー画面にJUMP の表示が点滅します。

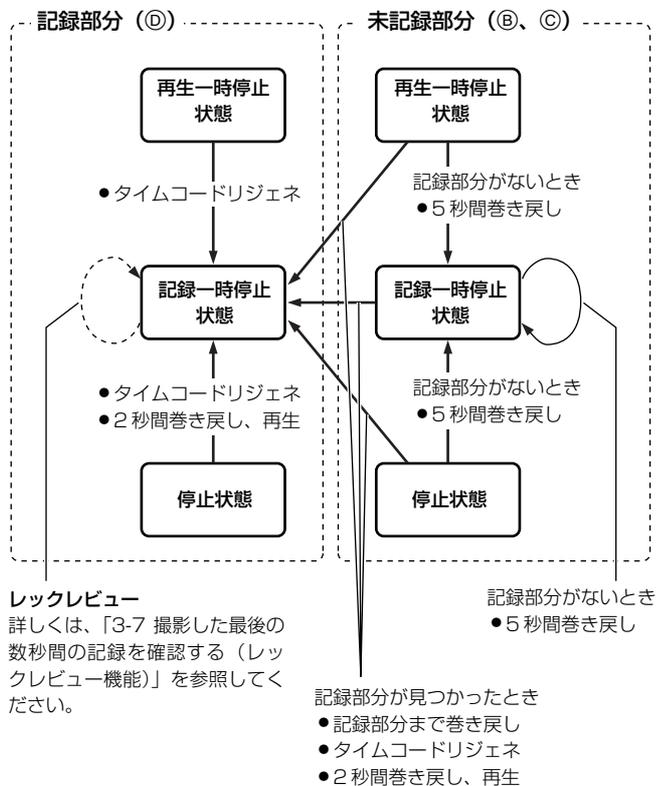
<ノート>

- カセットテープのツメが「SAVE」の位置になっている場合は、頭出し動作を行うことができません。
- TCG スイッチをR-RUN の位置にして頭出し動作を行うことにより、タイムコードは、必ずテープ上の値にリジエネします。

TCG スイッチをSET の位置やF-RUN の位置にしても、R-RUN の位置にしてから頭出し動作を行うと、タイムコードはテープ上の値に書き換えられ、記録を開始したときには、テープ上の値にリジエネする状態になります。メニューのFIRST REC TC 項目 (VTR MENU ページのTC/UB 画面) をPRESET に設定していても、TCG スイッチをR-RUN の位置にして頭出し動作を行うことにより、タイムコードは、必ずテープ上の値にリジエネします。



頭出し動作による状態の移行



レックレビュー
 詳しくは、「3-7 撮影した最後の数秒間の記録を確認する (レックレビュー機能)」を参照してください。

記録部分が見つかったとき
 ●記録部分まで巻き戻し
 ●タイムコードリジエネ
 ●2秒間巻き戻し、再生

3-4 数秒前からの映像を記録する (PRE RECORDING 機能)

本機は、内蔵メモリーにカメラで撮影する映像と音声のデータを、常時、数秒間 (最大7秒間) 分貯えておくことができます。REC START ボタンまたはレンズのVTR ボタンを押して記録を開始したとき、その数秒前からの映像と音声を記録することができます。

本機能を使用するためには、メニュー操作でSYSTEM SETTING ページから <REC FUNCTION> 画面を開き、PRE REC MODE 項目とPRE REC TIME 項目でメモリーへの蓄積時間を設定する必要があります。

PRE REC MODE

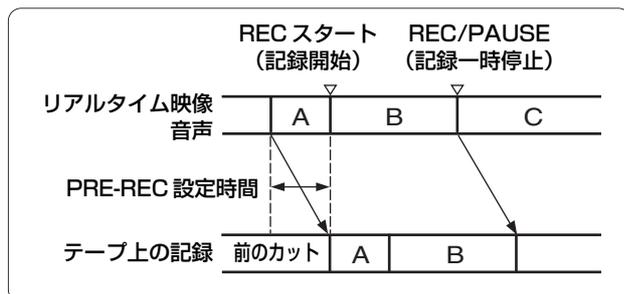
- ON** : PRE RECORDING 機能を動作させます。
- OFF** : REC START ボタンまたはレンズのVTR ボタンを押した後、約0.4秒後から記録を行います。REC START ボタンまたはレンズのVTR ボタンを押して記録を停止すると、ビューファインダー画面に「TAPE *S」が表示されます。

PRE REC TIME

- 0~7秒** : REC START ボタンまたはレンズのVTR ボタンを押してから、さかのぼって記録できる時間を設定します。

<ノート>

- PRE REC MODE 項目を「OFF」にしている場合、VTR SAVE/STBY スイッチが、SAVE と STBY どちらの位置でも、REC START ボタンを押した後、約0.4秒後から記録が開始されます。PRE REC MODE 項目を「ON」にしている場合、PRE REC TIME 項目で設定した時間をさかのぼって記録されます。
- POWER ON 直後やメニュー操作でPRE REC MODE 項目を選択したり、設定時間を変えた直後、および再生やレックレビューを行った直後は、蓄積メモリーの内容が不定になっていますので、操作後すぐにREC START ボタンまたはレンズのVTR ボタンを押して記録を開始しても、設定時間どおりの映像・音声は記録はできません。
- 再生やレックレビューを行っている間は、蓄積メモリーに映像・音声を貯えないため、再生やレックレビューを行った間の映像・音声はさかのぼって記録することはできません。
- 記録を開始したときは、テープ上のタイムコード (TCR) が読み出せるまでは、タイムコード (TCG) 表示はホールド表示になることがあります。



第3章 記録と再生 (つづき)

3-5 間欠的に映像を記録する (INTERVAL REC 機能)

本機は、内蔵メモリーを利用して、記録時間が最短で1フレーム単位での間欠記録をすることができます。
本機能を使用するためには、メニュー操作で、SYSTEM SETTING ページから <REC FUNCTION> 画面を開き、INTERVAL REC MODE 項目でインターバル記録モードの選択 (INTERVAL REC MODE : ON)、記録時間 (REC TIME)、間欠の待機時間 (PAUSE TIME)、撮影に要する時間 (TAKE TOTAL TIME) を設定する必要があります。設定が完了するとトータル撮影時間 (TOTAL REC TIME) が自動的に計算され、表示されます。

INTERVAL REC MODE

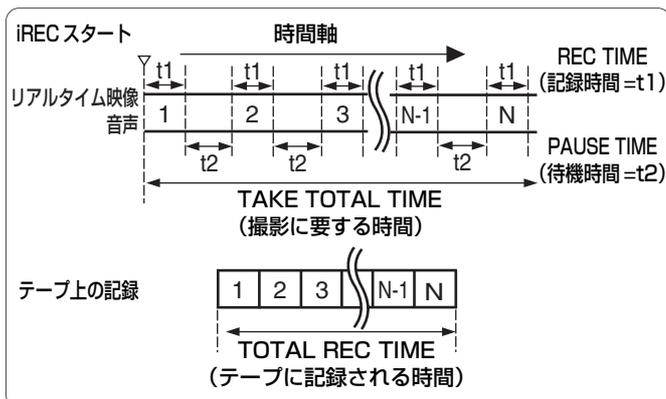
- OFF : インターバル記録をしません。
- ON : インターバル記録を行います。
- ONE SHOT :
REC TIME で設定された時間を 1 回だけ間欠記録します。

INTERVAL REC HOLD

- ON : 電源 OFF 時に、INTERVAL REC MODE 項目の設定を保持します。
- OFF : 電源 OFF 時に、INTERVAL REC MODE 項目の設定を解除します。

INTERVAL REC の ON モードでの撮影手順

- 1 「3-2 基本手順」に従って、撮影・記録の基本操作を行ったあと、本機が動かないようにしっかり固定します。
- 2 本機の REC START ボタンまたはレンズの VTR ボタンを押します。
インターバル記録が開始し、設定された TAKE TOTAL TIME が終了すると自動的に記録を終了します。
「2-7 表示窓内表示」で記したように INTERVAL REC モードが選択されると「i」が点滅します。記録に入ると「iREC」が点灯します。記録待機中は「iREC」が点滅しています。この表示で本体の状態がわかります。なお、ビューファインダー内の表示も表示窓と同様で、記録中は TALLY ランプが点灯します。また待機時間が2分以上の設定の場合、5秒おきに TALLY ランプが点滅し待機中であることを知らせます。このとき記録に入る3秒前にも、TALLY ランプは点滅します。



続けて記録する場合は

再度 REC START ボタンまたはレンズの VTR ボタンを押します。再び、インターバル記録が開始されます。

途中で記録を中止するには

STOP ボタンを押します。記録は中止されます。ただし、STOP ボタンを押した瞬間までメモリーに貯えられた映像を記録するため、テープが走行することがあります。

INTERVAL REC モードを終了するには

以下の2通りの方法があります。

- 1) メニュー操作で、INTERVAL REC HOLD 項目を OFF に設定して、本機の POWER スイッチを OFF にする。INTERVAL REC HOLD 項目が ON に設定されていると、本機の POWER スイッチを OFF にしても、インターバル記録の設定は解除されません。
- 2) メニュー操作で、INTERVAL REC MODE 項目を OFF に設定する。

コマ撮りをする

INTERVAL REC の ONE SHOT モードでの撮影手順

INTERVAL REC MODE 項目を ONE SHOT に設定します。(PAUSE TIME 項目の設定は行えません。)

1 「3-2 基本手順」に従って、撮影・記録の基本操作を行ったあと、本機が動かないようにしっかり固定します。

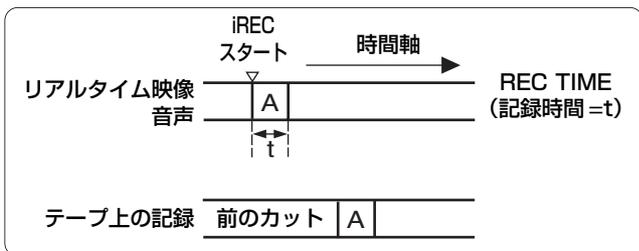
2 本機の REC START ボタンまたはレンズの VTR ボタンを押します。

設定された REC TIME が終了すると自動的に記録を終了します。

「2-7 表示窓内表示」で記したように INTERVAL REC モードが選択されると「i」が点滅します。記録に入ると「iREC」が点灯します。

記録が終了すると「iREC」が点滅します。

なお、ビューファインダー内の表示も表示窓と同様で、記録中は TALLY ランプが点灯します。



続けて記録する場合は

再度 REC START ボタンまたはレンズの VTR ボタンを押します。再び、ONE SHOT 記録が開始されます。

- ONE SHOT モードのときは、VTR SAVE/STBY スイッチの位置に関係なく、常にスタンバイ状態になります。

INTERVAL REC の ONE SHOT モードを終了するには

以下の2通りの方法があります。

- 1) メニュー操作で、INTERVAL REC HOLD 項目を OFF に設定して、本機の POWER スイッチを OFF にする。
INTERVAL REC HOLD 項目が ON に設定されていると、本機の POWER スイッチを OFF にしても、インターバル記録の設定は解除されません。
- 2) メニュー操作で、INTERVAL REC MODE を OFF に設定する。

INTERVAL REC モードでの共通の注意事項

- 音声について
インターバル記録中に音声を記録するか、しないかは <REC FUNCTION> 画面の AUDIO REC 項目の ON/OFF で設定します。
- テープ操作ボタンについて
インターバル記録中は、テープの STOP 以外の操作ボタン (EJECT、REW、FF、PLAY/STILL) は動きません。
- 記録中に本機の電源が切れた場合
本機の POWER スイッチを切った場合、メモリーを使用した間欠記録の場合は、その瞬間までメモリーに貯えられた映像を記録するため、テープを走行してから自動的に電源が切れます。
また、記録中にバッテリーを取り外したり、DC ケーブルを引き抜いたり、外部 DC 電源側の電源を切ったりした場合などは、その瞬間以前に撮影したショット (最大 5 秒、150 フレーム) が記録されない場合があります。バッテリー交換の際には十分ご注意ください。
- 記録中にテープがなくなった場合
メモリーを使用した間欠記録の場合、記録中にテープがなくなり、停止した場合は、停止した瞬間以前に撮影したショット (最大 5 秒、150 フレーム) が記録されない場合がありますので、ご注意ください。
- 待機中に緊急で記録するには
事前に USER MAIN、USER 1 / USER 2 ボタンのいずれかに REC スイッチを選択しておくと、待機中にそのボタンを押している間、緊急記録ができます。緊急記録を行った後も待機時間計測は正常に続きます。
- ONE SHOT 記録後、PLAY や FF、REW 操作をする場合、メモリーに残った画像をテープに書き込んでから動作します。その間、受け付けた操作ボタンの LED が点滅します。
- タイムコード表示について
記録を開始したときは、テープ上のタイムコード (TCR) が読み出せるまでは、タイムコード (TCG) 表示はホールド表示になることがあります。
- 電源 ON、テープ挿入、または再生/FF/REW などのテープ操作後に、インターバル記録 (ONE SHOT モード含む) で行う最初の記録は、メニューの REC TIME 項目で設定した時間より、約 1 秒長く記録されます。これはつなぎ撮りの精度を保証するためであり、故障ではありません。

第3章 記録と再生 (つづき)

3-6 直前のカットを撮り直す (RETAKE 機能)

1つ前のカットにつながり撮りする機能です。

RETAKE 機能は、メニュー操作で SYSTEM SETTING ページから <REC FUNCTION> 画面を開き、RETAKE MODE 項目で設定します。

以下が RETAKE MODE の設定です。

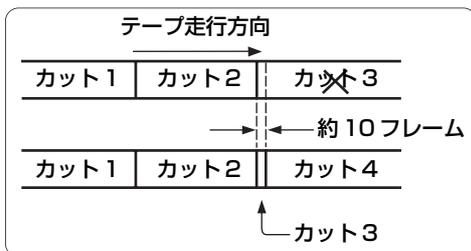
ON : MODE CHECK ボタンを押した状態で、レンズの RET ボタンを押すと RETAKE 機能が動作します。

OFF : RETAKE 機能は、動作しません。

記録終了時の記録一時停止モードのときや、その後の STOP モードのときに、MODE CHECK ボタンを押しながらレンズの RET ボタンを押すと、前回記録した最終映像のほぼ開始点 (記録開始から約 10 フレーム進んだ位置) までテープを巻き戻して、記録一時停止モードになります。

撮影時間に余裕があり、明らかに NG と判断した場合に、この点から記録を開始することができるため、NG 部分のカットが消去される事になります。

この機能によりワークテープへのコピー時間の節減など経済的運用に効果を発揮します。



RETAKE 機能を終了するには

以下の2通りの方法があります。

- 1) 本機の POWER スイッチを OFF にする。
- 2) メニュー操作で、RETAKE MODE 項目を OFF に設定する。

3-7 撮影した最後の数秒間の記録を確認する (レックレビュー機能)

記録を一時停止し、レンズの RET ボタンを押すと、最後の2秒間が自動的に巻き戻され、その部分の再生画像がビューファインダーに出ます。これにより、記録が正しく行われたかどうかを確認できます。

再生後は、再び記録開始待ちの状態になります。

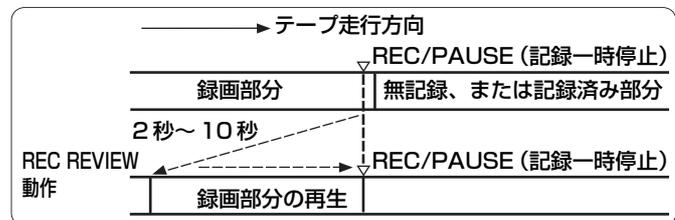
RET ボタンを押し続けると、最大 10 秒間まで巻き戻して再生します。

レックレビューを行うには、メニュー操作で OPERATION ページから <SW MODE> 画面を開き、RET SW 項目を R.REVIEW に設定します。

メニュー操作で、OPERATION ページから <USER SW> 画面を開き、USER MAIN SW、USER1 SW、USER2 SW のそれぞれの項目で RET ボタン機能を割り付けることができます。

<ノート>

- 1 秒間以上記録されていない場合は、レックレビュー機能は使用できません。
- レックレビュー動作の間は、サイドパネルの VIDEO OUT OUTPUT SEL スイッチが「VTR」の場合、ビューファインダーだけでなく映像出力端子 (VIDEO OUT 端子) にもレックレビューの画像が出力されます。メニュー操作で SYSTEM SETTING ページから <OUTPUT SEL> 画面を開き、MONI OUT MODE 項目を VTR に設定すると、MON OUT 端子からもレックレビューの画像が出力されます。バックアップ VTR を接続してバックアップ画像を記録中の場合、このレックレビューの画像が記録されてしまいますので、ご注意ください。関連する機能として、頭出し機能があります。詳しくは、「3-3 つなぎ撮り」の項目を参照してください。
- レックレビューを行った後、次の記録を行ったときのタイムコードは、REC REVIEW REGEN 項目 (VTR MENU ページの <TC/UB> 画面) の設定に従います。
- REC REVIEW REGEN 項目を ON に設定し、TCG スイッチを R-RUN の位置にしてレックレビューを行うことにより、タイムコードは、必ずテープ上の値にリジェネします。TCG スイッチを SET の位置や F-RUN の位置にしても、R-RUN の位置にしてからレックレビューを行うと、タイムコードはテープ上の値に書き換えられ、記録を開始したときには、テープ上の値にリジェネする状態になります。メニューの FIRST REC TC 項目 (VTR MENU ページの TC/UB 画面) を PRESET に設定していても、TCG スイッチを R-RUN の位置にしてレックレビューを行うことにより、タイムコードは、必ずテープ上の値にリジェネします。



3-8 通常再生および変速再生

PLAY ボタンを押すと、ビューファインダーに白黒の再生画を見ることができます。同時に本機の VIDEO OUT 端子にカラーモニターを接続し、MON OUT 端子に HD カラービデオモニターを接続すると VIDEO OUT 端子からはダウンコンされたカラーの再生画が、MON OUT 端子からは HD の高画質映像を見ることができます。(再生画を見る場合は、サイドパネルの OUTPUT SEL スイッチを VTR にする必要があります)

また FF、REW ボタンを使うと、早送り再生 : CUE (PLAY+FF)、早送り逆再生 : REV (PLAY+REW) および高速早送り再生 : FF、高速巻き戻し再生 : REW といった変速再生が可能です。

第4章 記録のための調整と設定

4-1 テープへの記録フォーマットと出力端子の信号フォーマット

CCDからの信号をテープに記録するときのフォーマットと、各端子から出力される信号のフォーマットを下記に示します。

メニュー設定	<ul style="list-style-type: none"> ●テープへの記録 ●HD SDI 信号出力 (VIDEO OUT 端子/MON OUT 端子) 	
CAMERA MODE 項目	映像	音声 タイムコード ユーザーズビット UMID 情報 (ON/OFF 可)
60i	60i	
30P	30P Over 60i	
24P	24P Over 60i (2-3 プルダウン)	
24PA	24P Over 60i (2-3-3-2 プルダウン)	

メニュー設定	SD SDI 信号出力 (VIDEO OUT 端子)		アナログコンポジット信号出力 (VIDEO OUT 端子/REMOTE 端子)
CAMERA MODE 項目	映像	音声 EDH UMID 情報 (ON/OFF 可)	映像
60i	525i	(タイムコードとユーザーズビットは、出力されません。)	525i
30P	525i		525i
24P	525i		525i
24PA	525i		525i

メニュー設定	<ul style="list-style-type: none"> ●アナログ HD-Y 信号出力 (MON OUT 端子) ●アナログ HD 信号出力 (VF 端子) 	
CAMERA MODE 項目	映像	
60i	60i	
30P	30P Over 60i	
24P	24P Over 60i (2-3 プルダウン)	
24PA	24P Over 60i (2-3-3-2 プルダウン)	

30P Over 60i :
60 フィールドのインターレースモードで動作をしますが、同じ時間の映像信号を odd フィールドと even フィールドに処理して、各フィールドの映像信号として出力し、テープに記録します。

第4章 記録のための調整と設定 (つづき)

本機を使用し、常に高画質の映像を得るためには、状況に応じたブラックバランスとホワイトバランスの調整が必要です。なお、より高画質を得るためには、AWB（ホワイトバランスの調整）→ ABB（ブラックバランスの調整）→ AWB（ホワイトバランスの調整）の順に行うことを推奨します。

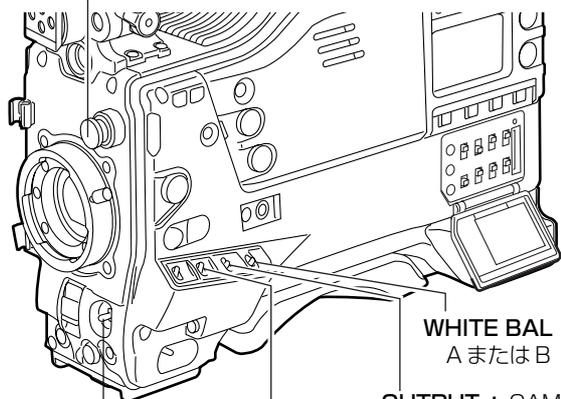
4-2 ホワイトバランス/ブラックバランスの調整

4-2-1 ホワイトバランスの調整

照明条件が変わったときには、必ず調整し直してください。以下の手順でホワイトバランスを自動調整します。

1 図のようにスイッチを設定します。

FILTER つまみ



AUTO W/B BAL スイッチ： GAIN： OUTPUT： CAM
AWB 実行時使用 通常は 0dB。暗すぎるときには適切なゲインに設定します。

2 照明条件に合わせて、FILTER つまみの設定を切り替えます。

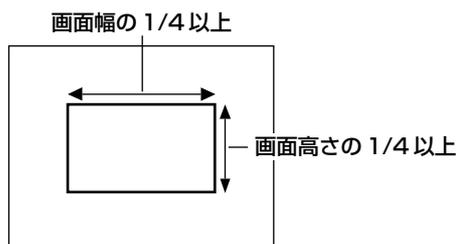
<ノート>

FILTER つまみの設定例については「2-3 撮影・記録/再生機能部」を参照ください。

3 被写体の照明光源と同じ条件のところにホワイトパターンを置き、ズームアップして画面に白を映します。被写体近くの白い物（白布、白壁）で代用することもできます。必要な白の大きさは、下図の通りです。

<ノート>

- 画面内に高輝度スポットを入れないようにしてください。
- 白い物は、画面の中心に写してください。



4 レンズの絞りを調整します。
このとき、白の信号レベルを 70%～90%の間にしてホワイトバランスを調整することをお勧めします。

5 AUTO W/B BAL スイッチを AWB 側に押し上げて、スイッチを離します。
スイッチが中央に戻り、ホワイトバランスの自動調整が実行されます。

<ノート>

ホワイトバランスの自動調整を行っているとき（AWB ACTIVE）に、再度 AUTO W/B BAL スイッチを AWB 側に切り替えると、調整を中止します。
このときの調整値は、自動調整を行う前の値になります。

6 調整中、ビューファインダー画面には、次のようなメッセージが表示されます。



7 数秒で調整が完了します。（図のようなメッセージが表示されます）
調整値は、ステップ 1 で設定したメモリー（A または B）に自動的に記憶されます。

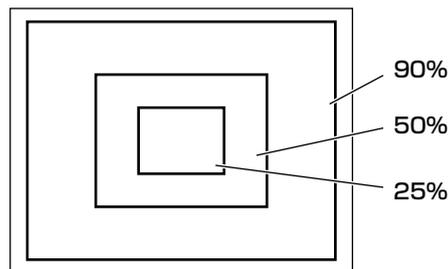


8 被写体の色温度が、2300K よりも低い場合や 9900K よりも高い場合は、図のようなメッセージが表示されます。
矢印のうち、下向き矢印（↓）は表示温度よりも低い状態を示し、上向き矢印（↑）は表示色温度よりも高い状態を示します。



ホワイトバランスの検出領域について

メニュー操作で、OPERATION ページから <WHITE BALANCE MODE> 画面を開き、AWB AREA 項目でホワイトバランス検出領域を 90%、50%、25% に切り替えが可能です。
工場出荷設定は、25% です。



第4章 記録のための調整と設定 (つづき)

ホワイトバランスを調整する時間がないとき

WHITE BAL スイッチを「PRST」にします。
FILTER つまみ（外側）の設定位置に応じて、フィルターに
対するホワイトバランスがとれます。

ホワイトバランスの自動調整ができないとき

ホワイトバランスの調整が正常に終了しなかったときは、ビ
ューファインダー画面にエラーメッセージが表示されます。
下記のエラーメッセージが表示された場合、処置を行ってから
再度ホワイトバランスの調整を試みてください。
繰り返し試みてもエラーメッセージが表示される場合は内部
点検が必要です。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談く
ださい。

ホワイトバランスに関するエラーメッセージ

エラーメッセージ	意味	処置
COLOR TEMP. HIGH	色温度が高すぎる。	適切なフィルターを選 択する。
COLOR TEMP. LOW	色温度が低すぎる。	適切なフィルターを選 択する。
LOW LIGHT	光量が不足してい る。	光量を多くする。また はゲインを上げる。
LEVEL OVER	光量が多すぎる。	光量を少なくする。ま たはゲインを下げる。
CHECK FILTER	CC フィルター切り 替えつまみの設定位 置がずれている。	CC フィルター切り替 えつまみを確認する。
TIME OVER	時間内で AWB が終 了しなかった。	撮影条件が不安定な可 能性があります。フリ ッカーであればシャッ ターを入れ、安定した 条件下で再度実行する。

ホワイトバランスのメモリーについて

メモリーに記憶された値は、本機の電源を切った状態でも再
度ホワイトバランスをとるまで保存されます。ホワイトバラ
ンスのメモリーは A、B の 2 系統があります。
メニュー操作で、OPERATION ページから <WHITE
BALANCE MODE> 画面の FILTER INH 項目の設定が ON
の場合（初期設定）、A、B 各系統のメモリー数はそれぞれ
1 個に限定されています。この場合、メモリーの内容は CC
フィルターには連動しません。FILTER INH を OFF にした
場合、WHITE BAL スイッチの設定（A または B）に対応す
るメモリーに、各 CC フィルターごとの調整値を記憶させる
ことができます。本機は 4 つのフィルターを内蔵していま
すので、合計 8 個（4 × 2）の調整値を記憶します。
また、S.GAIN 機能動作時は AWB スイッチは動作せず、
WHITE BAL スイッチの PRST の値になります。

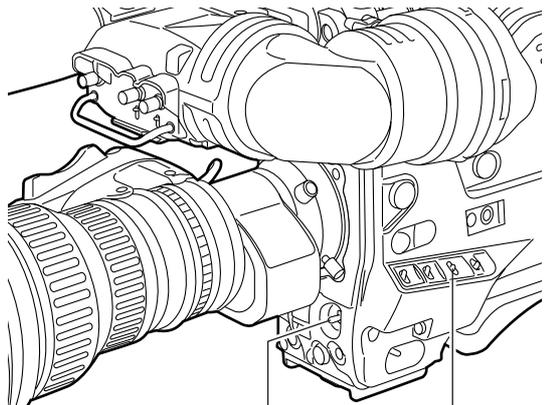
第4章 記録のための調整と設定 (つづき)

4-2-2 ブラックバランスの調整

ブラックバランスは、次のような場合に調整が必要です。

- 本機を初めて使用するとき
- 長時間使用しなかった後に使用する時
- 周囲の温度が大幅に変化した状態で使用する時
- ゲイン切り替え値を変更したとき
- ガンマのON/OFFを変更したとき

1 図のようにスイッチを設定します。



AUTO W/B BAL スイッチ： ABB 実行時使用
OUTPUT： CAM

2 AUTO W/B BAL スイッチを ABB 側に倒し、スイッチを離します。
スイッチは中央に戻り、調整が実施されます。

3 調整中、ビューファインダー画面には次のようなメッセージが表示されます。



<ノート>
調整中はレンズ絞りが自動的に「CLOSE」になります。

4 数秒で調整が完了します。(図のようなメッセージが表示されます)



調整値は自動的にメモリーに記憶されます。

<ノート>

- レンズコネクターが接続されていること、ブラックバランス調整中はレンズ絞りが「CLOSE」になっていることを確認してください。
- ブラックバランス調整中、ゲイン切り替え回路が自動的に切り替わります。
また、ビューファインダー画面上にフリッカーやノイズが現れることがありますが、故障ではありません。
- ABB OK でもブラックシェーディングが気になる場合はメニュー操作で、MAINTENANCE ページから <BLACK SHADING> 画面を開き DETECTION 項目にカーソル (→) を移動し、JOG ダイヤルボタンを押して、ブラックシェーディング調整を実行してください。「7-5-5 SW MODE」の SHD.ABB SW CTL を ON にし、ABB スイッチを 8 秒以上長押しすると、ABB 動作に続いてブラックシェーディングの自動調整を行うことができます。ブラックシェーディング調整を実行中はビューファインダー画面に「B-SHD OK」が表示されるまでレンズ絞りを確実に閉じてください。
ただし、リモートコントロールユニット (AJ-RC10G) を接続しているときは、ABB スイッチの長押しを行っても、ブラックシェーディングの自動調整を行うことができません。
- ブラックバランスの自動調整を行っているとき (ABB ACTIVE) に、再度 AUTO W/B BAL スイッチを ABB 側に押し下げると、調整を中止します。
このときの調整値は、自動調整を行う前の値になります。
- レンズコネクターが無いレンズを使用する場合は、レンズ絞りを確実に閉じた状態でブラックバランスの自動調整を行ってください。

ブラックバランスのメモリーについて

メモリーに記憶された値は、本機の電源を切った状態でも保存されます。

第4章 記録のための調整と設定 (つづき)

4-3 電子シャッターの設定

ここでは、本機の電子シャッターに関する説明、設定および操作方法について示します。

4-3-1 シャッターモードについて

本機の電子シャッターで使用できるシャッターモードと、選択できるシャッタースピードは次の通りです。

固定したシャッタースピードを使用する

- 照明などによるフリッカーを除去したい場合
- 動きの速い被写体を鮮明に撮影したい場合

映像方式	CAMERA MODE	シャッタースピード
1080-59.94i	60i	1/100、1/120、 1/250、1/500、
1080-29.97P	30P	
1080-23.98P	24P	1/1000、1/2000、 HALF
1080-23.98PA	24PA	

SYNCRO SCANのシャッタースピードを使用する

- モニター画面の撮影時に、水平方向の縞模様が少なくなるように撮影したい場合
- 被写体の動きに効果をつけて撮影したい場合

映像方式	CAMERA MODE	可変範囲
1080-59.94i	60i	1/60.3 ~ 1/249.8
1080-29.97P	30P	1/30.2 ~ 1/249.8
1080-23.98P	24P	1/24.1 ~ 1/249.8
1080-23.98PA	24PA	1/24.1 ~ 1/249.8

ハーフシャッタースピード (HALF) を使用する

- フィルム撮影を行ったような効果をつけて撮影したい場合

映像方式	CAMERA MODE	シャッタースピード
1080-59.94i	60i	1/120
1080-29.97P	30P	1/60
1080-23.98P	24P	1/48
1080-23.98PA	24PA	1/48

<ノート>

- 電子シャッターをどのモードで使用しても、シャッタースピードが速いほど、カメラの感度は低減します。
- 絞りが自動のときには、シャッタースピードが速くなるにつれ絞りが開き、焦点深度も浅くなります。

4-3-2 シャッターモード/スピードの設定

シャッターモードでのシャッタースピードは、SHUTTERスイッチを切り替えて設定します。

SYNCRO SCANモードでのシャッタースピードは、サイドパネルのSYNCRO SCAN (+/-) ボタンで簡単に変更できます。

なお、メニュー操作でOPERATIONページから<SHUTTER SPEED>画面と<SHUTTER SELECT>画面を開き、シャッタースピードの選択範囲を必要な範囲にあら

かじめ制限したり、SYNCRO SCANモードを使用するかどうかあらかじめ選択したりすることができます。一度選択したシャッタースピードは、本機の電源を切った状態でも保持されます。

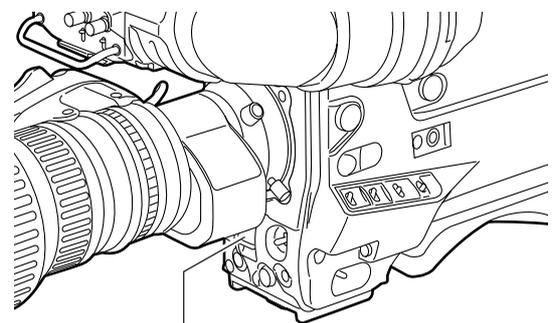
→< SHUTTER SPEED >

```
SYNCRO SCAN : ON
POSITION1   : ON
POSITION2   : ON
POSITION3   : ON
POSITION4   : ON
POSITION5   : ON
POSITION6   : ON
```

→< SHUTTER SELECT >

```
POSITION1 SEL : 1 / 100
POSITION2 SEL : 1 / 120
POSITION3 SEL : 1 / 250
POSITION4 SEL : 1 / 500
POSITION5 SEL : 1 / 1000
POSITION6 SEL : 1 / 2000
```

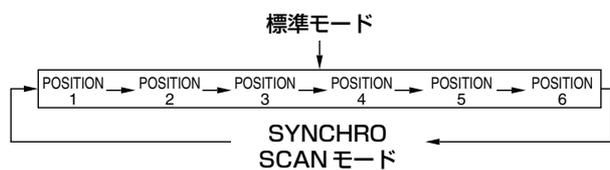
- 1 SHUTTERスイッチを、ONの位置からSEL側に押し



SHUTTERスイッチ

第4章 記録のための調整と設定 (つづき)

- 2 もう一度 SHUTTER スイッチを SEL 側に押し、希望のモードまたはスピードが表示されるまで、この操作を繰り返します。
全てのモードとスピードが表示される場合は、以下の順序で表示が切り替わります。

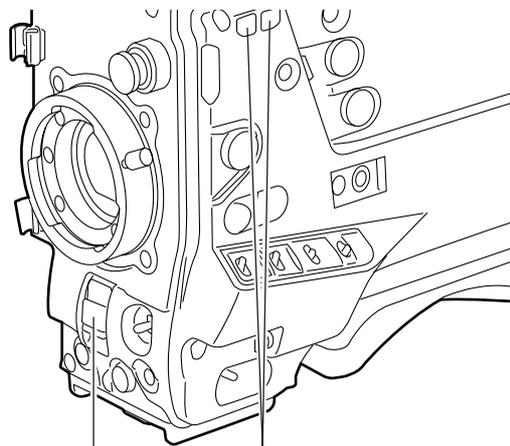


シャッター関連のビューファインダー画面表示について
「4-7 ビューファインダーの状態表示」を参照ください。

4-3-3 シンクロスキャンモードの設定

以下の手順で操作します。

- 1 SHUTTER スイッチを ON から SEL 側に押し、SYNCHRO SCAN に設定します。



SHUTTER スイッチ SYNCHRO SCAN (+/-) ボタン

- 2 SYNCHRO SCAN モード時は、SYNCHRO SCAN (+/-) ボタンを操作して連続的に切り替えることができます。

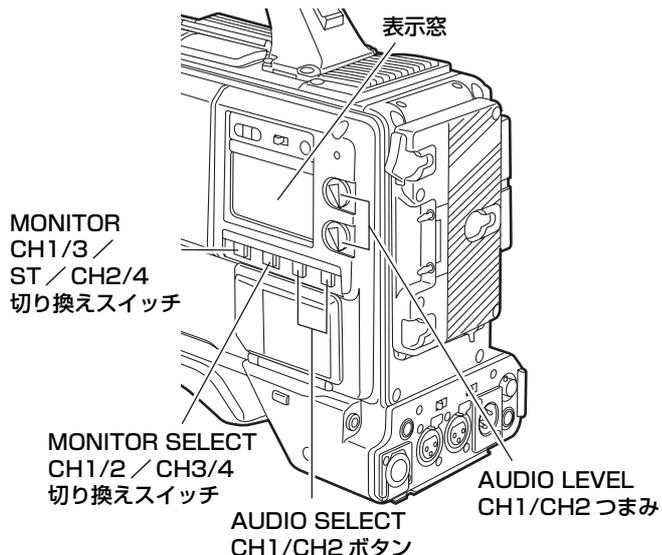
第4章 記録のための調整と設定 (つづき)

4-4 音声入力の選択と録音レベルの調整

AUDIO SELECT CH1/CH2 スイッチを AUTO にすると、オーディオトラック CH1、CH2 に録音されるレベルは自動的に調整されます。また MAN 側にすると手動で調整することもできます。なお、オーディオトラック CH3、CH4 に録音されるレベルはメニューにより選択できます。

4-4-1 音声入力信号の選択

AUDIO IN スイッチでオーディオトラック CH1、CH2、CH3、CH4 に録音する入力信号を選択します。詳しくは、「2-2 音声機能部」を参照ください。



音声関連の詳細設定は、メニュー操作で VTR MENU ページから <MIC/AUDIO1> 画面と <MIC/AUDIO2> 画面を開き各項目を設定します。

詳しくは、「第7章 MENU一覧」をご覧ください。

```

->< MIC / AUDIO1 >

FRONT VR CH1          : OFF
FRONT VR CH2          : OFF
MIC LOWCUT CH1        : OFF
MIC LOWCUT CH2        : OFF
MIC LOWCUT CH3        : OFF
MIC LOWCUT CH4        : OFF
LIMITER CH1          : OFF
LIMITER CH2          : OFF
AUTO LEVEL CH3        : ON
AUTO LEVEL CH4        : ON
CUE REC SELECT        : CH1
TEST TONE              : NORMAL
    
```

```

->< MIC / AUDIO2 >

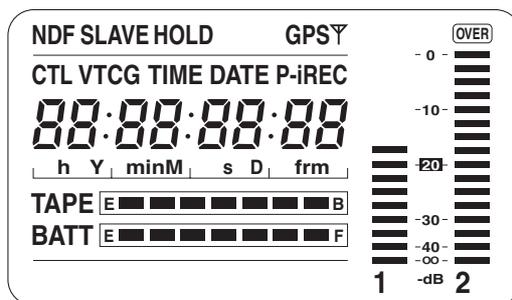
FRONT MIC POWER       : ON
REAR MIC POWER        : ON
MONITOR SELECT        : STEREO
FRONT MIC LEVEL        : -40dB
REAR MIC CH1 LVL      : -60dB
REAR MIC CH2 LVL      : -60dB
REAR LINE IN LVL      : +4dB
AUDIO OUT LVL         : +4dB
HEADROOM              : 20dB
WIRELESS WARN         : OFF
    
```

4-4-2 録音レベルの調整

オーディオトラック CH1、CH2 に録音されるレベルを手動調整する手順は以下の通りです。

- 1 表示窓のオーディオレベルメーター表示が CH1、CH2 を示すように MONITOR SELECT スイッチを CH1/2 側にし、表示窓の表示が 1、2 であることを確認してください。
また、FRONT AUDIO LEVEL ボリュームを有効にするかどうかあらかじめメニューで設定します。(工場出荷時は、動作しないモードになっています)
- 2 AUDIO SELECT CH1/CH2 を MAN (MANUAL) にします。
- 3 表示窓のオーディオレベルメーター、またはビューファインダー内のオーディオレベルメーター表示を見ながらレベル CH1/CH2 つまみを調整します。
なお、最上段のバー (0 dB) を超えると OVER 表示が点灯し入力音量が過大であることを示します。最大でも 0 dB まで表示しないように調整する必要があります。

表示窓オーディオレベルメーター表示



ビューファインダー内オーディオレベルメーター表示



ワンマンオペレーションでの音声レベルの調整には、FRONT AUDIO LEVEL ボリュームのご使用を推奨します。あらかじめ調整したいオーディオチャンネルを選択し、ビューファインダー画面上でのレベルメーターを見ながら過大入力にならない様に FRONT AUDIO LEVEL ボリュームで調整します。

第4章 記録のための調整と設定 (つづき)

4-4-3 CH3/CH4の録音レベルについて

本機は音声独立4チャンネル記録が可能です。
メニュー操作でVTR MENUページから<MIC/AUDIO1>画面を開き、AUTO LEVEL CH3項目とAUTO LEVEL CH4項目の設定条件と入力レベル設定により、オーディオトラックCH3、CH4の録音レベル動作は、以下の表のように変わります。なお、手動での調整はできません。

AUTO LEVEL CH3/CH4*	入力レベル	
	LINE	MIC
ON	AGC ON	AGC ON
OFF	AGC/LIMITER OFF	LIMITER ON

<ノート>

DVCPRO HD-LPフォーマットは音声8チャンネル分の記録が可能です。CH5、CH6、CH7、CH8は各々CH1、CH2、CH3、CH4と同じ信号が記録されます。

4-5 タイムデータの設定

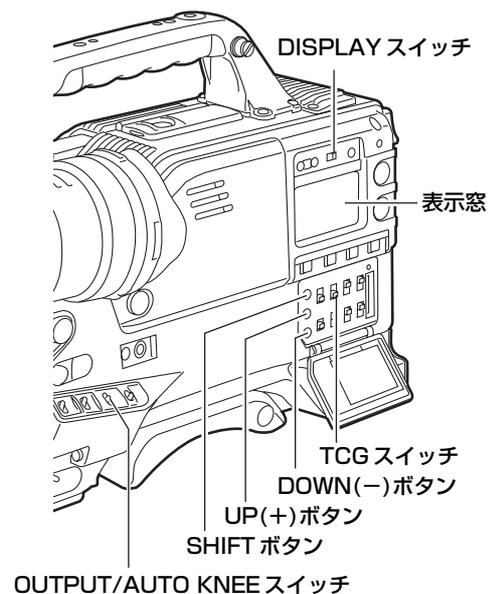
ユーザズビットとタイムコードの両方を使う場合は、ユーザズビットを先に設定します。

タイムコードを先に設定すると、ユーザズビットを設定している間はタイムコードジェネレータが停止するため、設定したタイムコードがずれてしまいます。

タイムコードの設定可能範囲は、00:00:00:00～23:59:59:29です。

4-5-1 ユーザズビットの設定

ユーザズビットを設定することにより、16進数で最大8桁までのメモ(日付、時刻)などの情報をサブコード領域(LTC)とVIDEO AUX領域(VITC)に記録できます。



- 1 DISPLAYスイッチをUBにします。
- 2 TCGスイッチをSETにします。
- 3 SHIFTボタン、UP (+) ボタン、DOWN (-) ボタンでユーザズビットを設定します。
SHIFT ボタン: 設定したい桁を点滅させるときに使用します。押すたびに、点滅する桁が右に移ります。
+ボタン: 点滅している桁の数値を1ずつ大きくします。
-ボタン: 点滅している桁の数値を1ずつ小さくします。
- 4 TCGをF-RUNまたはR-RUNにします。

第4章 記録のための調整と設定 (つづき)

- 5
- LTCのユーザーズビットを記録する場合は、メニュー操作でVTR MENUページから<TC/UB>画面を開き、UB MODE項目でUSERを選択します。
 - VITCのユーザーズビットを記録する場合は、VITC UB MODE項目でUSER/EXTを選択します。

<ノート>

- 本機は、VIDEO AUX領域にもタイムコード/ユーザーズビットを記録しています。タイムコード (VITC) はサブコード領域のタイムコード (LTC) と同一の値です。ユーザーズビット (VITCのユーザーズビット) は、メニュー操作でVTR MENUページから<TC/UB>画面のVITC UB MODE項目で選択でき、LTCとは別の用途に使用できます。

CAMERA MODE	ユーザーズビット	
24P 24PA	LTC UB	全8桁・記録可能 (UB MODE項目の設定に従う)
	VITC UB	カメラ撮像情報を自動的に記録
60i 30P	LTC UB	全8桁・記録可能 (UB MODE項目の設定に従う)
	VITC UB	全8桁・記録可能 (VITC UB MODE項目の設定に従う)

ユーザーズビットのメモリー機能について

ユーザーズビットの設定内容 (実時刻以外) は、自動的にメモリーされ、電源を切った後も保持されます。

ユーザーズビットのテープ連続性について

メニュー動作で<TC/UB>画面のUB MODE項目でREGENを選択すると、テープに記録されているユーザーズビットを読み出し、その値を継続して記録することができます。ただし、この場合設定した内容は記録できません。

カメラの撮像情報

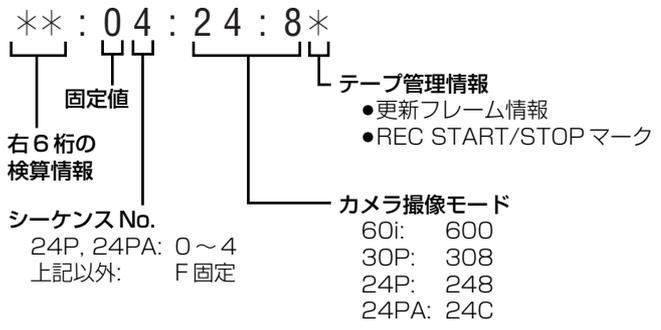
本機は、撮影速度を示すフレームレート情報 (カメラ撮像モード) と、フレーム映像が切り替わった先頭フレームを示すアクティブフレーム情報 (更新フレーム情報) が、カメラの撮像情報としてVITCのユーザーズビット (映像方式が24Pまたは、24PAのとき) に自動的に格納されます。これらの情報は、テープに記録される以外に、TC OUT端子から出力されます。また、MON OUT端子とVIDEO OUT端子から出力されるHD SDI信号にも重畳されます。アクティブフレーム情報 (更新フレーム情報) は、ユーザーズビットの最下位の桁に格納され、フレームレート情報 (カメラ撮像モード) は、下位3桁目と4桁目に格納されます。なお、他の撮影モードのときにLTCのユーザーズビットやVITCのユーザーズビットにカメラの撮像情報を格納するには、メニュー操作でVTR MENUページから<TC/UB>画面を開き、UB MODE項目やVITC UB MODE項目でFRM RATEを選択します。

カメラの撮像情報をユーザーズビットに格納する方法

CAMERA MODE	ユーザーズビット	
24P 24PA	LTC UB	UB MODE項目でFRM RATEを選択
	VITC UB	自動
60i 30P	LTC UB	UB MODE項目でFRM RATEを選択
	VITC UB	VITC UB MODE項目でFRM RATEを選択

第4章 記録のための調整と設定 (つづき)

VITC (または、LTC) のユーザズビット



フレームレート： 24P Over 60i (2:3)

更新フレームの先頭フィールド

タイムコードフレーム桁

00	01	02	03	04	05	06	...	23	24	25	26	27	28	29
----	----	----	----	----	----	----	-----	----	----	----	----	----	----	----

映像

Ao	Ae	Bo	Be	Co	Ce	Do	De	Ao	Ae	Bo	Be	...	Co	Ce	Do	De	Ao	Ae	Bo	Be	Co	Ce	Do	De
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

シーケンス No.

0	1	2	3	4	0	1	...	3	4	0	1	2	3	4
---	---	---	---	---	---	---	-----	---	---	---	---	---	---	---

更新フレーム情報

10	10	01	01	00	10	10	...	01	00	10	10	01	01	00
----	----	----	----	----	----	----	-----	----	----	----	----	----	----	----

フレームレート： 24PA Over 60i (2:3:3:2)

タイムコードフレーム桁

00	01	02	03	04	05	06	...	23	24	25	26	27	28	29
----	----	----	----	----	----	----	-----	----	----	----	----	----	----	----

映像

Ao	Ae	Bo	Be	Co	Ce	Do	De	Ao	Ae	Bo	Be	...	Co	Ce	Do	De	Ao	Ae	Bo	Be	Co	Ce	Do	De
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

シーケンス No.

0	1	2	3	4	0	1	...	3	4	0	1	2	3	4
---	---	---	---	---	---	---	-----	---	---	---	---	---	---	---

更新フレーム情報

10	10	01	00	10	10	10	...	00	10	10	10	01	00	10
----	----	----	----	----	----	----	-----	----	----	----	----	----	----	----

フレームレート： 30P Over 60i (2:2)

タイムコードフレーム桁

00	01	02	...
----	----	----	-----

映像

Ao	Ae	Bo	Be	Co	Ce	...
----	----	----	----	----	----	-----

更新フレーム情報

10	10	10	...
----	----	----	-----

第4章 記録のための調整と設定 (つづき)

4-5-2 内蔵時計の日付/時刻の設定

本機の内蔵時計は、工場出荷の時点で日付と時刻が正しく設定されていません。
ご使用になる前に、日付と時刻の設定を行ってください。

- 1 DISPLAYスイッチをUBにします。
- 2 HOLDボタンを押し表示窓にDATEを表示させます。
- 3 TCGスイッチをSETにします。
- 4 SHIFTボタン、UP (+) ボタン、DOWN (-) ボタンで年月日 (Y/M/D) を設定します。
- 5 HOLDボタンを押し表示窓にTIMEを表示させます。
- 6 SHIFTボタン、UP (+) ボタン、DOWN (-) ボタンで時分秒 (h/min/s) を設定します。
- 7 TCGスイッチをF-RUNまたはR-RUNにします。スイッチを切り替えた時から内蔵時計が動作を開始します。
- 8 HOLDボタンを押し、表示窓にTIME ZONE (世界標準時からの時差) を表示させます。
- 9 TCGスイッチをSETにします。
- 10 UP (+) ボタン、DOWN (-) ボタンで時分 (h/min) と世界標準時からの進み (無表示) / 遅れ (‘-’ 表示) を設定します。
例) 時差 5:00 遅れ(New York)の場合
“05:00 -” と設定
タイムゾーンは日付/時刻とともに常にメタデータとして記録されます。
下表を参考に現地地域に合わせて設定してください。
- 11 TCGスイッチをF-RUNまたはR-RUNにしてタイムゾーンを確定させます。

時 差	地 域	時 差	地 域
00:00	グリニッジ	- 00:30	
- 01:00	アゾレス諸島	- 01:30	
- 02:00	中部太平洋	- 02:30	
- 03:00	ブエノスアイレス	- 03:30	ニューファンドランド島
- 04:00	ハリファックス	- 04:30	
- 05:00	ニューヨーク	- 05:30	
- 06:00	シカゴ	- 06:30	
- 07:00	デンバー	- 07:30	
- 08:00	ロスアンゼルス	- 08:30	
- 09:00	アラスカ	- 09:30	マルケサス諸島
- 10:00	ハワイ	- 10:30	
- 11:00	ミッドウェイ諸島	- 11:30	
- 12:00	クワジャリン	+ 11:30	ノーフォーク島
+ 13:00		+ 10:30	ロード・ハウ・アイランド
+ 12:00	ニュージーランド	+ 09:30	ダーウィン諸島
+ 11:00	ソロモン諸島	+ 08:30	
+ 10:00	グアム	+ 07:30	
+ 09:00	東京	+ 06:30	ランゲーン
+ 08:00	北京	+ 05:30	ボンベイ
+ 07:00	バンコク	+ 04:30	カブール
+ 06:00	ダッカ	+ 03:30	テヘラン
+ 05:00	イスラマバード	+ 02:30	
+ 04:00	アブダビ	+ 01:30	
+ 03:00	モスクワ	+ 00:30	
+ 02:00	東ヨーロッパ	+ 12:45	チャタム諸島
+ 01:00	中央ヨーロッパ		

<ノート>

- ステップ4で年月日を設定後、TCGスイッチをF-RUNまたはR-RUNにしても、スイッチを切り換えたときから内蔵時計が動作を開始します。
年月日、時分秒、タイムゾーンの設定中に設定をキャンセルしたい場合は、SHIFTボタンを押しながらTCGスイッチをF-RUNまたはR-RUNにします。
- 時計精度は、電源OFF状態で月差約±30秒程度です。正確な時刻を必要とする場合は、電源ON時に、時刻確認、再設定を行ってください。
DATE、TIME表示が現地時刻とずれているときは、タイムゾーンの設定がずれている可能性があります。再度タイムゾーンの設定を確認してください。(DATE、TIMEを再設定する必要はありません)

第4章 記録のための調整と設定 (つづき)

4-5-3 タイムコードの設定

- 1 DISPLAYスイッチをTCにします。
- 2 TCGスイッチをSETにします。
- 3 メニュー操作でVTR MENUページから<TC UB>画面を開き、TC MODE項目で「DF」または「NDF」に切り換えます。ドロップフレームモードでタイムコードを歩進させるときは「DF」に、ノンドロップフレームモードでタイムコードを歩進させるときは「NDF」に設定します。
- 4 SHIFTボタン、UP (+) ボタン、DOWN (-) ボタンでタイムコードを設定します。
- 5 TCGスイッチを切り替えます。
タイムコードをフリーランで歩進させるときは「F-RUN」に切り替え、レックランで歩進させるときは「R-RUN」に切り替えます。

タイムコードをテープ上の値にリジェネさせ、連続して記録するには

TCGスイッチが常にR-RUNの位置になっているとき、テープへの記録開始時は、既に記録されているテープ上のタイムコード値にリジェネされ、常にタイムコードが連続して記録されます。(FIRST REC TC項目がREGENに設定されている場合)

<ノート>

- 記録を行う前にTCGスイッチをSETまたは、F-RUNの位置にした場合、記録開始時にテープ上の値には関係なく、設定された値のタイムコードから記録を行います。
- 一度記録した後は、テープ上の値にリジェネする状態に戻ります。
- 本機の電源をOFFにすると、テープ上の値にリジェネする状態に戻ります。(TCG SET HOLD項目がOFFに設定されている場合)
- TCGスイッチをSETまたは、F-RUNの位置にした後、R-RUNの位置にした場合、頭出しを行うことでテープ上の値にリジェネする状態に戻ります。
詳しくは、「3-3 つなぎ撮り」の項目を参照してください。

バッテリー交換時のタイムコードについて

バッテリー交換時にもバックアップ機構が働いて、タイムコードジェネレータは長時間(約1年間)動作を続けます。

<ノート>

POWERスイッチをON→OFF→ONと切り替えた場合、フリーランのタイムコードのバックアップ精度は約±2フレームです。

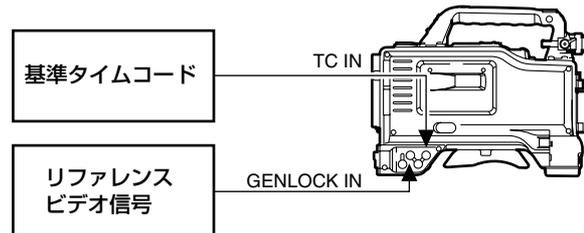
4-5-4 タイムコードを外部ロックさせる

本機の内部タイムコードジェネレーターを外部ジェネレーターにロックさせることができます。また、外部VTRのタイムコードジェネレーターを本機の内部ジェネレーターにロックさせることもできます。

外部ロックさせる為の接続例

図の様に、リファレンスビデオ信号と基準タイムコードの両方を接続します。

例1：外部の信号にロックさせる場合

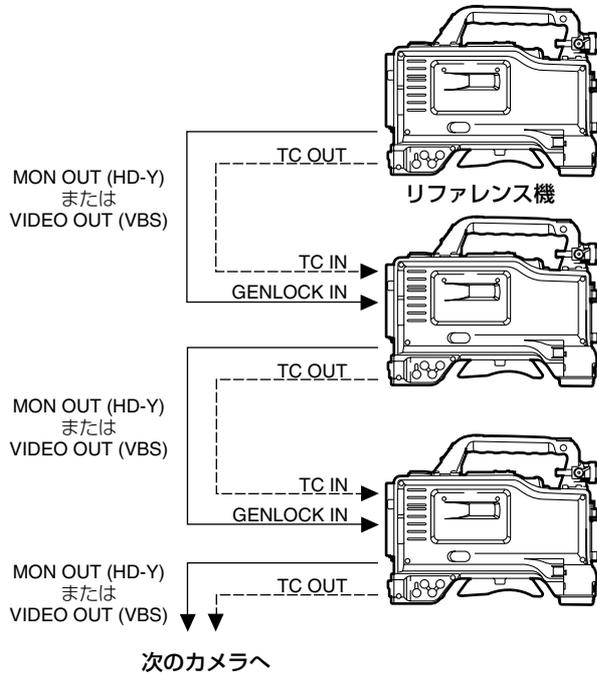


<ノート>

リファレンスビデオ信号としては、HDのY基準信号のほか、コンポジットビデオ信号も入力可能です。

第4章 記録のための調整と設定 (つづき)

例2：本機を複数台つなぎ、1台をリファレンス機とする場合



<ノート>

複数台でシステムを組む場合は、メニュー操作でSYSTEM SETTING ページから <GENLOCK> 画面を開き、GL PHASE 項目を接続する端子に合わせて設定してください。MON OUT 端子のHD-Y 出力信号と VIDEO OUT 端子のVBS 出力信号の何れかと、タイムコードの位相を合わせることができます。ただし、GL PHASE 項目は、全てのカメラを同じ設定にしてください。異なる設定が混在すると、撮像タイミングが一致しくなくなります。

リファレンスビデオ信号	GL PHASE 項目の設定
MON OUT (HD-Y)	HD SDI
VIDEO OUT (VBS)	COMPOSIT

GL PHASE 項目の設定

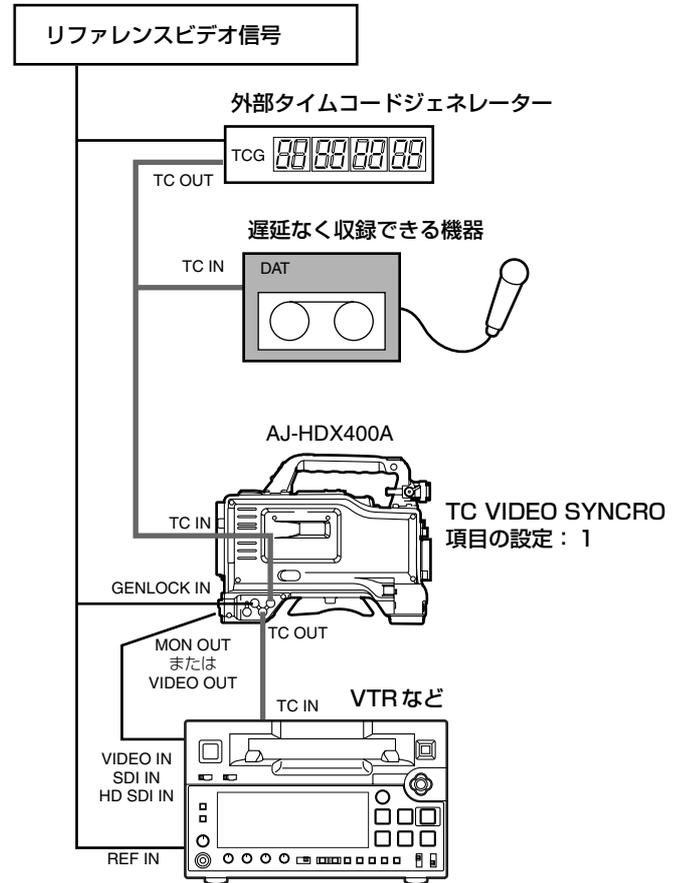
項目	可変範囲	備考
GL PHASE	HD SDI COMPOSIT	GENLOCK IN 端子に入力された信号に、位相をロックさせる出力信号を選択します。 HD SDI: HD SDI 出力信号をゲンロック入力にロックさせます。 ダウンコンバーター出力信号は、映像のスタート位置が約 90 ライン遅れます。 COMPOSIT: ダウンコンバーター出力信号をゲンロック入力にロックさせます。 HD SDI 出力信号は、映像のスタート位置が約 90 ライン進みます。

本機は、撮像素子でとらえた映像をプログレッシブ信号からインターレース信号に変換する処理が必要なため、カメラ内部で映像信号の遅延が起こります。また、24P フレームから2：3プルダウンする処理時間が必要なため、カメラ内部で映像信号の遅延が起こります。遅延なく収録できる機器と本機を並列に接続して記録する場合、タイムコードのタイミングを合わせる必要があります。このタイミングは、VTR MENU ページから <TC UB> 画面を開き、TC VIDEO SYNCRO 項目で設定します。接続例を参考に設定を行ってください。

TC VIDEO SYNCRO 項目の設定

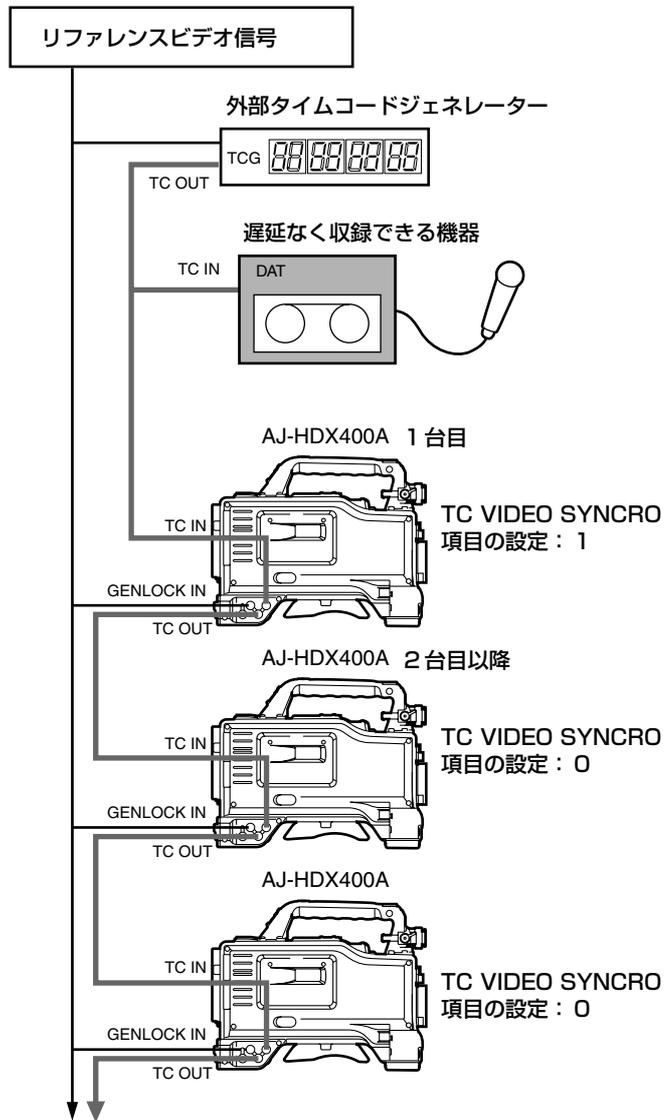
項目	可変範囲	備考
TC VIDEO SYNCRO	0 1 2 3	映像信号の遅延に合わせてタイムコードを補正する設定を行います。 0: 補正しません。 1: 映像のタイミングに合わせて、入力するタイムコードを遅らせます。 2: 映像のタイミングに合わせて、出力するタイムコードを進めます。 3: 映像のタイミングに合わせて、入力するタイムコードを遅らせ、出力するタイムコードを進めます。

例3：本機と外部機器を外部の外部タイムコードジェネレーターにロックさせる場合。また、本機の TC OUT 出力信号を使用して同時記録を行う場合。

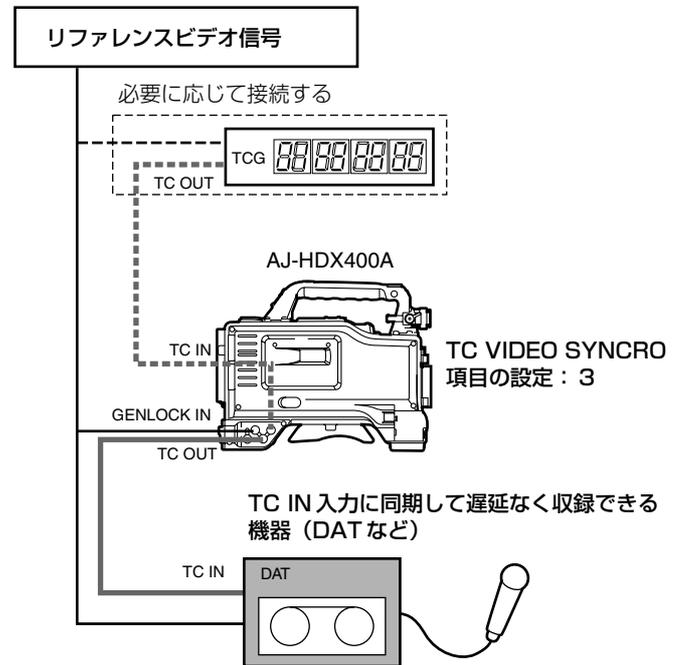


第4章 記録のための調整と設定 (つづき)

例4：本機と外部機器を外部の外部タイムコードジェネレーターにロックさせる場合。また、本機を複数台カスケード接続する場合。

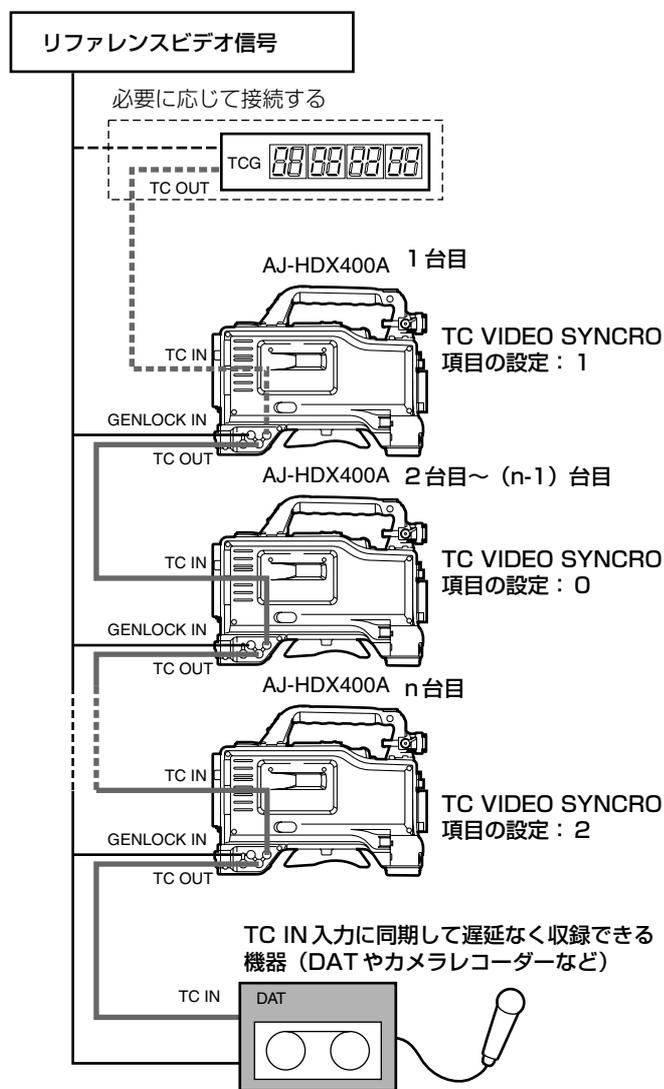


例5：本機のタイムコードジェネレーターに外部機器をロックさせる場合。



第4章 記録のための調整と設定 (つづき)

例6：カスケード接続した本機のタイムコードジェネレーターに外部機器をロックさせる場合。



外部ロックの操作手順

以下の手順で、外部ロックさせます。

- 1 POWERスイッチをONにします。
- 2 TCGスイッチをF-RUNにします。
- 3 DISPLAYスイッチをTCにします。
- 4 タイムコードの規格を満たした位相関係にある基準タイムコードとリファレンスビデオ信号を、TC IN端子とGENLOCK IN端子へそれぞれ供給します。

これで内蔵タイムコードジェネレーターは、基準タイムコードにロックします。

ロックしてから約10秒経過した後は、外部からの基準タイムコードの接続を外しても、外部ロック状態は保たれます。ただし、記録中にリファレンスビデオ信号を接続したり外したりすると、サーボロックが乱れます。

- 本機の電源をOFFにすると、タイムコードのロックが外れます。
- タイムコードの精度は、月差±20秒です。

<ノート>

外部ロックの操作をすると、タイムコードは瞬時に外部のタイムコードにロックし、外部タイムコードの値と同じ値がカウンター表示部に出ます。シンクジェネレーターが安定するまでの数秒間は、記録モードにしないでください。

外部ロック時のユーザーズビットの設定について

タイムコードの外部ロックでは、タイムデータのみが外部からのタイムコードのタイムデータにロックされます。したがってユーザーズビットは、各機ごとに個別に設定することができます。

また、メニュー操作で、VTR MENUページから<TC/UB>画面を開きUB MODE項目でEXTを選択すると、ユーザーズビットも外部からのタイムコードのユーザーズビットにロックさせることができます。

外部ロックを解除するには

TCGスイッチを「R-RUN」に設定します。

第4章 記録のための調整と設定 (つづき)

外部ロック中に、電源をバッテリーから外部電源に切り替える時の注意

タイムコードジェネレータの電源の連続性を保つため、DC IN 端子に外部電源をつないでから、バッテリーパックを抜いてください。バッテリーパックを先に抜いたときは、タイムコードの外部ロックの連続性は保証されません。

外部ロック中のカメラ部の外部同期について

外部ロック中、GENLOCK IN 端子に入力されるリファレンスビデオ信号により、カメラ部はゲンロックがかかります。

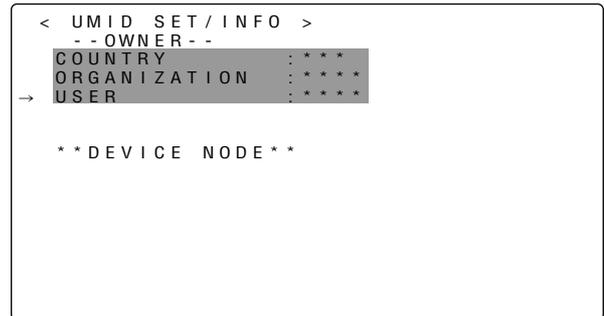
<ノート>

- 本機の VIDEO OUT 端子（ダウンコン出力）をリファレンスビデオ信号として使用する場合は、サイドパネルの OUTPUT SEL スイッチを「CAM」側にしてご使用ください。
- ゲンロックの同期には時間がかかります。同期が終了するまで（約 10 秒）は、記録など他の動作を行わないでください。

4-5-5 UMID 情報の設定

本機はメタデータの UMID に対応しています。UMID 情報として最初にユーザーの属する国名（3 文字以内）と、組織名あるいは会社名（4 文字以内）と、ユーザー名（4 文字以内）を設定する必要があります。国名は ISO 3166 Country Code*1 を元に入力してください。ここではユーザー名を例に説明します。

*1 例：中国	CHN
アメリカ	USA
カナダ	CAN
日本	JPN



- 1 メニュー操作で、VTR MENU ページから <UMID SET/INFO> 画面を開きます。
- 2 JOG ダイヤルボタンを回して、「USER」の項目に矢印（カーソル）を移動します。
- 3 JOG ダイヤルボタンを押すと、文字の入力モードになります。
- 4 設定したい文字が現れるまで、JOG ダイヤルボタンを回します。JOG ダイヤルボタンを回すと、文字表示が
スペース： □
↓
アルファベット： A～Z
↓
数字： 0～9
↓
記号： '、>、<、/、—
の順に切り替わります。
<ノート>
COUNTRY 項目のみ、選択できるのはスペースとアルファベットのみです。
- 5 JOG ダイヤルボタンを押して、文字を確定します。
- 6 JOG ダイヤルボタンを回して、次の文字を設定します。
- 7 JOG ダイヤルボタンを押すと、矢印（カーソル）が「USER」の項目に戻ります。
- 8 メニュー操作を終了するときは、MENU ボタンを押します。

第4章 記録のための調整と設定 (つづき)

4-6 ビューファインダー画面上のメニュー表示

4-6-1 メニューの構成

USER MENU :

出荷時に、USER MENU を設定していますが、ユーザー独自で、メニュー操作で、MAIN MENU ページから <USER MENU SELECT> 画面を開き、各項目について、使用目的や設定頻度に応じた項目を選択してユーザー固有のメニュー構成にすることができます。MENU ボタンを押すと表示されます。

MAIN MENU :

設定メニューの全項目を設定できます。使用目的や、設定頻度などに応じてカテゴリー別に階層化した構成にしています。MENU ボタンを3秒以上押すと表示されます。

OPTION MENU :

将来的な機能追加等を考慮したメニューを準備しています。LIGHT ボタンを押しながら MENU ボタンを押すと表示されます。

4-6-2 メニューの基本操作

メニュー設定の操作は、MENU ボタンと JOG ダイアルボタンで操作します。メニューの構成は、メインメニューとサブメニューおよび設定項目メニューの階層化構成に分かれています。設定されたデータは、不揮発性メモリーに書き込まれ、保存されます。ここでは、MAIN MENU での操作について説明しますが、画面表示以外の操作方法は他のメニューも同じです。

- 1 MENU ボタンを3秒間以上押します。各カテゴリー別のメニュー画面が表示されます。

```
→ ***** MAIN MENU *****  
  
SYSTEM SETTING  
PAINT  
VF  
OPERATION  
FILE  
MAINTENANCE  
VTR MENU  
  
USER MENU SELECT
```

SYSTEM SETTING :

本機の記録機能や、出力信号などを選択する時に使用する項目です。

PAINT :

波形モニターを使用してカメラの出力波形を監視しながら、細かな画像調整をする場合の項目です。通常ビデオエンジニアのサポートが必要です。このメニュー項目の設定は、外部のリモートコントローラなどでも行えますが、本機を単体で使用する場合に有効です。

VF :

ビューファインダー画面上に表示される内容を選択する場合の項目です。

OPERATION :

通常カメラマンが本機を運用する時、被写体の条件などによって設定を変更する項目です。

FILE :

セットアップカードの読み書きや、レンズファイルなどファイル関連操作を行う項目です。

MAINTENANCE :

本機のカメラ関連の保守点検を行う項目です。

VTR MENU :

本機の VTR 関連の設定や保守点検項目です。

USER MENU SELECT :

USER MENU を編集する時に使用する項目です。

- 2 JOG ダイアルボタンを回して、設定したい項目にマーク (→) を移動し、JOG ダイアルボタンを押すとサブメニュー画面が表示されます。

```
***** MAIN MENU *****  
  
SYSTEM SETTING  
PAINT  
VF  
→ OPERATION  
FILE  
MAINTENANCE  
VTR MENU  
  
USER MENU SELECT
```

- 3 JOG ダイアルボタンを回して、設定したい項目にマーク (→) を移動し、JOG ダイアルボタンを押すと設定項目メニュー画面が表示されます。

```
< OPERATION >  
  
CAMERA ID  
SHUTTER SPEED  
SHUTTER SELECT  
→ USER SW  
SW MODE  
WHITE BALANCE MODE  
USER SW GAIN  
IRIS
```

第4章 記録のための調整と設定 (つづき)

- 4 JOGダイヤルボタンを回して、設定したい項目にマーク(→)を移動し、JOGダイヤルボタンを押すと設定値内容が点滅します。

```
< USER SW >
→ USER MAIN SW      :S.GAIN<
  USER1 SW           :PHASE<
  USER2 SW           :DS.GAIN
```

- 5 JOGダイヤルボタンを回して、設定値を変更します。

設定値を増加させるには

JOGダイヤルボタンをカメラ正面から見て時計方向に回します。

設定値を減少させるには

JOGダイヤルボタンをカメラ正面から見て反時計方向に回します。

回すたびに1段階切り替わります。早く回すと数値が速く変化し、ゆっくり回すと微調整ができます。

ON/OFFを切り替えるには

ONを選択するときは、JOGダイヤルボタンをカメラ正面から見て時計方向に回します。

OFFを選択するときは、JOGダイヤルボタンをカメラ正面から見て反時計方向に回します。

- 6 JOGダイヤルボタンを押します。
設定値の点滅が停止し、設定値が確定します。

- 7 続けて同じページの設定項目を変更する場合には、手順4~6を繰り返します。

- 8 設定が終了すると、MENUボタンを押します。
メニュー設定モードが終了し、通常の操作モードに戻ります。

4-6-3 USER MENUの選択

メニュー操作で、MAIN MENUからUSER MENU SELECTページを開き、更に、各設定項目メニュー画面を開き、USER MENUに必要な項目のみを選択します。設定された項目のみがUSER MENUとして表示されます。操作方法は、「4-6-2 メニューの基本操作」を参照ください。

```
< USER MENU SELECT > (SELECT MODE)
→ SYSTEM SETTING
  PAINT
  VF
  OPERATION
  FILE
  MAINTENANCE
  VTR MENU
```

<ノート>

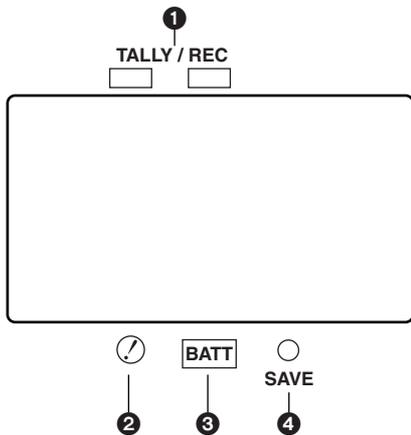
設定項目は「*」表示で有効になります。ただし設定可能な項目はカメラ関連が3ページ分、 $14 \times 3 = 42$ 項目と、VTR関連1ページ分14項目となります。

第4章 記録のための調整と設定 (つづき)

4-7 ビューファインダーの状態表示

ビューファインダー内では、映像の他に本機の設定や動作の状態を示すランプや文字、メッセージ、センターマーカ、セーフティゾーンマーカ、カメラIDなどが表示されます。

4-7-1 ビューファインダーのランプ表示



表示例はAJ-HVF21Gの表示です。(ビューファインダーに関する内容は、別売のビューファインダーの取扱説明書をご覧ください)

① TALLY/REC (記録) ランプ

記録時に赤色に点灯します。また、異常が発生したときには点滅します。
詳しくは、「6-3 警告システム」を参照ください。

② Ⓜ (変則動作状態警告) ランプ

サブメニュー !LED項目でONに設定した項目のうち、本機が変則動作状態になると点灯します。
Ⓜランプ表示の対象となる項目の選択については、「第7章 MENU一覧」の<!LED>画面の項目を参照ください。

③ BATT (バッテリー) ランプ

バッテリーの電圧が下がり、使用できなくなる数分前に点滅を始め、使用できなくなると点灯します。動作の中断を防ぐため、バッテリーの消耗間近になる前に、バッテリーを交換してください。
詳しくは、「6-3 警告システム」を参照ください。

④ SAVE (VTR節電) ランプ

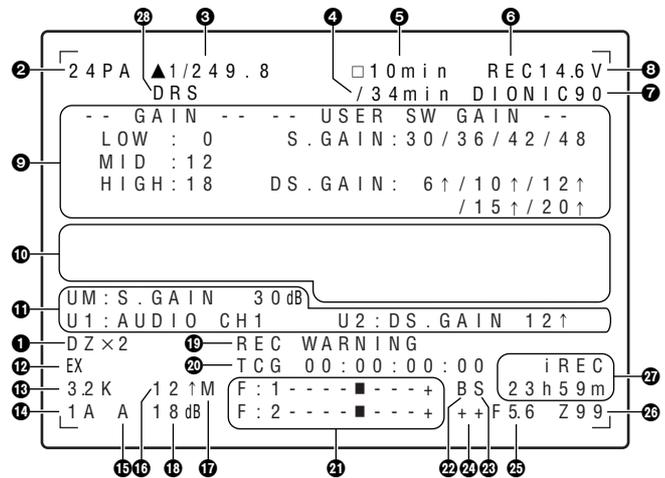
VTR SAVE/STBYスイッチをSAVEにすると点灯します。記録中は消灯します。

<ノート>

記録一時停止時は、ポーズタイマー (一時停止時間) の設定時間経過後に、再生一時停止時には2分後に、VTR SAVE/STBYスイッチに関係なく自動的にSAVE状態になり、ランプが点灯します。

4-7-2 ビューファインダー画面の状態表示の構成

表示できるすべての項目は、下の図のように配置されています。



詳しくは、次ページ以降をご覧ください。

4-7-3 ビューファインダー画面の表示項目の選択

ビューファインダー画面に表示項目の選択は、メニュー操作で、VFページから<VF INDICATOR1>画面と<VF INDICATOR2>画面を開き、各々の項目で表示のON/OFFまたは種類を切り替えます。

操作方法は「4-6-2 メニューの基本操作」を参照ください。

```

->< VF INDICATOR1 >
EXTENDER      : ON
SHUTTER       : ON
FILTER        : ON
WHITE         : ON
GAIN          : ON
IRIS          : S+IRIS
CAMERA ID     : BAR
ID POSITION    : UPPER L
DATE/TIME     : OFF
ZOOM LVL     : ON
COLOR TEMP    : ON
CAMERA MODE   : ON
    
```

```

->< VF INDICATOR2 >
TAPE          : ON
BATTERY       : ON
AUDIO LVL     : ON
TC            : OFF
VTR WARNING   : NORMAL
SAVE LED      : SAVE
    
```

第4章 記録のための調整と設定 (つづき)

表示項目	表示内容	表示されたときの状態
① デジタルズーム モード	DZ ×2 DZ ×3 DZ ×4	デジタルズーム機能が働いているときに表示します。 ×2 : 2倍 ×3 : 3倍 ×4 : 4倍
② カメラモード	60i 30P 24P 24PA	CCDから出力される信号をテープに記録するときや、HD SDI信号として出力するときの映像方式を表示します。 1080-59.94i 1080-29.97P 1080-23.98P (2-3 プルダウン) 1080-23.98P (2-3-3-2 プルダウン)
③ シャッタースピード /モード	▶ 1/**.* 1/100 ~ 1/2000、HALF	シャッタースピードが SYNCHRO SCAN に設定されています。 固定のシャッタースピードが設定されています。
④ カセットテープの全 テープ長	***min	カセットテープの全テープ長を表示します。
⑤ テープ残量	***min END INH	通常時は “***min” が点灯し、ニアエンド中は点滅します。 テープエンド時には “END” が点灯します。 記録禁止時は “INH” が点灯します。
⑥ 本機の REC 表示	REC	周辺機器接続時、本機の記録状態をキャラクタで表す時に表示します。 記録中には点灯し、記録移行中または警告時は点滅します。
⑦ バッテリーの種類	PROPAC14 ~ AC_ADPT	メニューでセレクトされているバッテリー種類を表示します。また外部 DC 電源を入力している場合は、AC_ADPT と表示します。
⑧ バッテリー残量/電 圧	**.*V ***% EMP MAX	バッテリー残量を 0.1 V 単位で表示します。 デジタルバッテリー残量を % で表示します。 バッテリー残量がないときに表示します。 バッテリーが FULL 充電時、表示します。
⑨ MODE CHECK 専 用表示エリア (STATUS: マスターゲイン、 USER SW GAIN)	LOW/MID/HIGH - 3 ~ 30 S.GAIN 30/36/42/48 DS.GAIN 6↑/10↑/12↑ /15↑/20↑	マスターゲインの設定値を表示します。 例) LOW : 0 S.GAIN と DS.GAIN が割り当てられているゲイン値を表示します。
(!LED 点灯要因 : 画面全体に表示しま す) ●!LEDメニューで選択 されている項目には 「!」マークがつきます。 ●現在!LED点灯の対象 になっている項目に は「!」マークがつ きます。	GAIN (0 dB) GAIN (-3 dB) DS.GAIN LINE MIX SHUTTER WHITE PRE. EXTENDER BLACK GAMMA. MATRIX COLOR COR. FILTER D.ZOOM	現在の GAIN 状態を表示します。 現在の GAIN 状態を表示します。 現在の DS.GAIN 値を表示します。 現在の LINE MIX の ON/OFF 状態を表示します。 現在のシャッターの状態を表示します。 現在の WHITE BAL の状態を表示します。 現在のエクステンダーの状態を EX2/OFF で表示します。 現在のブラックガンマの状態を ON/OFF で表示します。 現在の MATRIX の状態を A/B/OFF で表示します。 現在の COLOR CORRECTION の状態を ON/OFF で表示します。 現在のフィルターの状態を表示します。 現在のデジタルズームの状態を表示します。
(FUNCTION)	VIDEO OUT MONI OUT	VIDEO OUT 端子から出力される信号の設定状態を表示します。 MON OUT 端子から出力される信号の設定状態を表示します。
(AUDIO : フロン ト VR の許可、禁止)	CH1: ON/OFF CH2: ON/OFF	フロント VR CH1 が有効ならば ON、無効なら OFF を表示します。 フロント VR CH2 が有効ならば ON、無効なら OFF を表示します。
(AUDIO : マイク パワーの状態)	FRONT: ON/OFF REAR: ON/OFF	フロントマイクパワーの状態を表示します。 リアマイクパワーのメニュー設定状態を表示します。
(AUDIO : 各 CH の 入力信号とレベル)	FRONT/W.L./REAR CH1/2/3/4	各チャンネルの入力信号とレベルを表示します。

第4章 記録のための調整と設定 (つづき)

表示項目	表示内容	表示されたときの状態
⑩カメラ警告、通報表示エリア (AWB、ABB、およびスイッチ操作関連)	AWB A ACTIVE AWB B ACTIVE AWB A OK *.*K AWB B OK *.*K AWB BREAK *.*K AWB NG COLOR TEMP LOW COLOR TEMP HIGH LEVEL OVER LOW LIGHT TIME OVER AWB PRESET *.*K CHECK FILTER ABB ACTIVE ABB OK ABB BREAK ABB NG B-SHD READY B-SHD ACTIVE B-SHD OK B-SHD BREAK B-SHD NG	AchでAWB動作時に表示します。 BchでAWB動作時に表示します。 AchでAWB動作が正常に終了したときに表示します。 BchでAWB動作が正常に終了したときに表示します。 AWB動作を強制的に終了したときに表示します。 AWB動作が正常に終了しなかったときに表示します。2行目にその状態が表示されます。 色温度が低すぎることを警告しています。 色温度が高すぎることを警告しています。 輝度が高すぎることを警告しています。 輝度が低すぎることを警告しています。 動作時間内に処理が実行できなかったことを警告しています。 AWBスイッチがPREに設定されているか、スーパーゲインが設定されておりAWBが実行できない場合に表示します。 AWB動作時、CCフィルター切り替えつまみの位置の再確認を警告します。 ABB動作時に表示します。 ABB動作が正常に終了したときに表示します。 ABB動作を強制的に終了したときに表示します。 ABB動作が正常に終了しなかったときに表示します。 ABB動作中、ABBスイッチの長押しでBLACK SHADING動作を受け付けたときに表示します。 BLACK SHADING動作時に表示します。 BLACK SHADING動作が終了したときに表示します。 BLACK SHADING動作を強制終了したときに表示します。 BLACK SHADING動作が正常に終了しなかったときに表示します。
(スイッチ切り換え表示)	WHITE: # *.*K AUTO KNEE: ON/OFF DRS: ON/OFF GAIN: **dB SS: 1/* SS: ▶ 1/* CC: **** **K ND: * EXTENDER: ON/OFF IRIS: ** F *.*	WHITE BALスイッチを切り替えたとき表示します。#にはA/B/PREのいずれかを表示します。 AUTO KNEEスイッチをONまたはOFFに割り付け、AUTO KNEEスイッチをON/OFFしたときに表示します。 AUTO KNEEスイッチをDRSに割り付け、AUTO KNEEスイッチをON/OFFしたときに表示します。 GAIN切り換えスイッチやUSERボタンでGAINを切り替えたときに表示します。 シャッタースピードを切り替えたとき、その値を表示します。 シャッタースピードがシンクロスキャンを選択したときに表示します。 CCフィルターを切り替えたときに表示します。 NDフィルターを切り替えたときに表示します。 レンズエクステンダーがON/OFFされたときに表示します。 IRIS OVERRIDEの補正值を変化させるときに表示します。
(LOW LIGHT 警告表示)	LOW LIGHT	輝度が低下したとき、表示します。
(Y GET の値)	***.*%	Y GET ON時、センターマーカ付近の出力輝度レベルを%表示します。
(MARKER 表示)	MKR: A/B/OFF	現在表示しているマーカの種類を表示します。
⑪USER ボタンの割り当て情報 UM: USER MAIN ボタン U1: USER1 ボタン U2: USER2 ボタン	INH S.GAIN **dB/OFF DS.GAIN **↑/OFF LINE MIX ON/OFF S.IRIS ON/OFF I.OVR ON/OFF S.BLK - **/OFF B.GAMMA ON/OFF AUDIO CH1 AUDIO CH2 REC SW Y GET ON RET SW DZ x2、x3、x4 DRS	USER ボタンを動作させないとき、INHを表示します。 選択されたS.GAINを表示します。 選択されたDS.GAINを表示します。 LINE MIX GAINのON/OFFを表示します。 S.IRISのON/OFFを表示します。 IRIS OVERRIDE設定が可能(ON)なとき表示します。 SUPER BLACKのON/OFFを、またON時は設定値も表示します。 BLACK GAMMA(黒レベルの階調補正)のON/OFFを表示します。 音声チャンネル1に記録する入力信号が切り替えられたときに表示します。 音声チャンネル2に記録する入力信号が切り替えられたときに表示します。 USERボタンがRECスイッチとして機能しているとき、MODE CHECK時のみ表示します。 出力輝度レベル(センターマーカ付近を約3秒間・%単位)を測定する機能がONのとき表示します。 USERボタンがRETスイッチとして機能しているとき、MODE CHECK時のみ表示します。 デジタルズーム機能が働いているときに表示します。 DRS機能がONになっているときに表示します。

第4章 記録のための調整と設定 (つづき)

表示項目	表示内容	表示されたときの状態
⑫エクステンダー	EX2	レンズエクステンダーが使用されているときに表示します。
⑬色温度	*.*K	WHITE BAL スイッチの A、B、PRE に割り付けられた色温度を表示します。(AWB 実行時のメモリー値の場合と、メニュー設定値の場合があります)
⑭フィルターポジション	1 ~ 4 A ~ D —	ND フィルターの位置を表示します。 CC フィルターの位置を表示します。 フィルターポジションが正規の位置に設定されていません。
⑮WHITE BAL スイッチポジション	A B P	WHITE BAL スイッチが Ach に設定されています。 WHITE BAL スイッチが Bch に設定されています。 WHITE BAL スイッチが PRE に設定されています。
⑩蓄積ゲイン表示	6↑/10↑/12↑/15↑/20↑	蓄積 GAIN (DS.GAIN) が働いているとき、その値を表示します。
⑰LINE MIX GAIN 表示	M	LINE MIX GAIN (+6 dB) が働いているときに表示します。
⑩ゲイン値	**dB	現在の GAIN 値を表示します。
⑩VTR 警告、情報	REC WARNING SLACK E-** HUMID SERVO RF BACKUP BATT EMPTY WIRELESS-RF	記録中の異常の発生を表示します。 メカニズムに起因した異常の発生を表示します。異常の種類によっては自動的に電源が切れる場合もあります。 結露の発生を表示します。 録画・再生中にサーボロックが行われていません。 テープからの信号が低下しています。 バックアップ電池の交換時期です。(92 ページ参照) ワイヤレスからの RF 信号が低下しています。 <ノート> 表示されるコードについて、詳しくは、「6-3-2 エラーコード」をご覧ください。
⑳タイムコード表示	TCG 12:59:59:20 TCR 12:59:59:20 (V)UBG AB CD EF 00 (V)UBR 12 34 56 78 CTL —01:59:59:20	TCG (タイムコードジェネレーター値) を表示します。 TCR (タイムコードリーダー値) を表示します。 UBG VUBG 表示を表示します。 UBR VUBR を表示します。 CTL-COUNTER (CTL カウンター値) を表示します。
㉑AUDIO 入力系統とレベルメーター	- - - - ■ - - - + F W R	選択したチャンネルとそのオーディオレベルを表示します。 AUDIO IN スイッチが FRONT のときに表示します。 AUDIO IN スイッチが WIRELESS のときに表示します。 AUDIO IN スイッチが REAR のときに表示します。
㉒スーパーブラック ON	B	S.BLK ON のときに表示します。
㉓スーパーアイリス ON	S	S.IRIS ON のときに表示します。
㉔アイリスオーバーライド表示	++ + (無表示) — --	アイリスオーバーライドが働いている時、その補正段階を表示します。 ++ : 1 絞り開きざみ + : 0.5 絞り開きざみ — : 1 絞り閉じざみ — : 0.5 絞り閉じざみ 無表示 : 基準状態
㉕アイリス、F 値	NC OPEN F1.7 ~ F16 CLOSE	レンズケーブルが接続されていないときに表示されます。 レンズの絞りが開放されているときに表示されます。 レンズの絞り値を表示します。 レンズの絞りが閉じているときに表示されます。 <ノート> 絞り値の表示機能を持ったレンズを使用している場合に表示されます。また、アイリスオーバーライド可変中は点滅します。
㉖ズーム表示	Z00 ~ Z99	ズーム量を表示します。ただし、ズームポジションのリターンがないレンズの場合、表示設定が ON になっていても、この項目は表示されません。

第4章 記録のための調整と設定 (つづき)

表示項目	表示内容	表示されたときの状態
⑳ インターバル・プリレック表示	i (点滅) iREC (点灯) iREC (点滅) **h**m/**s P-REC (点滅) *s TAPE *s	INTERVAL REC モード時、スタート前、終了後の REC ボタンを受け付けない時間帯に表示します。 INTERVAL REC 実行中に表示します。 INTERVAL REC 待機中、次の記録までの待機時間を表示します。 PRE REC 実行中、PRE REC として設定された時間が終了するまでの残り時間を表示します。 PRE REC MODE を OFF に設定して、記録を停止したときに表示します。(内蔵メモリーに蓄えた信号をテープに記録している状態)
(頭出し表示)	JUMP (点滅)	頭出し動作中に表示します。
㉑ ダイナミックレンジストレッチャーモード	DRS	高輝度な部分の映像レベルを圧縮し、ダイナミックレンジを拡大する機能が選択されたときに表示します。

4

ビューファインダー画面の表示選択

	メニューで表示/ 非表示を選択	該当の状態に なった時、 状態を表示	MODE CHECK で表示 *1	表示を消すこと ができる	再生時表示する
① デジタルズームモード	○	○	●	○	-
② カメラモード	○	-	●	○	-
③ シャッタースピード/モード	○	○	●	○	-
④ カセットテープの全テープ長	-	-	●	○	-
⑤ テープ残量	○	-	●	○	-
⑥ 本機の REC 表示	○	○	●	○	-
⑦ バッテリーの種類	-	-	●	○	-
⑧ バッテリー残量/電圧	○	-	●	○	-
⑨ MODE CHECK 専用表示エリア	-	-	○	○	-
⑩ カメラ警告、通報表示エリア	-	○	○	○	-
⑪ USER ボタンの割り当て情報	-	○	○	○	-
⑫ エクステンダー	○	○	●	○	-
⑬ 色温度	○	○	●	○	-
⑭ フィルターポジション	○	-	●	○	-
⑮ WHITE BAL スイッチポジション	○	-	●	○	-
⑯ 蓄積ゲイン表示	○	-	●	○	-
⑰ LINE MIX GAIN 表示	○	-	●	○	-
⑱ ゲイン値	○	-	●	○	-
⑲ VTR 警告、情報	○	○	●	○	-
⑳ タイムコード表示	○	-	●	○	○(メニューによる)
㉑ AUDIO 入力系統とレベルメーター	○	-	4ch 全入力情報	○	-
㉒ スーパーブラック ON	○	○	●	○	-
㉓ スーパーアイリス ON	○	○	●	○	-
㉔ アイリスオーバーライド表示	○	○	●	○	-
㉕ アイリス、F 値	○	-	●	○	-
㉖ ズーム表示	○	-	●	○	-
㉗ インターバル・プリレック表示	-	○	●	○	-
㉘ ダイナミックレンジストレッチャーモード	○	-	●	○	-

*1 ○: <MODE CHK IND> 画面の STATUS 項目を OFF に設定しているときは表示しません。

●: メニューによらず強制で表示します。

第4章 記録のための調整と設定 (つづき)

4-7-4 表示モードと設定変更/調整結果メッセージ

設定変更の内容や、調整結果を知らせるメッセージは、表示モードの設定によって、表示させる項目を一部に絞るか、全くさせないかなどの表示方法を選択できます。選択は、メニュー操作で、VFページから<VF DISPLAY>画面を開き、DISP MODE項目で表示モードを選択します。

操作方法は「4-6-2 メニューの基本操作」を参照ください。

```

->< VF DISPLAY >

DISP CONDITION      : NORMAL
DISP MODE           : 3
VF OUT              : Y
VF DTL              : 3
ZEBRA1 DETECT       : 070%
ZEBRA2 DETECT       : 085%
ZEBRA2              : SPOT
LOW LIGHT LVL       : 35%
RC MENU DISP        : ON
MARKER/CHAR LVL     : 50%
    
```

設定変更/調整結果メッセージと表示モード

メッセージが表示される状況	メッセージ	表示モードの設定		
		1	2	3
フィルターの選択を変更したとき	フィルター： n (n=1, 2, 3, 4)、m (m=A, B, C, D)	○	○	●
ゲインの設定を変更したとき	GAIN： n dB (n=-3, 0, 3, 6, 9, 12, 15, 18, 21, 24, 27, 30)	○	○	●
WHITE BAL スイッチの設定を変更したとき	WHITE： n (n=ACH, BCH, PRESET)	○	○	●
OUTPUT/AUTO KNEE スイッチを「AUTO KNEE」、または「OFF」に設定したとき	AUTO KNEE： ON (またはOFF)	○	●	●
シャッター速度/モードの設定を変更したとき	SS： 1/100 (または 1/120, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, ▶1/**.*)	○	●	●
ホワイトバランスを調整したとき (AWB)	例) AWB A OK 3.2 K	○	●	●
ブラックバランスを調整したとき (ABB)	例) ABB OK	○	●	●
エクステンダーが選択されたとき	例) EXTENDER ON	○	○	●
USER ボタンが選択されたとき	例) UM： S.GAIN 30 dB	○	●	●
MARKER SELECT ボタンが選択されたとき	例) MKR： A	○	○	●
IRIS OVERRIDE 状態になったとき	例) ++ F 5.6	○	●	●

●：表示されます。
○：表示されません。

4-7-5 マーカー表示の設定

センターマーカー、セーフティゾーンマーカー、セーフティゾーンエリア、フレームマーカーの表示のON/OFFおよび種類を選択します。選択は、メニュー操作でVFページから<VF MARKER>画面を開き、各項目で表示モードを選択します。

操作方法は「4-6-2 メニューの基本操作」を参照ください。

<ノート>

右上のMKR：A表示が現在の表示状態を示します。TABLE Bを確認するときはMARKER SELECTボタンを押してMKR：Bにすると、その設定条件が確認できます。

```

->< VF MARKER >

TABLE                : A
CENTER MARK          : 1
SAFETY ZONE          : 2
SAFETY AREA          : 90%
FRAME SIG            : 4:3
FRAME MARK           : OFF
FLAME LVL            : 15
MKR : A
    
```

第4章 記録のための調整と設定 (つづき)

4-7-6 カメラ ID の設定

カメラIDの設定は、「CAMERA ID」画面で設定します。
10文字以内の英数字や記号、スペースが使用できます。

<ノート>

設定メニューの表示中は、カラーバー信号を出力してもカメラIDは表示されません。

- 1 メニュー操作で、OPERATION ページから <CAMERA ID> 画面を開きます。



- 2 JOG ダイヤルボタンを回して、「ID 1 : ~ 3 :」の項目に矢印 (カーソル) を移動します。
- 3 JOG ダイヤルボタンを押すと、矢印 (カーソル) が ID 入力エリアに移動して入力モードになります。
- 4 設定したい文字が現れるまで、JOG ダイヤルボタンを回します。JOG ダイヤルボタンを回すと、文字表示が
スペース： □
↓
アルファベット： A~Z
↓
数字： 0~9
↓
記号： '、>、<、/、—
の順に切り替わります。
- 5 JOG ダイヤルボタンを押して、文字を確定します。
- 6 JOG ダイヤルボタンを回して、矢印 (カーソル) を次の位置 (右) に移動し、4~5 の操作を繰り返して、文字を設定します。
- 7 文字の入力が終わると JOG ダイヤルボタンを回して、矢印 (カーソル) を「:」の位置に移動します。
- 8 JOG ダイヤルボタンを押すと、矢印 (カーソル) が「ID 1 : ~ 3 :」の項目に戻ります。

- 9 メニュー操作を終了するときは、MENU ボタンを押します。

設定メニューが消え、本機の現在の状態を示す表示が、ビューファインダー画面の上端と下端に表示されます。OUTPUT/AUTO KNEE 選択スイッチを「BARS」の位置にして、カメラIDの表示を確認してください。

<ノート>

<VF INDICATOR1>画面のCAMERA ID項目をBARに設定すると、カメラIDがカラーバー信号と同時に記録されます。カラーバー信号以外の映像のときは、カメラIDが記録されません。

4

4-7-7 状態確認画面の表示 (MODE CHECK ボタン機能)

本機各設定や状態を確認できる画面をビューファインダー上に表示できます。

本機のMODE CHECK ボタンを押す度に、4つの画面表示が切り替わります。

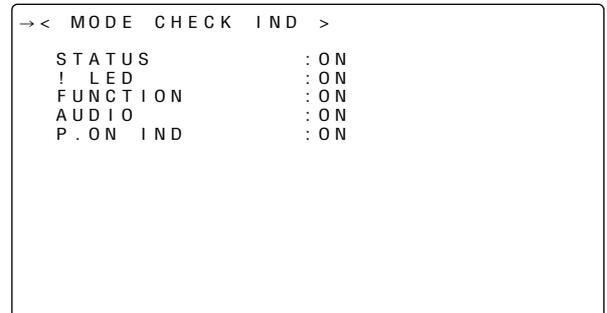
STATUS 画面表示 → !LED 画面表示 → FUNCTION 画面表示 → AUDIO 画面表示 → 無表示

なお、各々の画面の表示時間は約3秒です。

MODE CHECK ボタンを押したままにすると、押し続けている間その画面が継続して表示されます。

表示中にMODE CHECK ボタンを押すと次の画面に移行します。

表示の選択は、メニュー操作で、VF ページから <MODE CHECK IND> 画面を開き、各画面表示のON/OFFを選択します。



第4章 記録のための調整と設定 (つづき)

4-7-8 マーカー確認画面の表示 (MARKER SELECT ボタン機能)

本機のマーカー状態が確認できる画面をビューファインダー上に表示できます。

本機の MARKER SELECT ボタンを押す度に、2つの画面表示が切り替わります。

A マーカー表示→B マーカー表示→無表示

表示中に MARKER SELECT ボタンを押すと次の画面に移行します。あらかじめ、メニュー操作でVFページから<VF MARKER>画面を開き、TABLE項目でAを設定し、他の項目でマーカー情報を選択します。

次にTABLE項目でBに設定し、他の項目でマーカー情報を選択します。例えば、Aのマーカー情報としてFRAME SIG項目を16:9に設定し、Bのマーカー情報としてFRAME SIG項目を4:3に設定すると、必要に応じてこのボタン操作で16:9の画角と4:3の画角の確認等が簡単にできます。

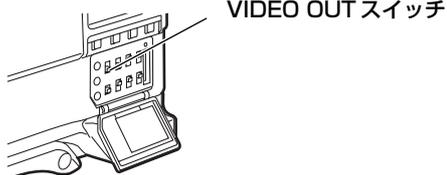
4-8 映像出力信号の選択

本機は、映像出力用の端子として、VIDEO OUT 端子と MON OUT 端子を備えています。

4-8-1 VIDEO OUT 端子から出力する信号の設定

VIDEO OUT スイッチで VIDEO OUT 端子から出力する信号のモードを切り替えます。

- HD SDI : HD SDI 信号を出力します。
- SD SDI : ダウンコンバートされた SD SDI 信号を出力します。
- VBS : ダウンコンバートされた NTSC 信号を出力します。



VIDEO OUT OUTPUT SEL スイッチで VIDEO OUT 端子から出力する信号を切り替えます。

ただし、記録中は切り替え動作を受け付けません。

- VTR : 記録など EE 時は、カメラ映像を出力し、再生時は VTR の再生信号を出力します。
- CAM : 常にカメラ映像を出力します。



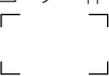
VIDEO OUT CHARACTER スイッチとメニューの OUTPUT ITEM 項目 (SYSTEM SETTING ページの <OUTPUT SEL> 画面) で、VIDEO OUT 端子から出力する信号にスーパーインポーズするキャラクターを設定します。



項目	可変範囲	備考
OUTPUT ITEM	MENU ONLY TC STATUS	VIDEO OUT 端子の出力信号に、スーパーインポーズするキャラクター内容を設定します。 MENU ONLY: メニューの操作を行っているときだけ、メニュー画面をスーパーインポーズします。通常は、何も表示しません。 TC: タイムコードをスーパーインポーズします。 (メニューの操作を行っているときは、メニュー画面をスーパーインポーズします。) STATUS: ビューファインダー画面にスーパーインポーズしているキャラクターと同じものをスーパーインポーズします。 (メニューの操作を行っているときは、メニュー画面をスーパーインポーズします。)

第4章 記録のための調整と設定 (つづき)

メニューの<VIDEO OUT SETTING>画面 (SYSTEM SETTING ページ) の各項目で、VIDEO OUT 端子から出力する信号にスーパーインポーズするマーカーとユーザーボックスを設定します。

項目	可変範囲	備考
VIDEO OUT CENTR MARK	OFF 1 2 3 4	VIDEO OUT 端子の出力信号に、スーパーインポーズするセンターマーカーを設定します。 OFF: 表示しません。 1: + (大) 2: 中空き (大) 3: + (小) 4: 中空き (小)
VIDEO OUT SAFETY MARK	OFF 1 2	VIDEO OUT 端子の出力信号に、スーパーインポーズするセーフティマーカーの枠の種類を設定します。 OFF: 表示しません。 1: BOX  2: コーナー枠 
SAFETY AREA	80% 90% 100%	セーフティマーカーの大きさを設定します。 縦と横の比率は一定のまま、1%ずつの設定が可能です。
VIDEO OUT FRM MARK	ON OFF	VIDEO OUT 端子の出力信号に、フレームマーカーをスーパーインポーズする設定を行います。 ON: スーパーインポーズします。 OFF: スーパーインポーズしません。
FRM SIG	4:3 13:9 14:9 VISTA	フレームマーカーの設定を行います。 VISTAは16 : 8.65です。
VIDEO OUT USER BOX	ON OFF	VIDEO OUT 端子の出力信号に、ユーザーボックスをスーパーインポーズする設定を行います。 ON: スーパーインポーズします。 OFF: スーパーインポーズしません。 ●VIDEO OUT スイッチをSD-SDIやVBSの位置にしたときは、スーパーインポーズされません。
USER BOX WIDTH	1 13 100	ユーザーボックスの幅を設定します。
USER BOX HEIGHT	1 13 100	ユーザーボックスの高さを設定します。
USER BOX H POS	-50 +00 +50	ユーザーボックスのセンターの水平位置を設定します。
USER BOX V POS	-50 +00 +50	ユーザーボックスのセンターの垂直位置を設定します。

<ノート>

- DOWNCON SETTING 画面のDOWNCON MODE 項目をLT-BOX やS-CROP に設定している場合は、フレームマーカーやセーフティマーカーが表示されません。
- SAFETY AREA 項目とFRM SIG 項目の設定は、VIDEO OUT、MON OUT、REMOTE の各端子に連動します。
- USER BOX WIDTH、USER BOX HEIGHT、USER BOX H POS、USER BOX V POS の各項目の設定は、VIDEO OUT 端子とMON OUT 端子に連動します。

- ユーザーボックスは、ボックス型のカーソルとして任意の位置に表示させることができます。

第4章 記録のための調整と設定 (つづき)

4-8-2 MONI OUT 端子から出力する信号の設定

メニューのMONI OUT項目 (SYSTEM SETTINGページの<OUTPUT SEL>画面)で、MONI OUT端子から出力する映像信号を設定します。

HD-Y信号は、他の機器にゲンロックをかけるときに使用できます。また、HD-Y信号には、マーカーやキャラクターをスーパーインポーズすることができません。

テープ再生時でも、カメラからの映像が出力されます。

項目	可変範囲	備考
MONI OUT	HD-SDI HD-Y	MONI OUT端子から出力する映像信号を設定します。 HD-SDI: HD SDI信号を出力します。 HD-Y: アナログHD-Y信号 (1080-59.94i) を出力します。

メニューのMONI OUT CHARA項目 (SYSTEM SETTINGページの<OUTPUT SEL>画面)で、MONI OUT端子から出力するHD SDI信号に、キャラクターをスーパーインポーズする設定を行います。

項目	可変範囲	備考
MONI OUT CHARA	ON OFF	MONI OUT端子のHD SDI出力信号に、キャラクターをスーパーインポーズする設定を行います。 ON: スーパーインポーズします。 OFF: スーパーインポーズしません。 <ノート> VIDEO OUT CHARACTERスイッチには、連動しません。

メニューのMONI OUT MODE項目 (SYSTEM SETTINGページの<OUTPUT SEL>画面)で、MONI OUT端子から出力する信号を切り替えます。

項目	可変範囲	備考
MONI OUT MODE	CAM VTR	MONI OUT端子から出力する信号を切り替えます。 CAM: 常にカメラ映像を出力します。 VTR: 記録などEE時は、カメラ映像を出力し、再生時はVTRの再生信号を出力します。

メニューの<MONITOR OUT SETTING>画面 (SYSTEM SETTINGページ)の各項目で、MONI OUT端子から出力する信号にスーパーインポーズするマーカーとユーザーボックスを設定します。

項目	可変範囲	備考
MONI OUT CENTR MARK	OFF 1 2 3 4	MONI OUT端子のHD SDI出力信号に、スーパーインポーズするセンターマーカーを設定します。 OFF: 表示しません。 1: + (大) 2: 中空き (大) 3: + (小) 4: 中空き (小)
MONI OUT SAFETY MARK	OFF 1 2	MONI OUT端子のHD SDI出力信号に、スーパーインポーズするセーフティマーカーの枠の種類を設定します。 OFF: 表示しません。 1: BOX  2: コーナー枠 
SAFETY AREA	80% 90% 100%	セーフティマーカーの大きさを設定します。 縦と横の比率は一定のまま、1%ずつの設定が可能です。
MONI OUT FRM MARK	ON OFF	MONI OUT端子のHD SDI出力信号に、フレームマーカーをスーパーインポーズする設定を行います。 ON: スーパーインポーズします。 OFF: スーパーインポーズしません。
FRM SIG	4:3 13:9 14:9 VISTA	フレームマーカーの設定を行います。 VISTAは16 : 8.65です。
MONI OUT USER BOX	ON OFF	MONI OUT端子のHD SDI出力信号に、ユーザーボックスをスーパーインポーズする設定を行います。 ON: スーパーインポーズします。 OFF: スーパーインポーズしません。
USER BOX WIDTH	1 13 100	ユーザーボックスの幅を設定します。
USER BOX HEIGHT	1 13 121	ユーザーボックスの高さを設定します。
USER BOX H POS	-50 +00 +50	ユーザーボックスのセンターの水平位置を設定します。
USER BOX V POS	-50 +00 +50	ユーザーボックスのセンターの垂直位置を設定します。

- ユーザーボックスは、ボックス型のカーソルとして任意の位置に表示させることができます。

第4章 記録のための調整と設定 (つづき)

4-9 メニューによる各機能のセットアップ

本機のメニューを使用して、各機能のセットアップをします。

4-9-1 USER SW GAIN の切り替えの設定

本機は、L/M/Hの標準的なゲインとは別に、30dB以上のアナログゲインアップS.GAIN（スーパーゲイン）モード、プログレッシブ駆動を利用した蓄積型のゲインアップDS.GAIN（デジタルスーパーゲイン）モード、2ラインミックスのLINE MIX GAINモードが使用できます。

本機能の選択は、メニュー操作でOPERATIONページから<USER SW GAIN>画面を開き、S.GAIN項目とDS.GAIN項目でそれぞれ使用するGAINをあらかじめ設定します。また、<USER SW>画面で、LINE MIX機能の選択を行います。

例えば、USER MAIN ボタンかUSER1 ボタンかUSER2 ボタンいずれかにS.GAINとDS.GAINとLINE MIX GAIN機能を割り付けた場合、各USERボタンとの組み合わせでのゲインアップが可能となります。

1) ノイズ感を増さずにゲインアップしたい場合
DS.GAIN機能やLINE MIX GAIN機能を使用します。

2) 通常のアナログのゲインアップをしたい場合
(ノイズ感は増します)

S.GAIN機能のみを使用します。

<ノート>

ノイズが増すため、AUTO IRIS、ホワイトバランス、ブラックバランスの精度に影響が出ますのでご注意ください。

3) 超高感度モードとして使用したい場合

S.GAIN機能とDS.GAIN機能もしくはLINE MIX GAIN機能を組み合わせて使用します。

ただし、DS.GAINのゲインアップの値が大きいくらい、動きのある被写体では残像が目立ちますので取り扱いには十分ご注意ください。

動きのある被写体では、LINE MIX GAIN機能がDS.GAIN機能で+12dB↑以下でご使用ください。

->< USER SW GAIN >	
S . GAIN	
* 30 dB	
* 36 dB	
* 42 dB	
* 48 dB	
DS . GAIN	
* 6 dB ↑	
* 10 dB ↑	
* 12 dB ↑	
* 15 dB ↑	
* 20 dB ↑	

設定項目と設定内容について

S.GAIN : * マークのあるアナログゲインアップが有効となり、* マークのないアナログゲインアップは機能しません。

DS.GAIN : * マークのある蓄積型のゲインアップが有効となり、* マークのない蓄積型のゲインアップは機能しません。

4-9-2 FRONT AUDIO LEVEL ボリュームの機能選択

FRONT AUDIO LEVEL ボリュームでも録音レベルの調整をすることができます。

本機能の選択は、メニュー操作で、VTR MENU ページから<MIC/AUDIO1>画面を開き、FRONT VR CH1 とFRONT VR CH2の項目で入力信号として選択された系統に対して、FRONT AUDIO LEVEL ボリュームを有効にするかしないかを設定します。

->< MIC / AUDIO 1 >	
FRONT VR CH1	: OFF
FRONT VR CH2	: OFF
MIC LOWCUT CH1	: OFF
MIC LOWCUT CH2	: OFF
MIC LOWCUT CH3	: OFF
MIC LOWCUT CH4	: OFF
LIMITER CH1	: OFF
LIMITER CH2	: OFF
AUTO LEVEL CH3	: ON
AUTO LEVEL CH4	: ON
REC CH3 / CH4	: SW
CUE REC SELECT	: CH1
TEST TONE	: NORMAL

設定項目と設定内容について

項目	可変範囲	備考
FRONT VR CH1	FRONT W.L. REAR ALL OFF	音声 CH1 に選択された入力信号に対して、FRONT AUDIO LEVEL ボリュームを有効にするかどうか選択します。 FRONT: FRONT が選択された時のみ有効です。 W.L.: WIRELESS が選択された時のみ有効です。 REAR: REAR が選択された時のみ有効です。 ALL: どの入力も選択されても有効です。 OFF: どの入力も選択されても無効です。ボリュームを回しても録音レベルは変化しません。
FRONT VR CH2	FRONT W.L. REAR ALL OFF	音声 CH2 に選択された入力信号に対して、FRONT AUDIO LEVEL ボリュームを有効にするかどうか選択します。 FRONT: FRONT が選択された時のみ有効です。 W.L.: WIRELESS が選択された時のみ有効です。 REAR: REAR が選択された時のみ有効です。 ALL: どの入力も選択されても有効です。 OFF: どの入力も選択されても無効です。ボリュームを回しても録音レベルは変化しません。

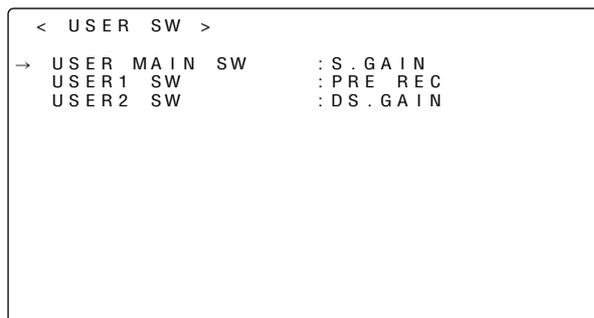
4-9-3 USER MAIN、USER1 および USER2 ボタンへの機能割り付け

USER MAIN、USER1 および USER2 ボタンに希望の機能を割り当てることができます。

本機能の選択は、メニュー操作で、OPERATION ページから <USER SW> 画面を開き、USER MAIN SW 項目と USER1 SW 項目と USER2 SW 項目で各々に希望機能を設定します。

<ノート>

本機の電源を一度 OFF にすると、USER ボタンに割り当てた機能が無効になります。再度、電源を ON にしたときは、USER ボタンを押して、割り当てた機能を有効にしてください。



選択可能な機能について

INH :

機能を割り付けません。

S.GAIN :

S.GAIN 機能を割り付けます。

DS.GAIN :

DS.GAIN 機能を割り付けます。

LINE MIX :

LINE MIX GAIN (+6 dB) 機能を割り付けます。

S.IRIS :

SUPER IRIS 機能を割り付けます。

逆光補正を行う時に有効です。

I.OVR :

IRIS オーバーライド機能を割り付けます。

オートアイリスモードでの目標値 (基準値) を変更します。目標値を変更するには、本モードに設定してから、JOG ダイヤルボタンを押すと目標値の変更が可能になります。JOG ダイヤルボタンを左右に回し、目標値を変更します。ビューファインダー画面上のアイリス表示部の左側に +、++、- または -- が表示されます。

変更したい位置で JOG ダイヤルボタンの回転を止め、JOG ダイヤルボタンを押すと目標値の変更が確定します。なお、このモードを解除する場合は、再度 USER ボタンを押してください。また、一端電源をオフにすると基準値に戻ります。

+ : 絞りを 0.5 開きぎみにします。

++ : 絞りを 1 開きぎみにします。

- : 絞りを 0.5 閉じぎみにします。

-- : 絞り 1 閉じぎみにします。

無表示 : 基準値です。

S.BLK :

SUPER BLACK 機能を割り付けます。

黒レベルをペダスタルレベル以下にする機能です。

B.GAMMA :

BLACK GAMMA 機能を割り付けます。

黒の階調を強調する機能です。

メニューの BLACK GAMMA 項目 (PAINT ページの <LOW SETTING> 画面、<MID SETTING> 画面、<HIGH SETTING> 画面) で設定された値に関わらず、BLACK GAMMA : +3 が設定されます。

AUDIO CH1 :

音声チャンネル 1 の入力信号を切り替える機能を割り付けます。

押すごとに FRONT → W.L. → REAR の順番で切り替わります。このとき AUDIO IN スイッチも操作を受け付け可能で、より後に受け付けた操作を優先します。

AUDIO CH2 :

音声チャンネル 2 の入力信号を切り替える機能を割り付けます。

押すごとに FRONT → W.L. → REAR の順番で切り替わります。このとき AUDIO IN スイッチも操作を受け付け可能で、より後に受け付けた操作を優先します。

REC SW :

VTR の START ボタンの機能を割り付けます。

Y GET :

センターマーカー部の輝度レベルを表示させる機能を割り付けます。

RET SW :

レンズの RET ボタンの機能を割り付けます。

D.ZOOM :

デジタルズーム機能を割り付けます。

画角の縦横を 2 倍、3 倍、4 倍に拡大することが可能です。本機能を用いると、輝度を低下させることなく、画面を拡大することができます。

PRE REC :

PRE RECORDING を ON/OFF する機能を割り付けます。

PRE RECORDING を行う時間は、メニュー操作で SYSTEM SETTING ページから <REC FUNCTION> 画面を開き、PRE REC TIME 項目で設定します。

DRS :

ダイナミックレンジストレッチャーの機能を割り付けます。

高輝度な部分の映像レベルを圧縮し、ダイナミックレンジを拡大する機能です。

<ノート>

- DRS 機能は、高輝度な部分の映像レベルを圧縮するので、DRS 機能を ON/OFF することにより、発色に若干の差が生じることがあります。

- DRS 機能を ON にしているときは、ニ一機能や BLACK GAMMA 機能が動作しません。

- DRS 機能と LINE MIX GAIN 機能や D.ZOOM 機能を同時に機能させると、DRS 機能が低下することがあります。

第4章 記録のための調整と設定 (つづき)

4-9-4 色温度を手動で設定する

ホワイトバランスを色温度設定により手動で調整することができます。

手動での色温度設定は、WHITE BAL スイッチの PRST、A、B それぞれに設定可能です。

メニュー操作で、OPERATION ページから <WHITE BALANCE MODE> 画面を開き、COLOR TEMP PRE 項目、AWB A TEMP 項目、AWB B TEMP 項目で色温度を設定したとき、手動での色温度が WHITE BAL スイッチの各ポジションに設定されます。

<ノート>

手動で色温度を設定していても、WHITE BAL スイッチの A、または B のポジションでホワイトバランスの自動調整を行うと、そのときの色温度が WHITE BAL スイッチの A、または B のポジションにメモリーされます。

```
→< WHITE BALANCE MODE >
FILTER INH           : ON
SHOCKLESS AWB       : NORMAL
AWB AREA             : 25%

COLOR TEMP PRE      : 3200K
AWB A TEMP          : 4300K
AWB B TEMP          : 5600K
```

4-10 設定データの取り扱い

設定データファイル構成

本機には、5つのファイルデータ領域があります。

FACTORY データ：

工場出荷状態を記憶しています。
メニュー操作により書き換えることができません。

USER データ：

メニュー操作により設定した値を記憶する領域です。
工場出荷の時点では、FACTORY データが記憶されています。

CURRENT データ：

本機の動作状態を記憶しています。
メニュー操作により、この領域の設定値を変更します。

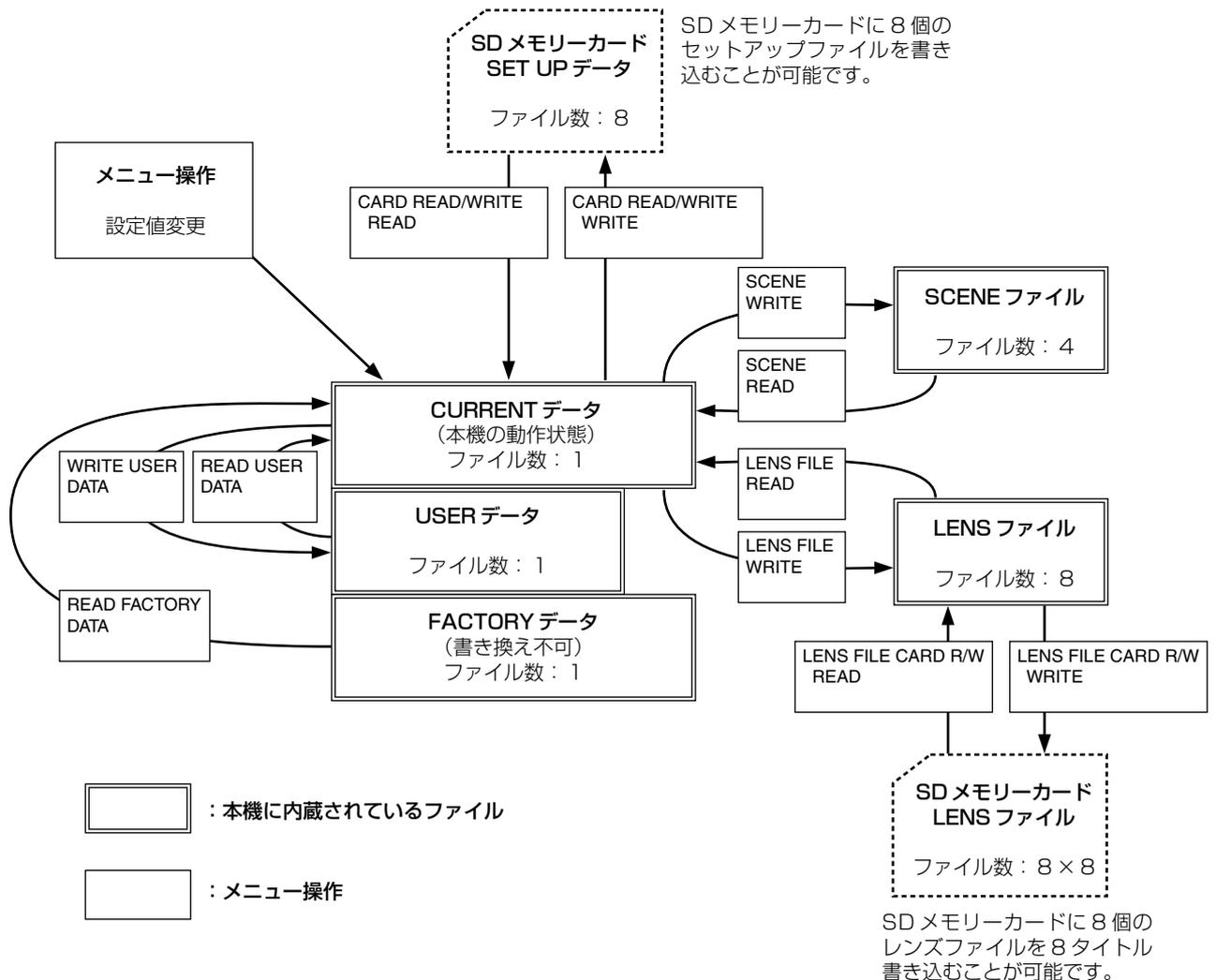
SCENE ファイル：

4つのシーンファイルを備えています。

LENS ファイル：

8つのレンズファイルを備えています。

各領域からの読み出し、または各領域への記憶が可能なメニュー項目は、「第7章 MENU 一覧」を参照してください。



第4章 記録のための調整と設定 (つづき)

4-10-1 セットアップカードの取り扱い

SDメモリーカード（別売品）をセットアップカードとして使用し、設定メニューの内容を8ファイルまで記憶させることができます。

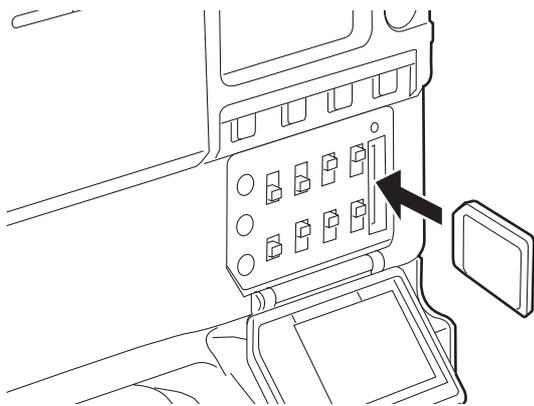
セットアップカードは、電源を入れる前でも入れた後でも出し入れすることができます。

<ノート>

- 本機で使用できるSDメモリーカードの容量は、8MB～2GBです。
- SDメモリーカードは、必ず、本機でフォーマットしてください。

セットアップカードを入れるには

スイッチカバーの蓋を開け、セットアップカード（別売品）の切り欠き部を上にして、セットアップカード挿入口に差し込み、スイッチカバーの蓋を閉めます。



<ノート>

セットアップカードの向きが正しいことを確認してからセットアップカードを入れてください。入れる際に抵抗があって入りにくいときは、セットアップカードが裏向き、または上下が逆になっている可能性があります。無理に押し込まず、向きを再度確認して正しく入れ直してください。

セットアップカードを取り出すには

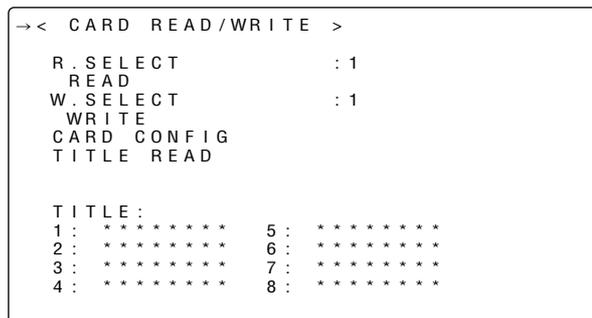
スイッチカバーの蓋を開け、BUSYランプが点灯していないことを確認してからセットアップカードを更に本体側へ押し込みます。セットアップカードが挿入口から浮いてきますので、セットアップカードをつかみ引き抜き、スイッチカバーの蓋を閉めます。

使用時、保管時は以下の点にご注意ください。

- 高温・多湿を避ける。
- 水滴を付けない。
- 帯電を避ける。

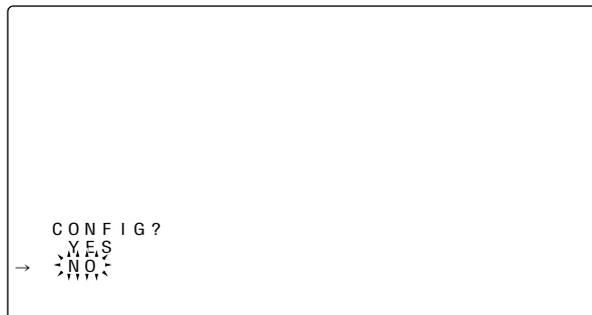
4-10-2 セットアップカードの操作

セットアップカードのフォーマットや、設定データのセットアップカードへの書き込み、または書き込まれたデータの読み出し操作は、メニュー操作でFILEページから<CARD READ/ WRITE>画面を開いて行います。



セットアップカードをフォーマットするには

- 1 メニュー操作を行い、<CARD READ/WRITE>画面を開きます。
- 2 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）をCARD CONFIGの項目に移動します。
- 3 JOGダイヤルボタンを押すと、次のようなメッセージが表示されます。



- 4 セットアップカードのフォーマットを行う場合は、JOGダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）をYESに移動し、JOGダイヤルボタンを押します。セットアップカードのフォーマットが終了すると、次のようなメッセージが表示されます。



第4章 記録のための調整と設定 (つづき)

JOGダイヤルボタンを押したときに、下記のメッセージが表示されると、フォーマットは実行されません。

エラーメッセージ	対策
CONFIG NG NO CARD (セットアップカードが挿入されていません)	カードを挿入します。
CONFIG NG ERROR (フォーマットができません)	カードの不良が考えられます。 カードを交換します。
CONFIG NG WRITE PROTECT	カードを取り出してプロテクトを解除してください。

- 5** メニュー操作を終了するときは、MENU ボタンを押します。
設定メニューが消え、本機の現在の状態を示す表示が、ビューファインダー画面の上端と下端に表示されます。

<ノート>

<CARD READ/WRITE> 画面が開いている状態でセットアップカードを挿入したときは、データのタイトルを認識できません。

TITLE READ の項目に矢印 (カーソル) を移動し、JOGダイヤルボタンを押してください。

データのタイトルを認識し、タイトルを表示します。

設定したデータをセットアップカードに書き込むには

- 1** メニュー操作を行い、<CARD READ/WRITE> 画面を開きます。

ファイル No. を選択する

- 2** JOGダイヤルボタンを回して、矢印 (カーソル) を「W.SELECT」項目に移動し、JOGダイヤルボタンを押します。

```

< CARD READ/WRITE >
R . SELECT      : 1
  READ
→ W . SELECT    : 1
  WRITE
  CARD CONFIG
  TITLE READ

TITLE :
1 : ***** 5 : *****
2 : ***** 6 : *****
3 : ***** 7 : *****
4 : ***** 8 : *****
    
```

- 3** JOGダイヤルボタンを回して、1～8までの任意の番号を選択し、JOGダイヤルボタンを押します。

選択したファイルにタイトルを付ける

- 4** JOGダイヤルボタンを回して、矢印 (カーソル) を「TITLE :」の項目に移動します。

```

< CARD READ/WRITE >
R . SELECT      : 1
  READ
W . SELECT      : 1
  WRITE
  CARD CONFIG
  TITLE READ

→ TITLE :
1 : ***** 5 : *****
2 : ***** 6 : *****
3 : ***** 7 : *****
4 : ***** 8 : *****
    
```

- 5** JOGダイヤルボタンを押すと、タイトル入力エリアに矢印 (カーソル) が移動して入力モードになります。

```

< CARD READ/WRITE >
R . SELECT      : 1
  READ
W . SELECT      : 1
  WRITE
  CARD CONFIG
  TITLE READ

↓
TITLE :
1 : ***** 5 : *****
2 : ***** 6 : *****
3 : ***** 7 : *****
4 : ***** 8 : *****
    
```

- 6** 設定したい文字が現れるまで、JOGダイヤルボタンを回します。

JOGダイヤルボタンを回すと、文字表示が

スペース:



アルファベット: A～Z



数字: 0～9



記号: '、>、<、/、—

の順に切り替わります。

- 7** JOGダイヤルボタンを押して、文字を確定します。

- 8** JOGダイヤルボタンを回して、矢印 (カーソル) を次の位置 (右) に移動し、6～7の操作を繰り返して、文字を設定します。(8文字以内)

第4章 記録のための調整と設定 (つづき)

選択したファイルにデータを書き込む

9 タイトルの入力が終わると JOG ダイアルボタンを回して、矢印（カーソル）を「:」の位置に移動します。

```
< CARD READ/WRITE >
R.SELECT          : 1
  READ
W.SELECT          : 1
  WRITE
CARD CONFIG
TITLE READ
↓
TITLE :
1 : ***** 5 : *****
2 : ***** 6 : *****
3 : ***** 7 : *****
4 : ***** 8 : *****
```

10 JOG ダイアルボタンを押すと、矢印（カーソル）が「TITLE :」の項目に戻ります。

11 JOG ダイアルボタンを回して、矢印（カーソル）を「WRITE」の項目に移動します。

12 JOG ダイアルボタンを押すと、次のようなメッセージが表示されます。

```
WRITE ?
YES
→ NO
TITLE :
```

JOG ダイアルボタンを押したときに、下記のメッセージが表示されると、データを書き込むことができません

エラーメッセージ	対策
WRITE NG NO CARD (セットアップカードが挿入されていません)	カードを挿入します。
WRITE NG FORMAT ERROR (フォーマットが違います)	本機以外の機器でフォーマットされたカードです。 カードを交換します。
WRITE NG ERROR (書き込みができません)	カードの不良が考えられます。 カードを交換します。
WRITE NG WRITE PROTECT	カードを取り出してプロテクトを解除してください。

13 JOG ダイアルボタンを回して矢印（カーソル）を YES に移動し、JOG ダイアルボタンを押します。
データの書き込みが終了すると、次のようなメッセージが表示されます。

```
WRITE OK
```

14 メニュー操作を終了するときは、MENU ボタンを押します。
設定メニューが消え、本機の現在の状態を示す表示が、ビューファインダー画面の上端と下端に表示されます。

<ノート>

- 本機以外で書き込まれた SD メモリーカードを装着した場合、セットアップファイルのタイトルに ERROR と表示されます。
- 本機で新しく設定したセットアップファイルを、本機以外の他の機器で設定したセットアップファイルに上書きすることができます。上書きを行った場合、他の機器で設定したセットアップファイルは失われますのでご注意ください。
- それぞれの機器ごとで、SD メモリーカードを管理することをお勧めします。

セットアップカードに書き込まれているデータを読み出すには

1 メニュー操作を行い、<CARD READ/WRITE> 画面を開きます。
データを書き込むときにタイトルを付けておくとタイトルも表示されます。

ファイル No. を選択する

2 JOG ダイアルボタンを回して、矢印（カーソル）を「R.SELECT」項目に移動し、JOG ダイアルボタンを押します。

```
< CARD READ/WRITE >
→ R.SELECT          *****
  READ
W.SELECT          1
  WRITE
CARD CONFIG
TITLE READ

TITLE :
1 : ***** 5 : *****
2 : ***** 6 : *****
3 : ***** 7 : *****
4 : ***** 8 : *****
```

3 JOG ダイアルボタンを回して、1～8 までの任意の番号を選択し、JOG ダイアルボタンを押します。

第4章 記録のための調整と設定 (つづき)

選択したファイルのデータを読み出す

- 4 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を「READ」の項目に移動します。

```

< CARD READ/WRITE >
R.SELECT          :1
→ READ
W.SELECT          :1
WRITE
CARD CONFIG
TITLE READ

TITLE:
1: ***** 5: *****
2: ***** 6: *****
3: ***** 7: *****
4: ***** 8: *****
    
```

- 5 JOGダイヤルボタンを押すと、次のようなメッセージが表示されます。

```

READ?
YES
→ NO
    
```

- 6 JOGダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）をYESに移動し、JOGダイヤルボタンを押します。データの読み出しが終了すると、次のようなメッセージが表示されます。

```

READ OK
    
```

JOGダイヤルボタンを押したときに、下記のメッセージが表示されると、データを読み出すことができません。

エラーメッセージ	対策
READ NG NO CARD (セットアップカードが挿入されていません)	カードを挿入します。
READ NG FORMAT ERROR (フォーマットが違います)	本機以外の機器でフォーマットされたカードです。 カードを交換します。
READ NG NO FILE (ファイルがありません)	ファイルデータを書き込みます。
READ NG ERROR (読み出しができません)	本機以外で書き込まれたデータは読み出せません。

- 7 メニュー操作を終了するときには、MENUボタンを押します。設定メニューが消え、カードから読み出されたデータに基づく設定状態が、ビューファインダー画面の上端と下端に表示されます。

第4章 記録のための調整と設定 (つづき)

4-10-3 ユーザーデータの使い方

本機の内部メモリーのユーザーデータエリアに、設定データの内容の書き込み、または書き込まれたデータの読み出しをすることができます。

このデータを使えば、適切なセットアップ状態を素早く再現できます。

設定データをユーザーエリアに書き込むには

- 1 メニュー操作を行い、<INITIALIZE>画面を開きます。
- 2 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）をWRITE USER DATAの項目に移動します。

```
< INITIALIZE >
  READ FACTORY DATA
→ WRITE USER DATA
```

- 3 JOGダイヤルボタンを押すと、次のようなメッセージが表示されます。

```
WRITE?
  YES
→ NO
```

- 4 JOGダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）をYESに移動し、JOGダイヤルボタンを押します。
設定したデータが本機の内部メモリーのユーザーデータエリアに書き込まれます。
- 5 メニュー操作を終了するには、MENUボタンを押します。

書き込まれたユーザーデータを読み出すには

- 1 メニュー操作を行い、<SCENE>画面を開きます。
- 2 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）をREAD USER DATA項目に移動します。

```
< SCENE >
→ READ USER DATA
  SCENE SEL          : 1
  READ
  WRITE
  RESET

TITLE1 : *****
TITLE2 : *****
TITLE3 : *****
TITLE4 : *****
```

- 3 JOGダイヤルボタンを押すと、次のようなメッセージが表示されます。

```
READ?
  YES
→ NO
```

- 4 JOGダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）をYESに移動し、JOGダイヤルボタンを押します。
本機の内部メモリーのユーザーデータエリアに書き込まれたデータが読み出され、設定が完了します。
- 5 メニュー操作を終了するには、MENUボタンを押します。

第4章 記録のための調整と設定 (つづき)

4-10-4 シーンファイルデータの使い方

本機の内部メモリーのシーンファイルエリアに、設定データの内容の書き込み、または書き込まれたデータの読み出しをすることができます。なお、シーンファイルは、4種類登録可能です。このデータを使えば、適切なセットアップ状態を素早く再現できます。

出荷時は4種類ともすべて工場出荷プリセット値が設定されていますが、次の操作を行うことにより設定内容を変えることが可能です。

操作は、メニュー操作でFILEページから<SCENE>画面を開いて行います。

シーンファイル用設定データを書き込むには

- 1 メニュー操作を行い、SCENE画面を開きます。
- 2 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）をSCENE SELの項目に移動します。
- 3 JOGダイヤルボタンを押すと、シーンファイル番号が点滅しますので、JOGダイヤルボタンを回して記録するシーンファイルを選択します。

```
< SCENE >
  READ USER DATA
  → SCENE SEL          : 1
  READ
  WRITE
  RESET
  TITLE1 : *****
  TITLE2 : *****
  TITLE3 : *****
  TITLE4 : *****
```

- 4 JOGダイヤルボタンを押し、シーンファイルを確認します。
- 5 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）をWRITEの項目に移動します。

```
< SCENE >
  READ USER DATA
  SCENE SEL          : 1
  READ
  → WRITE
  RESET
  TITLE1 : *****
  TITLE2 : *****
  TITLE3 : *****
  TITLE4 : *****
```

- 6 JOGダイヤルボタンを押すと、次のようなメッセージが表示されます。

```
WRITE?
  YES
  → NO
TITLE:
```

- 7 JOGダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）をYESに移動し、JOGダイヤルボタンを押します。設定したデータが本機の内部メモリーのシーンファイルエリアに記憶されます。
- 8 メニュー操作を終了するには、MENUボタンを押します。

第4章 記録のための調整と設定 (つづき)

シーンファイル用設定データを読み出すには

- 1 メニュー操作を行い、<SCENE>画面を開きます。
- 2 JOG ダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を SCENE SEL の項目に移動します。
- 3 JOG ダイヤルボタンを押すと、シーンファイル番号が点滅しますので、JOG ダイヤルボタンを回して読み出すシーンファイルを選択します。

```
< SCENE >
READ USER DATA
→ SCENE SEL          : 1
  READ
  WRITE
  RESET

TITLE1 : *****
TITLE2 : *****
TITLE3 : *****
TITLE4 : *****
```

- 4 JOG ダイヤルボタンを押し、シーンファイルを確認します。
- 5 JOG ダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を READ の項目に移動します。

```
< SCENE >
READ USER DATA
SCENE SEL          : 1
→ READ
  WRITE
  RESET

TITLE1 : *****
TITLE2 : *****
TITLE3 : *****
TITLE4 : *****
```

- 6 JOG ダイヤルボタンを押すと、次のようなメッセージが表示されます。

```
READ?
  YES
→ :NO:
```

- 7 JOG ダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）を YES に移動し、JOG ダイヤルボタンを押します。
本機の内部メモリーのシーンファイルエリアに記憶されたデータが読み出され、設定が完了します。
- 8 メニュー操作を終了するには、MENU ボタンを押します。

シーンファイル用設定データを工場出荷状態にするには

- 1 メニュー操作を行い、<SCENE>画面を開きます。
- 2 JOG ダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を SCENE SEL の項目に移動します。
- 3 JOG ダイヤルボタンを押すと、シーンファイル番号が点滅しますので、JOG ダイヤルボタンを回してリセットするシーンファイルを選択します。

```
< SCENE >
READ USER DATA
→ SCENE SEL          : 1
  READ
  WRITE
  RESET

TITLE1 : *****
TITLE2 : *****
TITLE3 : *****
TITLE4 : *****
```

- 4 JOG ダイヤルボタンを押し、シーンファイルを確認します。
- 5 JOG ダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を「RESET」の項目に移動します。

```
< SCENE >
READ USER DATA
SCENE SEL          : 1
→ RESET

TITLE1 : *****
TITLE2 : *****
TITLE3 : *****
TITLE4 : *****
```

- 6 JOG ダイヤルボタンを押すと、次のようなメッセージが表示されます。

```
RESET?
  YES
→ :NO:
```

第4章 記録のための調整と設定 (つづき)

7 JOGダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）をYESに移動し、JOGダイヤルボタンを押します。
本機の内部メモリのシーンファイルエリアに記憶されたデータがリセットされて工場出荷状態に戻ります。

8 メニュー操作を終了するには、MENUボタンを押します。

シーンファイル用設定データにタイトルをつけるには

1 メニュー操作を行い、<SCENE>画面を開きます。

2 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）をタイトルを付けるシーンファイル「TITLE 1～4」の項目に移動します。

```
< SCENE >
READ USER DATA
SCENE SEL      : 1
READ
WRITE
RESET
→ TITLE1 : *****
TITLE2  : *****
TITLE3  : *****
TITLE4  : *****
```

3 JOGダイヤルボタンを押すと、矢印（カーソル）がタイトル入力エリアに移動して入力モードになります。

```
< SCENE >
READ USER DATA
SCENE SEL      : 1
READ
WRITE
RESET
TITLE1 : *****
          ↓
TITLE2  : *****
TITLE3  : *****
TITLE4  : *****
```

4 設定したい文字が現れるまで、JOGダイヤルボタンを回します。

JOGダイヤルボタンを回すと、文字表示が

スペース： □



アルファベット： A～Z



数字： 0～9



記号： '、>、<、/、-

の順に切り替わります。

5 JOGダイヤルボタンを押して、文字を確定します。

6 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を次の位置（右）に移動し、**4～5**の操作を繰り返して、文字を設定します。（8文字以内）

7 タイトルの入力が終わるとJOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を「:」の位置に移動します。

8 JOGダイヤルボタンを押すと、矢印（カーソル）がTITLE 1～4の項目に戻ります。

9 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）をWRITEの項目に移動します。

10 JOGダイヤルボタンを押すと、次のようなメッセージが表示されます。

```
WRITE?
YES
→ NO
TITLE:
```

11 JOGダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）をYESに移動し、JOGダイヤルボタンを押します。
タイトルが本機の内部メモリのシーンファイルエリアに記憶されます。

12 メニュー操作を終了するには、MENUボタンを押します。

第4章 記録のための調整と設定 (つづき)

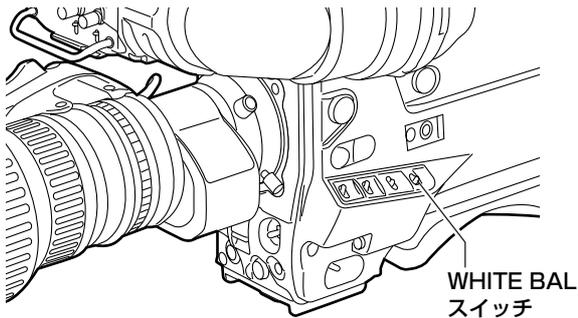
4-10-5 ユーザーの設定状態に戻す方法

本機のメニューの設定状態を「4-10-3 ユーザーデータの使い方」で一度登録したユーザーの設定状態に戻すことができます。

操作は、「4-10-3 ユーザーデータの使い方」でのUSER DATAの読み出しをする方法と、メニュー操作をしないで戻す方法があります。

FILEメニュー操作をしない場合の操作方法

- 1 POWERスイッチをOFFにします。
- 2 WHITE BALスイッチをPRSTの位置にします。



- 3 AUTO W/B BALスイッチを押し上げながら、POWERスイッチをONにします。USERメニューの各項目の設定が、一度に標準のUSER DATAに戻ります。

4-10-6 工場出荷の状態に戻す方法

本機のメニューの設定状態を工場出荷の標準設定値の状態に戻すことができます。

- 1 メニュー操作を行い、<INITIALIZE>画面を開きます。
- 2 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）をREAD FACTORY DATAの項目に移動します。



- 3 JOGダイヤルボタンを押すと、次のようなメッセージが表示されます。



- 4 JOGダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）をYESに移動し、JOGダイヤルボタンを押します。読み出された工場出荷時のデータが本機に設定されます。
 - ユーザーデータは、変更されません
- 5 メニュー操作を終了するには、MENUボタンを押します。

第4章 記録のための調整と設定 (つづき)

4-10-7 レンズファイル

本機の内蔵メモリーには、8個のレンズファイルが記憶されています。

SDメモリーカードには、8個のレンズファイルを1タイトルとして、8タイトル（計64個）のレンズファイルを書き込むことができます。

レンズファイルには、下記のデータが記録されます。

- タイトル名
- ホワイトシェーディング補正值
- フレア補正值
- RB ゲインオフセット補正值

4-10-8 レンズファイルの作成方法

ホワイトシェーディングの調整

ホワイトシェーディングの調整は、「5-3 レンズのホワイトシェーディング調整」を参照してください。

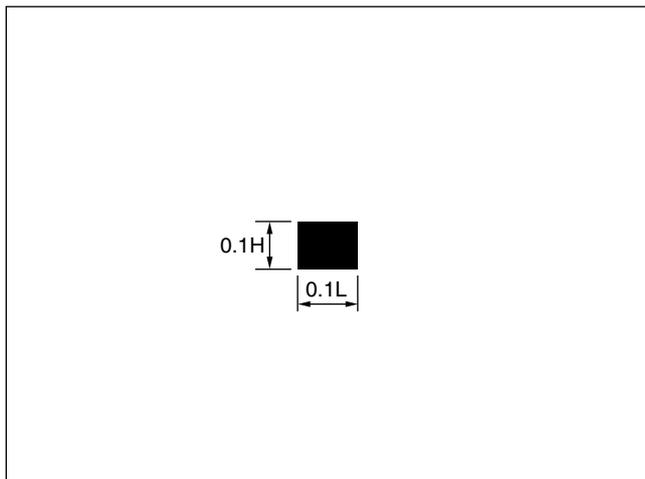
フレアの調整

メニュー操作で MAINTENANCE ページから <LENS FILE ADJ> 画面を開き、LENS R FLARE 項目、LENS G FLARE 項目、LENS B FLARE 項目でフレアの調整を行います。

```
→< LENS FILE ADJ >
RB GAIN CTRL RESET:ON
LENS R GAIN OFFSET:+000
LENS B GAIN OFFSET:+000

LENS R FLARE      :000
LENS G FLARE      :000
LENS B FLARE      :000
```

フレア調整用チャートの例



ゲインオフセットの調整

レンズを交換したときに生じる、ホワイトバランスの変化を補正します。

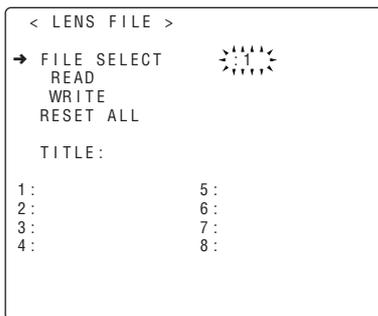
- 1 基準にするレンズを本機に装着します。
- 2 適切な照明（2000 lx、3200Kが望ましい）でグレースケールチャートを撮影します。
- 3 WHITE BAL スイッチを「A」の位置にします。
- 4 グレースケールチャート中央の白ウインドウが、80%程度になるようにレンズ絞りを調整します。
- 5 AUTO W/B BAL スイッチを「AWB」側に押して、ホワイトバランスの自動調整を行います。
- 6 ウェーブフォームモニター（WFM）でRGBの信号レベルを測定します。
- 7 レンズファイルを作成するレンズに交換します。
- 8 Gchの信号レベルを、6で得た信号レベルと同じになるようにレンズの絞りを微調整します。
- 9 メニュー操作で MAINTENANCE ページから <LENS FILE ADJ> 画面を開き、RB GAIN CTRL RESET 項目をONに設定します。
- 10 LENS R OFFSET 項目で Rchの信号レベルがGchと同じになるように調整します。
- 11 同様に、LENS B OFFSET 項目で Bchの信号レベルがGchと同じになるように調整します。

第4章 記録のための調整と設定 (つづき)

4-10-9 レンズファイルを内蔵メモリーに書き込む

ファイルNo. を選択する

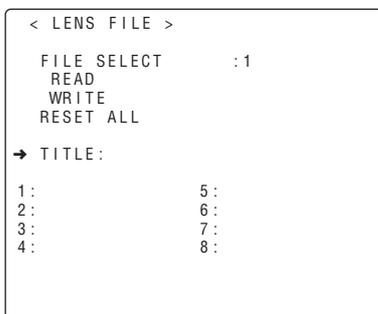
- 1 メニュー操作で、FILE ページから<LENS FILE>画面を開きます。
- 2 JOG ダイアルボタンを回して、矢印（カーソル）を「FILE SELECT」項目に移動します。
- 3 JOG ダイアルボタンを押すと、ファイル番号が点滅しますので、JOG ダイアルボタンを回して記録するファイル（1～8）を選択します。



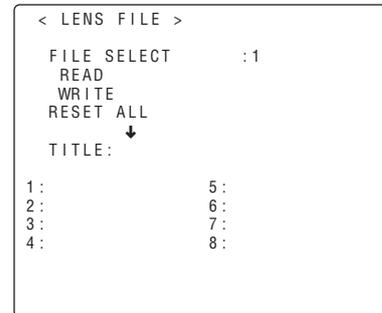
- 4 JOG ダイアルボタンを押して、ファイル番号を確定します。

選択したファイルにタイトルを付ける

- 5 JOG ダイアルボタンを回して、矢印（カーソル）を「TITLE :」の項目に移動します。



- 6 JOG ダイアルボタンを押すと、タイトル入力エリアに矢印（カーソル）が移動して入力モードになります。

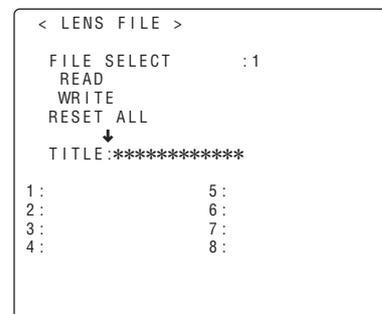


- 7 再度 JOG ダイアルボタンを押し、設定したい文字が現れるまで JOG ダイアルボタンを回します。JOG ダイアルボタンを回すと、文字表示が
スペース：□
↓
アルファベット：A～Z
↓
数字：0～9
↓
記号：'、>、<、/、-、.、x
の順に切り替わります。

- 8 JOG ダイアルボタンを押して、文字を確定します。

- 9 JOG ダイアルボタンを回して、矢印（カーソル）を次の位置（右）に移動し、7・8の操作を繰り返して、文字を設定します。（12文字以内）

- 10 タイトルの入力が終わると JOG ダイアルボタンを回して、矢印（カーソル）を「:」の位置に移動します。



- 11** JOG ダイアルボタンを押すと、矢印（カーソル）が「TITLE :」の項目に戻ります。

```
< LENS FILE >
FILE SELECT      :1
  READ
  WRITE
  RESET ALL
→ TITLE:*****
1:                5:
2:                6:
3:                7:
4:                8:
```

- 12** JOG ダイアルボタンを回して、矢印（カーソル）を「WRITE」の位置に移動します。

```
< LENS FILE >
FILE SELECT      :1
  READ
→ WRITE
  RESET ALL
TITLE:*****
1:                5:
2:                6:
3:                7:
4:                8:
```

- 13** JOG ダイアルボタンを押すと、次のようなメッセージが表示されます。

```
WRITE ?
  YES
→ NO
```

- 14** JOG ダイアルボタンを回して、矢印（カーソル）を「YES」に移動し、JOG ダイアルボタンを押します。

現在のホワイトシェーディング補正值、フレア補正值、RB ゲインオフセット補正值が、本機の内蔵メモリに記憶されます。

<ノート>

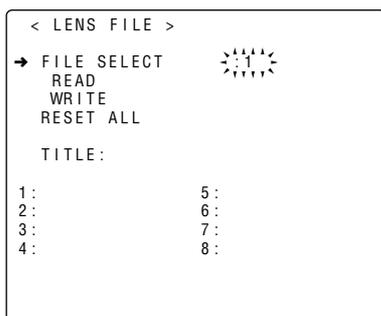
「WRITE」を実行しないで他のメニュー画面に移動したり、メニューを終了したりしたときは、内蔵メモリには記憶されません。

- 15** MEMU ボタンを2度押します。
設定メニューが消え、本機の現在の状態を示す表示が、ビューファインダー画面の上端と下端に表示されます。

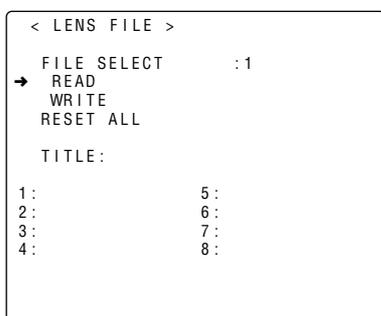
第4章 記録のための調整と設定 (つづき)

4-10-10 レンズファイルを内蔵メモリーから読み出す

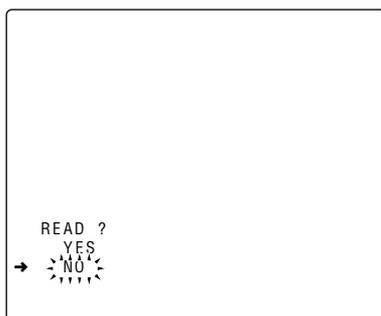
- 1 メニュー操作で、FILE ページから <LENS FILE> 画面を開きます。
- 2 JOG ダイアルボタンを回して、矢印（カーソル）を「FILE SELECT」項目に移動します。
- 3 JOG ダイアルボタンを押すと、ファイル番号が点滅しますので、JOG ダイアルボタンを回して読み出すファイル（1～8）を選択します。



- 4 JOG ダイアルボタンを押して、ファイル番号を確定します。
- 5 JOG ダイアルボタンを回して、矢印（カーソル）を READ の項目に移動します。



- 6 JOG ダイアルボタンを押すと、次のようなメッセージが表示されます。



7 JOG ダイアルボタンを回して矢印（カーソル）を YES に移動し、JOG ダイアルボタンを押します。記録されているホワイトシェーディングファイルのデータが読み出されます。

8 MEMU ボタンを2度押します。設定メニューが消え、本機の現在の状態を示す表示が、ビューファインダー画面の上端と下端に表示されます。

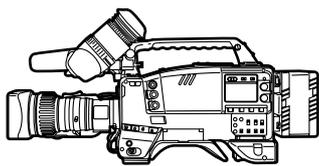
第4章 記録のための調整と設定 (つづき)

4-10-11 レンズファイルのSDメモリーカードへの書き込みと読み出し

本機の内蔵メモリーに記憶された8個のレンズファイルの内容を、1タイトルのカードファイルとしてSDメモリーカードに書き込むことができます。SDメモリーカードには、8タイトル書き込むことができます。

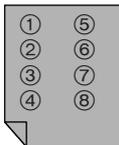
また、SDメモリーカードに書き込まれたレンズファイルは、書き込んだ1タイトル(8個のレンズファイル)を内蔵メモリーに読み出すことができます。

内蔵メモリーに記憶されたレンズファイルとSDメモリーカードに書き込まれたレンズファイルの関係は次のようになっています。



内蔵メモリー

8個のレンズファイル

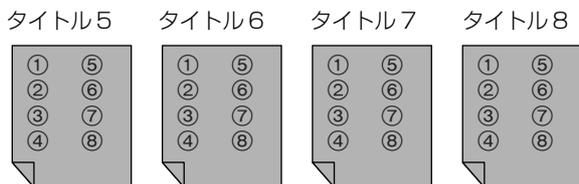
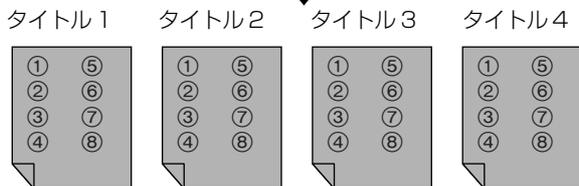


内蔵メモリーのレンズファイルは、8個まで記憶することができます。



8個のレンズファイルの内容を、1タイトルのカードファイルとしてSDメモリーカードに書き込むことや読み出すことができます。

カードファイル

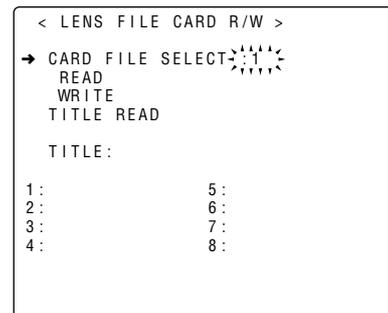


8個のレンズファイル×8 = 64個のレンズファイルを書き込むことが可能です。

SDメモリーカードにレンズファイルを書き込むには

カードファイルNo. を選択する

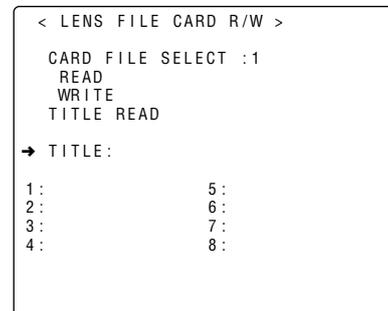
- 1 メニュー操作で、FILE ページから <LENS FILE CARD R/W> 画面を開きます。
- 2 JOG ダイヤルボタンを回して、矢印 (カーソル) を「CARD FILE SELECT」項目に移動します。
- 3 JOG ダイヤルボタンを押すと、カードファイル番号が点滅しますので、JOG ダイヤルボタンを回して書き込むファイル (1～8) を選択します。



- 4 JOG ダイヤルボタンを押して、ファイル番号を確定します。

選択したカードファイルにタイトルを付ける

- 5 JOG ダイヤルボタンを回して、矢印 (カーソル) を「TITLE :」の項目に移動します。



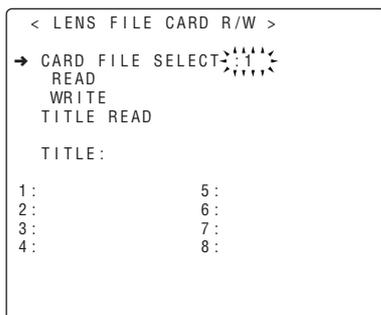
- 6 JOG ダイヤルボタンを押すと、タイトル入力エリアに矢印 (カーソル) が移動して入力モードになります。

以降、74ページのステップ7から75ページのステップ15までの操作を行ってください。

第4章 記録のための調整と設定 (つづき)

SDメモリーカードからレンズファイルを読み出すには

- 1 メニュー操作で、FILE ページから <LENS FILE CARD R/W> 画面を開きます。
- 2 JOG ダイアルボタンを回して、矢印（カーソル）を「CARD FILE SELECT」項目に移動します。
- 3 JOG ダイアルボタンを押すと、カードファイル番号が点滅しますので、JOG ダイアルボタンを回して読み出すファイル（1～8）を選択します。



- 4 JOG ダイアルボタンを押して、ファイル番号を確定します。

以降、76 ページのステップ5からステップ8までの操作を行ってください。

<ノート>

SDメモリーカード上のカードファイルのタイトルは <LENS FILE CARD R/W> 画面に表示されますが、中に含まれるレンズファイルのタイトルは、<LENS FILE CARD R/W> 画面に表示されません。

その都度、ファイルを読み出して、<LENS FILE> 画面で確認してください。

このとき、内蔵メモリーのレンズファイルが読み出したレンズファイルに書き換えられてしまいますので、一旦、内蔵メモリーのレンズファイルをSDメモリーカードに書き込んで、バックアップしてからSDメモリーカードのレンズファイルを読み出してください。

第5章 準備

5-1 電源の供給

本機の電源には、バッテリーパックまたは外部 DC 電源が使用できます。

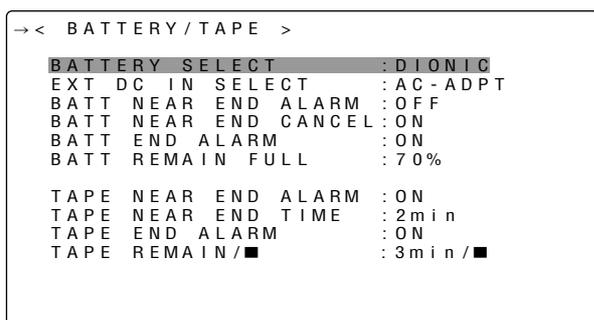
バッテリーパックを使用するには

バッテリーパックは、以下のバッテリーが使用できます。

- ・アントン・パウアー製
- ・IDX 製
- ・PACO 製
- ・ソニー製

バッテリーの種類はビューファインダーまたはモニター上のメニュー画面で確認・変更が可能です。

- 本機側面の MODE CHECK ボタンを押すと、ビューファインダー画面右上に、現在設定されているバッテリーの種類が表示されます。
- メニュー操作で VTR MENU ページから <BATTERY/TAPE> 画面を開き、BATTERY SELECT 項目で確認・変更が可能です。



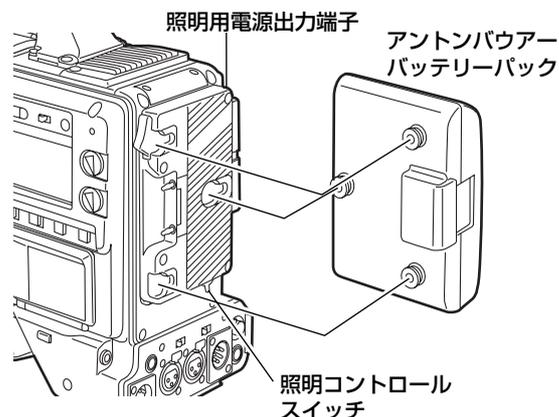
<ノート>

- 他のバッテリーについても、設定メニューを変更することにより対応が可能です。が、本機とのシステム保証はしていません。
- バッテリーパックをご使用になる前に、バッテリーチャージャーを使って充電してください。(充電方法の詳細については、それぞれの取扱説明書をお読みください)

5-1-1 バッテリーの取り付けおよび設定

アントンパウアーバッテリーパックをご使用の場合

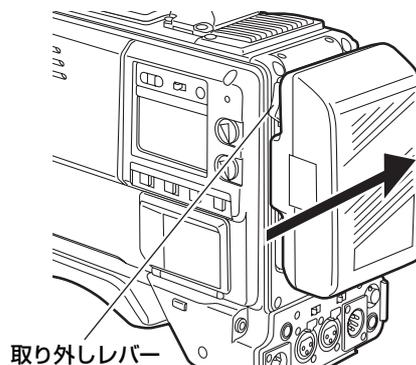
- 1 アントンパウアーバッテリーパックを取り付けます。



<ご参考>

アントンパウアーバッテリーホルダーには、照明用の電源出力端子と照明コントロールスイッチがついていますので、手軽にライトを取り付けることができます。照明システムの詳細については、アントンパウアー社にお問い合わせください。

- 2 矢印の方向に差し込んでから、スライドさせてください。



<ご参考> バッテリーパックを取り外すには

バッテリーホルダーの取り外しレバーを完全に下まで倒したまま、バッテリーパックを取り付け時とは逆の方向にスライドさせてください。

- 3 バッテリーの種類を設定します。
BATTERY SELECT 項目でバッテリーの種類を選択します。
BATTERY SELECT 項目は、VTR MENU ページの <BATTERY/TAPE> 画面から選択できます。
詳しくは、「7-8-3 BATTERY SETTING1」をご覧ください。

使用できるアントンパウアー製バッテリー

- ・ PROPAC14
- ・ TRIMPAC14
- ・ HYTRON50
- ・ HYTRON100
- ・ HYTRON120
- ・ DIONIC90
- ・ DIONIC100
- ・ DIONIC160

第5章 準備 (つづき)

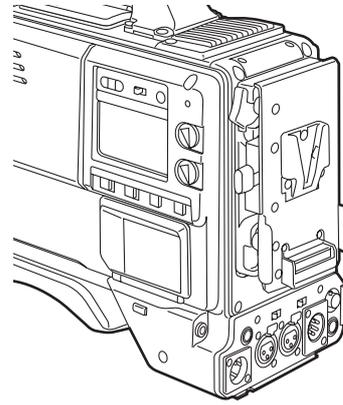
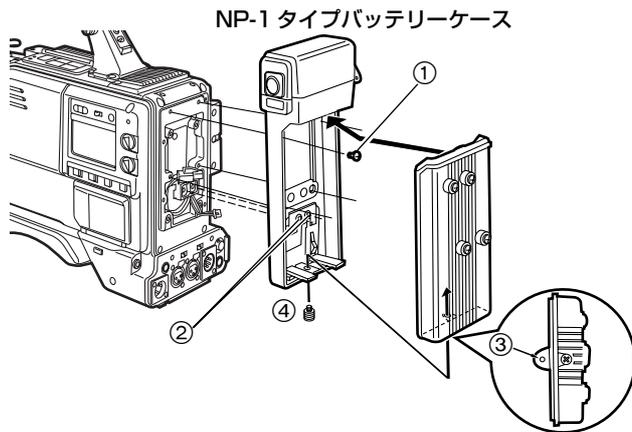
NP-1 タイプのバッテリーパックをご使用の場合

バッテリーホルダーを交換する際は、お買い上げの販売店にご相談ください。

- 1 バッテリーホルダーを、取り外します。
- 2 本機に NP-1 タイプバッテリーケースを取り付けます。
 - ① 取り付け用ネジを締めます。
 - ② 電源接触用ネジを締めます。
 - ③ 取り外したフタの上部を、矢印の方向に差し込みます。
 - ④ フタ下部（金属部分）の穴と、ケース部の穴を合わせてネジで取り付けます。

<ノート>

バッテリーホルダーを取り付ける時は、接続コードがカミ込まないように注意して取り付けてください。



- 3 バッテリーの種類を設定します。

BATTERY SELECT 項目でバッテリーの種類を選択します。

BATTERY SELECT 項目は、VTR MENU ページの <BATTERY/TAPE> 画面から選択できます。

BATTERY SELECT 項目にないバッテリーをご使用の場合、TYPE A、または TYPE B を選択して、特性に合わせて各項目を設定してください。

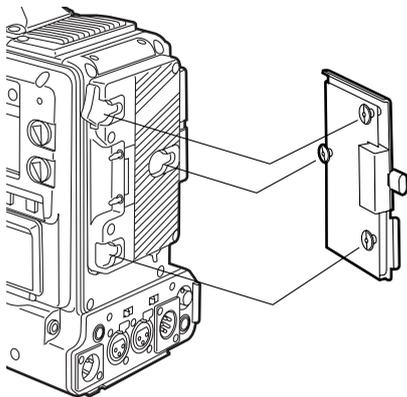
詳しくは、「7-8-4 BATTERY SETTING2」をご覧ください。

<ノート>

V-マウントアダプタープレートに関するお問い合わせは、お買い上げの販売店までお願いします。

V マウントタイプのバッテリーパックをご使用の場合

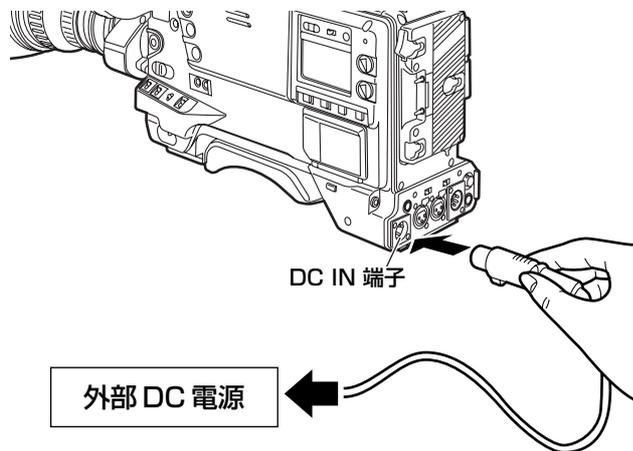
V-マウントアダプタープレートを取り付けます。
矢印の方向に差し込んでからスライドさせてください。



第5章 準備 (つづき)

5-1-2 外部DC電源の使用

1 本機のDC IN端子と外部DC電源を接続します。

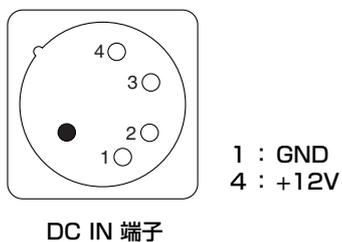


2 外部DC電源の電源スイッチを「ON」にします。
(外部DC電源に電源スイッチがある場合)

3 本機のPOWERスイッチをONにします。

本機の電源投入時には、突入電流が発生します。ビューファインダーやライトなど、本機に接続している機器の全消費電力の2倍以上を確保できる外部DC電源のご使用をお勧めします。また、DCケーブルも10 A以上の容量のものをお選び下さい。

外部DC電源のDC出力端子と本機のDC IN端子のピン配列を確認し、極性を正しく接続してください。誤ってGND端子に+12 Vの電源を接続すると、火災や故障の原因になります。



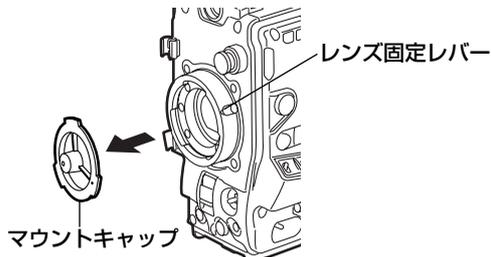
<ノート>

- バッテリーパックと外部DC電源の両方を接続した場合、外部DC電源からの電源供給が優先されます。外部DC電源の使用中は、バッテリーの着脱も可能です。
- 外部DC電源を使用するときは、必ず外部DC電源の電源スイッチをONにした後、本機のPOWERスイッチをONにしてください。逆の操作を行った場合、外部DC電源の出力電圧がゆっくり立ち上がるため、本機が誤動作することがあります。

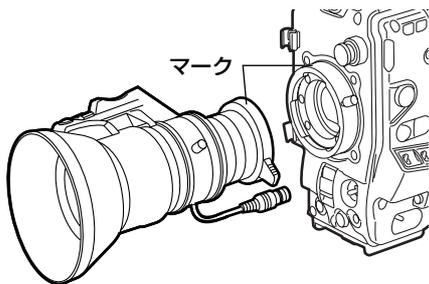
5-2 レンズの取り付けとフランジバック調整

レンズの取り付け

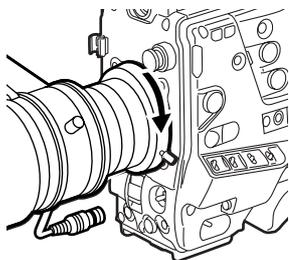
1 レンズ固定レバーを上げ、マウントキャップを外します。



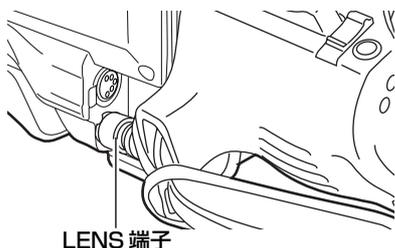
2 レンズマウント上部中央の凹部にレンズのセンターマークを合わせ、レンズを取り付けます。



3 レンズ固定レバーを下げて、レンズを固定します。



4 ケーブルをケーブルクランプに押し込み、LENS 端子に接続します。



5 レンズのフランジバックの調整を行います。

<ノート>

- レンズの取り扱いについては、レンズの取扱説明書をお読みください。
- レンズを取り外しているときは、機器保護のためにマウントキャップを取り付けてください。

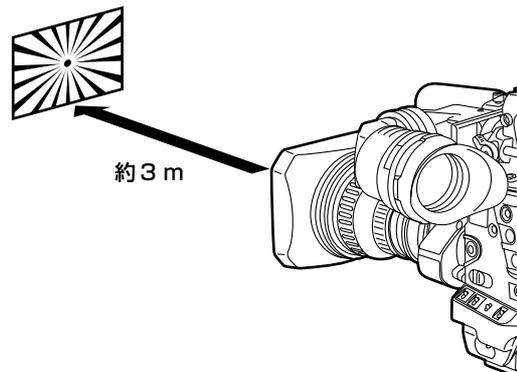
レンズのフランジバック調整

ズーム操作の際に望遠・広角の両方で焦点が正確に合わない場合は、フランジバック（レンズの取り付け面から結像面までの距離）の調整をします。一度調整すると、レンズの交換をしない限り再調整の必要はありません。

<ノート>

調整方法やレンズの各部位置については、レンズの取扱説明書も参照してください。

- 1 カメラにレンズを取り付けます。
レンズケーブルも忘れずに取り付けてください。
- 2 レンズの絞りを手動にし、絞りを開放にします。



- 3 フランジバック調整用チャートから3 mぐらい離れた距離で、適正な映像出力レベルが得られるように照明を設定します。
映像レベルが高すぎるときは、フィルターやシャッターを使用してください。

- 4 F.f（フランジフォーカス）リングの固定ネジをゆるめます。

<ノート>

レンズによって、F.b（フランジバック）リングと表示されている場合もあります。

- 5 手動、または電動でズームリングを望遠の位置にします。
- 6 フランジバック調整用チャートを写し、距離リングを回して焦点を合わせます。
- 7 ズームリングを広角の位置にし、F.fリングを回して焦点を合わせます。
このとき、距離リングは動かさないように注意します。
- 8 望遠と広角の両方の位置で焦点が合うようになるまで、5～7の操作を繰り返します。
- 9 F.fリングの固定ネジを、しっかりと閉めます。

5-3 レンズのホワイトシェーディング調整

映像信号のR、G、Bそれぞれの波形を見ながら、ノコギリ歯状波形とパラボラ波形を組み合わせて、よりフラットな波形にして補正する方法

必ず、DS. GAINとD. ZOOMをOFFにし、LINE MIX GAIN機能を解除してからホワイトシェーディングの調整を以下のように行ってください。

<ノート>

ホワイトシェーディング調整を行っても、レンズ絞りが開放(open)付近で上下方向の色つきが発生することがありますが、この現象はレンズや光学系の特性で、故障ではありません。

- 1 カメラにレンズを取り付けます。
レンズケーブルも忘れずに取り付けてください。
- 2 電子シャッターを「OFF」にし、ゲインを「L (OdB)」にします。
- 3 レンズにエクステンダーがついている場合は、エクステンダー機能を外してください。
- 4 メニュー操作でPAINTページから<GAMMA>画面を開き、GAMMA MODE SEL項目が「HD」であることを確認し、さらにVFページから<VF DISPLAY>画面を開き、ZEBRA1 DETECT項目、ZEBRA2 DETECT項目、ZEBRA2項目が下図の通りであるか確認し、違っている場合は変更してから、メニュー画面を閉じます。

->< VF DISPLAY >	
DISP CONDITION	: NORMAL
DISP MODE	: 3
VF OUT	: Y
VF DTL	: 3
ZEBRA1 DETECT	: 070%
ZEBRA2 DETECT	: 085%
ZEBRA2	: SPOT
LOW LIGHT LVL	: 35%
RC MENU DISP.	: ON
MARKER/CHAR LVL	: 50%

- 5 ビューファインダーのZEBRAスイッチを「ON」にします。
- 6 色ムラの無い白い紙を撮影します。

<ノート>

蛍光灯や水銀灯などの照明では、フリッカー（ちらつき現象）が発生しやすいので、太陽光やハロゲンランプなどの、フリッカーが発生しにくい光源を用いてください。

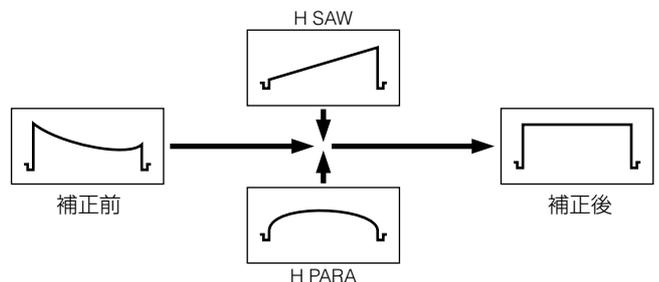
- 7 レンズ絞りをマニュアルにして、画面全体にZEBRAがかかるように、レンズ絞りを調整します。
レンズ絞りが、F4～F11の間になっていることを確認してください。

<ノート>

- 照明にムラがあると、画面の一部にZEBRAがかからなくなりますので、照明の位置などを調整してください。
- レンズ絞りが、F4～F11の間になっていない場合も、照明の位置などを調整してください。
- 電子シャッターは、必ず「OFF」のままにしておいてください。

- 8 ① WHITE BAL 切り替えスイッチを「A」または「B」にして、AUTO W/B BALスイッチでホワイトバランスの自動調整(AWB)を行います。
② AUTO W/B BALスイッチでブラックバランスの自動調整(ABB)を行います。
③ 再度AUTO W/B BALスイッチでホワイトバランスの自動調整(AWB)を行います。
- 9 再度7の操作を行います。
- 10 メニュー操作でMAINTENANCEページから<WHITE SHADING>画面を開き、R H SAW項目～B V PARA項目を調整して、よりフラットな波形にして補正を行います。

< WHITE SHADING >	
CORRECT	: ON
→ R H SAW	: +000
R H PARA	: +000
R V SAW	: +000
R V PARA	: +000
G H SAW	: +000
G H PARA	: +000
G V SAW	: +000
G V PARA	: +000
B H SAW	: +000
B H PARA	: +000
B V SAW	: +000
B V PARA	: +000



第5章 準 備 (つづき)

11 レンズにエクステンダーがついている場合は、エクステンダー機能を入れて、再度**7**～**9**の操作を行います。
(エクステンダー機能を入れるとメニュー画面に表示される設定値が変わります。)
レンズエクステンダーがある場合とない場合の2パターンの補正值が1つのレンズファイルデータとして本機に記憶されます。

ホワイトシェーディングの補正を行うときは、水平方向および垂直方向のR、G、B波形をウェーブフォームモニターで観察しながら調整することをお勧めします。

以上でホワイトシェーディング調整が完了します。
調整値は、不揮発性メモリーに保存されますので、本機の電源を切っても、再度ホワイトシェーディング調整を行う必要はありません。

第5章 準備 (つづき)

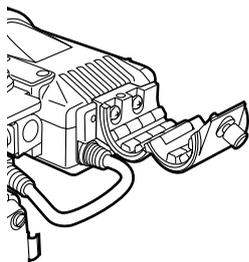
5-4 音声入力の準備

本機に入力する音声機器の接続の準備をします。

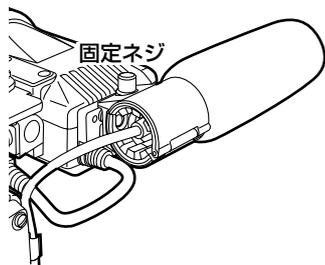
5-4-1 フロントマイクを使用する場合

ステレオマイク AJ-MC900 (別売品) を取りつけます。

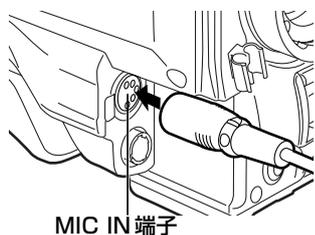
- 1 マイクホルダーを開きます。



- 2 マイクを取りつけ、固定ネジを締めます。
マイクの [UP] 表示を天面にして取り付けてください。



- 3 マイクの接続ケーブルをカメラの MIC IN 端子に接続します。



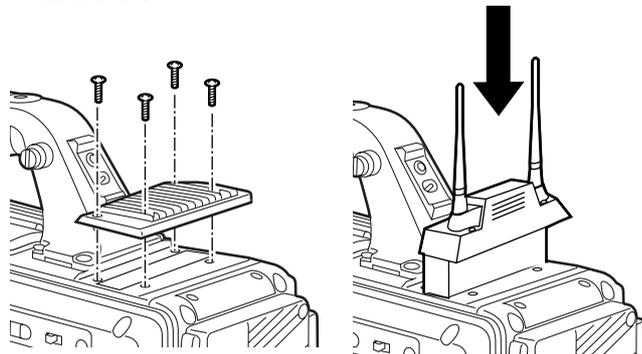
- 4 記録する音声チャンネルに応じて、AUDIO IN スイッチを「FRONT」に切り替えます。



5-4-2 ワイヤレスレシーバーを使用する場合

Unislot ワイヤレスレシーバーを使用する場合

- 1 ふたを取り外してワイヤレスレシーバーを挿入し、ビス止めします。



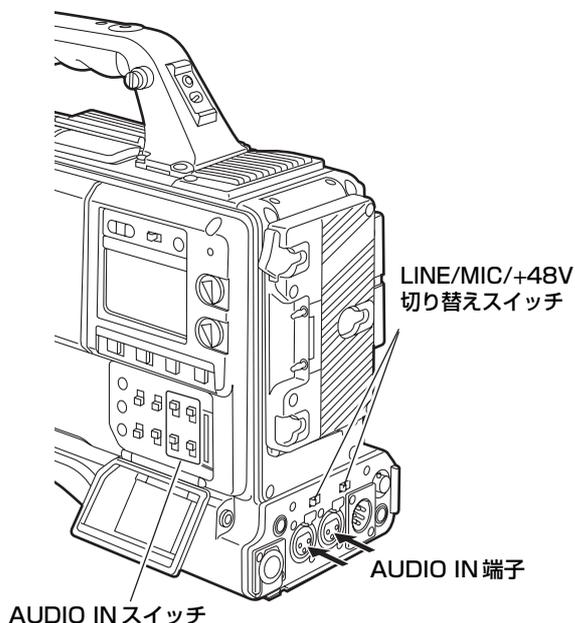
- 2 記録する音声チャンネルに応じて、AUDIO IN スイッチを「WIRELESS」に切り替えます。

5-4-3 オーディオ機器を使用する場合

- 1 オーディオ機器とカメラの AUDIO IN 端子を XLR ケーブルで接続します。

- 2 XLR ケーブルを接続したチャンネルの AUDIO IN スイッチを「REAR」に切り替えます。

- 3 後面の LINE/MIC/+48V 切り替えスイッチを「LINE」に切り替えます。

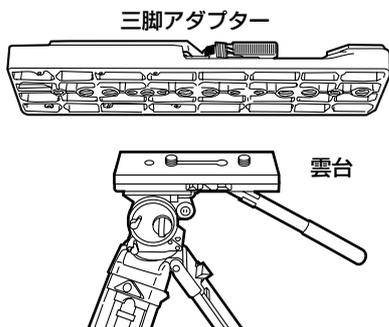


第5章 準備 (つづき)

5-5 三脚への取り付け

本機を三脚へ取り付ける場合は、別売の三脚アダプター (SHAN-TM700) を使います。

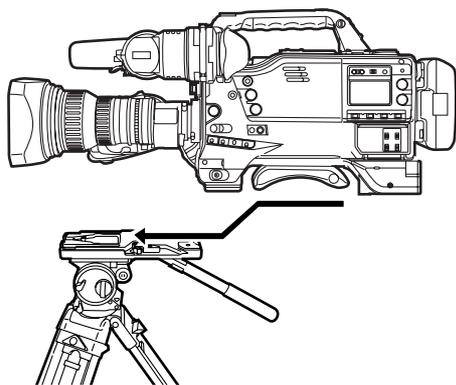
1 三脚アダプターを、三脚に取り付けます。



<ノート>

本機と三脚アダプターの重心を考慮して、アダプターの穴を選んでください。
また、選んだ穴の径が、雲台のネジの径と合うことを確認してください。

2 本機を三脚アダプターに取り付けます。



溝に沿って、カチッと音がするまで本機を前方へ滑らせます。

三脚アダプターから取り外す

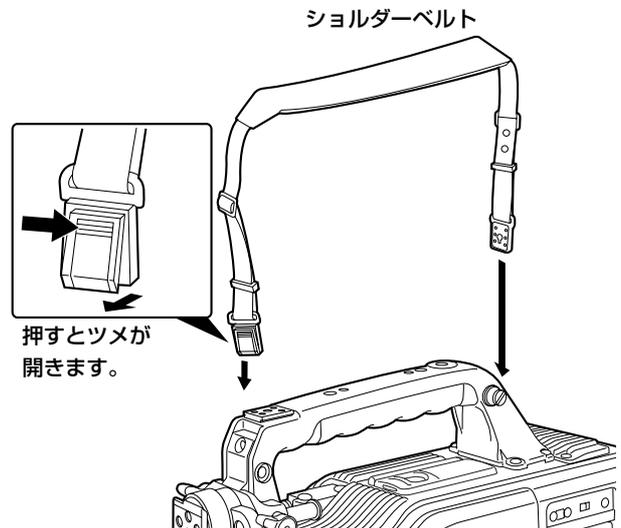


赤いレバーを押しながら、黒いレバーを矢印の方向へ動かし、本機を後方に滑らして外します。

<ノート>

本機を取り外した後、三脚アダプターのピンが元に戻らないときは、再度赤いレバーを押しながら、黒いレバーを矢印の方向へ動かして、ピンを元の位置に戻します。
ピンが中央に残ったままでは、本機の取付ができませんのでご注意ください。

5-6 ショルダーベルトの取り付け



ショルダーベルトを外す場合は、取り付け部のツメを開いてから外します。

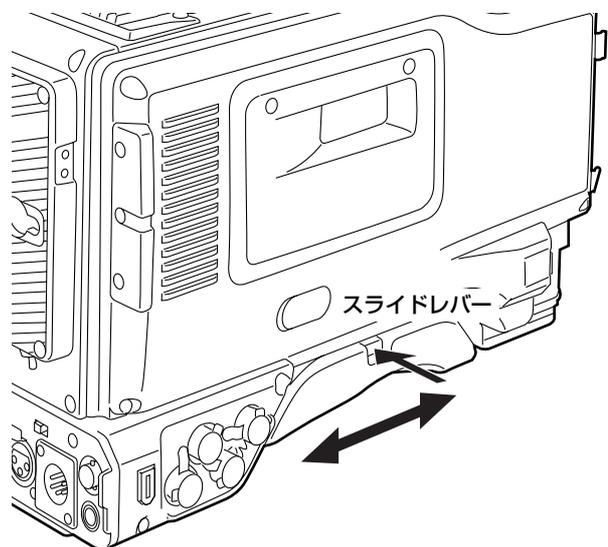
<ノート>

ショルダーベルトがしっかりと取り付けられていることを、確認してください。

5-7 ショルダーパッドの位置調整

ショルダーパッドは、スライドレバーを押した状態で移動させることができます。前後方向にそれぞれ3 mm ステップで、10段階ずつ (最大30 mm) の位置調整が可能です。

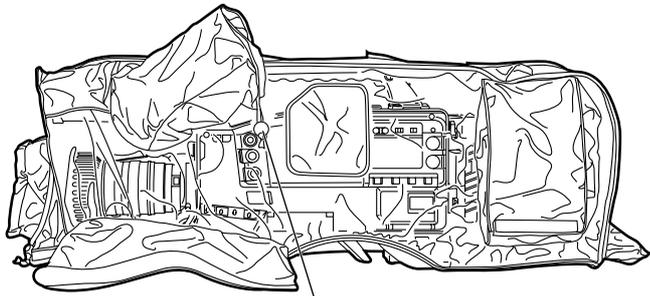
スライドレバーを押さえたまま、ショルダーパッドを撮影しやすい位置まで前後させます。



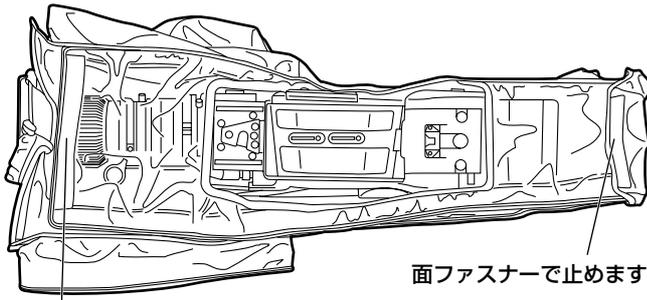
第5章 準備 (つづき)

5-8 レインカバーの取り付け

レインカバー SHAN-RC700 の使用例



ひもを締めます



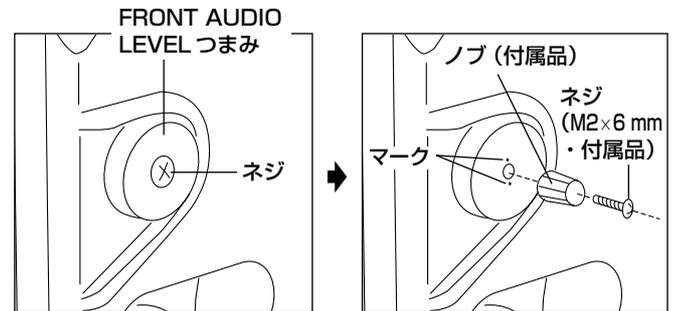
面ファスナーで止めます

面ファスナーで止めます

5-9 FRONT AUDIO LEVEL

つまみノブの取り付け

FRONT AUDIO LEVELつまみを頻繁に使用する場合、付属のノブを取り付けて、つまみをより操作しやすくすることができます。



FRONT AUDIO LEVELつまみ中央のネジを外し、本機に付属のノブを、同じく付属品のネジで止めます。このとき、つまみ側のマークと、ノブ側のマークを合わせてください。

5

5-10 リモートコントロールユニット (AJ-RC10G) の接続

リモートコントロールユニットAJ-RC10G (別売品) を接続して、機能の一部をリモートコントロールすることができます。

AJ-RC10G を本機の REMOTE 端子に接続して、本機および AJ-RC10G の POWER スイッチを ON にすると、本機は自動的にリモートコントロールモードに入ります。AJ-RC10G を取り外すか、AJ-RC10G の電源を OFF にするとリモートコントロールモードは解除されます。

リモートコントロールモードのときのスイッチ機能

リモートコントロールモードのときは、本機の下記スイッチやボタンが機能しなくなります。

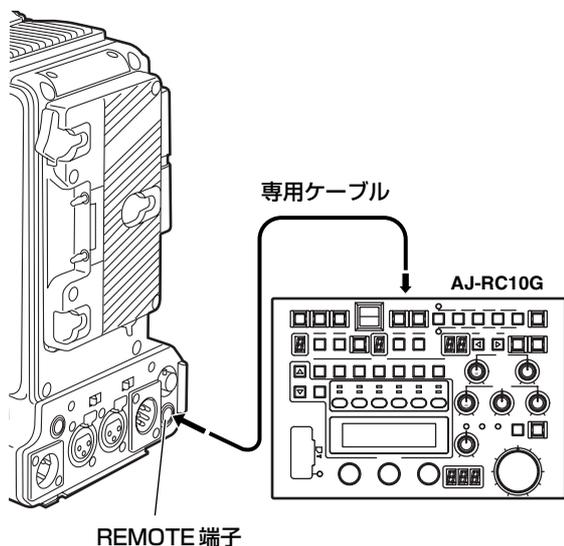
- SHUTTER スイッチ
- MENU ボタン
- JOG ダイアルボタン
- GAIN スイッチ
- OUTPUT/AUTO KNEE スイッチ
- WHITE BAL スイッチ
- USER MAIN ボタン
- USER 1 ボタン
- USER 2 ボタン

リモートコントロールモードのときの VTR 操作

リモートコントロールモードのときは、本機と AJ-RC10G のどちらでも VTR の操作が可能です。

<ノート>

- AJ-RC10G を接続して調整した状態は、本機に記憶されます。調整した状態を本機に記憶させない場合は、AJ-RC10G の FUNCTION MENU を開き、RC DATA SAVE 項目を「OFF」にします。
- 専用ケーブルを接続するときや外すときは、本機と AJ-RC10G の POWER スイッチを必ず「OFF」にしてください。

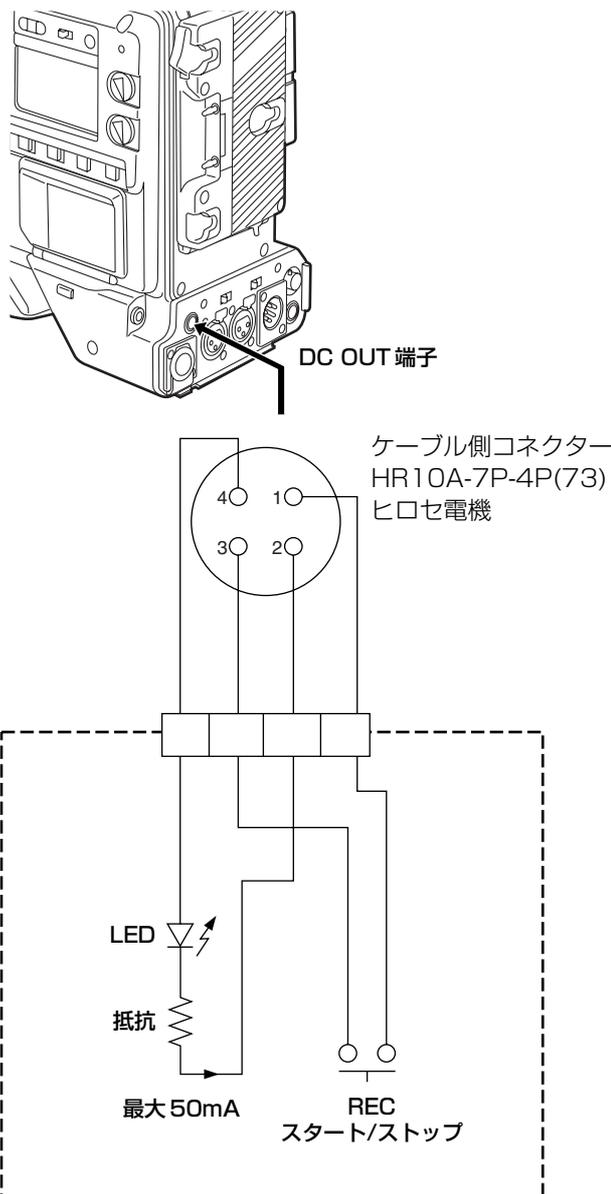


5-11 外部スイッチの接続

本機の DC OUT 端子からは、1.5A の電流を取り出すことが可能です。

この端子に外部スイッチを接続すると、REC スタート/ストップの制御が可能になります。

また、LED を接続すると、タリランプとして使用することが可能になりますので、クレーン上にカメラを配置しての撮影時などに便利です。



- 1 : GND
- 2 : TALLY OUT
本機側は、オープンコレクタ出力
TALLY ON : Low インピーダンス
TALLY OFF : High インピーダンス
- 3 : REC スタート/ストップスイッチ
本機の REC START ボタンやレンズの VTR ボタンと並列に接続されます。
- 4 : +12 V

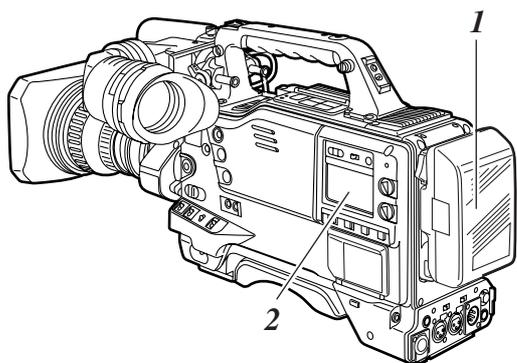
第6章 保守・点検

6-1 撮影前の点検

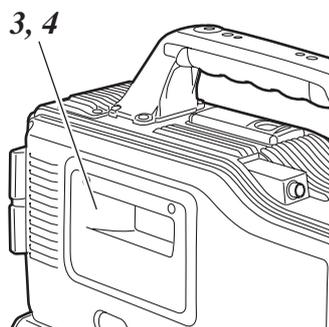
撮影に出発する前に次の点検を行い、システムが正常に動作することを確認してください。カラービデオモニターを使って画像のチェックをすることをおすすめします。

6-1-1 点検の準備

- 1 充電済みのバッテリーパックを取り付けます。
- 2 POWER スイッチを ON にし、HUMID 表示が現れないこと、BATT 表示が 5 個以上点灯していることを確認します。
 - HUMID 表示が現れたときは、表示が消えるまで待ちます。
 - BATT 表示が 5 個以上点灯していないときは、十分に充電したバッテリーと交換します。



- 3 カセットホルダーフタ周辺にケーブルなど障害物がないことを確認してから、EJECT ボタンを押してカセットホルダーを開けます。
- 4 次の点を確認してからカセットを入れ、カセットホルダーを閉めます。
 - カセットが誤消去防止状態になっていないこと。
 - テープにたるみがないこと。
 - テープに結露がないこと。



6-1-2 カメラ部の点検

- 1 ズームを電動ズームモードにして、電動ズームの確認をします。
画像が望遠、広角と変わることを確認します。
- 2 ズームを手動ズームモードにし、手動ズームの確認をします。
手動ズームレバーを回し、画像が望遠、広角と変わることを確認します。
- 3 絞りを自動調整モードにし、明るさの違う被写体にレンズを向け、自動絞り調整が働くことを確認します。
- 4 絞りを手動調整モードにし、絞りリングを回し、手動絞りの調整を確認します。
- 5 瞬間絞り自動調整ボタンを押しながら、明るさの違う被写体にレンズを向け、瞬間絞り自動調整機能の確認をします。
- 6 絞りを自動調整モードに戻し、GAIN スイッチの設定を L、M、H と切り替えて次の点を確認します。
 - 設定の切り替えに応じて、同じ明るさの被写体に対し絞りが調整されます。
 - 設定の切り替えに応じて、ビューファインダー画面のゲイン値表示が切り替わります。
- 7 エクステンダー付きのレンズを装着しているときは、エクステンダーを使用位置にし、正常に働くことを確認します。

第6章 保守・点検 (つづき)

6-1-3 VTR 部の点検

「1. テープ走行の点検」から「4. イヤホン、スピーカーの点検」までは連続して行ってください。

1. テープ走行の点検

- 1 VTR SAVE/STBYスイッチを「SAVE」にし、ビューファインダー内のSAVEランプが点灯することを確認します。
- 2 VTR SAVE/STBYスイッチを「STBY」にして、SAVEランプが消灯することを確認します。
- 3 TCGスイッチを「R-RUN」にします。
- 4 DISPLAYスイッチを「CTL」にします。
- 5 本機のREC START ボタンを押し、次の項目を確認します。
 - テープのリールが回転する。
 - カウンター表示部数値が変わる。
 - ビューファインダー内のRECランプが点灯する。
 - 表示窓のRF、SERVO表示が点灯しない。
- 6 本機のREC START ボタンをもう一度押します。テープが止まり、ビューファインダー内のRECランプが消えることを確認します。
- 7 レンズのVTRボタンを使って、5～6と同じ動作を確認します。
- 8 RESET ボタンを押し、カウンター表示部の数値が「00 : 00 : 00 : 00」になることを確認します。
- 9 LIGHT ボタンを押して、表示窓が照明されることを確認します。
- 10 REW ボタンを押し、しばらく巻き戻してからPLAY/PAUSE ボタンを押します。記録、再生、巻き戻しが正常に動作することを確認します。
- 11 FF ボタンを押し、早送りが正常に行われることを確認します。

2. 音声レベル自動調整機能の点検

- 1 AUDIO SELECT CH1/CH2スイッチを「AUTO」にします。
- 2 AUDIO IN CH1/CH2スイッチを「FRONT」にします。
- 3 MIC IN 端子に接続したマイクを適当な音源に向け、CH1/CH2両方のレベル表示が、音の大きさに合わせて変わることを確認します。

3. 音声レベル手動調整機能の点検

- 1 AUDIO IN CH1/CH2スイッチを「FRONT」にします。
- 2 AUDIO SELECT CH1/CH2スイッチを「MAN」にします。
- 3 AUDIO LEVEL CH1/CH2つまみを回します。右に回すと、レベル表示が増えることを確認します。

4. イヤホン、スピーカーの点検

- 1 VTR SAVE/STBYスイッチを「STBY」にします。
- 2 MONITORつまみを回し、スピーカーの音量が変わることを確認します。
- 3 イヤホンをPHONES端子に接続します。スピーカーからの音が消え、イヤホンからマイクの音が聞こえることを確認します。
- 4 MONITORつまみを回し、イヤホンの音量が変わることを確認します。

第6章 保守・点検 (つづき)

5. 外部マイクを使う場合の点検

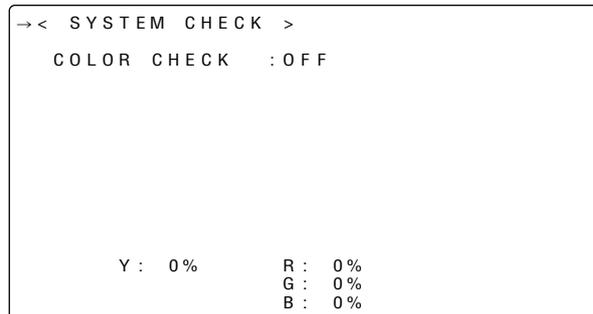
- 1 外部マイクを AUDIO IN CH1、CH2 コネクタに接続します。
- 2 AUDIO IN CH1/CH2 スイッチを「REAR」にします。
- 3 後面の LINE/MIC/+48V 切り替えスイッチを、外部マイクの電源供給方式に応じて「MIC」と「+48V」に切り替えます。
MIC : 内部電源供給方式のマイク
+48V : 外部電源供給方式のマイク
- 4 マイクを音源に向け、表示窓の音声レベルメーターやビューファインダー内の音声レベル表示が、音の大きさに合わせて変わることを確認します。
1本のマイクを各チャンネルに接続して、チャンネルごとに点検することもできます。

6. タイムコード、ユーザズビットに関する点検

- 1 必要に応じてユーザズビットを設定します。
設定のしかたについては「4-5-1 ユーザズビットの設定」をお読みください。
- 2 タイムコードを設定します。
設定のしかたについては「4-5-3 タイムコードの設定」をお読みください。
- 3 TCG スイッチを「R-RUN」にします。
- 4 REC START ボタンを押します。
テープ走行とともに、カウンター表示部の数値が変わることを確認します。
- 5 再度、REC START ボタンを押します。
テープが止まり、カウンター表示部の数値が変わらなくなることを確認します。
- 6 TCG スイッチを「F-RUN」にします。
カウンター表示部の数値が、テープ走行に関係なく変わることを確認します。
- 7 DISPLAY スイッチを「UB」にします。
HOLD ボタンを押すごとに VTCG → DATE → TIME → 無表示 (タイムゾーン) → TCG の値が表示されることを確認します。

6-1-4 自己診断機能

カラービデオモニターがないときなどに、簡易に本機のシステムチェックをすることができます。
メニュー操作で MAINTENANCE ページの <SYSTEM CHECK> 画面を開き COLOR CHECK 項目で、カメラの出力レベルの確認ができます。



第6章 保守・点検 (つづき)

6-2 メンテナンス

6-2-1 結露

本機を冷たい場所から暖かい場所に移したり、湿気が多い場所で使用すると、空気中に含まれる水蒸気が、ヘッドドラムに水滴となって付着することがあります。これを「結露」と言い、このような状態のときにテープを走行させると、テープがドラムに貼り付きやすくなります。

次のような点にご注意ください。

- 結露の可能性のある状況で本機を起動するときは、テープを取り出しておいてください。
- テープを入れる前に、電源スイッチを「ON」にして、表示窓にHUMID表示が点灯していないことを確認してください。

<ノート>

結露検出解除後も安全のため、80分間HUMIDを点滅表示させて、ドラムを回転させています。

この間は、操作ボタンを受け付けません。

6-2-2 ヘッドクリーニング

ヘッドクリーニングが必要な場合には、クリーニングカセットAJ-CL12MPをお使いください。

使用方法を誤りますとビデオヘッドを傷めることもありますので、ご使用の際は、クリーニングテープの取扱説明書をお読みください。

6-2-3 ビューファインダー内のクリーニング

- 汚れを取るとき、シンナーなどの溶剤を使用しないでください。
- レンズを拭くときは、市販のレンズクリーナーを使用してください。
- ミラーは絶対拭かないでください。
ゴミなどが付着しているときは、市販のエアーブローで取り除いてください。

6-2-4 CCDカメラ特有の現象について

スミア

高輝度の被写体を撮影した場合に発生することがあります。この現象は、電子シャッタースピードが速くなるほど目立ちやすくなります。

白キズ

DS. GAINを使用して、高温環境で撮影を行うと、画面に赤色・緑色・青色の点が見えることがあります。

DS. GAINとS. GAINを環境に合わせて設定してください。

6-2-5 バックアップ電池の交換

バックアップ電池は、すでに取り付けた状態で出荷していません。

電池が消耗すると、POWERスイッチをONにしたとき、ビューファインダー画面に「BACK UP BATT EMPTY」の表示が3秒間表示されます。

また、TCGのタイムコード値が「00 : 00 : 00 : 00」になり、タイムコード値のバックアップができなくなりますので、バックアップ電池の交換が必要です。

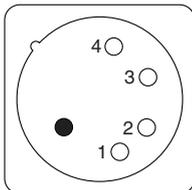
お買い上げの販売店にご相談のうえ、新しい電池(CR2032)と交換してください。

第6章 保守・点検 (つづき)

6-2-6 コネクタ信号の内容

DC IN	
1	GND
2	NC
3	NC
4	+12V

パナソニック品番 K1AA104H0038
 メーカー品番 HA16RX-4P (SW1)
 (ヒロセ電機)

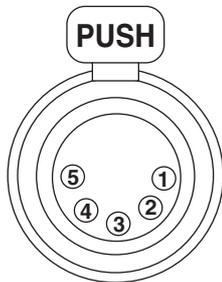


<ノート>

外部からの供給電源は、極性を正しくご使用ください。

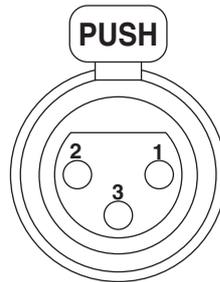
FRONT MIC IN	
1	GND
2	L CH IN (H)
3	L CH IN (C)
4	R CH IN (H)
5	R CH IN (C)

パナソニック品番 K1AB105B0002
 メーカー品番 NC5FBH
 (ノイトレック)



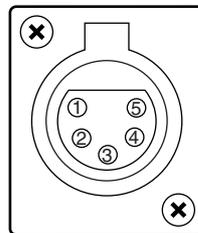
AUDIO IN	
1	GND
2	AUDIO IN(H)
3	AUDIO IN(C)

パナソニック品番 K1AB103A0011
 メーカー品番 HA16PRM-3SG
 (ヒロセ電機)



AUDIO OUT	
1	GND
2	L CH OUT (H)
3	L CH OUT (C)
4	R CH OUT (H)
5	R CH OUT (C)

メーカー品番 HA16RD-5P(76)
 (ヒロセ電機)

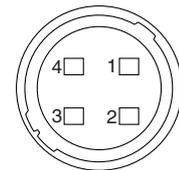


DC OUT	
1	GND
2	R TALLY (オープンコレクタ)
3	REC START SW
4	+12V OUT (最大 1.5 A)

パナソニック品番 K1AY104J0002
 メーカー品番 HR10A-7R-4S(74)
 (ヒロセ電機)

ケーブル側コネクタ

メーカー品番 HR10A-7R-4P(73)
 (ヒロセ電機)

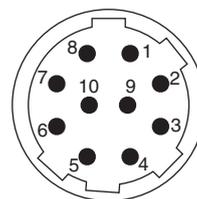


第6章 保守・点検 (つづき)

REMOTE		
1	CAM DATA (H)	カメラからリモートコントロールへのデータ (H)
2	CAM DATA (C)	カメラからリモートコントロールへのデータ (C)
3	CAM CONT (H)	リモートコントロールからカメラへの制御信号 (H)
4	CAM CONT (C)	リモートコントロールからカメラへの制御信号 (C)
5	RC-ON	リモートコントロールの認識信号 Low : ON
6	RC VIDEO OUT	リモートコントロールへの映像信号出力
7	RC VIDEO GND	リモートコントロールへの映像信号のGND
8	NC	未使用
9	UNREG 12V	DC +12 V 電源 (AJ-RC10G : 最大0.75A)
10	GND	GND

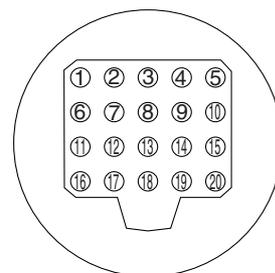
メーカー品番 HR10A-10R-10SC(71)
(ヒロセ電機)

ケーブル側コネクタ
メーカー品番 HR10A-10P-10P(73)
(ヒロセ電機)



VF		
1	UNREG-12V	DC +12 V 電源 (AJ-HVF21G : 約0.35A)
2	UNREG-12V	DC +12 V 電源
3	A9.0V	DC +9 V 電源 (未使用)
4	VF-PB-GND	ビューファインダー Pb 信号のGND
5	VF-PR-GND	ビューファインダー Pr 信号のGND
6	VF-Y	ビューファインダー Y 信号出力
7	VF-Y-GND	ビューファインダー Y 信号のGND
8	VF-CLK	シリアルデータクロックパルス信号
9	VF-WR	シリアル-パラレル変換データ読み込み用パルス信号
10	VF-DATA	シリアル-パラレル変換用シリアルデータ信号
11	UNREG-GND	GND
12	ZEBRA-SW	ゼブラ信号のON/OFF
13	PEAKING	ピーキングの制御 (未使用)
14	SPARE	予備 (未使用)
15	VF-PR	ビューファインダー Pr 信号出力
16	VF-PB	ビューファインダー Pb 信号出力
17	MARKER-SW	マーカーのON/OFF (未使用)
18	FRONT-VR	FRONT AUDIO LEVEL 調整 (未使用)
19	VR-GND	FRONT AUDIO LEVEL のGND (未使用)
20	UNREG-GND	GND

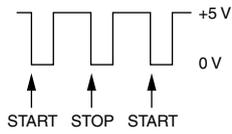
パナソニック品番 K1AB120H0001
メーカー品番 HR12-14RA-20SC
(ヒロセ電機)



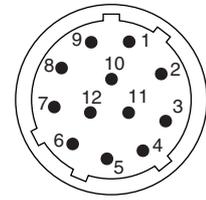
注意：

DC OUT、REMOTE、VF、LENS の各端子から取り出す電流の合計が、2.5A を超えないようにしてください。

第6章 保守・点検 (つづき)

LENS		
1	RET-SW	リターンビデオの ON/OFF RETURN ON : GND RETURN OFF : OPEN
2	REC-START/STOP	記録スタートとストップの制御 
3	GND	GND
4	IRIS-AUTO	強制アイリスサーボの ON/OFF SERVO ON : +5V ± 0.5V SERVO OFF : OPEN
5	IRIS-CONT	レンズアイリスの制御出力 F2.8: -6.2V、F16: +3.4V、CLOSE: +2.5V
6	UNREG-12V	レンズ用 +12V 電源 (最大 1.5A)
7	IRIS-POSI	アイリスポジション信号 +3.4V (F16) ~ +6.2V (F2.8)
8	IRIS-G-MAX	IRIS REMOTE/LOCAL (AUTO) 信号 REMOTE : +5V ± 0.5V LOCAL (AUTO) : GND
9	EXT-POSI	内蔵エクステンダーの ON/OFF EXTENDER ON : GND EXTENDER OFF : OPEN
10	ZOOM-POSI	ズームポジション信号
11	FOCUS-POSI	フォーカスポジション信号
12	SPARE	予備 (未使用)

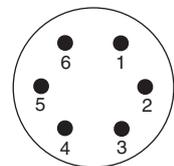
メーカー品番 HR10A-10R-12SC(71)
(ヒロセ電機)



6

GPS		
1	GPS TXA	GPS ユニットからカメラへの伝送データ
2	GPS RXA	カメラから GPS ユニットへの伝送データ
3	GPS VBAT	GPS ユニット用のバックアップ電源供給端子 (DC +3.3 V)
4	REC START SW	REC スタート/ストップの制御信号
5	GPS VCC	GPS ユニット用の電源供給端子 (DC +3.3 V)
6	GPS GND	GND

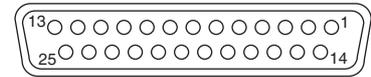
メーカー品番 HR10A-7R-6SC(73)
(ヒロセ電機)



第6章 保守・点検 (つづき)

Unislot インターフェース		
1	CH-1 SHIELD	GND
2	CH-1 HOT	ワイヤレスレシーバーからの音声入力：HOT
3	CH-1 COLD	ワイヤレスレシーバーからの音声入力：COLD
4	GND	GND
5	+12V UNREG	ワイヤレスレシーバーへの電源
6	RX ON	ワイヤレスレシーバーへの電源リモート出力
7	RF WARN	ワイヤレスレシーバーからのRFワーニング入力
8	RM5	未使用
9	RM4	未使用
10	SPARE 1	未使用
11	SPARE 2	未使用
12	EXT CLK	未使用
13	CLK SHIELD	未使用
14	CH-2 SHIELD	未使用
15	CH-2 HOT	未使用
16	CH-2 COLD	未使用
17	+5.6V	ワイヤレスレシーバーへの電源
18	VIDEO OUT	未使用
19	VIDEO RET	未使用
20	VIDEO EN	未使用
21	RM 1 (RM CLK)	未使用
22	RM 2 (RM DATA)	未使用
23	RM 3 (RM WR)	未使用
24	RM +5V	未使用
25	RM GND	未使用

メーカー品番 HDBB-25S(05)
(ヒロセ電機)



第6章 保守・点検 (つづき)

6-3 警告システム

6-3-1 警告内容一覧

電源を入れた直後や操作中に異常が検出されると、WARNING ランプ、ビューファインダー内のランプ、およびアラームが異常発生を知らせます。

<ノート>

各項目は WARNING ランプ、タリールランプ、ビューファインダー内警告の優先順となっていて、同時に複数のエラーが起こった場合、順位が上のものが表示されます。ただし「WIRELESS RF」はメニュー設定により、表示されない場合があります。

1. SLACK

LCD内表示	SLACK 表示とエラーコードが点滅します。
WARNING ランプ	1 秒間に 4 回点滅します。
タリールランプ	1 秒間に 4 回点滅します。
ビューファインダー	SLACK 表示とエラーコードが点灯します。
アラーム	連続して鳴ります。
警告内容	モータ、ソレノイドなどのメカニズム関連の異常です。
VTR 部の動作	停止します。 ソレノイドの異常を検出したときは、電源が切れます。
対 策	「6-3-2 エラーコード」を確認し、お買い上げの販売店にご相談ください。

2. BATTERY END

LCD内表示	バッテリー残量を示すバー表示が点滅します。
WARNING ランプ	点灯します。
タリールランプ	1 秒間に 1 回点滅します。
ビューファインダー	BATT LED が点灯します。
アラーム	連続して鳴ります。
警告内容	バッテリーの消耗です。
VTR 部の動作	全ての動作を停止して、テープをアンロードします。 カセットテープのイジェクト動作のみを受け付けます。
対 策	バッテリーを交換します。

3. TAPE END

LCD内表示	テープの残量を示すバー表示が点滅します。
WARNING ランプ	点灯します。(停止中とスタンバイオフ時)
タリールランプ	1 秒間に 4 回点滅します。(停止中とスタンバイオフ時)
ビューファインダー	END が点滅します。(停止中とスタンバイオフ時)
アラーム	連続して鳴ります。(停止中とスタンバイオフ時)
警告内容	テープの終端です。
VTR 部の動作	記録、再生、早送り中は、動作を停止します。
対 策	テープを巻き戻します。 または、カセットテープを交換します。

4. REC WARNING

LCD内表示	コード 11 の表示が点灯します。
WARNING ランプ	1 秒間に 4 回点灯します。(記録中に 3 秒間以上)
タリールランプ	1 秒間に 4 回点滅します。(記録中に 3 秒間以上)
ビューファインダー	REC WARNING 表示が点滅します。(記録中に 3 秒間以上)
アラーム	1 秒に 4 回鳴ります。(記録中に 3 秒間以上)
警告内容	記録制御信号の異常です。
VTR 部の動作	記録を継続しますが、警告が表示されている間は、正しく記録できない場合があります。
対 策	テープを巻き戻します。 または、カセットテープを交換します。

5. HUMID

LCD内表示	結露を検出したときに HUMID 表示が点灯します。結露検出解除後、10 分から 90 分の間は HUMID 表示が点滅します。
WARNING ランプ	結露検出から結露検出解除後、90 分間は点灯します。
タリールランプ	結露検出解除後、90 分間は 1 秒に 4 回点滅します。
ビューファインダー	結露検出から結露検出解除後 90 分までは HUMID 表示が点灯します。
アラーム	連続して鳴ります。(記録中は 1 秒間に 4 回)
警告内容	結露が発生しています。
VTR 部の動作	記録動作は継続しますが、テープ貼り付きを起すすと、記録を停止します。 結露検出解除後 80 分間は、ドラムを回転させ動作を受け付けません。
対 策	テープ走行を停止し、電源を切ってください。 再度電源を入れても、HUMID 表示が消えない場合は、消えるまでお待ちください。

第6章 保守・点検 (つづき)

6. SERVO

LCD内表示	SERVO表示が点灯します。(記録中と再生中)
WARNINGランプ	1秒間に4回点滅します。(記録中と再生中)
タリールンプ	1秒間に4回点滅します。(記録中と再生中)
ビューファインダー	SERVO表示が点灯します。(記録中と再生中)
アラーム	1秒間に4回鳴ります。(記録中と再生中)
警告内容	サーボが乱れています。
VTR部の動作	動作を継続しますが、正しく動作しない場合があります。
対 策	電源を切り、販売店にご相談ください。 テープ走行開始時に、警告表示が一瞬点滅して消える場合がありますが、異常ではありません。

7. RF

LCD内表示	RF表示が点滅します。(待機中、記録中)
WARNINGランプ	1秒間に4回点滅します。(記録中)
タリールンプ	1秒間に4回点滅します。(記録中)
ビューファインダー	RF表示が点灯します。(記録中)
アラーム	1秒間に4回鳴ります。(記録中)
警告内容	ビデオヘッドの目詰まりです。記録系に異常があります。
VTR部の動作	クリーニングローラーが作動し、ヘッドをクリーニングします。(最大3秒間) 記録を継続しますが、正しく記録できない場合があります。 LCD内の表示は、REC/PAUSE状態まで保持します。REC/PAUSEからモードが移行した時点で消灯します。
対 策	ヘッドクリーニングをします。 クリーニング後も正しく記録できない場合は、電源を切り、お買い上げの販売店にご相談ください。

8. WIRELESS RF

LCD内表示	表示しません。
WARNINGランプ	1秒間に4回点滅します。(待機中、記録中)
タリールンプ	1秒間に4回点滅します。(記録中)
ビューファインダー	記録中は3秒間以上、WIRELESS RF表示が点灯します。(待機中、記録中)
アラーム	1秒間に4回鳴ります。(記録中)
警告内容	ワイヤレス受信状態が悪いことを示します。
VTR部の動作	動作を継続しますが、ワイヤレスマイク受信ができていません。
対 策	マイクの電源や、レシーバーの受信状態をチェックしてください。

9. BATTERY NEAR END

LCD内表示	バッテリー残量を示すバー表示が点滅します。
WARNINGランプ	1秒間に1回点滅します。
タリールンプ	1秒間に1回点滅します。
ビューファインダー	BATT LEDが点滅します。
アラーム	1秒間に4回鳴ります。
警告内容	バッテリーの消耗間近です。
VTR部の動作	動作を継続します。
対 策	必要に応じて、バッテリーを交換します。

10. TAPE NEAR END

LCD内表示	テープ残量を示すバー表示が点滅します。
WARNINGランプ	1秒間に1回点滅します。(記録中)
タリールンプ	1秒間に1回点滅します。(記録中)
ビューファインダー	●テープ残量表示が点滅します。(EEモード時) ●  がテープエンドの1分前に3秒間点滅します。
アラーム	1秒間に1回鳴ります。
警告内容	テープの終端間近(残り2分)です。
VTR部の動作	動作を継続します。
対 策	必要に応じて、カセットテープを交換します。

11. 1394

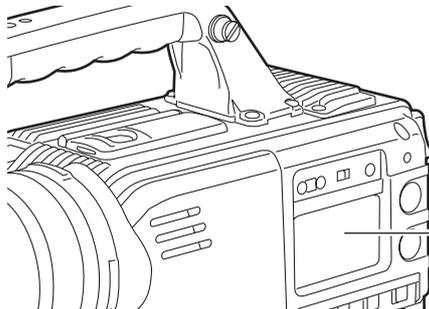
LCD内表示	1394 E-**の表示が点滅します。
WARNINGランプ	1秒間に4回点滅します。
タリールンプ	1秒間に4回点滅します。
ビューファインダー	エラーコード92の場合、1394 INITIAL ERROR表示が点灯します。(待機中)
アラーム	1秒間に4回鳴ります。
警告内容	DVCPRO端子の信号異常です。
VTR部の動作	動作を継続しますが、DVCPRO端子に入力されている信号に異常があります。
対 策	IEEE1394ケーブルとDVCPRO端子の接続状態や、外部機器やメニューの設定を確認して、電源を再投入してください。 警告表示が消えない場合は、「6-3-2 エラーコード」を確認し、お買い上げの販売店にご相談ください。

第6章 保守・点検 (つづき)

6-3-2 エラーコード

何らかの原因で本機にエラーが発生したときには、表示窓に下記のエラーコードを表示します。

エラーコードが表示されたときは、お買い上げの販売店にご相談ください。



コードNo.	内容
E-04	ピンチソレノイド異常
E-08	クリーニングソレノイド異常
E-0B **	供給リールの異常
E-0C **	巻き取りリールの異常
E-0D **	キャプスタン異常
E-0E **	シリンダーの異常
E-0F **	ローディング異常
E-38	サーボ通信異常
E-3F	カメラ通信異常
E-6F	基準信号異常
E-11	ビデオ初期化異常
E-50	システムフォーマット異常 ●電源を入れ直してください。
E-92	DVCPRO 端子の接続状態に異常がある

●**の部分には、エラー内容の詳細を数値で表示されます。トラブルの解析用としての情報になります。

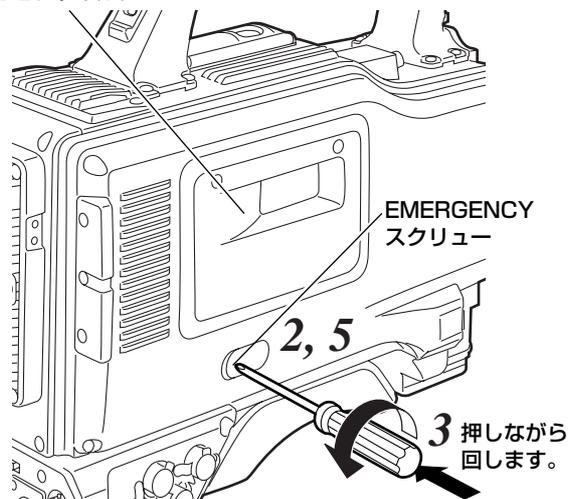
6

6-3-3 EMERGENCY イジェクト

EJECT ボタンを押してもカセットを取り出せないときは、ドライバーなどでEMERGENCY スクリューを押しながら回すと、カセットを取り出すことができます。

- 1 電源を「OFF」にします。
- 2 図のようにゴムキャップを外し、プラスドライバーをEMERGENCY スクリュー（赤色）の十字部に挿入します。
- 3 ドライバーを押しながら、テープがイジェクトするまでEMERGENCY スクリューを反時計方向に回転させます。
 - 回し始めてからアンローディングを開始するまで、約20回転が必要です。
 - 回し始めてからテープがイジェクトするまで、約90回転が必要です。
- 4 カセットを取り出します。
- 5 ゴムキャップを元に戻します。

カセットホルダー

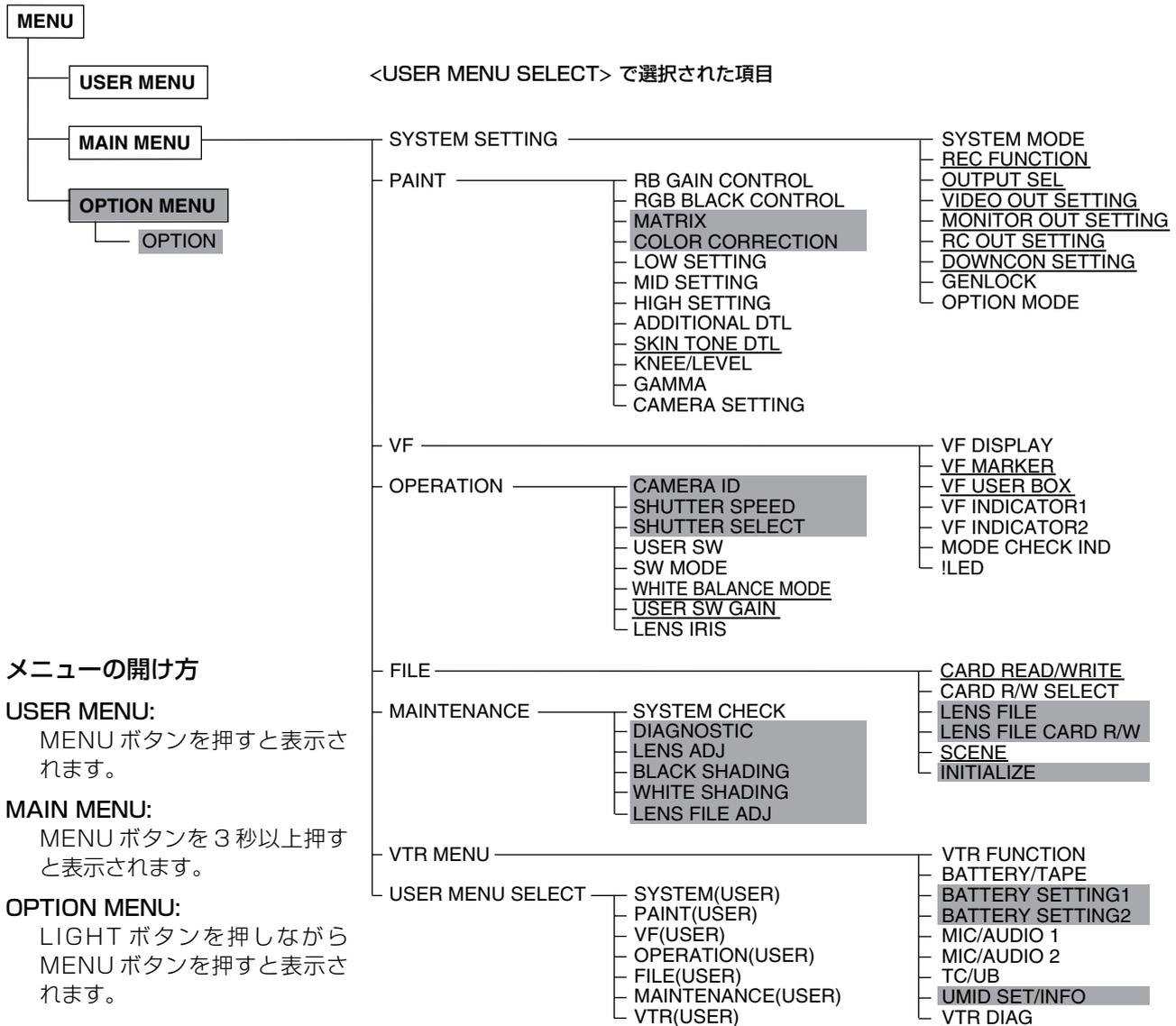


<ノート>

- 緊急以外はこのEMERGENCY スクリューを回さないようにしてください。
- スクリューは時計方向に回さないでください。また、テープがイジェクトした後はそれ以上回転させないでください。メカニズム部を破損させるおそれがあります。
- テープがイジェクトした後は、カセットホルダーを閉めてもロックしません。必ず電源を再投入し、メカニズムの動作をリセットさせてから、カセットホルダーを閉めてください。
- EMERGENCY スクリューを回す際、クリック（カチカチ）音がしますが、リール駆動の動作音であり、異常ではありません。

第7章 MENU 一覧

7-1 メニュー構成



メニューの開け方

USER MENU:

MENU ボタンを押すと表示されます。

MAIN MENU:

MENU ボタンを 3 秒以上押すと表示されます。

OPTION MENU:

LIGHT ボタンを押しながら MENU ボタンを押すと表示されます。

<ノート>

- 設定可能な項目はカメラ関連が 3 ページ分、14 × 3 = 42 項目と、VTR 関連 1 ページ分 14 項目となります。
- ■ のある項目は、<USER MENU SELECT> で選択できません。
- □ のある項目は、<USER MENU SELECT> で項目全体 (1 ページ分) でのみ選択できます。各項目別で個別に選択できません。ただし、DOWNCON SETTING の DOWNCON MODE のみ個別に選択することができます。
- PAINT-KNEE/LEVEL の CHROMA LEVEL と、SYSTEM SETTING-OPTION MODE の 1394 関係のメニューは <USER MENU SELECT> で選択できません。

メニュー一覧の見方

メニュー変更した内容が、それぞれのデータに記憶、またはデータから読み出しがされるかどうかを示します / または記載がない場合は、記憶/読み出しできません。

S = シーンファイルデータとして記憶/読み出し可能です。
 C = CARD READ/WRITE で記憶/読み出し可能です。
 U = ユーザーデータとして記憶/読み出し可能です。
 「7-6-5 SCENE」と「7-6-6 INITIALIZE」を参照してください。

F = READ FACTORY DATA で読み出し可能です。
 「7-6-6 INITIALIZE」を参照してください。

R = RC DATA SAVE で記憶が可能です。
 「5-10 リモートコントロールユニット (AJ-RC10G) の接続」を参照してください。

項目	可変範囲	備考
CAMERA MODE	60i 30P 24P 24PA	撮影時の映像方式を設定します。
CUFR		

この項目の設定値の可変範囲や、選択できる設定項目を示します。

この項目で設定できる内容の説明です。

第7章 MENU一覧 (つづき)

7-2 SYSTEM SETTING

7-2-1 SYSTEM MODE

項目	可変範囲	備考
CAMERA MODE	60i 30P 24P 24PA	撮影時の映像方式を設定します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R		

項目	可変範囲	備考
PRE REC MODE	OFF ON	PRE RECORDING機能の設定をします。 OFF: REC START ボタンまたはレンズの VTR ボタンを押した後、約 0.4 秒後から記録を行います。 ON: PRE RECORDING 機能を動作させます。 詳しくは、「3-4 数秒前からの映像を記録する (PRE RECORDING 機能)」を参照してください。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R		
PRE REC TIME	0SEC : 7SEC	PRE RECORDING で REC スタートを押してから、さかのぼって記録できる時間を設定します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R		
RETAKE MODE	ON OFF	RETAKE 機能の設定をします。 ON: RETAKE 機能を動作させます。 OFF: RETAKE 機能を動作させません。 電源を切ると OFF に戻ります。 詳しくは、「3-6 直前のカットを撮り直す (RETAKE 機能)」を参照してください。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R		

7-2-2 REC FUNCTION

項目	可変範囲	備考
INTERVAL REC MODE	ON ONE SHOT OFF	INTERVAL REC 機能を設定します。 ON: インターバル記録を行います。1 フレーム単位での間欠記録が可能です。 ONE SHOT: REC TIME で設定された時間、一回だけ記録し、停止します。 OFF: インターバル記録を行いません。 詳しくは、「3-5 間欠的に映像を記録する (INTERVAL REC 機能)」を参照してください。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R		
INTERVAL REC HOLD	ON OFF	電源 OFF 時に、INTERVAL REC MODE 項目の設定を保持するか解除するを設定します。 ON: INTERVAL REC MODE 項目の設定を保持します。 OFF: INTERVAL REC MODE 項目の設定を解除します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R		
REC TIME	00s01f : 59s29f	記録時間 (1 カット) を設定します。 ● CAMERA MODE 項目を 24P または、24PA に設定した場合、5 フレーム単位 (切り捨て) の設定になります。(最小値: 00s05f)
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R		
PAUSE TIME	00h00m00s01f : 00h04m59s29f : 23h59m59s29f	記録一時停止時間の設定をします。 ● CAMERA MODE 項目を 24P または、24PA に設定した場合、5 フレーム単位 (切り捨て) の設定になります。(最小値: 00h00m00s05f)
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R		
TAKE TOTAL TIME	NONE : 5day	撮影に要する時間の設定をします。 NONE (手動で停止するまで続ける) から 5DAY (5 日間) の中から選択します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R		
TOTAL REC TIME	00m00s01f : 99m59s29f OVER 100min NONE	総記録時間を表示します。ここでの設定変更はできません。REC TIME、PAUSE TIME、TAKE TOTAL TIME の計算結果を表示します。 ● この表示は、記録時間の目安です。テープの記録時間よりも長く記録することはできません。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R		
AUDIO REC	OFF ON	INTERVAL REC 時における、音声記録の有無を設定します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R		
START DELAY	0SEC : 10SEC	INTERVAL REC で REC スタートを押してから、記録を開始するまでの時間を設定します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R		

可変範囲の ____ はプリセットモードです。

第7章 MENU一覧 (つづき)

7-2-3 OUTPUT SEL

項目	可変範囲	備考
OUTPUT ITEM	MENU ONLY TC STATUS	VIDEO OUT 端子の出力信号に、スーパーインポーズするキャラクター内容を設定します。 MENU ONLY: メニューの操作を行っているときだけ、メニュー画面をスーパーインポーズします。通常は、何も表示しません。 TC: タイムコードをスーパーインポーズします。(メニューの操作を行っているときは、メニュー画面をスーパーインポーズします。) STATUS: ビューファインダー画面にスーパーインポーズしているキャラクターと同じものをスーパーインポーズします。(メニューの操作を行っているときは、メニュー画面をスーパーインポーズします。) 詳しくは、「4-8-1 VIDEO OUT 端子から出力する信号の設定」を参照してください。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R	
MONI OUT	HD-SDI HD-Y	MON OUT 端子から出力する映像信号を設定します。 HD-SDI: HD SDI 信号を出力します。 HD-Y: アナログ HD-Y 信号 (1080-59.94i) を出力します。 詳しくは、「4-8-2 MON OUT 端子から出力する信号の設定」を参照してください。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R	
MONI OUT CHARA	ON OFF	MON OUT 端子の HD SDI 出力信号に、キャラクターをスーパーインポーズする設定を行います。 ON: スーパーインポーズします。 OFF: スーパーインポーズしません。 <ノート> VIDEO OUT CHARACTER スイッチには、連動しません。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R	
MONI OUT MODE	CAM VTR	MON OUT 端子から出力する信号を切り替えます。 CAM: 常にカメラ映像を出力します。 VTR: 記録など EE 時は、カメラ映像を出力し、再生時は VTR の再生信号を出力します。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R	
VF MODE	CAM VTR	ビューファインダー画面の表示モードを切り替えます。 CAM: 常にカメラ映像を表示します。 VTR: 記録など EE 時は、カメラ映像を表示し、再生時は VTR の再生映像を表示します。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R	

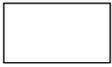
7-2-4 VIDEO OUT SETTING

項目	可変範囲	備考
VIDEO OUT CENTR MARK	OFF 1 2 3 4	VIDEO OUT 端子の出力信号に、スーパーインポーズするセンターマーカを設定します。 OFF: 表示しません。 1: + (大) 2: 中空き (大) 3: + (小) 4: 中空き (小)
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R	
VIDEO OUT SAFETY MARK	OFF 1 2	VIDEO OUT 端子の出力信号に、スーパーインポーズするセーフティマーカの種類を設定します。 OFF: 表示しません。 1: BOX  2: コーナー枠 
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R	
SAFETY AREA	80% : 90% : 100%	セーフティマーカの大きさを設定します。 縦と横の比率は一定のまま、1%ずつの設定が可能です。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R	
VIDEO OUT FRM MARK	ON OFF	VIDEO OUT 端子の出力信号に、フレームマーカをスーパーインポーズする設定を行います。 ON: スーパーインポーズします。 OFF: スーパーインポーズしません。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R	
FRM SIG	4:3 13:9 14:9 VISTA	フレームマーカの設定を行います。 VISTAは 16 : 8.65 です。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R	
VIDEO OUT USER BOX	ON OFF	VIDEO OUT 端子の出力信号に、ユーザーボックスをスーパーインポーズする設定を行います。 ON: スーパーインポーズします。 OFF: スーパーインポーズしません。 ● VIDEO OUT スイッチを SD-SDI や VBS の位置にしたときは、スーパーインポーズされません。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R	
USER BOX WIDTH	1 : 13 : 100	ユーザーボックスの幅を設定します。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R	
USER BOX HEIGHT	1 : 13 : 100	ユーザーボックスの高さを設定します。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R	
USER BOX H POS	-50 : +00 : +50	ユーザーボックスのセンターの水平位置を設定します。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R	
USER BOX V POS	-50 : +00 : +50	ユーザーボックスのセンターの垂直位置を設定します。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R	

- ユーザーボックスは、ボックス型のカーソルとして任意の位置に表示させることができます。
- DOWNCON SETTING 画面の DOWNCON MODE 項目を LT-BOX や S-CROP に設定している場合は、フレームマーカやセーフティマーカが表示されません。

可変範囲の ____ はプリセットモードです。

7-2-5 MONITOR OUT SETTING

項目	可変範囲	備考
MONI OUT CENTR MARK	OFF 1 2 3 4	MON OUT 端子のHD SDI出力信号に、スーパーインポーズするセンターマーカを設定します。 OFF: 表示しません。 1: + (大) 2: 中空き (大) 3: + (小) 4: 中空き (小)
MONI OUT SAFETY MARK	OFF 1 2	MON OUT 端子のHD SDI出力信号に、スーパーインポーズするセーフティマーカの枠の種類を設定します。 OFF: 表示しません。 1: BOX  2: コーナー枠 
SAFETY AREA	80% 90% 100%	セーフティマーカの大きさを設定します。 縦と横の比率は一定のまま、1%ずつの設定が可能です。
MONI OUT FRM MARK	ON OFF	MON OUT 端子のHD SDI出力信号に、フレームマーカをスーパーインポーズする設定を行います。 ON: スーパーインポーズします。 OFF: スーパーインポーズしません。
FRM SIG	4:3 13:9 14:9 VISTA	フレームマーカの設定を行います。 VISTAは 16 : 8.65 です。
MONI OUT USER BOX	ON OFF	MON OUT 端子のHD SDI出力信号に、ユーザーボックスをスーパーインポーズする設定を行います。 ON: スーパーインポーズします。 OFF: スーパーインポーズしません。
USER BOX WIDTH	1 13 100	ユーザーボックスの幅を設定します。
USER BOX HEIGHT	1 13 100	ユーザーボックスの高さを設定します。
USER BOX H POS	-50 +00 +50	ユーザーボックスのセンターの水平位置を設定します。
USER BOX V POS	-50 +00 +50	ユーザーボックスのセンターの垂直位置を設定します。

- ユーザーボックスは、ボックス型のカーソルとして任意の位置に表示させることができます。
- DOWNCON SETTING 画面の DOWNCON MODE 項目を LT-BOX や S-CROP に設定している場合は、フレームマーカやセーフティマーカが表示されません。

可変範囲の ____ はプリセットモードです。

7-2-6 RC OUT SETTING

項目	可変範囲	備考
RC OUT CENTR MARK	OFF 1 2 3 4	REMOTE 端子の出力信号に、スーパーインポーズするセンターマーカを設定します。 OFF: 表示しません。 1: + (大) 2: 中空き (大) 3: + (小) 4: 中空き (小)
RC OUT SAFETY MARK	OFF 1 2	REMOTE 端子の出力信号に、スーパーインポーズするセーフティマーカの枠の種類を設定します。 OFF: 表示しません。 1: BOX  2: コーナー枠 
SAFETY AREA	80% 90% 100%	セーフティマーカの大きさを設定します。 縦と横の比率は一定のまま、1%ずつの設定が可能です。
RC OUT FRM MARK	ON OFF	REMOTE 端子の出力信号に、フレームマーカをスーパーインポーズする設定を行います。 ON: スーパーインポーズします。 OFF: スーパーインポーズしません。
FRM SIG	4:3 13:9 14:9 VISTA	フレームマーカの設定を行います。 VISTAは 16 : 8.65 です。

<ノート>

- SAFETY AREA 項目と FRM SIG 項目の設定は、VIDEO OUT、MON OUT、REMOTE の各端子に連動します。
- USER BOX WIDTH、USER BOX HEIGHT、USER BOX H POS、USER BOX V POS の各項目の設定は、VIDEO OUT 端子と MON OUT 端子に連動します。

第7章 MENU一覧 (つづき)

7-2-7 DOWNCON SETTING

項目	可変範囲	備考
DOWNCON MODE	SQUEEZ LT-BOX S-CROP	ダウンコンバーター出力信号のモードを設定します。
DETAIL	ON OFF	ダウンコンバーター出力信号に対するディテール機能の ON/OFF を設定します。 ダウンコンバーター出力信号には、HD 信号処理時に設定されたディテール成分が含まれます。 本設定は、その信号にダウンコンバーター出力専用のディテール成分を重畳するものです。 本設定を OFF にしても、HD 信号処理時に設定されたディテール成分を OFF にすることができません。
H.DTL LEVEL	00 08 31	ダウンコンバーター出力信号に対する水平ディテール補正レベルの設定を行います。
V.DTL LEVEL	00 04 31	ダウンコンバーター出力信号に対する垂直ディテール補正レベルの設定を行います。
DTL CORING	00 01 15	ディテールのノイズ除去レベルを設定設定します。
H.DTL FREQ.	1 3 5	水平ディテール周波数の選択を行います。 1: 2.5 MHz 4: 4 MHz 2: 3 MHz 5: 4.5 MHz 3: 3.5 MHz
2DLPF	ON OFF	クロスカラーを低減する 2 次元ローパスフィルターの設定を行います。 ON: クロスカラーの低減を行います。 OFF: クロスカラーの低減を行いません。
SET UP	0% 7.5%	ダウンコンバーター出力信号に対するセットアップレベルの設定を行います。

7-2-8 GENLOCK

項目	可変範囲	備考
GENLOCK	INT EXT	ゲンロックを行うときの基準信号を設定します。 INT: GENLOCK IN 端子に入力された信号に関係なく、本機内部の基準信号に同期します。 EXT: GENLOCK IN 端子に入力された基準信号に同期します。
GL PHASE	HD SDI COMPOSIT	GENLOCK IN 端子に入力された信号に、位相をロックさせる出力信号を選択します。 HD SDI: HD SDI 出力信号をゲンロック入力にロックさせます。 ダウンコンバーター出力信号は、映像のスタート位置が約 90 ライン遅れます。 COMPOSIT: ダウンコンバーター出力信号をゲンロック入力にロックさせます。 HD SDI 出力信号は、映像のスタート位置が約 90 ライン進みます。
H PHASE COARSE	- 100 + 000 + 100	ゲンロックを行うときに、水平同期の位相を合わせる粗調整を行ないます。
H PHASE FINE	- 100 + 000 + 100	ゲンロックを行うときに、水平同期の位相合わせの微調整を行ないます。

可変範囲の ____ はプリセットモードです。

第7章 MENU 一覧 (つづき)

7-2-9 OPTION MODE

項 目	可変範囲	備 考
REC TALLY	RED GREEN CHAR	本機を周辺機器と接続してリモートで使用するとき、本機の記録を知らせる方法を選択します。 RED: 赤色タリールランプが点灯します。 GREEN: 緑色タリールランプが点灯します。 CHAR: ビューファインダーに「REC」を表示します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
P.OFF GPS DATA	HOLD CLEAR	電源 OFF 時、次に電源を ON にしてから新たに測定できるまでの間、UMID の GPS 位置情報を HOLD しておいて前値ホールド状態のデータとして記録するかどうかを選択します。 HOLD: ホールドして記録します。 CLEAR: 電源 OFF と同時にクリアし、次の電源 ON から測定までの間はオールゼロ (No-Info) を記録します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
1394 SPEED	S200 S400	DVCPRO 端子から出力する信号の転送速度を設定します。 S200: 200Mbps S400: 400Mbps
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
1394 IN CH	0 : 63 AUTO	DVCPRO 端子に入力される信号の入力チャンネルを設定します。 0 ~ 63: 指定値で固定します。 AUTO: 外部接続機器の設定に従います。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
1394 OUT CH	0 : 63 AUTO	DVCPRO 端子から出力する信号の出力チャンネルを設定します。 0 ~ 63: 指定値で固定します。 AUTO: 外部接続機器の設定に従います。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
1394 CONTROL	OFF BOTH	DVCPRO 端子に接続した外部機器の記録開始/停止動作の制御を設定します。 OFF: 外部接続機器の制御を行いません。 BOTH: 本機と外部接続機器、両方の制御を行います。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
1394 CMD SEL	REC_P STOP	DVCPRO 端子に接続した外部機器の記録停止動作の制御を設定します。 REC_P: 記録一時停止動作 STOP: 停止動作
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
SDI METADATA	ON OFF	HD SDI 信号に、メタデータ (UMID 情報) を出力する設定を行います。 ON: 出力します。 OFF: 出力しません。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
SDI EDH	ON OFF	SD SDI 信号に、通信エラーの検出信号を出力する設定を行います。 ON: 出力します。 OFF: 出力しません。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		

可変範囲の ____ はプリセットモードです。

第7章 MENU一覧 (つづき)

7-3 PAINT

7-3-1 RB GAIN CONTROL

項目	可変範囲	備考
R GAIN AWB PRE	-200 ∴ +000 ∴ +200	WHITE BAL スイッチが PRST の位置のときの Rch ゲインを設定します。 ● リモートコントロールユニットが接続されたときは、メニューでの設定ができなくなります。(設定値の表示は行います。)
S C U F R		
B GAIN AWB PRE	-200 ∴ +000 ∴ +200	WHITE BAL スイッチが PRST の位置のときの Bch ゲインを設定します。 ● リモートコントロールユニットが接続されたときは、メニューでの設定ができなくなります。(設定値の表示は行います。)
S C U F R		
R GAIN AWB A	-200 ∴ +000 ∴ +200	WHITE BAL スイッチが A の位置のときの Rch ゲインを設定します。 ● リモートコントロールユニットが接続されたときは、メニューでの設定ができなくなります。(設定値の表示は行います。)
S C U F R		
B GAIN AWB A	-200 ∴ +000 ∴ +200	WHITE BAL スイッチが A の位置のときの Bch ゲインを設定します。 ● リモートコントロールユニットが接続されたときは、メニューでの設定ができなくなります。(設定値の表示は行います。)
S C U F R		
R GAIN AWB B	-200 ∴ +000 ∴ +200	WHITE BAL スイッチが B の位置のときの Rch ゲインを設定します。 ● リモートコントロールユニットが接続されたときは、メニューでの設定ができなくなります。(設定値の表示は行います。)
S C U F R		
B GAIN AWB B	-200 ∴ +000 ∴ +200	WHITE BAL スイッチが B の位置のときの Bch ゲインを設定します。 ● リモートコントロールユニットが接続されたときは、メニューでの設定ができなくなります。(設定値の表示は行います。)
S C U F R		
AWB A GAIN OFFSET	ON OFF	WHITE BAL スイッチを A の位置にしてオートホワイトバランスを行ったときの、Rch ゲインと Bch ゲインの値を設定します。 ON: R GAIN AWB A 項目と B GAIN AWB A 項目で設定した値を保持したままにします。 OFF: Rch ゲインと Bch ゲインの値を「0」にします。
S C U F R		
AWB B GAIN OFFSET	ON OFF	WHITE BAL スイッチを B の位置にしてオートホワイトバランスを行ったときの、Rch ゲインと Bch ゲインの値を設定します。 ON: R GAIN AWB B 項目と B GAIN AWB B 項目で設定した値を保持したままにします。 OFF: Rch ゲインと Bch ゲインの値を「0」にします。
S C U F R		

7-3-2 RGB BLACK CONTROL

項目	可変範囲	備考
MASTER PED	-200 ∴ +015 ∴ +200	マスターペDESTALのレベルを設定します。 ● リモートコントロールユニットが接続されたときは、メニューでの設定ができなくなります。(設定値の表示は行います。)
S C U F R		
R PEDESTAL	-100 ∴ +000 ∴ +100	Rch のペDESTALレベルを設定します。 ● リモートコントロールユニットが接続されたときは、メニューでの設定ができなくなります。(設定値の表示は行います。)
S C U F R		
G PEDESTAL	-100 ∴ +000 ∴ +100	Gch のペDESTALレベルを設定します。 ● リモートコントロールユニットが接続されたときは、メニューでの設定ができなくなります。(設定値の表示は行います。)
S C U F R		
B PEDESTAL	-100 ∴ +000 ∴ +100	Bch のペDESTALレベルを設定します。 ● リモートコントロールユニットが接続されたときは、メニューでの設定ができなくなります。(設定値の表示は行います。)
S C U F R		
PEDESTAL OFFSET	ON OFF	ブラックバランスの調整を行ったときの、Rch、Gch、Bch のペDESTALレベルを設定します。 ON: R PEDESTAL、G PEDESTAL、B PEDESTAL の各項目で設定した値を保持したままにします。 OFF: Rch、Gch、Bch のペDESTALレベルを「0」にします。
S C U F R		
R FLARE	-100 ∴ +000 ∴ +100	Rch のフレアレベルを調整します。 7-7-6 <LENS FILE ADJ> 画面で調整されたフレア調整値に対して、この項目の調整値が加算されます。 ● リモートコントロールユニットが接続されたときは、メニューでの設定ができなくなります。(設定値の表示は行います。)
S C U F R		
G FLARE	-100 ∴ +000 ∴ +100	Gch のフレアレベルを調整します。 7-7-6 <LENS FILE ADJ> 画面で調整されたフレア調整値に対して、この項目の調整値が加算されます。 ● リモートコントロールユニットが接続されたときは、メニューでの設定ができなくなります。(設定値の表示は行います。)
S C U F R		
B FLARE	-100 ∴ +000 ∴ +100	Bch のフレアレベルを調整します。 7-7-6 <LENS FILE ADJ> 画面で調整されたフレア調整値に対して、この項目の調整値が加算されます。 ● リモートコントロールユニットが接続されたときは、メニューでの設定ができなくなります。(設定値の表示は行います。)
S C U F R		

可変範囲の ____ はプリセットモードです。

第7章 MENU 一覧 (つづき)

7-3-3 MATRIX

項目	可変範囲	備考
■ MATRIX TABLE	A B	リニアマトリックス用の色補正テーブルを選択します。
S C U F R		
MATRIX R-G	-63 ... +00 ... +63	リニアマトリックスの調整を行います。(赤 - 緑)
S C U F R		
MATRIX R-B	-63 ... +00 ... +63	リニアマトリックスの調整を行います。(赤 - 青)
S C U F R		
MATRIX G-R	-63 ... +00 ... +63	リニアマトリックスの調整を行います。(緑 - 赤)
S C U F R		
MATRIX G-B	-63 ... +00 ... +63	リニアマトリックスの調整を行います。(緑 - 青)
S C U F R		
MATRIX B-R	-63 ... +00 ... +63	リニアマトリックスの調整を行います。(青 - 赤)
S C U F R		
MATRIX B-G	-63 ... +00 ... +63	リニアマトリックスの調整を行います。(青 - 緑)
S C U F R		
■ L MATRIX TABLE	OFF A B	GAIN スイッチが L の位置のときの色補正テーブルを選択します。
S C U F R		
■ M MATRIX TABLE	OFF A B	GAIN スイッチが M の位置のときの色補正テーブルを選択します。
S C U F R		
■ H MATRIX TABLE	OFF A B	GAIN スイッチが H の位置のときの色補正テーブルを選択します。
S C U F R		

<ノート>

名前の先頭に■が付いた項目は、<CARD R/W SELECT>画面の PAINT MENU SW(■) R/W 項目の設定対象です。■が付いていない項目は、PAINT MENU LEVEL R/W 項目の設定対象になります。

7-3-4 COLOR CORRECTION

項目	可変範囲	備考
R (SAT)	-63 ... +00 ... +63	赤の色飽和度を補正します。
S C U F R		
R-Mg (SAT)	-63 ... +00 ... +63	赤とマゼンタの間の色飽和度を補正します。
S C U F R		
Mg (SAT)	-63 ... +00 ... +63	マゼンタの色飽和度を補正します。
S C U F R		
Mg-B (SAT)	-63 ... +00 ... +63	マゼンタと青の間の色飽和度を補正します。
S C U F R		
B (SAT)	-63 ... +00 ... +63	青の色飽和度を補正します。
S C U F R		
B-Cy (SAT)	-63 ... +00 ... +63	青とシアンの間の色飽和度を補正します。
S C U F R		
Cy (SAT)	-63 ... +00 ... +63	シアンの色飽和度を補正します。
S C U F R		
Cy-G (SAT)	-63 ... +00 ... +63	シアンと緑の間の色飽和度を補正します。
S C U F R		
G (SAT)	-63 ... +00 ... +63	緑の色飽和度を補正します。
S C U F R		
G-YI (SAT)	-63 ... +00 ... +63	緑と黄の間の色飽和度を補正します。
S C U F R		
YI (SAT)	-63 ... +00 ... +63	黄の色飽和度を補正します。
S C U F R		
YI-R (SAT)	-63 ... +00 ... +63	黄と赤の間の色飽和度を補正します。
S C U F R		

可変範囲の ____ はプリセットモードです。

7-3-5 LOW SETTING

項目	可変範囲	備考
R (PHASE)	-63 ∴ +00	赤の色相を補正します。
S C U F R	+63	
R-Mg (PHASE)	-63 ∴ +00	赤とマゼンタの間の色相を補正します。
S C U F R	+63	
Mg (PHASE)	-63 ∴ +00	マゼンタの色相を補正します。
S C U F R	+63	
Mg-B (PHASE)	-63 ∴ +00	マゼンタと青の間の色相を補正します。
S C U F R	+63	
B (PHASE)	-63 ∴ +00	青の色相を補正します。
S C U F R	+63	
B-Cy (PHASE)	-63 ∴ +00	青とシアンの間の色相を補正します。
S C U F R	+63	
Cy (PHASE)	-63 ∴ +00	シアンの色相を補正します。
S C U F R	+63	
Cy-G (PHASE)	-63 ∴ +00	シアンと緑の間の色相を補正します。
S C U F R	+63	
G (PHASE)	-63 ∴ +00	緑の色相を補正します。
S C U F R	+63	
G-YI (PHASE)	-63 ∴ +00	緑と黄の間の色相を補正します。
S C U F R	+63	
YI (PHASE)	-63 ∴ +00	黄の色相を補正します。
S C U F R	+63	
YI-R (PHASE)	-63 ∴ +00	黄と赤の間の色相を補正します。
S C U F R	+63	
■ COLOR CORRECT	ON ∴ OFF	GAIN スイッチで選択されているポジション (L、M、H) の12軸独立色補正のON/OFFを切り替えます。
S C U F R		

項目	可変範囲	備考
■ MASTER GAIN	-3dB ∴ 0dB ∴ 30dB	マスターゲインを-3、0、3、6、9、12、15、18、21、24、27、30dBから選択します。
S C U F R		
H.DTL LEVEL	00 ∴ 10 ∴ 63	水平ディテール補正レベルの設定を行います。
S C U F R		
V.DTL LEVEL	00 ∴ 20 ∴ 31	垂直ディテール補正レベルの設定を行います。
S C U F R		
DTL CORING	00 ∴ 01 ∴ 15	ディテールのノイズ除去レベルを設定設定します。
S C U F R		
H.DTL FREQ.	00 ∴ 18 ∴ 31	水平ディテール周波数の選択を行います。 ピーク周波数の目安 0 : 9 MHz 10 : 10 MHz 20 : 12 MHz 30 : 15 MHz
S C U F R		
LEVEL DEPEND.	0 1 ∴ 5	LEVEL DEPEND の設定を行います。Yディテール強調時、暗部のディテールを圧縮します。数値が大きいくほど、明るい部分のディテールも圧縮します。
S C U F R		
MASTER GAMMA	0.30 ∴ 0.45 ∴ 0.75	マスターガンマの設定を行います。(0.01 ステップ)
S C U F R		
BLACK GAMMA	-3 ∴ OFF ∴ +3	暗部のガンマカーブの設定を行います。 -3~-1: 暗部を圧縮します。 OFF: 標準状態 +1~+3: 暗部を伸張します。
S C U F R		
■ MATRIX TABLE	OFF A ∴ B	リニアマトリックス用の色補正テーブルを選択します。
S C U F R		
■ COLOR CORRECT	ON ∴ OFF	12軸独立色補正のON/OFFを切り替えます。
S C U F R		

<ノート>

- マスターゲインを-3dBに設定して撮影を行うと、高輝度部の映像に着色現象が発生することがあります。この着色現象を抑制する場合は、KNEE/LEVEL画面のKNEE SLOPEの値を小さくして着色現象が発生していないことを確認した後、撮影を行ってください。KNEE SLOPEの値を有効にするには、下記の設定を行ってください。

OUTPUT/AUTO KNEE 選択スイッチ :

CAM. AUTO KNEE OFF

KNEE/LEVEL画面の■MANUAL KNEE項目 :

ON

- 名前の先頭に■が付いた項目は、<CARD R/W SELECT>画面のPAINT MENU SW(■) R/W項目の設定対象です。■が付いていない項目は、PAINT MENU LEVEL R/W項目の設定対象になります。

可変範囲の ____ はプリセットモードです。

第7章 MENU一覧 (つづき)

7-3-6 MID SETTING

項目	可変範囲	備考
■ MASTER GAIN	-3dB : 6dB : 30dB	マスターゲインを-3、0、3、6、9、12、15、18、21、24、27、30dBから選択します。
S C U F R		
H.DTL LEVEL	00 : 08 : 63	水平ディテール補正レベルの設定を行います。
S C U F R		
V.DTL LEVEL	00 : 18 : 31	垂直ディテール補正レベルの設定を行います。
S C U F R		
DTL CORING	00 : 02 : 15	ディテールのノイズ除去レベルを設定設定します。
S C U F R		
H.DTL FREQ.	00 : 18 : 31	水平ディテール周波数の選択を行います。 ピーク周波数の目安 0 : 9 MHz 10 : 10 MHz 20 : 12 MHz 30 : 15 MHz
S C U F R		
LEVEL DEPEND.	0 : 1 : 5	LEVEL DEPENDの設定を行います。Yディテール強調時、暗部のディテールを圧縮します。数値が大きいほど、明るい部分のディテールも圧縮します。
S C U F R		
MASTER GAMMA	0.30 : 0.45 : 0.75	マスターガンマの設定を行います。(0.01 ステップ)
S C U F R		
BLACK GAMMA	-3 : OFF : +3	暗部のガンマカーブの設定を行います。 -3~-1: 暗部を圧縮します。 OFF: 標準状態 +1~+3: 暗部を伸張します。
S C U F R		
■ MATRIX TABLE	OFF A : B	リニアマトリックス用の色補正テーブルを選択します。
S C U F R		
■ COLOR CORRECT	ON OFF	12軸独立色補正のON/OFFを切り替えます。
S C U F R		

7-3-7 HIGH SETTING

項目	可変範囲	備考
■ MASTER GAIN	-3dB : 12dB : 30dB	マスターゲインを-3、0、3、6、9、12、15、18、21、24、27、30dBから選択します。
S C U F R		
H.DTL LEVEL	00 : 06 : 63	水平ディテール補正レベルの設定を行います。
S C U F R		
V.DTL LEVEL	00 : 16 : 31	垂直ディテール補正レベルの設定を行います。
S C U F R		
DTL CORING	00 : 03 : 15	ディテールのノイズ除去レベルを設定設定します。
S C U F R		
H.DTL FREQ.	00 : 18 : 31	水平ディテール周波数の選択を行います。 ピーク周波数の目安 0 : 9 MHz 10 : 10 MHz 20 : 12 MHz 30 : 15 MHz
S C U F R		
LEVEL DEPEND.	0 : 3 : 5	LEVEL DEPENDの設定を行います。Yディテール強調時、暗部のディテールを圧縮します。数値が大きいほど、明るい部分のディテールも圧縮します。
S C U F R		
MASTER GAMMA	0.30 : 0.55 : 0.75	マスターガンマの設定を行います。(0.01 ステップ)
S C U F R		
BLACK GAMMA	-3 : OFF : +3	暗部のガンマカーブの設定を行います。 -3~-1: 暗部を圧縮します。 OFF: 標準状態 +1~+3: 暗部を伸張します。
S C U F R		
■ MATRIX TABLE	OFF A : B	リニアマトリックス用の色補正テーブルを選択します。
S C U F R		
■ COLOR CORRECT	ON OFF	12軸独立色補正のON/OFFを切り替えます。
S C U F R		

<ノート>

名前の先頭に■が付いた項目は、<CARD R/W SELECT>画面のPAINT MENU SW(■) R/W項目の設定対象です。
■が付いていない項目は、PAINT MENU LEVEL R/W項目の設定対象になります。

可変範囲の ____ はプリセットモードです。

第7章 MENU一覧 (つづき)

7-3-8 ADDITIONAL DTL

項目	可変範囲	備考
KNEE APE LVL	OFF 1 2 3 4 5	高輝度部のディテールレベルを変えます。
S C U F R		
DTL GAIN(+)	- 31 : + 00 : + 31	ディテールの+方向のレベルを変えます。
S C U F R		
DTL GAIN(-)	- 31 : + 00 : + 31	ディテールの- (下) 方向のレベルを変えます。
S C U F R		
DTL CLIP	00 : 63	ディテール信号をクリップするレベルを設定します。
S C U F R		
DTL SOURCE	$(R+G)/2$ $(G+B)/2$ $2G+R+B /4$ $(3G+R)/4$ R G	ディテールを作成する RGB 信号成分の比率を設定します。
S C U F R		
V DTL FREQ	360TV 450TV 540TV 630TV 720TV	垂直ディテール周波数の選択を行います。
S C U F R		
H.DTL LINE MIX	0H 1H 2H	水平ディテール信号を生成するため、映像信号に加算する走査線数を設定します。
S C U F R		
MASTER DTL	- 31 : + 00 : + 31	マスターディテールレベルを変えます。
S C U F R		

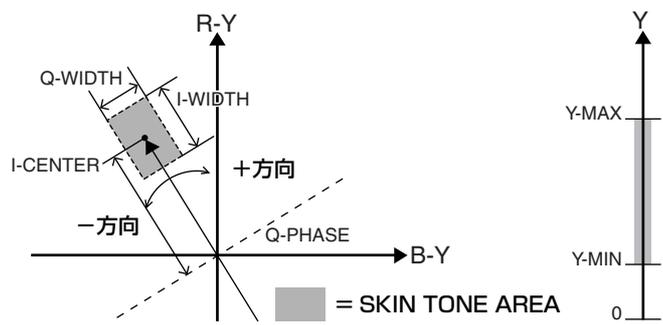
可変範囲の ____ はプリセットモードです。

7-3-9 SKIN TONE DTL

項目	可変範囲	備考
■ SKIN TONE DTL	OFF A B AB	スキントーンディテールを効かせる肌色テーブルを選択します。 肌色テーブルは、SKIN TONE TABLE 項目で作成します。 スキントーンディテールを効かせることで、人物の肌をより滑らかに撮影することができます。
S C U F R		
■ SKIN TONE ZEBRA VF	ON OFF	ビューファインダー画面に表示されるスキントーンエリアに、ゼブラパターンを表示する設定を行います。 この項目を「ON」にして <SKIN TONE DTL> 画面を開いているときにゼブラパターンが表示されます。 ゼブラパターンは、SKIN TONE TABLE 項目で選択された A または、B のエリアに表示されます。 A と B の両方を同時に表示することはできません。
S C U F R		
■ SKIN TONE ZEBRA VOUT	ON OFF	VIDEO OUT 端子から出力するスキントーンエリアに、ゼブラパターンをスーパーインポーズする設定を行います。 ● VIDEO OUT スイッチを SD SDI や VBS の位置にしたときは、ゼブラパターンがスーパーインポーズされません。
S C U F R		
■ SKIN TONE ZEBRA MONI	ON OFF	MON OUT 端子から出力するスキントーンエリアに、ゼブラパターンをスーパーインポーズする設定を行います。
S C U F R		
SKIN TONE TABLE	A B	スキントーンディテールを効かせる被写体の肌色テーブルを選択します。
S C U F R		
SKIN TONE GET		SKIN TONE TABLE 項目で選択された A または、B の色情報をセンターマーカー付近で取得します。 実行すると I CENTER ~ Q PHASE のデータが自動で取得されます。 取得したデータは、SKIN TONE TABLE 項目で選択された A または、B のテーブルデータになります。 A と B の両方を同時に色情報を得ることはできません。
SKIN DTL CORING	0 : 5 : 7	スキントーンディテールの効果レベルを設定します。
S C U F R		
Y MAX	000 : 190 : 255	スキントーンを効かせる輝度信号最大値の設定を行います。
S C U F R		
Y MIN	000 : 010 : 255	スキントーンを効かせる輝度信号最小値の設定を行います。
S C U F R		

項目	可変範囲	備考
I CENTER	000 : 035 : 255	I 軸上の中心位置の設定 (スキントーンを効かせるエリアの設定) を行います。
S C U F R		
I WIDTH	000 : 055 : 255	I CENTER を中心とした I 軸上のスキントーンを効かせるエリア幅の設定を行います。
S C U F R		
Q WIDTH	00 : 10 : 90	I CENTER を中心とした Q 軸上のスキントーンを効かせるエリア幅の設定を行います。
S C U F R		
Q PHASE	- 180 : + 000 : + 179	Q 軸を基準としたスキントーンを効かせるエリアの位相の設定を行います。
S C U F R		

7



<ノート>

名前の先頭に■が付いた項目は、<CARD R/W SELECT> 画面の PAINT MENU SW(■) R/W 項目の設定対象です。
■が付いていない項目は、PAINT MENU LEVEL R/W 項目の設定対象になります。

可変範囲の ____ はプリセットモードです。

第7章 MENU一覧 (つづき)

7-3-10 KNEE/LEVEL

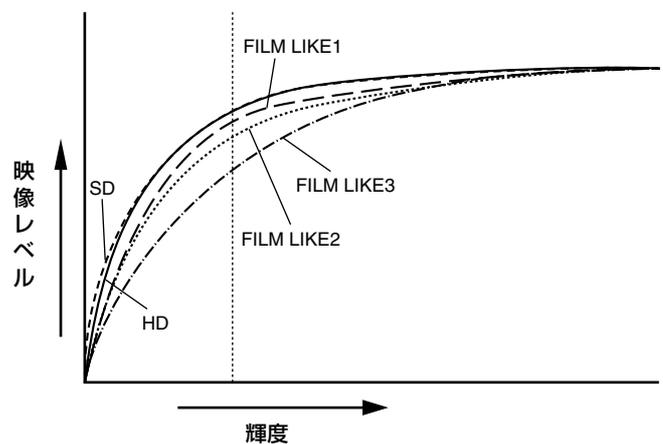
項目	可変範囲	備考
MASTER PED	-200 : 015 : +200	マスターペダスタルの設定を行います。
S C U F R		
■ MANUAL KNEE	ON OFF	AUTO KNEE スイッチが OFF 時のモード設定を行います。ON 時に KNEE POINT/SLOPE の設定値が有効になります。
S C U F R		
KNEE POINT	70.0% : 93.0% : 107.0%	ニーポイントの位置設定を 0.5% ステップで行います。
S C U F R		
KNEE SLOPE	00 : 85 : 99	ニーの傾き設定を行います。
S C U F R		
■ WHITE CLIP	ON OFF	ホワイトクリップ機能の ON/OFF を選択します。ON 時に WHITE CLIP LVL の設定値が有効になります。
S C U F R		
WHITE CLIP LVL	90% : 109%	ホワイトクリップレベルの設定を行います。
S C U F R		
A.KNEE POINT	80% : 93% : 107%	オートニーポイントの位置設定を 1% ステップで行います。OUTPUT/AUTO KNEE 選択スイッチが CAM.AUTO KNEE ON の時に有効になります。
S C U F R		
A.KNEE LVL	100 : 107 : 109	オートニーレベルの設定を行います。
S C U F R		
A.KNEE RESPONSE	1 : 4 : 8	オートニー応答速度の設定を行います。数値を大きくするほど、応答速度が遅くなります。
S C U F R		
CHROMA LEVEL	OFF : -99% : +00% : +40%	Pr 信号と Pb 信号のクロマレベルを設定します。OFF に設定したときは、映像信号のカラー成分を除去します。
S C U F R		

<ノート>

名前の先頭に■が付いた項目は、<CARD R/W SELECT> 画面の PAINT MENU SW(■) R/W 項目の設定対象です。■が付いていない項目は、PAINT MENU LEVEL R/W 項目の設定対象になります。

7-3-11 GAMMA

項目	可変範囲	備考
MASTER GAMMA	0.30 : 0.45 : 0.75	マスターガンマの設定を 0.01 ステップで行います。
S C U F R		
R GAMMA	-15 : +00 : +15	Rch のガンマ設定を行います。
S C U F R		
B GAMMA	-15 : +00 : +15	Bch のガンマ設定を行います。
S C U F R		
GAMMA MODE SEL	HD SD FILM LIKE1 FILM LIKE2 FILM LIKE3	ガンマモードの選択を行います。 HD: HD (High Definition) 用のビデオガンマ特性です。 SD: HD ガンマよりも暗部のゲインがアップしています。 FILM LIKE1: ビデオ用シネマガンマ特性です。 FILM LIKE2: ビデオ用シネマガンマ特性です。FILM LIKE1 に比べ、よりハイライト部の階調を再現できる特性になっています。 FILM LIKE3: ビデオ用シネマガンマ特性です。FILM LIKE2 に比べ、よりハイライト部の階調を再現できる特性になっています。
S C U F R		



- GAMMA MODE SEL 項目を FILM LIKE3 で使用するときには、下記の設定をお勧めします。

MANUAL KNEE : ON
KNEE POINT : 85.0%
KNEE SLOPE : 50

可変範囲の ____ はプリセットモードです。

7-3-12 ■ CAMERA SETTING

項 目	可変範囲	備 考
DETAIL	ON OFF	ディテール信号の ON/OFF を切り替えます。
S C U F R		
HIGH COLOR	ON OFF	色のダイナミックレンジを拡大するモードの ON/OFF を切り替えます。
S C U F R		
GAMMA	ON OFF	ガンマ補正の ON/OFF を切り替えます。
S C U F R		
TEST SAW	ON OFF	テスト信号の ON/OFF を切り替えます。
S C U F R		
FLARE	ON OFF	フレア補正の ON/OFF を切り替えます。
S C U F R		
H-F COMPE.	ON OFF	アパチャー補正の ON/OFF を切り替えます。
S C U F R		

<ノート>

CAMERA SETTING は、すべての項目が <CARD R/W SELECT> 画面の PAINT MENU SW(■) R/W 項目の設定対象になります。

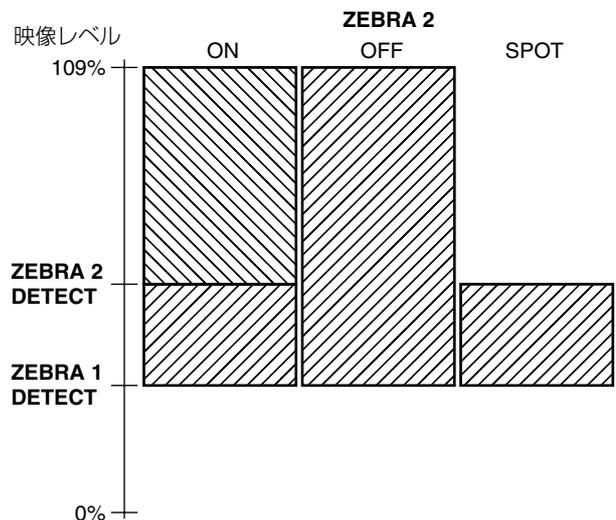
第7章 MENU一覧 (つづき)

7-4 VF

7-4-1 VF DISPLAY

項目	可変範囲	備考
DISP CONDITION	NORMAL HOLD	NORMAL: ステータスを常時表示 HOLD: MODE CHECK SWを押した時のみ表示
DISP MODE	1 2 3	表示モードの設定を行います。 本機の状態が変化したとき、ビューファインダー画面に表示する内容を設定します。 詳しくは、「4-7-4 表示モードと設定変更/調整結果メッセージ」を参照ください。
VF OUT	Y NAM R G B	ビューファインダー画面に表示する映像信号の選択を行います。 Y: 輝度信号 NAM: R,G,Bの中で一番レベルの大きい信号を出力します R: Rch信号 G: Gch信号 B: Bch信号
VF DTL	0 5	ビューファインダー画面の詳細レベルを設定します。 0の場合は、本線信号と同じディテールになります。 5の場合は、本線信号の約2倍のディテールになります。
ZEBRA1 DETECT	0% 70% 109%	ZEBRA1 検出レベル(IRE 値)の設定を行います。
ZEBRA2 DETECT	0% 85% 109%	ZEBRA2 検出レベル(IRE 値)の設定を行います。
ZEBRA2	ON SPOT OFF	ZEBRA2のON/OFF切り替え、およびSPOTの選択を行います。
LOW LIGHT LVL	OFF 10% 15% 20% 25% 30% 35%	カメラの入力光量が、どのくらい低いときに"LOW LIGHT"を表示するかの設定を行います。
RC MENU DISP.	ON OFF	リモートコントロールユニット接続時、ビューファインダー画面にメニューを表示する設定を行います。
MARKER/ CHAR LVL	50% 60% 70% 80% 90% 100%	ビューファインダー画面のマーカとキャラクターの輝度設定を行います。

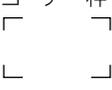
ゼブラパターンの表示



可変範囲の ___ はプリセットモードです。

第7章 MENU一覧 (つづき)

7-4-2 VF MARKER

項目	可変範囲	備考
TABLE	A B	VF MARKER 設定テーブルの選択を行います。 以下の項目で選択したA/Bの現在の値と設定を行います。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R		
CENTER MARK	OFF 1 2 3 4	センターマーカの切り替えを行います。 OFF: 表示しません。 1: + (大) 2: 中空き (大) 3: + (小) 4: 中空き (小)
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R		
SAFETY MARK	OFF 1 2	セーフティマーカの枠の種類を選択します。 OFF: 表示しません。 1: BOX  2: コーナー枠 
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R		
SAFETY AREA	80% 90% 100%	セーフティマーカの大きさを設定します。 縦と横の比率は一定のまま、1%ずつの設定が可能です。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R		
FRAME MARK	ON OFF	フレームマーカのON/OFF切り替えを行います。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R		
FRAME SIG	4:3 13:9 14:9 VISTA	フレームマーカの設定を行います。 VISTAは16 : 8.65です。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R		
FRAME LVL	0 15	フレームマーカの外側のレベルの設定を行います。 0: 信号 OFF に相当 (ブランキング状態) 15: 中央部と同じ明るさになります。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R		

7-4-3 VF USER BOX

項目	可変範囲	備考
USER BOX	ON OFF	ユーザーボックスをビューファインダーに表示するかどうかの設定を行います。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R		
USER BOX WIDTH	1 13 100	ユーザーボックスの幅を設定します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R		
USER BOX HEIGHT	1 13 100	ユーザーボックスの高さを設定します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R		
USER BOX H POS	-50 +00 +50	ユーザーボックスのセンターの水平位置を設定します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R		
USER BOX V POS	-50 +00 +50	ユーザーボックスのセンターの垂直位置を設定します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R		

- ユーザーボックスは、ボックス型のカーソルとして任意の位置に表示させることができます。

7

可変範囲の ____ はプリセットモードです。

第7章 MENU一覧 (つづき)

7-4-4 VF INDICATOR1

項目	可変範囲	備考
EXTENDER	ON OFF	エクステンダー表示のON/OFFの選択を行います。
∕C U F R		
SHUTTER	ON OFF	シャッタースピード表示のON/OFFの選択を行います。
∕C U F R		
FILTER	ON OFF	フィルター No. 表示のON/OFFの選択を行います。
∕C U F R		
WHITE	ON OFF	AWB PRE/A/B 表示のON/OFFの選択を行います。
∕C U F R		
GAIN	ON OFF	現在の選択ゲイン、S.GAIN、DS.GAIN、LINE MIX GAIN 表示のON/OFFの選択を行います。
∕C U F R		
IRIS	OFF IRIS S+IRIS S	OFF: スーパーアイリス ON 状態、絞り値両方を表示しません。 IRIS: 絞り値のみを表示します。 S+IRIS: スーパーアイリス ON 状態、および絞り値を表示します。 S: スーパーアイリス ON 状態を表示します。 ● 絞り値の表示とアイリスオーバーライドの表示は連動します。アイリスオーバーライドを変更したときは、3 秒間強制的に表示します。
∕C U F R		
CAMERA ID	BAR OFF	カメラ ID を記録する設定を行います。 BAR: カラーバー信号を記録するときに、カメラ ID を記録します。 OFF: 記録しません。
∕C U F R		
ID POSITION	UPPER R UPPER L LOWER R LOWER L	カメラ ID を表示する位置を設定します。 UPPER R: 右上 UPPER L: 左上 LOWER R: 右下 LOWER L: 左下
∕C U F R		
DATE/TIME	ON OFF	カメラ ID を表示するとき、年月日、時分秒を同時に表示する選択を行います。
∕C U F R		
ZOOM LVL	ON OFF	ズームポジション表示のON/OFFの選択を行います。
∕C U F R		
COLOR TEMP	ON OFF	色温度表示のON/OFFの選択を行います。
∕C U F R		
CAMERA MODE	ON OFF	カメラモード表示のON/OFFの選択を行います。
∕C U F R		
DRS	ON OFF	ダイナミックレンジストレッチャーモード表示のON/OFFの選択を行います。
∕C U F R		

7-4-5 VF INDICATOR2

項目	可変範囲	備考
TAPE	ON OFF	テープ残量表示のON/OFFの選択を行います。
∕C U F R		
BATTERY	ON OFF	バッテリー電圧表示のON/OFFの選択を行います。
∕C U F R		
AUDIO LVL	ON OFF	オーディオレベルメーター表示のON/OFFの選択を行います。
∕C U F R		
TC	TCG TCR TCG/TCR OFF	表示するタイムコードの選択を行います。 TCG: E-E 時にタイムコードジェネレータ値を表示します。 TCR: 再生時にタイムコードリーダー値を表示します。 TCG/TCR: E-E 時はタイムコードジェネレータ値を表示し、再生時はタイムコードリーダー値を表示します。 OFF: タイムコードを表示しません。
∕C U F R		
VTR WARNING	ALWAYS NORMAL OFF	VTR の警告を表示します。 ALWAYS: ワーニングが発生した場合、常に表示します。 NORMAL: ワーニングが発生後、3 秒間と記録開始後や記録終了後の 3 秒間に表示します。 OFF: 表示しません。
∕C U F R		
SAVE LED	SAVE& TAPE SAVE	SAVE ランプの動作を設定します。 SAVE&TAPE: VTR SAVE/STBY スイッチを SAVE にした時に点灯します。記録中は、消灯します。また、テープの終端間近には、テープの終端間近になる警告アラームに連動して点滅します。 SAVE: VTR SAVE/STBY スイッチを SAVE にした時に点灯します。記録中は、消灯します。
∕C U F R		

可変範囲の ____ はプリセットモードです。

第7章 MENU 一覧 (つづき)

7-4-6 MODE CHECK IND

項目	可変範囲	備考
STATUS	ON OFF	MODE CHECK ボタンを押したとき、ステータス画面を表示する設定を行います。
／C U F R		
!LED	ON OFF	MODE CHECK ボタンを押したとき、ビューファインダーのランプが点灯している要因を表示する設定を行います。このランプが点灯している要因は、 ! で表示されます。
／C U F R		
FUNCTION	ON OFF	MODE CHECK ボタンを押したとき、FUNCTION 画面を表示する設定を行います。
／C U F R		
AUDIO	ON OFF	MODE CHECK ボタンを押したとき、AUDIO 画面を表示する設定を行います。
／C U F R		
P.ON IND	ON OFF	本機の電源を入れた直後にステータス画面を表示する設定を行います。 <ノート> この項目で ON を選択していても、STATUS 項目が OFF になっていると電源を入れた直後にステータス画面は表示されません。
／C U F R		

7-4-7 !LED

項目	可変範囲	備考
GAIN(0dB)	ON OFF	GAIN が 0dB 以外のときに、ビューファインダーのランプが点灯する設定を行います。
／C U F R		
GAIN(-3dB)	ON OFF	GAIN が -3dB、または -6dB 以外のときに、ビューファインダーのランプが点灯する設定を行います。
／C U F R		
DS.GAIN	ON OFF	DS.GAIN (蓄積ゲイン) が機能しているときに、ビューファインダーのランプが点灯する設定を行います。
／C U F R		
LINE MIX	ON OFF	LINE MIX GAIN が機能しているときに、ビューファインダーのランプが点灯する設定を行います。
／C U F R		
SHUTTER	ON OFF	電子シャッターが機能しているときに、ビューファインダーのランプが点灯する設定を行います。
／C U F R		
WHITE PRESET	ON OFF	WHITE BAL スイッチが PRESET の位置のときに、ビューファインダーのランプが点灯する設定を行います。
／C U F R		
EXTENDER	ON OFF	レンズエクステンダーが機能しているときに、ビューファインダーのランプが点灯する設定を行います。
／C U F R		
B.GAMMA	ON OFF	BLACK GAMMA が機能しているときに、ビューファインダーのランプが点灯する設定を行います。
／C U F R		
MATRIX	ON OFF	リニアマトリックス用の色補正テーブルが選択されているときに、ビューファインダーのランプが点灯する設定を行います。
／C U F R		
COLOR CORRECTION	ON OFF	12 軸独立色補正が選択されているときに、ビューファインダーのランプが点灯する設定を行います。
／C U F R		
FILTER	ON OFF	フィルターが 3200K と CLEAR の組合せ以外のときに、ビューファインダーのランプが点灯する設定を行います。
／C U F R		
D.ZOOM	ON OFF	デジタルズーム機能が働いているときに、ビューファインダーのランプが点灯する設定を行います。
／C U F R		

7

可変範囲の ___ はプリセットモードです。

第7章 MENU一覧 (つづき)

7-5 OPERATION

7-5-1 CAMERA ID

項目	可変範囲	備考
ID1: /C U F/	*****	CAMERA ID の設定 1
ID2: /C U F/	*****	CAMERA ID の設定 2
ID3: /C U F/	*****	CAMERA ID の設定 3

<ノート>

READ FACTORY DATA を選択すると、内容がクリアされます。

7-5-2 SHUTTER SPEED

項目	可変範囲	備考
SYNCHRO SCAN /C U F R/	ON OFF	使用するシャッタースピードとして SYNCHRO SCAN を選択します。
POSITION1 /C U F R/	ON OFF	使用するシャッタースピードとして POSITION1 を選択します。
POSITION2 /C U F R/	ON OFF	使用するシャッタースピードとして POSITION2 を選択します。
POSITION3 /C U F R/	ON OFF	使用するシャッタースピードとして POSITION3 を選択します。
POSITION4 /C U F R/	ON OFF	使用するシャッタースピードとして POSITION4 を選択します。
POSITION5 /C U F R/	ON OFF	使用するシャッタースピードとして POSITION5 を選択します。
POSITION6 /C U F R/	ON OFF	使用するシャッタースピードとして POSITION6 を選択します。

7-5-3 SHUTTER SELECT

項目	可変範囲	備考
POSITION1 SEL /C U F R/	1/100 1/120 1/250 1/500 1/1000 1/2000 HALF	POSITION1 のシャッタースピードを 設定します。
POSITION2 SEL /C U F R/	1/100 1/120 1/250 1/500 1/1000 1/2000 HALF	POSITION2 のシャッタースピードを 設定します。
POSITION3 SEL /C U F R/	1/100 1/120 1/250 1/500 1/1000 1/2000 HALF	POSITION3 のシャッタースピードを 設定します。
POSITION4 SEL /C U F R/	1/100 1/120 1/250 1/500 1/1000 1/2000 HALF	POSITION4 のシャッタースピードを 設定します。
POSITION5 SEL /C U F R/	1/100 1/120 1/250 1/500 1/1000 1/2000 HALF	POSITION5 のシャッタースピードを 設定します。
POSITION6 SEL /C U F R/	1/100 1/120 1/250 1/500 1/1000 1/2000 HALF	POSITION6 のシャッタースピードを 設定します。

可変範囲の ____ はプリセットモードです。

第7章 MENU 一覧 (つづき)

7-5-4 USER SW

項目	可変範囲	備考
USER MAIN SW	INH S.GAIN DS.GAIN LINE MIX S.IRIS I.OVR S.BLK B.GAMMA AUDIO CH1 AUDIO CH2 REC SW Y GET RET SW D.ZOOM PRE REC DRS	USER MAIN ボタンに割り付ける機能を設定します。 詳しくは、「4-9-3 USER MAIN、USER1 および USER2 ボタンへの機能割り付け」を参照してください。
USER 1 SW	INH S.GAIN DS.GAIN LINE MIX S.IRIS I.OVR S.BLK B.GAMMA AUDIO CH1 AUDIO CH2 REC SW Y GET RET SW D.ZOOM PRE REC DRS	USER 1 ボタンに割り付ける機能を設定します。 詳しくは、「4-9-3 USER MAIN、USER1 および USER2 ボタンへの機能割り付け」を参照してください。
USER 2 SW	INH S.GAIN DS.GAIN LINE MIX S.IRIS I.OVR S.BLK B.GAMMA AUDIO CH1 AUDIO CH2 REC SW Y GET RET SW D.ZOOM PRE REC DRS	USER 2 ボタンに割り付ける機能を設定します。 詳しくは、「4-9-3 USER MAIN、USER1 および USER2 ボタンへの機能割り付け」を参照してください。

7-5-5 SW MODE

項目	可変範囲	備考
RET SW	R.REVIEW CAM RET	レンズの RET ボタンや RET SW 機能を割り付けた本機の USER ボタンを押したときの機能を設定します。 R.REVIEW: レックレビュー機能 撮影した最後の数秒間の記録を確認することができます。 CAM RET: リターンビデオ機能 本機の GENLOCK IN 端子に供給されたリターンビデオ信号 (アナログ HD-Y 信号) をビューファインダーで確認することができます。 <ノート> <ul style="list-style-type: none"> ● 本機の HD-SDI 出力信号と異なるフォーマットの映像信号を入力した場合、リターンビデオ映像は正しく表示されません。 ● GENLOCK 項目 (SYSTEM SETTING ページの GENLOCK 画面) を INT に設定しているときは、リターンビデオ映像が水平方向に小さく揺れて表示される場合があります。
S.BLK LVL	OFF -10 -20 -30	スーパーブラックのレベルを設定します。
AUTO KNEE SW	ON OFF DRS	AUTO KNEE 機能の ON/OFF を選択します。 OFF に設定すると AUTO KNEE スイッチ ON の位置にしても、AUTO KNEE が機能しません。 DRS に設定すると AUTO KNEE スイッチを ON の位置にしたときに DRS 機能が ON になります。
SHD,ABB SW CTL	ON OFF	AUTO W/B BAL スイッチを ABB 側に 8 秒以上押し続けると、ブラックシェーディングを自動調整する設定を行います。
COLOR BARS	SMPTE FULL BARS SPLIT ARIB	使用するカラーバーの選択を行います。 SMPTE: SMPTE 規格のカラーバー FULL BARS: フルカラーバー SPLIT: SNG (Satellite News Gathering) 用 SPLIT カラーバー ARIB: ARIB 規格のカラーバー
S.GAIN OFF	L/M/H S.GAIN	スーパーゲインモードを解除する方法を選択します。 L/M/H: ゲイン切り換えスイッチの変化と S.GAIN スイッチ (USER ボタン) で解除します。 S.GAIN: S.GAIN スイッチ (USER ボタン) でのみ解除します。
DS.GAIN OFF	L/M/H DS.GAIN	デジタルスーパーゲインモード (蓄積ゲイン) を解除する方法を選択します。 L/M/H: ゲイン切り換えスイッチの変化と DS.GAIN スイッチ (USER ボタン) で解除します。 DS.GAIN: DS.GAIN スイッチ (USER ボタン) でのみ解除します。

可変範囲の ____ はプリセットモードです。

7-5-6 WHITE BALANCE MODE

項目	可変範囲	備考
D.ZOOM x2	ON OFF	デジタルズーム機能を割り付けたUSERボタンを押したときに、2倍ズームを有効にする設定を行います。 ON: 有効にします。 OFF: 無効にします。
△C U F R		
D.ZOOM x3	ON OFF	デジタルズーム機能を割り付けたUSERボタンを押したときに、3倍ズームを有効にする設定を行います。 ON: 有効にします。 OFF: 無効にします。
△C U F R		
D.ZOOM x4	ON OFF	デジタルズーム機能を割り付けたUSERボタンを押したときに、4倍ズームを有効にする設定を行います。 ON: 有効にします。 OFF: 無効にします。
△C U F R		

項目	可変範囲	備考
FILTER INH	ON OFF	各CCフィルターごとにホワイトバランスメモリー (Ach, Bch) のデータを持つか持たないかの選択を行います。 ON: CCフィルターに関係なく、AchとBchのメモリー (2メモリー) のデータを持ちます。 OFF: 各CCフィルターごとに、AchとBchのメモリー (8メモリー) のデータを持ちます。
△C U F R		
SHOCKLESS AWB	OFF FAST NORMAL SLOW1 SLOW2 SLOW3	WHITE BALスイッチの位置を切り替えたとき、その位置のホワイトバランスの状態に移行するまでの時間を設定します。 OFF: 瞬時に移行します。 FAST: 約1秒 NORMAL: 約2秒 SLOW1: 約3秒 SLOW2: 約10秒 SLOW3: 約20秒
△C U F R		
AWB AREA	25% 50% 90%	ホワイトバランスの自動調整を行う検出エリアを切り替えます。 25%: 画面中央付近25%のエリアを検出します。 50%: 画面中央付近50%のエリアを検出します。 90%: 画面の90%のエリアを検出します。
△C U F R		
COLOR TEMP PRE	2300K ↓ : 3200K : 8000K	WHITE BALスイッチをPRSTの位置にしたときの色温度を設定します。 ●CCフィルターの位置により、設定できる色温度の範囲が異なります。 ●色温度を設定した後にCCフィルターの位置を切り替えると、設定した色温度の値が変わります。
△△△△F		
AWB A TEMP	2300K ↓ : 3200K : 8000K	WHITE BALスイッチをAの位置にしたときの色温度を設定します。Aの位置でホワイトバランスの自動調整を行うとそのときの色温度がWHITE BALスイッチAの位置にメモリーされます。 ●色温度を設定した後にCCフィルターの位置を切り替えると、設定した色温度の値が変わります。
△△△△F		
AWB B TEMP	2300K ↓ : 3200K : 8000K	WHITE BALスイッチをBの位置にしたときの色温度を設定します。Bの位置でホワイトバランスの自動調整を行うとそのときの色温度がWHITE BALスイッチBの位置にメモリーされます。 ●色温度を設定した後にCCフィルターの位置を切り替えると、設定した色温度の値が変わります。
△△△△F		

可変範囲の ____ はプリセットモードです。

第7章 MENU一覧 (つづき)

7-5-7 USER SW GAIN

項目	可変範囲	備考
S.GAIN 30 dB	* ●	SUPER GAINに、30 dBを有効にするかどうかの選択を行います。 *：有効にします。 ●：無効にします。
／C U F R		
36 dB	* ●	SUPER GAINに、36 dBを有効にするかどうかの選択を行います。 *：有効にします。 ●：無効にします。
／C U F R		
42 dB	* ●	SUPER GAINに、42 dBを有効にするかどうかの選択を行います。 *：有効にします。 ●：無効にします。
／C U F R		
48 dB	* ●	SUPER GAINに、48 dBを有効にするかどうかの選択を行います。 *：有効にします。 ●：無効にします。
／C U F R		
DS.GAIN 6 dB ↑	* ●	DS.GAINに、6 dBアップを有効にするかどうかの選択を行います。 (15フレーム/秒の映像になります。) *：有効にします。 ●：無効にします。
／C U F R		
10 dB ↑	* ●	DS.GAINに、10 dBアップを有効にするかどうかの選択を行います。 (10フレーム/秒の映像になります。) *：有効にします。 ●：無効にします。
／C U F R		
12 dB ↑	* ●	DS.GAINに、12 dBアップを有効にするかどうかの選択を行います。 (7.5フレーム/秒の映像になります。) *：有効にします。 ●：無効にします。
／C U F R		
15 dB ↑	* ●	DS.GAINに、15 dBアップを有効にするかどうかの選択を行います。 (5フレーム/秒の映像になります。) *：有効にします。 ●：無効にします。
／C U F R		
20 dB ↑	* ●	DS.GAINに、20 dBアップを有効にするかどうかの選択を行います。 (3フレーム/秒の映像になります。) *：有効にします。 ●：無効にします。
／C U F R		

- DS.GAIN機能が働いているときは、シャッターモードがOFFの状態になります。

7-5-8 LENS/IRIS

項目	可変範囲	備考
A.IRIS LEVEL	000 : 045 : 100	A.IRISの目標値の設定を行います。
／C U F R		
A.IRIS PEAK/AVE	000 : 030 : 100	A.IRISの基準に対するピークの占める割合を決定します。 大きいほど、IRIS検出ウィンドウ内のピークに対して反応し、小さいほど、IRIS検出ウィンドウ内の平均値に対して反応します。
／C U F R		
A.IRIS WINDOW	NORM1 NORM2 CENTR	AUTO IRIS検出ウィンドウを選択します。 NORM1 : 画面中央よりのウィンドウ NORM2 : 画面下よりのウィンドウ CENTR : 画面中央のスポット状のウィンドウ
／C U F R		
S.IRIS LEVEL	000 : 080 : 100	SUPER IRIS (逆光補正機能)の目標値を設定します。
／C U F R		
IRIS GAIN	CAM LENS	IRIS GAINの調整をカメラ側で行うか、レンズ側で行うかを選択します。 <ノート> FUJINON製のDIGI POWERタイプ以前に発売されたエクステンダー付き(×2, ×0.8など)のレンズでは、エクステンダーを入れるとレンズ側でIRIS補正制御を動作させるため、CAM側に設定すると本機のIRIS制御が正常に動作しなくなります。
／C U F R		
IRIS GAIN VALUE	01 : 10 : 20	IRIS GAIN調整値の設定を行います。 IRIS GAIN項目がCAMに設定されているときに有効です。
／C U F R		

可変範囲の ___ はプリセットモードです。

第7章 MENU一覧 (つづき)

7-6 FILE

7-6-1 CARD READ/WRITE

項目	可変範囲	備考
R.SELECT F	1 : 8	読み出すファイルの番号を選択します。
READ F		SDメモリーカードのデータを読み出します。
W.SELECT F	1 : 8	書き込むファイルの番号を選択します。
WRITE F		カメラのデータをSDメモリーカードへ書き込みます。
CARD CONFIG F		SDメモリーカードをフォーマットします。
TITLE READ F		SDメモリーカードのデータに付けられているタイトルを読み出します。
TITLE1~8: F		8文字までのタイトル名が設定できます。

7-6-2 CARD R/W SELECT

項目	可変範囲	備考
ID READ/WRITE F	ON OFF	CARD READ/WRITE時に、CAMERA IDを、取り扱うかどうかを選択します。
USER MENU SELECT R/W F	ON OFF	CARD READ/WRITE時に、USER MENU SELECTの設定を、取り扱うかどうかを選択します。
SYSTEM MENU R/W F	ON OFF	CARD READ/WRITE時に、SYSTEM SETTINGの項目 (SYSTEM MODE項目と CAMERA MODE項目以外) と OPTION MENUの項目を、取り扱うかどうかを選択します。
PAINT MENU LEVEL R/W F	ON OFF	CARD READ/WRITE時に、PAINT MENUの調整値を、取り扱うかどうかを選択します。
PAINT MENU SW(■) R/W F	ON OFF	CARD READ/WRITE時に、PAINT MENUの設定を、取り扱うかどうかを選択を行います。
VF MENU R/W F	ON OFF	CARD READ/WRITE時に、VF MENUの設定を、取り扱うかどうかを選択します。
OPERATION MENU R/W F	ON OFF	CARD READ/WRITE時に、OPERATION MENUの設定を、取り扱うかどうかを選択します。
MAINTENANCE MENU R/W F	ON OFF	CARD READ/WRITE時に、MAINTENANCE MENUの設定を、取り扱うかどうかを選択します。
VTR MENU R/W F	ON OFF	CARD READ/WRITE時に、VTR MENUの設定を、取り扱うかどうかを選択します。

7-6-3 LENS FILE

項目	可変範囲	備考
FILE SELECT F	1 : 8	レンズファイルの番号を選択します。
READ F		レンズファイルのデータを読み込みます。
WRITE F		レンズファイルのデータを書き込みます。
RESET ALL F		レンズファイルのデータをリセットします。
TITLE1-8 F	*****	12文字までのタイトル名が設定できます。

7-6-4 LENS FILE CARD R/W

項目	可変範囲	備考
CARD FILE SELECT F	1 : 8	レンズファイルの番号を選択します。
READ F		SDメモリーカードのレンズファイルデータを読み出します。
WRITE F		レンズファイルのデータをSDメモリーカードへ書き込みます。
TITLE READ F		レンズファイルのタイトルを読み出します。
TITLE1~8: F	*****	12文字までのタイトル名が設定できます。

7-6-5 SCENE

項目	可変範囲	備考
READ USER DATA F		メモリーのユーザーエリアデータを読み込みます。
SCENE SEL F	1 : 4	シーンファイルを選択します。
READ F		シーンファイルを読み込みます。
WRITE F		シーンファイルを書込みます。
RESET F		SCENE FILEの値を初期値に戻します。
TITLE 1-4 F	*****	シーンファイルのタイトルを作成します。

詳しくは、「4-10 設定データの取り扱い」を参照してください。

可変範囲の ____ はプリセットモードです。

7-7 MAINTENANCE

7-6-6 INITIALIZE

項目	可変範囲	備考
READ FACTORY DATA		本機を工場出荷時の状態に戻します。 工場出荷時に戻らないデータ ● ユーザーデータ ● シーンファイル ● レンズファイル ● ブラックシェーディング
WRITE USER DATA		ユーザー固有のメニューデータを本機のユーザーデータメモリーにセーブします。

詳しくは、「4-10 設定データの取り扱い」を参照してください。

7-7-1 SYSTEM CHECK

項目	可変範囲	備考
COLOR CHECK	ON OFF	カメラ部が正常に動作しているかをチェックを行います。 ON: 画面中央付近のRGBの信号レベルをビューファインダーに表示します。RGBそれぞれの信号が、光学系からデジタル系に正しく伝送され、処理されていることを数値で表示します。 OFF: 表示しません。

7-7-2 DIAGNOSTIC

項目	可変範囲	備考
CAMSOF (IN)		マイコン内蔵FLASH用ソフトのバージョンを表示します。
CAMSOF (OUT)		外付けFLASH用ソフトのバージョンを表示します。
CAM TABLE		テーブルのバージョンを表示します。
FONT ROM		キャラクターのフォントのバージョンを表示します。
FPGA (CHAR)		キャラクター用FPGAのバージョンを表示します。
FPGA (FM)		フレームメモリー用FPGAのバージョンを表示します。
FPGA (D/C)		ダウンコンバーター用FPGAのバージョンを表示します。
FPGA (TG)		CCD駆動用FPGAのバージョンを表示します。

7-7-3 LENS ADJ

項目	可変範囲	備考
F2.8 ADJ	ON OFF	この項目をONにしたとき、IRISをF2.8にします。
F16 ADJ	ON OFF	この項目をONにしたとき、IRISをF16にします。

可変範囲の ____ はプリセットモードです。

第7章 MENU一覧 (つづき)

7-7-4 BLACK SHADING

項目	可変範囲	備考
CORRECT C U F R	ON OFF	デジタルブラックシェーディング補正のON/OFFを切り替えます。
DETECTION (DIG)	-	デジタルブラックシェーディング補正を実行します。
//////		

7-7-5 WHITE SHADING

項目	可変範囲	備考
CORRECT C U F R	ON OFF	ホワイトシェーディング補正のON/OFFを切り替えます。
R H SAW R H PARA R V SAW R V PARA G H SAW G H PARA G V SAW G V PARA B H SAW B H PARA B V SAW B V PARA	- 255 : + 000 : + 255	ホワイトシェーディングの補正を手動で行います。 RGB各チャンネルのノコギリ歯状波形とパラボラ波形を、水平方向と垂直方向に調整します。
////// F		

7-7-6 LENS FILE ADJ

項目	可変範囲	備考
RB GAIN CTRL RESET	ON OFF	ON: 7-3-1 <RB GAIN CONTROL> 画面で調整された Rch と Bch のゲインをリセットします。 また、7-3-2 <RGB BLACK CONTROL> 画面で調整された Rch、Gch、Bch のフレアレベルもリセットされます。 OFF: 7-3-1 <RB GAIN CONTROL> 画面で調整された Rch と Bch のゲインが有効になります。 また、7-3-2 <RGB BLACK CONTROL> 画面で調整された Rch、Gch、Bch のフレアレベルも有効になります。
//////		
LENS R GAIN OFFSET	- 200 : + 000 : + 200	使用するレンズの Rch 感度を補正します。
////// F		
LENS B GAIN OFFSET	- 200 : + 000 : + 200	使用するレンズの Bch 感度を補正します。
////// F		
LENS R FLARE	000 : 100	Rch のフレアレベルを調整します。
////// F		
LENS G FLARE	000 : 100	Gch のフレアレベルを調整します。
////// F		
LENS B FLARE	000 : 100	Bch のフレアレベルを調整します。
////// F		

- LENS FILE ADJ 画面で調整されたデータは、レンズファイルとして SD メモリーカードに保存することが可能です。

可変範囲の ____ はプリセットモードです。

第7章 MENU 一覧 (つづき)

7-8 VTR MENU

7-8-1 VTR FUNCTION

項目	可変範囲	備考
HUMID OPE	ON OFF	HUMID 発生時に動作を継続するかどうかを選択します。 ON: 動作中に HUMID が発生しても SLACK が検出されるまでは動作を継続します。 OFF: HUMID が発生した時点で動作を停止します。 なお記録中に HUMID が発生した場合、この項目の ON/OFF の設定にかかわらず、SLACK が検出されない限り記録動作を継続します。
REC START	ALL NORMAL	記録開始の受け付けを選択します。
PAUSE TIMER	10min 20min 30min 60min	REC/PAUSE を継続する時間を選択します。
RC CHECK SW	R.REVIEW RETAKE	リモートコントロールユニットの REC チェックボタンによる本機の動作を設定します。 R.REVIEW: リックレビューを行います。 RETAKE: RETAKE 動作を行い、その後自動的に再生します。

7-8-2 BATTERY/TAPE

項目	可変範囲	備考
BATTERY SELECT	PROPAC14 TRIMPAC14 HYTRON50 HYTRON120 DIONIC90 DIONIC160 NP-L7 ENDURA7 ENDURA10 ENDURA-D PAG L95 BP-L65/95 NiCd14 TYPE A TYPE B	使用するバッテリーを選択します。 また、選択したバッテリーに合わせた残量検出が行われます。 可変範囲は「7-8-3 BATTERY SETTING1」、および「7-8-4 BATTERY SETTING2」の設定により、変化します。 なお、TYPE A の初期値は DIONIC90 に、TYPE B の初期値は HYTRON120 に合わせて設定されています。 ●BP-L65/95 は、BP-GL65/95 バッテリーを示します。
EXT DC IN SELECT	AC ADPT PROPAC14 TRIMPAC14 HYTRON50 HYTRON120 DIONIC90 DIONIC160 NP-L7 ENDURA7 ENDURA10 ENDURA-D PAG L95 BP-L65/95 NiCd14 TYPE A TYPE B	DC IN 端子に接続する外部電源を選択します。 また、選択した種類に合わせた残量検出が行われます。 可変範囲は「7-8-3 BATTERY SETTING1」、および「7-8-4 BATTERY SETTING2」の設定により、変化します。 ビューファインダー画面には、アナログ電圧が表示されます。 ●BP-L65/95 は、BP-GL65/95 バッテリーを示します。
BATT NEAR END ALARM	ON OFF	バッテリーニアエンドで、警告音を出力するかどうかを設定します。
BATT NEAR END CANCEL	ON OFF	ON に設定すると、バッテリーニアエンドで MODE CHECK ボタンを押すことにより、出力されている警告音や警告表示をキャンセルすることができます。
BATT END ALARM	ON OFF	バッテリーエンドで警告音を出力するかどうかを設定します。
BATT REMAIN FULL	100% 70%	デジタルバッテリー使用時に、LCD 残量表示バーの表示を設定します。 100%: 100% で FULL 表示します。 70%: 70% で FULL 表示します。
TAPE NEAR END ALARM	ON OFF	テープニアエンドで、警告音を出力するかどうかを設定します。
TAPE NEAR END TIME	3min 2min	テープニアエンド警告を出すテープ残量時間を設定します。
TAPE END ALARM	ON OFF	テープ終端で警告音を出力するかどうかを設定します。
TAPE REMAIN/■	5min/■ 3min/■	LCD のテープ残量表示バーの 1 セグメント (■) の時間を設定します。 5min: 1 セグメントが 5 分 3min: 1 セグメントが 3 分

可変範囲の ____ はプリセットモードです。

第7章 MENU一覧 (つづき)

7-8-3 BATTERY SETTING1

項目	可変範囲	備考
PROPAC14	* ●	BATTERY SELECT での選択を可能にします。 * : 選択可能 ● : 選択不可
	AUTO MANUAL	ニアエンド電圧を設定するかどうかを選択します。 AUTO: 自動的に設定します。 MANUAL: 手動で設定します。
	11.0 : <u>13.8</u> : 15.0	上記メニューで MANUAL 選択時、ニアエンド電圧を 0.1 V ステップで選択します。
CUF		
TRIMPAC14	* ●	BATTERY SELECT での選択を可能にします。 * : 選択可能 ● : 選択不可
	AUTO MANUAL	ニアエンド電圧を設定するかどうかを選択します。 AUTO: 自動的に設定します。 MANUAL: 手動で設定します。
	11.0 : <u>13.6</u> : 15.0	上記メニューで MANUAL 選択時、ニアエンド電圧を 0.1 V ステップで選択します。
CUF		
HYTRON50	* ●	BATTERY SELECT での選択を可能にします。 * : 選択可能 ● : 選択不可
	AUTO MANUAL	ニアエンド電圧を設定するかどうかを選択します。 AUTO: 自動的に設定します。 MANUAL: 手動で設定します。
	11.0 : <u>13.2</u> : 15.0	上記メニューで MANUAL 選択時、ニアエンド電圧を 0.1 V ステップで選択します。
CUF		
HYTRON120	* ●	BATTERY SELECT での選択を可能にします。 * : 選択可能 ● : 選択不可
	AUTO MANUAL	ニアエンド電圧を設定するかどうかを選択します。 AUTO: 自動的に設定します。 MANUAL: 手動で設定します。
	11.0 : <u>13.0</u> : 15.0	上記メニューで MANUAL 選択時、ニアエンド電圧を 0.1 V ステップで選択します。
CUF		

項目	可変範囲	備考
DIONIC90	* ●	BATTERY SELECT での選択を可能にします。 * : 選択可能 ● : 選択不可
	AUTO MANUAL	ニアエンド電圧を設定するかどうかを選択します。 AUTO: 自動的に設定します。 MANUAL: 手動で設定します。
	11.0 : <u>13.6</u> : 15.0	上記メニューで MANUAL 選択時、ニアエンド電圧を 0.1 V ステップで選択します。
CUF		
DIONIC160	* ●	BATTERY SELECT での選択を可能にします。 * : 選択可能 ● : 選択不可
	AUTO MANUAL	ニアエンド電圧を設定するかどうかを選択します。 AUTO: 自動的に設定します。 MANUAL: 手動で設定します。
	11.0 : <u>13.1</u> : 15.0	上記メニューで MANUAL 選択時、ニアエンド電圧を 0.1 V ステップで選択します。
CUF		
NP-L7	* ●	BATTERY SELECT での選択を可能にします。 * : 選択可能 ● : 選択不可
	AUTO MANUAL	ニアエンド電圧を設定するかどうかを選択します。 AUTO: 自動的に設定します。 MANUAL: 手動で設定します。
	11.0 : <u>12.9</u> : 15.0	上記メニューで MANUAL 選択時、ニアエンド電圧を 0.1 V ステップで選択します。
CUF		
ENDURA7	* ●	BATTERY SELECT での選択を可能にします。 * : 選択可能 ● : 選択不可
	AUTO MANUAL	ニアエンド電圧を設定するかどうかを選択します。 AUTO: 自動的に設定します。 MANUAL: 手動で設定します。
	11.0 : <u>13.2</u> : 15.0	上記メニューで MANUAL 選択時、ニアエンド電圧を 0.1 V ステップで選択します。
CUF		

- デジタルバッテリーを本機に取り付けたときは、バッテリー残量が%で表示されます。

可変範囲の ____ はプリセットモードです。

7-8-4 BATTERY SETTING2

項目	可変範囲	備考
ENDURA10	* ●	BATTERY SELECT での選択を可能にします。 * : 選択可能 ● : 選択不可
	AUTO MANUAL	ニアエンド電圧を設定するかどうかを選択します。 AUTO: 自動的に設定します。 MANUAL: 手動で設定します。
	11.0 13.2 15.0	上記メニューで MANUAL 選択時、ニアエンド電圧を 0.1 V ステップで選択します。
CUF		
ENDURA-D	* ●	BATTERY SELECT での選択を可能にします。 * : 選択可能 ● : 選択不可
	AUTO MANUAL	ニアエンド電圧を設定するかどうかを選択します。 AUTO: 自動的に設定します。 MANUAL: 手動で設定します。
	11.0 13.2 15.0	上記メニューで MANUAL 選択時、ニアエンド電圧を 0.1 V ステップで選択します。
CUF		
PAG L95	* ●	BATTERY SELECT での選択を可能にします。 * : 選択可能 ● : 選択不可
	AUTO MANUAL	ニアエンド電圧を設定するかどうかを選択します。 AUTO: 自動的に設定します。 MANUAL: 手動で設定します。
	11.0 13.5 15.0	上記メニューで MANUAL 選択時、ニアエンド電圧を 0.1 V ステップで選択します。
CUF		
BP-GL65/95	* ●	BATTERY SELECT での選択を可能にします。 * : 選択可能 ● : 選択不可
	AUTO MANUAL	ニアエンド電圧を設定するかどうかを選択します。 AUTO: 自動的に設定します。 MANUAL: 手動で設定します。
	11.0 13.6 15.0	上記メニューで MANUAL 選択時、ニアエンド電圧を 0.1 V ステップで選択します。
CUF		

項目	可変範囲	備考
NiCd14	* ●	BATTERY SELECT での選択を可能にします。 * : 選択可能 ● : 選択不可
	NEAR END	ニアエンド電圧を 0.1 V ステップで選択します。
	11.0 13.8 15.0	
END	11.0	エンド電圧を 0.1 V ステップで選択します。
	13.2 15.0	
	CUF	
TYPE A	* ●	BATTERY SELECT での選択を可能にします。 * : 選択可能 ● : 選択不可
	FULL	FULL 表示する電圧を 0.1 V ステップで選択します。
	12.0 14.6 17.0	
NEAR END	11.0	ニアエンド電圧を 0.1 V ステップで選択します。
	13.6 15.0	
	END	11.0
12.9 15.0		
CUF		
TYPE B	* ●	BATTERY SELECT での選択を可能にします。 * : 選択可能 ● : 選択不可
	FULL	FULL 表示する電圧を 0.1 V ステップで選択します。
	12.0 15.2 17.0	
NEAR END	11.0	ニアエンド電圧を 0.1 V ステップで選択します。
	13.0 15.0	
	END	11.0
12.4 15.0		
CUF		

- デジタルバッテリーを本機に取り付けたときは、バッテリー残量が%で表示されます。

第7章 MENU一覧 (つづき)

7-8-5 MIC/AUDIO1

項目	可変範囲	備考
FRONT VR CH1	OFF FRONT W.L. REAR ALL	CH1 に選んだ入力系統に対して、ボリュームを動かせるかどうかを設定します。
FRONT VR CH2	OFF FRONT W.L. REAR ALL	CH2 に選んだ入力系統に対して、ボリュームを動かせるかどうかを設定します。
MIC LOWCUT CH1	OFF FRONT W.L. REAR	マイクロカットフィルターを選択します。
MIC LOWCUT CH2	OFF FRONT W.L. REAR	マイクロカットフィルターを選択します。
MIC LOWCUT CH3	OFF FRONT W.L. REAR	マイクロカットフィルターを選択します。
MIC LOWCUT CH4	OFF FRONT W.L. REAR	マイクロカットフィルターを選択します。
LIMITER CH1	OFF ON	リミッタを選択します。
LIMITER CH2	OFF ON	リミッタを選択します。
AUTO LEVEL CH3	OFF ON	録音レベルの自動調整を選択します。
AUTO LEVEL CH4	OFF ON	録音レベルの自動調整を選択します。
CUE REC SELECT	CH1 CH2 CH3 CH4 CH1+2 CH3+4	CUEトラックに記録する信号を選択します。

<ノート>

マイクロカットフィルターを適用したときの周波数特性は、200Hz～10kHzになります。

項目	可変範囲	備考
TEST TONE	OFF NORMAL ALWAYS CHSEL	テスト信号を選択します。 OFF: テストトーンは出力しません。 NORMAL: CAM/BARスイッチがBARでAUDIO INスイッチのCH1がFRONTのとき、全CHにテストトーンを出力します。 ALWAYS: CAM/BARスイッチがBARのときは、常に全CHにテストトーンを出力します。 CHSEL: CAM/BARスイッチがBARのとき、AUDIO INスイッチのCH1またはCH2がFRONTに設定されているチャンネルにテストトーンを出力します。CH3、CH4には出力しません。

7-8-6 MIC/AUDIO2

項目	可変範囲	備考
FRONT MIC POWER	ON OFF	フロントマイクのファントム電源の選択をします。
REAR MIC POWER	ON OFF	リアマイクのファントム電源の選択をします。
MONITOR SELECT	STEREO MIX	モニターに出力する信号形式を選択します。
FRONT MIC LEVEL	-40dB -50dB	フロントマイクの入力レベルを選択します。
REAR MIC CH1 LVL	-50dB -60dB	リアマイクの入力レベルを選択します。
REAR MIC CH2 LVL	-50dB -60dB	リアマイクの入力レベルを選択します。
REAR LINE IN LVL	-3dB 0dB +4dB	リアライン入力のレベルを選択します。
AUDIO OUT LVL	-3dB 0dB +4dB	オーディオ出力レベルを選択します。
HEADROOM	18dB 20dB	ヘッドルーム（基準レベル）を設定します。
WIRELESS WARN	ON OFF	ワイヤレスレシーバーの受信状態が悪いとき、警告を出すかどうかを選択します。

可変範囲の ____ はプリセットモードです。

第7章 MENU一覧 (つづき)

7-8-7 TC/UB

項目	可変範囲	備考
TC MODE	DF NDF	タイムコードを歩進させるモードを選択します。 DF: ドロップフレーム NDF: ノンドロップフレーム
UB MODE	USER TIME DATE EXT TCG FRM RATE REGEN	LTC 領域に記録するユーザーズビットを選択します。 USER: ユーザー設定値を記録します。 (固定値) TIME: ローカル時刻を記録します。 (時、分、秒) DATE: ローカル日時を記録します。 (西暦下2桁、月、日、時) EXT: TC IN 端子に入力されているタイムコードのユーザーズビットを記録します。 ユーザーズビットが読み取れない場合は、ユーザー設定値を記録します。 TCG: タイムコードジェネレーターの値を記録します。 FRM RATE: カメラの撮像情報 (フレームレートなど) を記録します。 REGEN: テープに記録されている値を読み出し、その値を継続して記録します。
VITC UB MODE	USER/EXT TIME DATE TCG FRM RATE REGEN	VITC 領域に記録するユーザーズビットを選択します。 USER/EXT: UB MODE 項目が EXT に設定されているときは、TC IN 端子に入力されているタイムコードのユーザーズビットを記録します。 EXT 以外に設定されているときは、ユーザー設定値を記録します。 TIME: ローカル時刻を記録します。 (時、分、秒) DATE: ローカル日時を記録します。 (西暦下2桁、月、日、時) TCG: タイムコードジェネレーターの値を記録します。 FRM RATE: カメラの撮像情報 (フレームレートなど) を記録します。 REGEN: テープに記録されている値を読み出し、その値を継続して記録します。 <ノート> 映像方式を 24P や 24PA に設定しているときは、7-9-1 <OPTION> 画面の FRAME RATE UB の設定に従います。

項目	可変範囲	備考
TCG SET HOLD	ON OFF	電源を OFF にする前に TCG を設定した場合、再度電源 ON して記録した時、必ずその設定した値から記録する機能の ON/OFF を切り換えます。
FIRST REC TC	REGEN PRESET	電源 ON やカセットイン、PLAY やサーチ後の最初の記録で、TC をテープ上の値にリジェネさせるかどうかを選択します。
P.OFF LCD DISPLAY	ON OFF	電源 OFF 状態で、LCD のタイムコード設定やカウント表示を行うかどうかを選択します。 ON: 電源 OFF 中でもタイムコードの設定や表示をします。 OFF: 電源 OFF 中は LCD 部をパワーダウンします。設定や表示はできません。
TC OUT	TCG TCG/TCR	TC OUT 端子に出力されるタイムコードを選択します。 TCG: 常にタイムコードジェネレーター値を出力します。 TCG/TCR: E-E 時はタイムコードジェネレーター値を出力し、再生時はタイムコードリーダー値を出力します。
TC DISP SEL	30F 24F	タイムコードのフレーム桁の表示形式を選択します。 30F: タイムコードのフレーム桁を 30 フレームで表示します。 24F: タイムコードのフレーム桁を 24 フレームに変換して表示します。
TC VIDEO SYNCRO	0 1 2 3	映像信号の遅延に合わせてタイムコードを補正する設定を行います。 0: 補正しません。 1: 映像のタイミングに合わせて、入力するタイムコードを遅らせます。 2: 映像のタイミングに合わせて、出力するタイムコードを進めます。 3: 映像のタイミングに合わせて、入力するタイムコードを遅らせ、出力するタイムコードを進めます。 詳しくは、「4-5-4 タイムコードを外部ロックさせる」を参照してください。
REC REVIEW REGEN	ON OFF	SW MODE 画面の RET SW 項目を R.REVIEW に設定して、レンズの RET ボタンや RET SW 機能を割り付けた本機の USER ボタンを押した後、次の記録を開始したときにテープ上のタイムコードにリジェネするかどうかを選択します。 ON: リジェネします。 OFF: リジェネしません。

可変範囲の ___ はプリセットモードです。

第7章 MENU一覧 (つづき)

7-9 OPTION MENU

7-8-8 UMID SET/INFO

項目	可変範囲	備考
COUNTRY	NO-INFO	ユーザーの属する国家を入力します。入力されるまではNO-INFOと表示されます。
CUF		
ORGANIZATION	NO-INFO	ユーザーの属する組織名・会社名を入力します。入力されるまではNO-INFOと表示されます。
CUF		
USER	NO-INFO	ユーザー名を入力します。入力されるまではNO-INFOと表示されます。
CUF		
DEVICE NODE		製品のID番号を表示します。
CUF		

7-8-9 VTR DIAG

項目	可変範囲	備考
OPERATION		電源がONになった状態のトータル時間を表示します。
CUF		
DRUM RUNNING		ドラム回転時間のトータル値を表示します。
CUF		
THREADING		ローディング回数のトータル値を表示します。
CUF		
DRUM RUNNING r		リセット後のドラム回転時間のトータル値を表示します。
CUF		
THREADING r		リセット後のローディング回数のトータル値を表示します。
CUF		
VTR SYSCON		VTR SYSCON マイコンのソフトウェアバージョンを表示します。
CUF		
SERVO		SERVO マイコンのソフトウェアバージョンを表示します。
CUF		
FRONT		LCD マイコンのソフトウェアバージョンを表示します。
CUF		
VIDEO FPGA		ビデオ信号処理用FPGAのバージョンを表示します。
CUF		
PWR PLD		SDメモリーカード制御用PLDのバージョンを表示します。
CUF		

7-9-1 OPTION

項目	可変範囲	備考
ENG SECURITY	ON OFF	メニュー画面の開閉に制限をかけるかどうかの選択をします。 ON: MENU画面が開けなくなります。解除する場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。 OFF: 開閉に制限はありません。
CUF		
FRAME RATE UB	FRAME RATE MENU	映像方式を24Pや24PAに設定しているときに記録するユーザーズビットを設定します。 FRAME RATE: カメラの撮像情報(フレームレートなど)を記録します。 MENU: 7-8-7 <TC/UB> 画面のVITC UB MODE項目の設定に従います。
CUF		
1394 CONFIG	DFLT(000) 001 : 255	DVCPRO端子の拡張用メニューです。通常は、DFLTで使用してください。
CUF		
1394 GAP COUNT	0 : 40 : 63	パケットとパケットの間隔を設定します。
CUF		

可変範囲の ____ はプリセットモードです。

第8章 保証とアフターサービス

故障・修理・お取扱い・メンテナンス

などのご相談は、まず、

お買い上げの販売店

へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社（裏表紙）までご連絡ください。

※ 内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますので、ご了承ください。

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめの上、お買い上げの販売店からお受け取りください。内容をよくお読みいただいた上、大切に保存してください。

万一、保証期間内に故障が生じた場合には、保証書記載内容に基づき、「無料修理」させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

ただし、下記部品は、保証期間内でも使用時間による保証となります。

ビデオヘッド	:1.000 時間
消耗・摩耗部品	:1.000 時間

■補修用性能部品

当社では、カメラレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8年間保有しています。

※ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■定期メンテナンス（保守・点検）

定期メンテナンス（保守・点検）は、お客様が安心して機器をご使用いただくために、定期的に必要なメンテナンスを行い、機器の機能を常に良好な状態に維持するためのものです。

部品の摩耗、劣化、ゴミ、ホコリの付着などによる突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能を維持するために、定期メンテナンスのご契約を推奨いたします。

なお、メンテナンス実施の周期、費用につきましては、機器のご使用状況、時間、環境などにより変化します。

定期メンテナンス（有料）についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。

*摩耗部品とは、

- | | |
|-----------|--------------|
| ● ビデオヘッド | ● ローラー類 |
| ● ピンチローラー | ● ヘッド類 |
| ● 各種ブレーキ | ● その他メカ駆動系部品 |
| ● モーター | |

8

修理を依頼されるとき

この取扱説明書を再度ご確認の上、お買い上げの販売店までご連絡ください。

◆保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。詳しくは、保証書をご覧ください。

◆保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容	
品名	カメラレコーダー
品番	AJ-HDX400A
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

第9章 定 格

【総合】

電源： DC 12 V (DC 11.0 V ~ 17.0 V)
消費電力： 35 W

□ は安全項目です。

動作周囲温度：

0°C ~ + 40°C

保存温度：

- 20°C ~ + 60°C

動作湿度：

10% ~ 85%以下 (相対湿度)

連続動作時間：

約 120 分 (アントンバウアー DIONIC90 使用時)

外形寸法 (幅×高さ×奥行き)：

129 mm × 271 mm × 329 mm

質量：

4.5 kg (本体のみ)

【カメラ部】

撮像素子：

2/3 型 CCD × 3

撮像方式：

RGB 3CCD 方式

総画素数：

1370 (H) × 744 (V)

有効画素数：

1280 (H) × 720 (V)

水平駆動周波数：

74.1758 MHz

レンズマウント：

2/3 型バヨネット式

色分解光学系：

プリズム方式 (F 1.4)

CC/ND フィルター：

CC A : CROSS

B : 3200K

C : 4300K

D : 6300K

ND 1 : CLEAR

2 : 1/4ND

3 : 1/16ND

4 : 1/64ND

量子化：

14ビット

サンプリング周波数：

74.1758 MHz

デジタル信号処理：

74.1758 MHz

プログラマブルゲイン：

- 3 dB, 0 dB, 3 dB, 6 dB, 9 dB, 12 dB,

15 dB, 18 dB, 21 dB, 24 dB, 27 dB, 30 dB

DS GAIN 機能：

+6 dB, +10 dB, +12 dB, +15 dB, +20 dB
から選択

LINE MIX GAIN 機能：

+6 dB (ON/OFF 選択可能)

SUPER GAIN 機能：

30 dB, 36 dB, 42 dB, 48 dB から選択

シャッタースピード：

1/100, 1/120, 1/250, 1/500, 1/1000,
1/2000, HALF

シンクロスキャンシャッター：

1/60.3 ~ 1/249.8 (1080-59.94i)

1/30.2 ~ 1/249.8 (1080-29.97P)

1/24.1 ~ 1/249.8

(1080-23.98P/1080-23.98PA)

感度：

F11 (2000 lx, 89.9% 反射)

最低被写体照度：

0.007 lx,

F1.4, 48 dB (S. GAIN) +20 dB (DS. GAIN)

+6dB (LINE MIX) 時

映像 S/N：

54 dB (標準)

レジストレーションエラー：

0.03%以下 (全域、レンズ歪みを除く)

【VTR 部】

テープ走行系

使用テープ：

1/4 インチ DVCPRO 用 M カセットテープ

テープ速度：

67.640 mm/s

記録時間：

33 分 (AJ-HP33EMG 使用時)

早送り時間：

約 1 分 30 秒 (AJ-HP33EMG 使用時)

巻き戻し時間：

約 1 分 30 秒 (AJ-HP33EMG 使用時)

第9章 定格(つづき)

映像系

サンプリング周波数:

Y: 74.1758 MHz

P_B/P_R: 37.0879 MHz

量子化:

8ビット

ビデオ圧縮方式:

DCT + 可変長符号

ビデオ圧縮比率:

1/6.7

エラー訂正:

リードソロモンプロダクトコード

ビデオ記録ビットレート:

100 Mbps

音声系

サンプリング周波数:

48 kHz (ビデオに同期)

量子化:

16ビット

周波数特性:

20 Hz ~ 20 kHz ± 1.0 dB

(1 kHz、基準レベルに対し)

ダイナミックレンジ:

85 dB以上 (1 kHz、AWTD)

ひずみ率:

0.1%以内 (1 kHz、基準レベルに対し)

ワウフラッター:

測定限界以下

ヘッドルーム:

20 dB

【コネクター部】

音声入力

MIC IN (XLR、5ピン、メス):

ステレオ対応

ファントム電源:

+ 48V (メニューでON/OFF可)

入力レベル:

- 40 dBu

(- 50 dBu、- 40 dBuのメニュー選択可)

AUDIO IN CH1/CH2 (XLR × 2、3ピン、メス):

LINE/MIC/MIC + 48 V 切り替え式

LINE: +4 dBu

(- 3 dBu、0 dBu、+4 dBuのメニュー選択可)

MIC: - 60 dBu

(- 60 dBu、- 50 dBuのメニュー選択可)

MIC + 48V:

- 60 dBu

(- 60 dBu、- 50 dBuのメニュー選択可)

WIRELESS IN (D-SUB、25ピン):

入力レベル: - 40 dBu

音声出力

AUDIO OUT CH1/CH2 (XLR、5ピン、オス):

出力レベル: +4 dBm

(- 3 dBm、0 dBm、+4 dBmのメニュー選択可)

PHONES:

ステレオミニジャック × 2

映像入力

GEN LOCK IN (BNC):

1.0 V_{P-P}、75 Ω

(リターンビデオ信号の入力端子としても使用可能)

映像出力

VIDEO OUT (BNC):

HD-SDI/SD-SDI/コンポジットに切り替え可能

HD-SDI時: 0.8 V_{P-P}、75 Ω

SD-SDI時: 0.8 V_{P-P}、75 Ω

コンポジット時: 1.0 V_{P-P}、75 Ω

MON OUT (BNC):

HD-SDI/HD-Yに切り替え可能

HD-SDI時: 0.8 V_{P-P}、75 Ω

HD-Y時: 1.0 V_{P-P}、75 Ω (アナログ信号)

タイムコード入力

TC IN (BNC):

0.5 V_{P-P} ~ 7 V_{P-P}、ハイインピーダンス

タイムコード出力

TC OUT (BNC):

2.0 V_{P-P}、ローインピーダンス

その他

LENS (12ピン)

REMOTE (10ピン、AJ-RC10G用端子)

DC IN (XLR、4ピン、オス):

DC 11 V ~ 17 V

DC OUT (4ピン):

DC 11 V ~ 17 V、最大出力電流 1.5 A

EVF (20ピン)

59.94 Hzビューファインダーに対応

DVCPRO出力端子 (6ピン)

GPS (6ピン、AJ-GPS910G用端子)

【付属品】

ショルダーベルト

FRONT AUDIO LEVEL つまみノブ

つまみノブ用ネジ × 1

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

パナソニック株式会社 AVCネットワークス社 システム事業グループ

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎(06)6901-1161

